

おとおな

前より衰へた。他の名聲比從前衰敗(視力が衰へた)眼睛花了。おとをち弟小父(色) 叔父、叔叔(おないとし同年(色) 同歳) (おなか御中(色) 吐子) (おながれ御流(色) ①散②杯中餘滴、杯餘(運動會は雨で御流になつた)運動會因爲下雨沒開就散了(御流頂戴(ヤウダイ) 賜杯、賜酒) おなじ 同(色) 同、一樣、同一、一式、一般、一邊兒、相同(同じ物) 一樣的東西(これとあれとは同じだ) 這個和那個一樣(同じ高さ(大さ、長さ) 一邊兒高、一樣高(大、長)(口を同じくして語るべからず) 不可同日而語(交) (皆同じ代物だ) 同是一貨、

おなおに

都是一樣的貨。おなじくば同クバ(同) 都……還。是(同じくば戰場で死にたい) 都是死還死在戰場哪(同じくば帝印で仕官したい) 都是做官還在京裡做官好(同じくば之を貰(ヲモ)はう) 您都是給我還是把這個給我(おなら 屁(色) 屁(屁をする) 放屁) おなり御成(色) 出門。おなんご御納戸(色) ①擱東西的屋子(色) 藍色。おに鬼(色) ①鬼、鬼怪(色) 魔鬼、邪鬼(色) 食人鬼、羅刹、羅叉婆(鬼に金棒) 虎附翼、虎添翼(鬼の留守に洗濯) 閻王不在小鬼坐殿(鬼の空念佛) 猫兒哭耗子假慈悲。おにあごみ鬼術(色) 大術。

おに

おにうちまめ鬼打豆(色) 打鬼用的豆子。おにがしま鬼島(色) 鬼怪住的海。おにがばら鬼瓦(色) 猫頭兒瓦、房脊(房脊ハヤフ又ハマノ、屋、獸頭(トビノ形ニアル) 王)。おにがみ鬼(色) 鬼神(一) 同。おにごご鬼子事(色) 與おにご(おにごご鬼事(色) 小孩子遊戲之名、一個當鬼追趕羣童拿捉) おにごろし鬼殺(色) 燒酒。おにばす鬼蓮(色) 灰(鬼蓮の實) 灰實、雞頭米。「鬼婆、醜婆子。おにばば鬼婆(色) 刁惡的老婆、おにはやし御庭燒(色) 竈竈。おにび鬼火(色) 鬼火。おにほし鬼星(色) 鬼宿(クワ)。

おにむしや鬼武者(色) 猛士。おにやらひ追儼(色) 儼、打鬼。おにゆり鬼百合(色) 卷丹。おぬし御主(色) 您、老兄、老弟。おの己(色) 與おのれ同。おの斧(色) 見をの條下。おのおの各(同) 各人、各自(各) (人には各癖がある) 各人有各人的脾氣(各長する所がある) 各有所長(Chang) (人により各見る所が違ふ) 各人各見。おのおの各(代) 你們諸位。おのがじし己自身(同) 各人、各自(各) 自(各) 自、自然。おのづから自(同) 同上「下老兒(おのづと自(同) 同上「下老兒(おのほりさん(色) 上京去的鄉。

(おのち己等(代) 你們。おのれ己(色) 自己。おのれ己(代) ①我②你這個東西(「お憎き奴) 你可惡(わる) 的這個東西。おば伯母、叔母(色) 見をば條下。おば祖母(色) ①祖母、奶奶(大(子供が年老イタル) 老婆兒(年老イタル) 對シテ) 大。オバーコート(色) (Over coat) 外褂子、外套。オバーブリッチ(色) (Overbridge) 橋、越線橋。オバーシュー(色) (Overshoe) 套鞋、橡皮套鞋。おはぎ御萩(色) 與はぎのもち同。おはぐる御黒(色) ①出嫁之婦。女以鐵漿染齒(鐵漿) (おばけ妖怪(色) 妖怪、鬼怪、妖。

精、精、鬼(狐の妖怪) 狐狸精(蛙の妖怪) 蛤蜊精。おは二御箱(色) ①得意的事情、愛說的話、拿手活(この藝道(タウ) はあの役者の御箱です) 這個手藝是那個戲子的拿手活(あの人の御箱が出た) 又弄出他的得意的事情來了(君の御箱が又出ました) 你又來了。おはします御座ス(四段自動) 與おはす同。おはす御座ス(四段自動) ③去。おはち御鉢(色) 飯桶(御鉢がまはる) 輪到我(外事(ト) と思つて居たのが自分にお鉢がまはつて来た) 我以爲是別人身上的事想不到輪到我身上了。

おは おひ

おはもじ御ハ文字(色) 慚愧、害
羞、出醜(御は文字様)(ナ)同上
おはらひ御祓(色) ①咒②神符、
桃符

おはらひば二御祓箱(色) ①装神
符的箱子②把底下人趕出去(使
ヲ退出)

おはらひ御針(色) ①針線、活、女
工、女紅②做針線的老婆子

おはる終ル(四段他動) 見をはる條
おひ笈(名) 笈

おひ帯(色) 帶子(皮の帶)皮帶、韋
帶(馬の腹帶)馬肚帶(劍シ)の帶

皮(劍帶(帶を結ぶ)繫帶子(帶を
解く)解帶子(腰帶)腰帶(帶の
祝)婦女有身第五月行的禮(帶
には短し帯(サ)には長し)上下

老婆 「誘、勾引、挑引
おひく誘ク(四段他動) 拐、誘惑、引
おひくづす追崩ス(四段他動) 追撃
破之

おひげ御鬚(名) 鬚、鬚子(御鬚を
拂ふ)諂媚、奉承、逢迎

おひこみ追込(名) ①趕進去②戲
館子的池子

おひこむ追込ム(四段他動) 趕進去、
擗進去(鶏を鳥屋に追込む)擗小
鶏子上窩

おひさき生先(名) 活頭(生先が短
い)沒有多大活頭兒(生先が遠
い)歲數兒還早哪、還富春秋

おひざもと御膝下(名) 鞞轂之下、
首善之地、天子脚底下

おひした帯下(名) ①腰②從腰裡

おひ 到脚底下的尺寸 「子
おひしぱり帶縛(名) 膝、脇膝窩
おひすがる追縮ル(四段名動) 追趕上
おひずり笈摺(名) 香客裝的背
心

おひずる生末(名) 與おひさき同
おひせん追錢(名) 補錢、找補錢、
再補的錢

おひだし追出(名) 趕出去(追出藥)
(ケリ)發表藥、發散藥

おひだす追出ス(四段他動) ①趕出
去、逐出、擗出去、擗逐、逐開、
驅逐、闌開②用藥發表(犬を追
出す)把狗趕出去(病毒を追出
す)把身子裡頭的毒往外表一
表

おひ

穀不着
おひあげ帶揚(名) ①腰帶(スボンナ
リ、褲帶(上)②日本婦女帶子上
繫的細帶

おひいさま御姫様(名) 貴胄小姐
おひいだす追出ス(四段他動) 趕出
去、擗出去、擗逐(不孝な息子
を追出す)把忤逆的兒子趕出去
(犬を追出す)把狗趕出去(家主
が借家人を追出す)房東擗住房
兒的

おひいづ生出ヅ(下二段自動) 生出來
おひうち追撃(名) 追撃 「劫匪
おひおとし追落(名) 路劫、劫盜、
おひおとす追落ス(四段他動) 行劫、
打劫

おひおひ追追(名) 漸漸的、一天

比一天、一年比一年(追追に寒
くなる)一天比一天冷(病氣が追
追快くなった)病漸漸的見好(人
口が追追に少くなる)人口一年
比一年少起來

おひかく追掛ク(下二段他動) 追、趕、
追趕(追掛けたが追付かない)追
趕去了可趕不上

おひかぜ追風(名) 順風
おひかね帶金(名) ①刀環子②鋼
皮、打包鋼皮(可造)帶金で荷造す
る)用鋼皮封捆貨物

おひかは頁皮(名) 背帶、槍皮帶
おひかは帶皮(名) 皮帶、韋帶、佩
帶、皮褲帶

おひきずり御引摺(名) ①衣裳托
落到地的②懶惰的女人、懶散

おひ

おひただし夥シ(形容久遠) ①許多、
很多、無數(shuu)、不勝數(shuu)、
數(shuu)不過來②很大(露國は
滿洲へ夥しい兵を送った)俄國把
許多的兵派到東三省去了(每
月あの港から輸出する茶は夥しい
額に達して居る)每月從那個口
岸出口的茶葉很多沒數兒(夥
しく出血した)流出來的血很多、
流血淋漓(夥しい音がして家が
倒れた)房子很大的聲音倒(たお)
了

おひたち生立(名) 長、長大、生長
(chang) 「大、生長(chang)

おひたつ生立ツ(四段自動) 長、長
おひたつ追立ツ(下二段自動) 趕、驅、
擗(家主が借家人を追立てる)房

おひ 一八九

おひ 一八九

おひ 一八九

おひ 一八九

おひ 一八九

おひ 一八九

おひ 一八九

おひ 一八九

おひ 一八九

おひ 一八九

おひ 一八九

おひ 一八九

おひ 一八九

おひ 一八九

東招住房兒的「巡查がを食を追立てる」巡警把花子趕出去
 おひたて 追立(名) 趕、驅、擯(家主から追立を食ったから轉宅せればならぬ)我叫房東擯了總得搬家
 おびち 帶地(名) 做帶子的材料、帶子料兒
 (おひつ 御櫃(名) 飯桶) 使喚
 おひつかふ 追使(フ)使喚(四段他動) 的利害、隨便使喚人、虐待底下人(下の者を追使ふ)使喚底下人使喚的利害
 おひつく 追付(ク)趕上、追上、及(急いで行けば追付きます)趕着去趕得上(いくら追掛けても追付かない)怎麼趕他也趕不上(後悔して、追付かない)後悔

也不及 「追到了兒」
 おひつむ 追詰(ム)追窮、追詰(下二段他動)
 おひて 追風(名) 順風(追風に帆をあぐ)順風行船、順水行船
 おひて 追手(名) 追擊之兵、追兵
 おびどめ 帶止(名) 日本婦女帶子上繫的繸子 「皮帶」
 おびとりがは 帶取皮(名) 掛刀の
 おひなは 追繩(名) 拿野馬的繩子
 おひなほり 生直(名) 轉運
 おひねがひ 追願(名) 復稟、復請
 おひはぎ 追刺(名) 路劫、劫匪、攔路打槍的賊、劫賊、劫道賊、攔路賊
 おひはぐ 追刺(グ)行劫、劫

おひばら 追腹(名) 殉死
 おひはらふ 追拂(フ)趕、打退(敵兵を追拂ふ)把敵兵打退
 「蠅を追拂ふ」趕蒼蠅
 おひふう 帶封(名) 紙箍兒
 おひまくる 追捲(ル)急擊
 おひまはす 追廻(ス)趕
 使喚的利害 「錢」
 おひめ 御目(名) 欠項、欠欸、該的
 (おひや 御冷(名) 水、凉水) 嚇唬
 おびやかす 脅(ス)嚇唬
 人、驚恐人(劫)威嚇
 (おひやくと 御百度(度) 與ひやくどまわり同)
 おひやる 追遣(ル)趕去
 おひゆ 怯(ユ)嚇唬、驚

恐、驚嚇、魔

(おひらき 御開(名) 散酒席
 おひわけ 追分(名) 岐路(俗語) 之名 「起來」
 おひんなる 御畫成(ル)睡醒
 おふ追ノ 逐(ノ)追、逐、趕(趕)趕、驅、驅(漸漸的、一天比一天、一年比一年(後を追ふ)追人的影子、追趕(日を追ひて盛になる)一天比一天興旺(漸を逐うて進む)逐漸而進(二兎を追ふ)追兎者不得兎)
 おふ頁(フ)負、背、擔、負
 背、背負(受)子供を負ふ(背小孩子(責任を負ふ)擔責任、擔錯兒(荷物を負ふ)背着行李(傷を負ふ)傷)

おふ生(フ)長(chang)生
 長
 おぶ 帶(ア)帶(刀を帶ぶ)帶刀(面色黄色を帶ぶ)面色帶黃(面に憂色を帶ぶ)面帶愁容
 おぶ 帶(ア)同上
 (おぶう(名) 開水、熱水(小孩子) (おぶく御福(名) 與おたふく同) (おぶくわけ御福分(名) 把送來的禮物分給人)
 (おぶくろ 御袋(名) 家母
 おぶけなし 負氣無(シ)過分
 (おぶさる 頁(ル)被背
 おぶし 唾(名) 嘔吧
 おぶせ 仰(名) 命令、吩咐
 オフセット(名) (Offset)透印版、

象皮版、透印版印刷法
 おふて 追手(名) 城壘前門
 おぶ 頁(フ)與おふ同
 オブラート(名) (Oblate)薄藥片
 おふれ 御觸(名) 曉諭、曉示、曉布、告示
 (おべつか(名) 阿諛、諂媚、佞口、奉承、逢迎、趨炎附勢
 おへや 御部屋(名) 如夫人、姨奶奶
 オペラ(名) (Opera)樂劇、歌劇(オペラグラス) (Opera-glass) 觀劇鏡、看戲鏡、雙眼千里鏡
 (おべんちやら 御辨茶(名) 花言巧語、油嘴、油嘴滑舌
 おほあせ 大汗(名) 白毛兒汗(熱くて大汗が出た)熱的出白毛兒汗

おほ

おほあつあつ大熱熱(色) 很熱、男女情甚熱

おほあな大穴(色) ①大窟窿、大坑②侵吞巨款「大穴を開(ア)けた」同上

おほあに大兄(色) 大哥

おほあね大姉(色) 大姐

おほあふぎ大扇(色) 執事的扇(扇式)

おほあめ大雨(色) 大雨「常有

おほあり大有(色) 有許多、很多、

おほあれ大荒(色) 鬧得利害

おほいき大息(色) 大息

おほいくさ大戦(色) 大戦

おほいに大(色) ①甚、很②大

おほ

「大に雨降る」下大雨「相場大に下落した」行市落的很「膽を大にする」大着膽子「大に異なる」大不相同「大に益あり」很有益處「大に可し」很好

おほいぬ大犬(色) 獒、大狗

おほいり大入(色) 上の座兒多、觀客滿坐「此度の活動寫眞は大入なので三日続けるさうです」新

到的電影戲上の座兒多又續了

おほうみ大海(色) 大海「三天

おほえ覺(色) ①知覺、感觸「寒くて手に覺がない」冷的手都木了

「凍木了」②記的、記性「私は年

取って覺が悪くなった」我老了記

性壞了「私の覺はたしかでない」我記的不清楚「私はそんな悪事

おほ

をした覺はない」我沒弄過那麼樣不好的事情③器重、眷顧「あの人には上官の覺が日出度い」上游器重他

おほえがき覺書(色) 記錄、條陳、記事、節略、覺書

おほえちやう覺帳(色) 記簿、存記簿、暫記

おほえず不覺(色) 不知不覺的「不覺涙をだした」不知不覺的眼淚出來了

おほおば大祖母(色) 曾祖母

おほおぢ大祖父(色) 曾祖父

おほが大鋸(色) 大鋸

おほが縲車(色) 紡車子、紡線車

おほがさ大笠(色) 笠

おほ

おほかた大方(色) ①大概、大約、大略②許(タフ)「道具は大方形付いた」東西大概都歸着好了「彼は今日も來ないが大方忘れて居るのだらう」他今天又不來許是忘了罷「あの席に居る人は大方三十人ばかり有る」那兒坐着的人大約有三十來人

おほかた大形(色) 個兒大的

おほかね大金(色) 巨款「大金儲」

「(ウツ)發大財」大金持「(モチ)大財主、大淵家、大富戶

おほかひ頁(色) 頁字旁

おほかぶぬし大株主(色) 大股東

おほかみ狼(色) 狼「前門の虎後門

の狼」前狼後虎

おほ

おほがら大柄(色) ①個兒大、大個兒②花樣大的

おほきさ大サ(色) 大、大小

おほきし大シ(形久延) 大「身體が大

い」大漢仗、個兒大「膽が大くな

った」膽子大了「この仕事は私に

は餘り大い」這件事我辦擔很大的

の沉重「彼は私より三歳大い」他

比我大三歳「彼の一年の收入は

中中大い」他的一年的進項很大

「聲を大きくして云ひなさい」大着

點兒聲兒說罷「火事が見る見る

大くなった」着的火漸漸的大起

來了「噂(ウワサ)が大きくなる」風聲

大起來了「御嬢様あなたは大層大

くなりました」小姐您很長大了

おほ

おほきに大(色) 與おほいに同

おほきみ大君(色) 皇上「同

おほぎやう大形(色) 與おほげさ

おほぎり大切(色) ①切大塊兒(大

子)②(芝居)煞氣、末盡子、晚盡

子③結局、終末

おほぐけ大柄(色) 闊針兒、行闊

針兒(前ハサミ)

おほぐち大口(色) ①大嘴(大ウチ)②

胡說(ウツ)、大話③大批(大口の

品)大批貨

おほぐひ大食(色) ①肚量大、飯

量大②大肚兒漢(大食)

おほくらしやう大藏省(色) 財政

部(度)、度支部(度)、戶部(同)

おほ

了、一月三十兒、大年三十兒
 おほつごもり大晦(名) 除夕、臘
 おほつづつ大筒(名) 礮、大砲
 おほづめ天誥(名) 煞臺、晚晝子、
 末晝子、押臺戲
 おほつゑ大津繪(名) ①畫之一派、
 戲畫 ②俗謡之名
 おほて大手(名) 與おふて同
 おほで大手(名) 張開手 「馬路
 おほどほり大通(名) 大街、大道、
 おほどり大鳥(名) 大鳥、鵬
 おほなみ大浪(名) 狂瀾、怒濤
 おほなめまつり大嘗祭(名) 皇帝
 即位祭祀天神地祇之禮
 おほね大根(名) ①蘿蔔 ②根本

おほ

おほばこ大葉子(名) 車前子
 おほばだぬぎ大肌脱(名) 光着大
 脊梁
 おほはば大輪(名) 大寬兒的布
 おほばん大判(名) ①古代金幣之
 名 ②大張兒紙
 おほひ被(名) 蓋上的布「枕の被」
 枕頭籠布「蒲團」の被」被單
 子「敷蒲團の被」褥單子「椅子の
 被」椅被「帽子の被」帽罩子
 おほびら大ピラ(名) 公然、顯然、
 當衆、當着大家夥兒「大びらに
 する」公然敢作 「應
 おほひろま大廣間(名) 大堂、大
 おほふ覆フ被(名) ①掩、
 被、蓋 ②隱蔽、護、隱瞞「蓋を被

おほ

ふ)蓋上蓋兒「蒲團」を被ふ」
 把被窩蓋上「耳を覆うて鈴を盗
 む」掩耳偷鈴「棺を覆ひて事定ま
 る」蓋棺事定「己の過を覆ふ」隱
 瞞自己的錯兒、護短「被ふ可か
 らざる事實である」爲不可掩之
 事實
 おほふう大風(名) 傲慢、驕傲、自
 おほぶね大舟(名) 大船
 おほぶろしき大風呂敷(名) ①大
 包袱 ②吹、誇嘴、說大話「大風呂
 敷をひろげる」吹大話
 おほへい横柄(名) 與おほふう同
 おほま大間(名) 寬綽的屋子
 おほまか大マカ(名) 大方、不顧
 小事、大量、寬裕、寬宏、寬容

〔金錢に大まかなる〕手大、手寬
 おほまがどき大禍時(名) 黃昏、傍
 黑的時候兒
 おほまはし大回(名) 遶着灣兒走
 おほまはり大回(名) 同上
 おほまへ大前(名) 跟前、前頭
 おほみごころ大御心(名) 聖心
 おほみそか大晦日(名) 大年三十
 兒、臘月三十兒、除夕
 おほみづ太水(名) 大水、洪水「大
 水が出た」發了大水了
 おほみのやり大身槍(名) 鎗頭兒
 長的鎗
 おほむかし大昔(名) 太古、上古、
 おほむかう大向(名) 對包廂、正

おほ

面兒樓
 おほむぎ大麥(名) 大麥
 おほむね大旨(名) 大旨、宗旨
 おほむね概(名) 大概、大約、差
 不多
 おほめ大目(名) ①以二百錢爲一
 斤之分量 ②裝糊塗、粧癡粧聾、
 閉着眼睛粧不知道「下の者の過
 を主人が大目に見る」底下人有
 錯兒主人裝糊塗不管他
 おほめかし(名) 愛打扮的、好打
 扮的
 おほもと大本(名) 根本、大本
 おほものいり大物入(名) 花費多
 「姉と妹とを一度に片付けたので
 大物入でした」他的家大姑娘二

おほ

姑娘前後出嫁了花費實在不少
 (おほものぐひ大物食(名) 與おほ
 ぐひ同 「柳巷的柵欄
 おほもん大門(名) ①大門 ②進花
 おほや大屋(名) ①本家(オモヤ) ②房
 東(イシ)
 おほやう大樣(名) ①大概、大略、
 差不多 ②舒眉展眼、大方、大量
 (Wang)
 おほやけ公(名) ①公、公事「公の
 費用」公費「公の務」公務 ②
 官場、政府 ③公然 ④衆 ⑤表白、
 出、發刊「新聞に公にする」登新
 報「書籍を公にする」發刊書「意
 見を公にする」表白意見「告示を
 公にする」出告示「公事」(ト)公

おほ

事(公沙汰)訟案、打官司(公腹)公憤
 おほやしま大八洲(名) 日本別名
 おほやすうり大安賣(名) 大賣、賤賣、減價、放盤
 おほゆ覺ユ(下) 段他動 ①覺②學③
 記(外國語を覺えるのは中難しい)學外國語很難(私はたしかに覺えませんが)我記不清楚(私は空腹を覺えます)我的肚子覺着空了(痛を覺える)覺着疼(これは必要な事だからよく覺えておきなさい)這是要緊的事情你得好好的記着(覺えて居れ後が恐ろしいぞ)你估摸着(們)後來再見、等着後來叫你知道我的利害(この子は覺えがよい私が一つ

おほ

云うと直ぐ覺える)這個小孩兒記性好我一說他就記得
 おほゆび大指(名) 大指指頭
 おほゆみ大目(名) 弩
 おほよそ大凡(副) 大凡、大概、差不多、大約、略、約
 おほよめ大嫁(名) 嫂子
 おほらか大量(名) 大方、大量
 おほらす溺(下) 段他動 ①使溺②使沈酒、使荒耽
 おほる溺ル(下) 段自動 ①溺、淹②荒耽、沈酒(水に溺れる)溺於水、掉在水裡頭(女に溺る)溺於女色(酒に溺る)溺於酒(子供の愛に溺れる)溺愛孩子、嬌養孩子

おほおま

おほれじに溺死(名) 淹死
 おほろ朦朧(名) 朦朧、模糊、迷迷糊糊
 おほろげ臙氣(名) 恍惚着(母の面影は臙氣に覺えて居ます)我恍惚着還記得我母親的模樣
 おほろづき臙月(名) 朦朧兒的月亮
 おほわらわ女童(名) 披散着頭髮
 おほわらひ大笑(名) 大笑、鬨堂大笑
 おほる大商(名) 莞
 おほをど大男(名) 大漢、大個人、胖大的女人
 (おまけに)而且、況且

おます 御座ス(四段自動) 在

おまはり御回(名) ①菜②廻轉
 (おまはり御巡(名) 巡捕、巡警
 おまへ御前(名) 跟前、前頭
 (おまへ御前(代) 你
 (おまる(名) 與おかわ同
 おみ御身(名) 尊體(御身御大切に願上候)保養尊體爲荷
 おみ御身(代) 你
 おみき御酒(名) ①神酒②酒
 おむ臆(下) 段自動 害怕、畏怯、發休
 おむすめ二御娘御(名) 令愛、千
 おむつ襪襪(名) 與おしめ同
 オムレツ(名) (Omlet)煎雞蛋捲兒

おま おみ おむ

オムレット(名) 同上

おめ御目(名) ①眼睛②看、瞧(あれが御目に止まりませんか)你還瞧不見麼(今別れると何時又御目に掛れるか知れない)你們這兒一別不知道多麼(啗)再可以見面(明日又御目にかかります)明天再見(人二御目)御目にかける)1. 給您瞧瞧、奉送(初めて御目にかかります)久仰久仰、久仰大名(初見面)貴下は御目がお悪うございます(挨拶)您眼睛不好麼
 おめおめ阿容阿容(名) 沒臉、無面目(おめおめと歸ることが出来な)有甚麼臉(再)回來哪、有何面目(回來見江東父老呀)
 おめがね御眼鏡(名) ①眼鏡②中

おめ おめ

意(あの人の御眼鏡にかなふ)中他的意思、對他的意思

おめぐり御回(名) ①菜②經水
 おめし御召(名) ①衣裳②召見③與おめしちりめん同(御召がよく似合ひます)您穿的衣裳很像(君の御召により宮中に伺候する)皇上召見他他上裡頭去了
 おめしちりめん御召縮緬(名) 頂好的雞皮湖縵
 おめむし臙蟲(名) 土蠶、地蠶
 おも面(名) ①面、表面②臉(海の面)海面
 おも主(名) 主、主要、重要、大
 おもおもし重重(名) (形容詞)沈重、穩重、端莊②大模大樣的(言葉が重重し)說話沈重(舉動

おめ おも

おも

が重しい(大模大様の舉動)
 おもがい(面影) 馬籠頭、籠頭
 おもかげ(面影) 模様、面貌、
 容顔、形容、面龐兒
 おもがた(面形) ① 與おもかげ
 同(鬼臉) ② 推舵 ③ 右舷
 おもかぢ(重舵) ① 左舷、裡舵、
 おもがはり(面變) ① 變模樣兒
 ② 人死面貌就變
 おもき(重形) 重(重き責任)重
 大的責任(重を置く)注重、看
 重、著重、爲重
 おもくるし(重苦) 重、笨、
 笨笨、無生氣、笨拙不靈
 おもくろし(面黒) 與おも
 しろし同
 おもげ(重氣) 沈重的樣子

おも

おもき(重サ) 重、分量、輕重(重
 さ何程) 有多大分量、有多重
 おもざし(面差) 臉盤兒、臉
 おもし(重) 壓東西的、鎮紙(ツサ)
 「漬物の重」 壓鹹菜的石頭(あの
 人が頭(カシ) になつては重かきな
 い) 那個人當頭目鎖不住人
 おもし(重) ① 重、沈重 ②
 大要緊(私は頭が重) 我的
 腦袋覺乎着沈(彼は尻が重) 我的
 他的屁股沈(責任が重) 責任
 沈重(病が重) 病得沈重(舉動
 が重) 舉動不麻利、身子活動
 的不靈(氣が重) 心裡不痛快
 (彼の罪は重) 他的罪重(體が
 重) 1. 身子重(體量重
 [重き位] 重位(自ら重んず) 自重

おも

「眼が重くなる」眼睛發澀(發錫)
 「重き傷」重傷(重く用ふる) 重用
 「重き任務」重任(重く罰する) 重
 重的罰(重く見る) 重視、看重
 おもしろし(面白) ① 有趣
 兒、有意思(この繪は筆が中面白
 い) 這幅畫兒畫得很有意思
 「聲色使ひを聞くのは面白い」聽
 像聲兒很有趣兒 ② 高興(酒を飲
 むと氣が面白くなる) 一喝酒就
 高興興來了 ③ 見好、順心(近來
 商賣は面白くない) 近來他的買
 賣不順心(不見好)(心中彼を面
 く思はない) 心裡不滿他(あの
 人は近來面白くない) 評判が立って居
 る) 那個人現在在外間有不好聽
 的名聲

おも

おもたし(重タシ) 有分量、
 分量重 「我的東西
 おもたせもの御持物(名) 您送給
 おもだつ(重立) ① 要緊的
 ② 頭目 ③ 大宗的 「重立った事は
 皆片付けた」要緊的事都料理好
 了(會社の重立った人) 在公司當
 頭目的人(此處の輸出品は重立
 つものは何ですか) 這兒的出口
 貨甚麼是大宗兒
 (おもちや 玩具(名) ① 玩意兒(玩具
 ② 耍笑、戲弄(彼は私を玩具にし
 た) 他耍笑我、他戲弄我、他拿
 我當玩意兒 ③ 調戲(この女は
 「女を玩具にする」調戲婦女、輕
 薄婦女(玩具屋) (ヤ) 賣玩意兒
 的、耍貨舖

おも

おもて(面) ① 臉、面 ② 鬼臉
 「面も振らず進む」勵進去(面を伏
 す) 低着頭(面を起す) 擡頭
 おもて(表) ① 表、面(着物の表)
 衣裳面兒(紙の面) 紙面兒(疊の
 面) 席面兒(裏も表もない人だ)
 他表裏如一 ② 外頭、外面(表は
 平和を粧うて居るが内心非常に
 不平なのだ) 他外面兒粧着沒事
 人兒的樣子可是心裡頭很委屈
 「表で騒いで居るのは何だ」外頭
 嚷嚷的是甚麼 ③ 書房、客廳、客
 堂(表に案内しろ) 讓他在書房
 おもて(重手) 重傷 「裏坐
 おもてがへ(表換) 換席面兒
 おもてぐち(表口) 門口兒
 おもてぎた(表沙汰) 打官司、

おも

訴訟、告狀
 おもて(表立) ① 成
 了官司了 ② 通傳、播揚、顯、
 聲張、表顯(この事は表立てては
 いけない) 這件事別打官司(誰
 も秘密を守って居るのに彼が表立
 ててしまった) 人家都守着秘密
 不敢洩漏然而他給聲張出來了
 「禮服を着なければ表立った場所
 へは出られない」不穿禮服就不
 能上正場面登大雅之堂
 おもて(表通) 大街
 おもて(表) ① 害
 臊、害羞 「的(劇場ニテ種種ノ)
 おもて(表半) 走場
 おもて(表伏) 害臊的把臉
 低下去、丟臉

おも

おもてむき表向(名) ①打官司、訴訟の外面「これは表向にせず示談にする方がよい」這件事不要打官司說和說和纔好(實際は首を釣ったのだが表向は病死にした)其實是弔死的可是外面粧着好死的样子

おもてもん表門(名) 大門、前門

おもと萬年青(名) 萬年青

おもと御許(代) 你

おもなが面長(名) 長臉

おもに重荷(名) ①重行李、重載

②重任、沈重(重荷を負ふ) 1. 擔重行李 2. 擔重任、擔沈重(重荷を卸す) 1. 把行李卸下 2. 卸下重任

おもに主(名) ①為主、作主、爲

おも

おもはく思惑(名) 意思、主意(思惑がちがった)打錯了主意了(何か思惑があるのだ)別有用意、醉翁之意不在酒(思惑をする)做投機的買賣、做紅的買賣(思

おもねる阿(四段自動) 諂媚、阿諛、阿媚(權勢に阿る)諂媚權要、趨炎附勢

おももの御物(名) 御膳

おもひあかす思明(四段自動) 有心事一宿後睡覺

おもひあたる思當ル(四段自動) ①想起來(いくら考へても思當らない)怎麼想也想不起來(應)あの人の云った事が今になると思當る(當初他說的話現在應了)

おもひあはす思合(下二段自動) 兩面相合想

おもひいだす思出(四段自動) ①想出來(私はまだ思出せない)我還想不出來(回想、追懷(去年の

おも

おもはし(形志久語) ①可以想(順心、願意、趁心(あの人の商賣はあまり思はしくない)他的買賣不很順心、他的買賣不大見好(あの人は思はしくない)口振でした)探他的口氣他不很願意的樣子(あの人は私に一つ口を見付けてくれたが思はしくないから斷つた)他給我找了一個事情可我不很願意所以辭退了不就

おもはず不思(通) 不知不覺的、不覺、不由的(吃驚して不聲を立てた)嚇了一跳不覺嘆起來了(彼の話を聞いて不悲しくなつた)聽他說的話不由的悲傷起來了

おもひいづ思出(下二段自動) 同上

おもひいる思入(四段自動) 沈思細想 「ひのこす同

おもひおく思置(下二段自動) 與おも

おもひおこす思起(下二段自動) 想起來

おもひおもひ思思(通) 各人隨各人的意思(人人思に事をする)各人隨各人的意思辦(思思の扮装をする)各人隨各人的意思打扮

おもひがけず不掛(通) 想不到、

おも

おもはずしらず不不知(通) 同上
おもはせぶり思振(名) 說的半吞半吐的、要說又不能說的样子、待說不說兒的(思振をせずにはつきりと云ひなさい)不請開言吐語的說別那麼待說不說兒的

おもはゆし面映(形久語) 害臊、害羞

おもひ(名) ①心、心思、思想、志、意、意思、思念、思考(思を遂ぐ)遂志、如意、可了心了(思の程を打明ける)把心裡所有的事情都說出來了(思に沈む)懷想、懷思、慮念、懸心(一日一秋の思)一日三秋思、一日三秋之感

②愁、心事、悶(思を遣る)遣悶、解悶(思を晴す)報仇(物思をす

おもひあたる思當ル(四段自動) ①想起來(いくら考へても思當らない)怎麼想也想不起來(應)あの人の云った事が今になると思當る(當初他說的話現在應了)

おもひあはす思合(下二段自動) 兩面相合想

おもひいだす思出(四段自動) ①想出來(私はまだ思出せない)我還想不出來(回想、追懷(去年の

おもひあたる思當ル(四段自動) ①想起來(いくら考へても思當らない)怎麼想也想不起來(應)あの人の云った事が今になると思當る(當初他說的話現在應了)

おもひあはす思合(下二段自動) 兩面相合想

おもひいだす思出(四段自動) ①想出來(私はまだ思出せない)我還想不出來(回想、追懷(去年の

おも

忽然、不料、不測、卒然、突然、
沒想到、意外

おもひがけなし思掛無シ(形久語)同
上「こんな早く御隣にならうと
は思掛けませんでした」沒想到
過去の這麼快「半途まで行くと
思掛なく雨に遇ひました」走到半
道兒上忽然下起雨來了「あの
人がかう云ふ不都合をしようとは
思掛なかった」想不到他那個人
做出這麼樣不像事的事情來了
〔思掛無い災難〕意外災禍

おもひかへす思翻ス(四段他動) 改
過②轉念、轉想

おもひきつて思切テ(四段) 敢、敢爲
〔思切つて大きな字を書いた〕敢寫

なる状態も思知ることが出来る〕
那番爲難情形也可想而知

おもひすこす思過ス(四段他動) 太
過于思慮 「定了主意」想

おもひそむ思初ム(下二段他動) 想
來、依戀〔女を思初める〕想起一
個姑娘來了、看一個姑娘起依
戀的心

おもひだす思出ス(四段他動) 想出
來、想起來〔あの時の事を思出す
とまた目の前にあるやうだ〕想起
當時的事情來彷彿是在眼前似
的〔私は忘れて居たが今思出し
た〕我全忘了可現在又想起來
了

おも

おも

大字〔思切つて云ふ〕敢說〔思切つ
てする〕敢作敢爲〔*neru*〕

おもひきり思切(名) 斷、想開〔あ
の人は思切がよい〕那個人想得
開〔思切が悪い〕想不開
おもひきる思切ル(四段他動) 想開、
打斷了念頭了、死了心、絕了
望、沒想頭〔こんな事がどうして
思切れないのです〕這麼點兒事
你怎麼想不開呀〔もう思切りな
さい御壽命ですから致方ありません〕
你往開了想罷他的壽數到
了沒法子

おもひこむ思込ム(四段自動) 沈思
細想②深信、確信〔貴下は何を

おもひたつ思立ツ(四段自動) 打主
意、打算〔思立った日が吉日だ〕
伴們那〔天辦就是好日子〕私
は一つ孤兒院を起さうと思立つ
た〕我打算立一個孤兒院

おもひつき思付(名) 用意、籌畫、
立意〔思付が面白い〕用意很好

おもひつく思付ク(四段他動) 想出
來、想得得到②打主意〔よい方法
を思付いた〕想出好法子來了〔國
を富ますは教育を盛にするより外
はないと思付いた〕他打了一個
主意是富國除了興辦教育之外
沒好法子

おも

おも

さう思込んで居るのです〕您怎麼
這麼沈思細想的、您這麼沈思
細想的是爲甚麼事情〔この事は
私が洩したのだと彼は思込んで居
るらしい〕我看他深信這個事情
是我給洩漏的

おもひしづむ思沈ム(四段自動) 發
愁、有心事 「悶死
おもひじに思死(名) 憂慮的死、
おもひしる思知ル(四段他動) 曉
得、明白、知、知道②想知〔子を
持つて初めて親の有難味を思知
る〕養兒方知父母恩〔彼は不勉
強だから落第した少しは思知った
だらう〕他沒用功所以考不中了
這回他大概明白了罷〔其の困難

直想他父母的事
おもひつむ思詰ム(下二段他動) 一心
的竟想〔あの事ばかり思詰めて
病氣になった〕他竟想那個事情
驚出病來了

おもひで思出(名) 往回頭一想、
懷舊之情、追想

おもひとどむ思止ム(下二段他動) 打
斷念頭、斷了念頭、歇了心了
おもひとほり思通(副) 中意、稱
心、趁願、順心、如意〔事が思通
にならぬ〕事情不順心〔商賣が思
通に行かない〕買賣不如意

おも

ひ止まらざる勸止、勸阻、説住
おもひなし思做(名) 猜想、猜算、估摸

おもひなす思做(四段他動) 猜想、猜算、想爲、想做
おもひなほす思直(一、段他動) 轉

おもひのこす思殘(四段自動) 恨、遺憾「死んでも思殘すこととはない」雖死無恨、就是死了也甘心
おもひのほか思ノ外(副) 意外、不料「何もかも思の外都合に運びました」甚麼事情辦得都意外的妥當

おもひのまま思ノ儘(副) 痛痛快快的、儘着力兒「思の儘派った」罵了個全套「思の儘懲してやっ

た痛痛快快的申斥他「起來おもひはじめ思始(下二段他動) 想おもひびと思人(名) 意中人

おもひまうく思設(下二段他動) 預料、揣度、預先料度「思設けた通だ」不出所料「思設けない苦勞をした」受了意外的累贅

おもひまはす思廻(四段他動) 想來想去、左思右想、思索、細想、深思
おもひみだる思亂(下二段自動) 心亂、胡思亂想、混想
おもひめぐらす思運(四段他動) 與

おもひまはす同 寵妾
おもひもの思者(名)
おもひわり思遣(名) 體諒、體貼、體情

體情、同情「あの人には思遣の無い人だ」他不知道體諒人「あの人には奴婢を使うに思遣がない」他使喚底下人沒有體貼

おもひやる思遣(四段他動) 體諒、體貼、體情、同情
おもひよらず不思寄(副) 不知不覺的、不料、想不到、沒想到

おもひよる思寄(四段他動) 想起來、想出來
おもひわづらふ思煩(四段自動) 心裡難過、心裡難受
おもふ思フ(一、段他動) ①想、意、思、以爲、當(hungry)、思念、思想、思慮、懷想「家と思ふ」想家「私はかう思ひます」我想這麼着「彼はさ

うでないと思つて居る」他以爲不然「貴下はどう思ひますか」您想如何、您想怎麼樣「終日思ひくらす」整天家竟想「世の中の事は思ひ通にならないのが多い」世上的事不如意的多「私は賊が這入つたと思つた」我當是有賊了「猜、揣度、猜度、料估、估摸、約摸」私の思つて居るのは貴下と同じです」我料估的和您一個様「五六里歩いたと思ふ頃一つの町に着いた」趕約摸走着走了有五六里地到了一個鎮店「盼望、願意」彼はこれを見て大變買ひたく思つた」他看這個東西很願意買「私はこの雨がもう二三日續けばよいと思つて居ます」我盼望這場

雨往下再續兩三天①想、戀愛、依戀「一人の女を思ふ」戀愛一個女人②看「私はこれは餘り難くないと思ひます」我看這個事情不很難「晴れさうだと思つたと又降り出した」看着要晴了忽然又下起來了③感、覺「恥かしく思ふ」覺着害臊、覺着羞耻「有難く思ふ」感念、感謝、感戴「どうか悪く思つて下さるな」請您原諒原諒
おもぶくら面脹(名) 豐臉
おもぶさま思様(副) 痛痛快快的、儘着力兒
おもぶせ面伏(名) 慚愧、害臊、丟
おもぶぞんぶん思存分(副) 痛痛快快的、儘着力兒「思存分飲入

だ」儘着力兒喝了「思存分働く」痛痛快快的做活
おもぶつほ思盡(名) 對心坎兒上、正對心思「談が思盡に落ちた」他説的話正對我的心坎兒上
おもふに思ニ・惟ニ(副) 思、惟
おもへらく謂ク(副) 謂、以爲、想
おもほゆ所思ユ(下二段自動) 可以想、能這麼想
おもみ重ミ(名) ①重、分量②資格「重々が何斤あるか」有多大分量、有幾斤「彼は年が若くて重みが足りない」他年輕資格不深、他還年輕壓不住人
おもむき趣(名) 趣味、雅致、意思「この繪は趣がある」這幅畫兒很有趣意思「此庭は趣がある」這個花

園子很雅致〔申越の趣は承知しました〕然説來的意思我都知道了〔御申越の趣拜承仕候〕來示敬悉

おもむく 赴ク・趣ク〔四段自動〕 ① 赴去、趨、前往 ② 起來〔難に赴く〕 赴難〔三動〕〔上海に赴く〕 前往上海、上上海去〔日増に寒冷に赴きます〕 一天比一天冷起來了〔大勢〕の赴くところ 大勢所趨

おもむる 徐〔副〕 徐、慢慢的〔清風徐に來る〕 清風徐來〔多〕〔徐に謀を考へる〕 慢慢的的想法子 ① 氣色、面目、様子〔得意の面持が見える〕 臉上有得意揚揚的樣子 ② 正房、上房

おもやく 重役〔名〕 頭目人兒、董事

おもゆ 重湯〔名〕 稀粥 ① 秤鉈、秤錘 ② 墜 ③ 病沈重 ④ 沈重〔病氣がおもわ面曲〕 臉、面目、模樣 ⑤ 沈重〔病氣がおもわすれ面忘〕 忘了面貌想不起來 ⑥ 重、注重、看重、著重、爲重〔交情を重じない〕 不重交情〔衛生を重ず〕 注重衛生、以衛生爲重〔上官が彼の才能を重じて居る〕 上游器重他 ⑦ 願、願惜、愛惜〔名譽を重ず〕 愛惜聲譽〔體面を重ずる〕 願

おもんず 重ズ〔佐聲他動〕 ① 重、注重、看重、著重、爲重〔交情を重じない〕 不重交情〔衛生を重ず〕 注重衛生、以衛生爲重〔上官が彼の才能を重じて居る〕 上游器重他 ② 願、願惜、愛惜〔名譽を重ず〕 愛惜聲譽〔體面を重ずる〕 願

おもおや 惜臉面、願人體面 ③ 講究〔支那人は交際を重ずる〕 中國人講究應酬 ④ 尊敬、尊重 ⑤ 思慮、思念 ⑥ 思慮、思念 ⑦ 思慮、思念

おもんみる 惟ル〔上二段他動〕 思、惟 ① 父母 ② 莊家〔父〕、分派紙牌的人 ③ 故呀 ④ 芋頭母子 ⑤ 孝敬 ⑥ 父母之威力 ⑦ 頭目 ⑧ 師傅 ⑨ 寶局掌櫃的 ⑩ 寶局掌櫃的 ⑪ 寶局掌櫃的 ⑫ 寶局掌櫃的

おもひも 親思〔名〕 孝敬 ① 故呀 ② 父母之威力 ③ 頭目 ④ 師傅 ⑤ 寶局掌櫃的 ⑥ 寶局掌櫃的 ⑦ 寶局掌櫃的 ⑧ 寶局掌櫃的

方〕會頭〔水戸藩/組合フ〕〔親方・内にござったか〕 某師傅在家了麼〔先方フ註ナラバ到〕 ① 恭喜〔喜やく同〕 ② 經水〔御役は何をお勤めですか〕 恭喜在甚麼官署 ③ 父子、母子、親子〔親子二人〕 娘兒倆〔子〕〔親子三人〕 爺兒三個〔父子〕〔親子并〕 ④ 木樨飯 ⑤ 伯父大人 ⑥ 令尊、令尊大人、 ⑦ 父母之心 ⑧ 娘家 ⑨ 夥計徒弟等的自己家 ⑩ 頭目、頭目人、 ⑪ 家父 ⑫ 老頭兒、

老翁 ① 頭目、首領、魁首 ② 老雞〔鶏の親鳥〕 老鴿子 ③ 孤兒〔親無子〕 ④ 吃老家兒的人 ⑤ 親船〔親無子〕 大船 ⑥ 乾爹 ⑦ 師傅 ⑧ 扇邊稚兒 ⑨ 與おやさと同 ⑩ 嗣接的、承受的、祖遺、承繼的、遺傳的〔親讓の財產〕 遺產、祖產、世產、遺下來的產業、遺傳的產業〔親讓の業〕 遺業、繼業〔親讓の家屋〕 祖遺房屋〔親讓の物〕 遺物、承繼物、遺傳物

おやゆび 親指〔名〕 大姆指頭 ① 老、年老、年邁、上了年紀、上歲數兒 ② 老衰 ③ 泳水、浮水 ④ 泳水、浮水 ⑤ 凡、大概、大凡〔凡地方官たる者〕 凡爲地方官者〔道具は凡片付きました〕 傢俱大概都歸着好了〔彼の損害は凡何程ありますか〕 他虧空的大概有多少 ⑥ 及、與、跟、和、並、暨〔月及び花〕 月與花、月亮 ⑦ 運賃及び保險費 運賃並保險經費〔御手紙及び引渡證並に某代物受取申候〕 茲接到來示及發貨單並某貨 ⑧ 西、就合着 ⑨ 巴結着勾東

およ

およぶ及ア(四段自動) ①及、到(一年に及ぶ)及一年、到了一年(後悔しても及ばない)後悔不及、悔之無及也、後悔也來不及(五時に及びても來ない)到了五點鐘了他還來(これは私一人の力に及ばない)我一個人力量辦不到(辦不動)(人力の及ばない)人力所不及的、超過人力的(私の力の及ばない)我力量所不及、在我力界之外(私の考へ及ばぬ所があればどうか御注意願ひます)我有想不到的地方請您提補我(遂に喧嘩に及ぶ)末末了兒打起架來了(比、比得上)誰でも彼には及ばない(誰都比不上他)②常接續否定助動詞有不

およ

必・不用之意(銘銘自分の事をすればよい他人の事を構ふに及ばぬ)各人幹各人的就結了何必管人家的事呢(遠慮するに及ばない)不必拘泥、不用客氣(問ふにや及ぶ)那還用問麼(十圓は云ふに及ばず)錢も彼は寄附しない(別説十塊錢就是一角錢他也不肯捐)(朋友は云ふに及ばず兄弟でも構付けない)別説是朋友們就是弟兄們也不理他
およほす及ス(四段他動) 及、到(累を他人に及す)累及他人(己を推して人に及す)推己及人(佛蘭西の歴史を説いて革命戦争に及す)
(おおよる)寝ル(四段自動) 睡、睡覺

おらおり

おら己(我、俺) 荷蘭國、荷國
おり織(織、織的) 兒
おり濃(渣滓)酒のおり酒底
おり折、檻、滓等見をり條下
オリブ(Olive) 橄欖油
燈子、青菜 ③ 桐青(オリ) ④ ⑤ ⑥
ブ油 橄欖油
おり二織子(織布的、織女)
おりたつ下立(四段自動) 下去
おりつけ織附(機頭)
おりのり下乗(上、下) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥
下乘に氣を付けなさい ① ② ③ ④ ⑤ ⑥
車の時候得多小心
おりひめ織姫(織女星)
おりもの織物(絹織物の類、織物、織品)
綿織物(綿織物) ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

1110

おり

棉布(毛織物) ① 毛織品、絨布
絹織物(絹織物) ② 絲織品、綢緞、麻織物(アツ) 麻織品、麻布 ③ 胞衣
おりもの下物(毛) ④ 經水 ⑤ 胎衣、おりや織屋(毛) 織布廠
おりある下居(上一段自動) ⑥ 下去
⑦ 讓位
おり織(四段他動) 織、織成、織造
布を織る 織布(蓆を織る) 織蓆
機械で織る ⑧ 用機器織
おり下(上一段自動) 下、下去(勅諭が下りた) 皇上下了諭旨(馬から下りる) 下馬(霜が下りる) 下霜
下へ下りる 往下下(二階から下りる) 從樓上下下
おり折る、居る等見をる條下
オルガン 風琴(毛) ⑨ 風琴

おる

オルゴル(毛) 自鳴琴(オル)
ゴル付の時計 八音鐘
おれ己(我、俺)
オリーブ(毛) 與オリブ同
おれい御禮(毛) ① 謝 ② 謝金(あれ位のもの何の御禮に及びませう)
些許微物何足道謝(御禮は何程でもないですか) 要多少謝金(年始の御禮はもう済みましたが) 年都拜完了麼(御禮の申上様がない)
沒話可道謝(先は御禮申陳へ度此の如くに候) 專此布謝敬候文安、肅此鳴謝虔請道安
おれいまるり御禮(毛) 還願去
(huan' gyan' chi'u)
おるか愚(毛) 愚、笨、糊塗(愚な人) 笨人、糊塗人(一圓は愚一錢)

おろ

も持たぬ 別説一塊錢就是一個銅子兒也(儻と云ふも愚なり) 可憐之極
おろかもの愚物(毛) 笨人、糊塗
おろし卸(毛) ① 卸下 ② 躉、躉賣
③ 躉賣 ④ 躉賣 ⑤ 躉賣 ⑥ 躉賣
躉賣、批發、躉傳(卸賣で賣る)
成躉的賣、成總的賣(卸大根)
⑦ 躉賣 ⑧ 躉賣 ⑨ 躉賣 ⑩ 躉賣
躉賣(卸值) 躉價兒、發行價兒、批價、批發價目(卸) ⑪ 發
莊、發行、房棧、批發處
おろしぐすり下藥(毛) 墮胎藥、化胎藥
おろす下(四段他動) ① 下、往下下
旗を下す 下旗子(船を下す) 把船下水(錨を下して碇泊する) 下

1111

錨灣船(手を下す)下手、動手
剃(肩を下す)剃眉毛(髪を下す)
落髪、削髪
③降(降下)「位階を下す」
④卸「車の荷を下す」
把車上の貨卸下來「船から荷を下す」
從船上卸貨、打船上起下貨來
⑤墮胎「子を下す」
墮胎
⑥躓(小間物を下す)躓賣雜貨
⑦放下「窓掛を下す」把窓戶擋(Kang)兒放下
⑧擦、研「大根を下す」
擦蘿蔔泥(研)⑨掲「鞍を下す」
掲鞍子
⑩鏗「鏗(ヤス)で鐵を下す」
拿鏗鏗鐵
⑪剛穿「新しい靴を下す」
剛穿新鞋
⑫弄下「屋根の上に石があるから下しなさい」
房頂上有石頭你把牠弄下來
⑬切、切下「鯛を三枚に下す」把

おろおん 一條海鯽魚切下三片來(枝を下す)擇(Chui)樹枝兒
おろそか疎(疎)疎、草率、苟且
おろぬく(四段他動)與うるぬく同
おろむ(音)與しり同
おん恩(音)恩、恩典(恩を報いる)報恩、報答恩典、酬謝恩情(恩を忘れ義に背く)忘恩負義(恩を償ひ)で返す「恩將仇報(子を持ちて知る親の恩)養兒幾知父母恩(恩を知らない)不知恩、不感恩、辜恩、負恩」
おん音(音)音
おん御(接頭)添在他語之上表恭敬之意(支那ニテハ御ノ接頭語ハ陛下ノ御事ニ限シテノミ用ユバ御事、御事、御事、御事)「下(御事)如シ」
おん温、瘟、穩、怨等見をん條

おん あい 恩愛(音) 恩愛、恩情
おん かい 音階(音) 樂格、音格、音階、樂級子
おん がく 音樂(音) 音樂(gin' gied')
おん がへし 恩返(音) 報恩、報答
おん ぎ 恩誼(音) 恩誼 「恩典」
おん ぎ 音義(音) 音義
おん きふ 恩給(音) 養老俸、休養俸、扶養費、恩俸、恩給金、年金
おん きやう 音響(音) 音、響、音響、聲音(音響學)「カク」音學、音響學
おん きよく 音曲(音) 音樂(gin' gied')
おん けい 恩惠(音) 恩惠、恩典、恩情(恩惠日)(キジ)恩期、寬期
おん こ 恩願(音) 恩願、恩情
おん こ 御事(音) 事情

おろおん

おん

二二二

おん さ 音又(音) 調又、辨音又、聲又
おん し 恩賜(音) 御賜、恩賜、欽賜
おん し 恩師(音) 恩師、老師
おん し や 恩赦(音) 恩赦
おん し や く 恩借(音) 負、欠、挪「先に恩借の金子」前負尊款、前挪尊項(音)
おん し ら ず 恩知(音) 忘恩負義的人、負心賊
おん し ん 音信(音) 音信、消息、問問(音信不通)「ツク」不通問問
おん じん 恩人(音) 恩人、恩主、恩公
オンス(音) (Onnes) 英美分量之名、盎司、恩斯、英兩
おん せい 音聲(音) 聲音

おん たく 恩澤(音) 恩澤
おん ちゆう 御中(音) 列位、諸位、列位、執事諸位先生(某會社御中)某公司列位執事均鑒
おん てう 音調(音) ①樂調、曲調
腔調兒
おん てん 恩典(音) 恩典
おん ぞ 音頭(音) 號兒、領唱(音頭をとる)喊號兒、打號兒(音頭取)
おん ぞく 恩德(音) 恩德
おん ぞく 音讀(音) ①念書 ②念漢字以漢音
おん な 女(音) 見をんな條下
おん ば 乳母(音) 奶母、奶媽
おん ば 音波(音) 聲浪、音浪
おん ばう 御坊(音) ①看墳的(モリ) ②

焚屍人、火家
おん びん 音便(音) 隨其發音之便利變原來之音謂之音便、即如おもひはかる(慮)念おもんばかり、ふねひと(舟人)念ふなびとは也 「る」背小孩子
おん ぶ 負(音) 負、背(子供を背す)
おん ぶ 音符(音) 音符、音號、工尺
おん ぶ つ 恩物(音) 恩物(物種)
おん み 御身(音) 您、兄臺
おん み つ 隱密(音) ①隱匿 ②探子、奸細
おん む ん 諺文(音) 高麗文字
おん り つ 音律(音) 音律
おん る 恩威(音) 恩威 「範圍」
おん る き 音域(音) 音界、聲音的
おん る ん 音韻(音) 音韻(音韻學)

おん

おん

おん

二二三

か力

か香(名) 香, 味兒(よい香)香味兒
 か蚊(名) 蚊子 「悪い香」臭味兒
 か加(名) ①加, 搭②加法
 か可(名) 可, 可以, 好, 罷(商賣はまあ可なりだ)買賣還罷了(Kana)
 的「可もなく不可もない」也沒有好也沒有不好「この煙草は可なり飲める」這個烟還可以的「這一個烟抽的過兒」
 か佳(名) 佳 「時」那個時候
 か彼(代) 那「彼の人」那個人「彼のか歟」乎(助) ①疑問之助詞、麼、嗎、啊、哪、乎、歟、耶、那、呢

或、或是(何處へ行くか)上那兒去啊、您上那裡去呢(有るか無いか)有沒有「貴下は誰ですか」您是誰啊(これは貴下のですか)這是您的麼(何時出帆しますか)多階開船哪「明日か明後日必ず御宅へ上ります」明天或是後天必定上您府上去(是に於てか)於是乎(仁をなすの本か)爲仁之本歟(文)
 か(接尾) 添在形容詞之上頭無特殊之意(か弱し)軟弱(か黒し)黑
 か個(箇)(接尾) 個「一個の桃」一個桃兒
 か荷(接尾) 擔, 挑子(水三荷)三挑子
 か子水(二荷の白菜)兩挑子白菜
 か處(接尾) 處, 地方(住處)住

處, 住的地方
 か日(接尾) 日, 天, 號(十日)十天
 「五日の間」五天的工夫兒(八月三日)八月初三, 八月三號
 か科, 貨, 訛, 寡, 課, 化, 火, 過, 花, 華, 果, 菓, 禍, 夥等兒(わ條下)
 が賀(名) ①賀②壽辰, 壽誕(六十が駕(名) 駕(駕を託ぐ)托駕(駕をが駕(名) 駕(駕を託ぐ)托駕(駕をが蝦(名) 蝦子
 が芽(名) 芽兒
 が我(名) ①我、己、自己、自我
 固執、執拗(我を張る)固執己見「我を折る」去執拗之心、屈己、服合(我が無い)無私
 が雅(名) 雅、雅致

カーザニン(名) (Cardamine) 荳蔻紅

ガーゼ(名) (Gauze) 綿撒絲, 裏傷的亞麻布

カーテン(名) (Curtain) 窓幔, 聽帘, 窗戶帘子, 窗戶擋兒

カード(名) (Card) 紙片, 紙牌, 卡片 (クリスマスカード) 聖誕卡片, 冬卡 (カード型圖書目錄) 紙片目錄 (カード式) 紙片式, 卡片式 (カード式記録法) 紙片式記錄法

ががあ(助) 哇哇的, 呱呱的(蛙ががあがあ鳴く) 蝦蟆哇哇的叫
 かい權(名) 槳, 楫, 權, 棹
 かい戒(名) 戒(戒を破る)破戒
 かい階(名) ①階, 樓梯②階級, 品級法

ががあ(助) 哇哇的, 呱呱的(蛙ががあがあ鳴く) 蝦蟆哇哇的叫
 かい權(名) 槳, 楫, 權, 棹
 かい戒(名) 戒(戒を破る)破戒
 かい階(名) ①階, 樓梯②階級, 品級法

級④層(二階家)「二層樓」(五階の階)階(名) 階書 「塔」五層塔

かい解(名) 解, 註解

かい海(名) 海, 海洋

かい介(名) 介

かい界(名) 界(動物界)「ゾウ」動物界(植物界)「ソウ」植物界(礦物界)「アイ」礦物界

かい粥(名) 與かゆ同

かい魁, 廻, 灰, 愧等兒(わい條下)

がい蓋(名) 蓋

がい害(名) 害, 礙, 妨, 傷(害を除く)除害(衛生に害あり)於衛生有害, 有礙衛生的「害ありて益なし」有害無益「害を發す」少からず「流害不淺, 貽害非輕」害

が畫(名) 見ぐわ條下
 が(助) ①表示主語之助詞「風が吹く」風颺「人が来る」有人來②之的「我が子」我的兒子「天下」天下、普天之下③而且、又「學問もあるが行も正しい」他有學問而且品行好④可、然「行ったが逢はなかつた」去了可沒瞧見「湯があるが茶はない」開水倒有茶可沒有⑤駢列同趣之語句而用「行くが行くまいが僕の勝手だ」去不去都是隨我的便兒「私は爲(ス)ると云へば必ずする難しからうが苦しからうが構はない」我說辦就辦難啊苦啊都不要緊
 カーキー(名) (Kaiki) 土黃色兒, 米灰色

かい

無し)無害、無妨、不傷人的、不
 致害人(感情を害する)傷人的
 心、傷人的感情、得罪人
 がい我意(名) 執拗、私心(我意を
 振舞ふ)我行我法
 がい賀意(名) 賀意(聊か賀意を表
 がい街(名) 街 「する」聊表賀意
 がい該(名) 該(該國)「ヨ」該國
 がい外(名) 見ぐわい條下
 かいい介意(名) 介意
 かいいん拐引(名) 拐帶、拐誘
 かいいん改印(名) 改圖章
 がいう雅遊(名) 雅遊
 かいうん海運(名) 海運
 かいうん開運(名) 轉運
 がいえん概要(名) 概要
 かいえん開演(名) 開演

かい

かいおん諧音(名) 和諧的聲音、
 好聽的聲音
 かい階下(名) 樓下、樓底下
 がいか凱歌(名) 凱歌
 かいかう開講(名) 開講
 かいかう海港(名) 海口、港口
 かいかう開港(名) 開港、開埠、開
 通商口岸
 かいかう開校(名) 開學(開校式)
 (シキ)開學禮
 かいかう開坑(名) 開鑛
 かいかうじやう開港場(名) 通商
 口岸、商埠
 かいかく改革(名) 改革、更改、
 かいかく海角(名) 海角
 かいかけ皆掛(名) 連皮一塊兒邀

かい

かいがね胛(名) 肩胛骨、飯匙骨
 かいがね開闢(名) 開闢、開閉
 かいがらほね胛(名) 與かいがね
 同
 かいがん海岸(名) 海岸、海邊、
 海濱、海沿、沿海地方(海岸線)
 (シ)海線、海邊線(海岸砲)(ハウ)
 海岸砲
 かいき皆蝕(名) 蝕滿、全蝕
 かいき開基(名) 開基
 かいき甲斐組(名) 絹綱
 がいき咳氣(名) 咳嗽
 かいきふ階級(名) 階級、級、等
 級、班、界、社會(社會の階級)社
 會上の階級(上流の階級)上等
 社會(中流の階級)中等社會(下
 層の階級)下等社會(労働者階

二二六

かい

級)勞工界、労働階級(階級競
 争)民等競争 「情形
 がいきやう概況(名) 概況、大概
 かいぎやく諧謔(名) 諧謔、談諧、
 打哈哈、笑話
 かいぎよ海魚(名) 海魚
 かいきん開禁(名) 開禁、弛禁
 かいきん皆勤(名) 一天也沒告假
 かいぐ皆具(名) 一概俱全 「的
 かいぐ戒具(名) 刑具
 がいく街衢(名) 街衢
 かいくらみどき攝暗時(名) 黄昏、
 掌燈的時候
 かいぐる攝繰ル(四段他動) 繳線(繰テ)
 かいくわ開化(名) 開化、開通
 かいくわ開會(名) 開會(開會の
 期日)開會日期(開會の辭)開場

かい

的演説(演説會)開會的演説(演説會)
 かいぐわい海外(名) 海外、外國、
 外洋
 がいくわつ概括(名) 概括、撮要、
 摘要、總略、總括
 かいくわん開卷(名) 開卷
 かいくわん海關(名) 海關、新關
 (海關稅)(シ)關稅
 かいぐん海軍(名) 海軍、水師(海
 軍省)(シヤウ)海軍部
 がいけ咳氣(名) 咳嗽利害
 かいけつ解決(名) 解決、了結、定
 局(未解決の問題)未解決的問
 題、廠着口兒的問題(まだ解決
 がつかない)還沒有解決、事情
 還沒有着落 「海頸
 かいけふ海峽(名) 海峽、海腰、

かい

かいげふ開業(名) ①開業、開辦
 ②開舖子、開張、開市、開幕(飲
 食店を開業する)開一個飯館子
 「開業を祝ふ」賀喜開張(貴下の
 會社は、開業しますか)貴公司
 幾時開幕(開業式)(シキ)開張的
 禮、開幕的禮 「(三)
 かいげふ開業醫(名) 行醫(hsing)
 かいげん改元(名) 改元
 かいげん開元(名) 開元、開國
 かいげん戒嚴(名) 戒嚴(戒嚴令)
 (シ)戒嚴令
 かいげん開眼(名) 開光、開眼
 がいげん概見(名) 概見
 がいげん概言(名) 概言
 かいご解雇(名) 散、辭、不要、辭
 却、辭退(私は彼を解雇した)我

二二七

かい

把他散了(彼は情ナけるから解雇した)他懶惰所以我不要他了
かいこう 邂逅(色) 邂逅、遇見、碰見

かいこう 開口(色) 開口(ラゴヒ)
かいこく 海國(色) 海國、海邦
かいこく 開國(色) 開國

かいこつ 骸骨(色) 骸骨(骸骨を乞ふ)
かいこのはな 解語花(色) 解語花
かいこむ 搔込ム(四肢他動) 夾(本を脇の下に搔込む) 把書夾在胳膊窩裡(ko'chih' no')

かいこん 開墾(色) 開墾、開地、築田、開荒地(土地を開墾する)開墾地畝
かいさい 皆式(色) 算式 一切

かいしき 皆式(色) 一概、全都、一切
かいじきよく 海事局(色) 日本遞信省之一司也管掌考試船員檢查船舶等關於海上一切事務

かいじやう 海相(色) 與かいぐんだいじん 同
かいじやう 海上(色) 海上、海面
かいじやう 開城(色) 以城投降

かいじやう 街上(色) 街上
かいじやく 介錯(色) 服侍的人

かいじやく 介錯(色) 服侍的人

かいじやく 介錯(色) 服侍的人

かいじやく 介錯(色) 服侍的人

かいじやく 介錯(色) 服侍的人

かいじやく 介錯(色) 服侍的人

かいじやく 介錯(色) 服侍的人

かいじやく 介錯(色) 服侍的人

かいじやく 介錯(色) 服侍的人

かいじやく 介錯(色) 服侍的人

かい

かいさう 海藻(色) 海藻
かいさう 改葬(色) 改葬
かいさう 改造(色) 改造、改建、改設、改組、從新組織

かいさく 開鑿(色) 開鑿、掘鑿、掘開、開挖(運河を開鑿する)開挖運河
かいさく 改作(色) 改作、再作
かいさつ 開札(色) 打開封貨的單子(開標)

かいさつ 改札(色) 查票
かいさん 解散(色) 散、解散、分散、散開(あの會社は解散した)那個公司散了(會を解散する)把會散了(國會を解散する)解散國會(昨夜の宴會は十二時頃に漸く解散した)昨兒晚上的那一局

かいさつ 改札(色) 查票
かいさん 解散(色) 散、解散、分散、散開(あの會社は解散した)那個公司散了(會を解散する)把會散了(國會を解散する)解散國會(昨夜の宴會は十二時頃に漸く解散した)昨兒晚上的那一局

かいさつ 改札(色) 查票
かいさん 解散(色) 散、解散、分散、散開(あの會社は解散した)那個公司散了(會を解散する)把會散了(國會を解散する)解散國會(昨夜の宴會は十二時頃に漸く解散した)昨兒晚上的那一局

かいさつ 改札(色) 查票
かいさん 解散(色) 散、解散、分散、散開(あの會社は解散した)那個公司散了(會を解散する)把會散了(國會を解散する)解散國會(昨夜の宴會は十二時頃に漸く解散した)昨兒晚上的那一局

かいさつ 改札(色) 查票
かいさん 解散(色) 散、解散、分散、散開(あの會社は解散した)那個公司散了(會を解散する)把會散了(國會を解散する)解散國會(昨夜の宴會は十二時頃に漸く解散した)昨兒晚上的那一局

かいさつ 改札(色) 查票
かいさん 解散(色) 散、解散、分散、散開(あの會社は解散した)那個公司散了(會を解散する)把會散了(國會を解散する)解散國會(昨夜の宴會は十二時頃に漸く解散した)昨兒晚上的那一局

かいさつ 改札(色) 查票
かいさん 解散(色) 散、解散、分散、散開(あの會社は解散した)那個公司散了(會を解散する)把會散了(國會を解散する)解散國會(昨夜の宴會は十二時頃に漸く解散した)昨兒晚上的那一局

かいさつ 改札(色) 查票
かいさん 解散(色) 散、解散、分散、散開(あの會社は解散した)那個公司散了(會を解散する)把會散了(國會を解散する)解散國會(昨夜の宴會は十二時頃に漸く解散した)昨兒晚上的那一局

かいさつ 改札(色) 查票
かいさん 解散(色) 散、解散、分散、散開(あの會社は解散した)那個公司散了(會を解散する)把會散了(國會を解散する)解散國會(昨夜の宴會は十二時頃に漸く解散した)昨兒晚上的那一局

かいさつ 改札(色) 查票
かいさん 解散(色) 散、解散、分散、散開(あの會社は解散した)那個公司散了(會を解散する)把會散了(國會を解散する)解散國會(昨夜の宴會は十二時頃に漸く解散した)昨兒晚上的那一局

かいさつ 改札(色) 查票
かいさん 解散(色) 散、解散、分散、散開(あの會社は解散した)那個公司散了(會を解散する)把會散了(國會を解散する)解散國會(昨夜の宴會は十二時頃に漸く解散した)昨兒晚上的那一局

かいさつ 改札(色) 查票
かいさん 解散(色) 散、解散、分散、散開(あの會社は解散した)那個公司散了(會を解散する)把會散了(國會を解散する)解散國會(昨夜の宴會は十二時頃に漸く解散した)昨兒晚上的那一局

かいさつ 改札(色) 查票
かいさん 解散(色) 散、解散、分散、散開(あの會社は解散した)那個公司散了(會を解散する)把會散了(國會を解散する)解散國會(昨夜の宴會は十二時頃に漸く解散した)昨兒晚上的那一局

かいさつ 改札(色) 查票
かいさん 解散(色) 散、解散、分散、散開(あの會社は解散した)那個公司散了(會を解散する)把會散了(國會を解散する)解散國會(昨夜の宴會は十二時頃に漸く解散した)昨兒晚上的那一局

かい

到了十二點鐘發散的(巡查が群集を解散させた) 巡警解散人羣兒
かいさん 開山(色) 開山(寺院)
かいさん 開創的人(開山の祖)開山祖師
かいさん 海產(色) 海味、水產(海產物)同上

かいさん 概算(色) 大概齊算一算、大概的估算、粗算、草草的算
かいし 界紙(色) 格兒紙(紙/稿用)、八行書(八行)

かいし 開始(色) 開、開始、開幕
【三月八日より授業を開始する】
【從三月初八日起開功課(談判を開始する)開交涉(戰鬥を開始する)開始戰鬥】
かいし 海市(色) 海市蜃樓、海市

かいしよく 戒飭(色) 戒飭
かいしん 改心(色) 改心、改過、悔過、改邪歸正
かいしん 開申(色) 申報(申)

かいしん 戒心(色) 戒心(用心)
かいしん 改新(色) 從新改
がいす 害ス(佐體動) 害、傷、礙、妨害、傷損、傷害、損害、損害

【人々を害する】殺害、害死人(人の感情を害する)得罪人、傷人心、傷人的感情(人の名聲を害する)傷人家的名聲、損害人的名譽

【健康を害する】害健康、損傷身體、身子吃虧(作物を害する)把莊稼糟害

【健康を害する】害健康、損傷身體、身子吃虧(作物を害する)把莊稼糟害

【健康を害する】害健康、損傷身體、身子吃虧(作物を害する)把莊稼糟害

【健康を害する】害健康、損傷身體、身子吃虧(作物を害する)把莊稼糟害

【健康を害する】害健康、損傷身體、身子吃虧(作物を害する)把莊稼糟害

【健康を害する】害健康、損傷身體、身子吃虧(作物を害する)把莊稼糟害

【健康を害する】害健康、損傷身體、身子吃虧(作物を害する)把莊稼糟害

【健康を害する】害健康、損傷身體、身子吃虧(作物を害する)把莊稼糟害

【健康を害する】害健康、損傷身體、身子吃虧(作物を害する)把莊稼糟害

【健康を害する】害健康、損傷身體、身子吃虧(作物を害する)把莊稼糟害

かい

かいでする海水(色) 海水、海潮、海浴(ヨク)、浴海潮、洗海澡

改、修正、修改、更正、更改、改、修正(名)、改正、更改、規則を改正する(修)、改錯(規)

改、修正、修改、更正、更改、改、修正(名)、改正、更改、規則を改正する(修)、改錯(規)

改、修正、修改、更正、更改、改、修正(名)、改正、更改、規則を改正する(修)、改錯(規)

改、修正、修改、更正、更改、改、修正(名)、改正、更改、規則を改正する(修)、改錯(規)

改、修正、修改、更正、更改、改、修正(名)、改正、更改、規則を改正する(修)、改錯(規)

改、修正、修改、更正、更改、改、修正(名)、改正、更改、規則を改正する(修)、改錯(規)

改、修正、修改、更正、更改、改、修正(名)、改正、更改、規則を改正する(修)、改錯(規)

改、修正、修改、更正、更改、改、修正(名)、改正、更改、規則を改正する(修)、改錯(規)

改、修正、修改、更正、更改、改、修正(名)、改正、更改、規則を改正する(修)、改錯(規)

改、修正、修改、更正、更改、改、修正(名)、改正、更改、規則を改正する(修)、改錯(規)

改、修正、修改、更正、更改、改、修正(名)、改正、更改、規則を改正する(修)、改錯(規)

改、修正、修改、更正、更改、改、修正(名)、改正、更改、規則を改正する(修)、改錯(規)

かい

和

かいせん 疥癬(名) 疥癬

かいせん 改善(名) 改良、改善、改正、修整

かいせん 凱旋(名) 凱旋(凱旋門)

がいぜん 慨然(副) 慨然

がいぜん 駭然(副) 駭然

がいぞう 劾奏(名) 奏(sou tsu an)

かいぞく 海賊(名) 海賊、水賊、海盜

かいぞへ 介添(名) 服侍、腰

かいたい 解体(名) ①解剖、剖解、剖開、解剖、分散(ナド)、拆卸

かいたい 卸(下)

かいたい 懈怠(名) 懈怠

かいたい 拐帯(名) 拐帯、拐誘

かいたい 解題(名) 解題、提要(書)

かい

籍解題 書目提要、書籍解題

かいだい 海内(名) 海内

かいだう 海棠(名) 海棠

かいだう 街道(名) 街道、大道

かいだう 海道(名) 沿海的道路

がいたう 該當(名) 正合、正對、恰當

かいたく 開拓(名) 開拓、開墾、開拓者、開闢人、破天荒人

かいたす 掻出す(四段他動) 淘、淘出去(池の水を掻出す)、淘池子的水

かいたふ 解答(名) ①答、回答、回覆、解答、猜、破(算術問題の解答をする)、回答算學的題目(謎を解答する)、破謎兒、猜謎兒

かいたん 階段(名) 階級、臺階、臺

級、階、樓梯

がいたん 慨嘆(名) 慨嘆

かいちく 改築(名) 改築、翻蓋

かいちやう 開張(名) 開籠

かいちやう 開場(名) 開會場、許人進去

かいちやう 戒杖(名) 錫杖、禪杖

かいちゆう 海中(名) 海中、海裡

かいちゆう 介蟲(名) 甲蟲、硬殼

がいちゆう 害蟲(名) 害蟲

がいちよ 刈除(名) 刈除

かいちよ 解除(名) 卸去、卸除、取消、銷廢、廢去(武裝解除)

卸去武裝、卸除武裝、解除武裝(契約を解除する)、銷廢合同、把

合同作廢

かいづ 海面圖(名) 海面圖、水路圖

かいつう 開通(名) 開、開通(道路が開通した)、道路開通了(鐵道が開通した)、鐵路修開了(開通式)

かいつかむ 搔摺(四段他動) 抓

かいつくろふ 搔繕(四段他動) 整、整理(衣紋を搔繕ふ)、把衣裳整理

かいつまむ 搔摺(四段他動) 撮要、摘要、取其要略、簡略、簡要(要領を搔摺んで云ふ)、簡要緊的、地方兒說、取其要略說

かいつらぬ 書列(下一段他動) 與か

かいてい 海底(名) 海底(海底電線)

かいづ 海底電線、海綫、海纜

かいてい 階梯(名) 階梯、初步、初學、初學書、初步讀本

かいてい 解停(名) 開禁

かいてい 開廷(名) 開審、開庭

かいてう 海潮(名) 海潮

かいてん 開展(名) 開展(國勢が開展する)、國勢開展

かいてん 開店(名) 開舖子、開張

かいでん 皆傳(名) 悉與義傳之

がいとう 街頭(名) 街頭、街上

がいとう 街燈(名) 街燈、路燈

がいぞく 害毒(名) 毒害(害毒を流す)、流毒、流害、流毒

かいざり 搔取(名) 與うちかけ同

かいたる 搔取(四段他動) 擲(着物を搔取る)、擲起衣裳來

かい

かい

かい

かいなふ皆納(名) 全上了、完納

〔租税を皆納する〕完納税項

かいなん海難(名) 海難(man)、破

船(ナン)、擱淺(乗上グ)、觸礁(アタル)

かいにん解任(名) 撤任

かいねん改年(名) 改年、改歲

がいねん概念(名) 概念

かいは海波(名) 海波

かいば海馬(名) ①海馬(タツノオ) ②海馬、海象

かいほう介抱(名) ①服侍(世話) ②看病(阿母さんは年寄だから介抱して上げなさい) 你母親老了你得好好兒的服侍他

かいはう解放(名) 放、放行、解放、釋放、放免、開釋、使……自

由(罪人を解放する)放罪人、釋放囚犯(差押へた貨物を解放する)把扣留的貨物放行(奴隸を解放する)釋放家奴(婦人を解放する)解脫女子

かいほう開放(名) 開放(戸を開放すべからず)不可開放門戸、隨手關閉(門戸を開放して外國と交通する)開放門戸和外國通商

かいばう海防(名) 海防、海岸之防備(海防艦)カ)海防艦

かいばう解剖(名) 剖解、解剖、解剖、剖開(解剖して検査する)剖屍驗看、剖屍屍身 「さむ同

かいはさむ搔揞(名) 與は

かいはつ開發(名) 開發、發開、展

開、開闢(利源を開發する)開闢利源

かいばつ海抜(名) 海面、洋面、水

かいはん改版(名) 改版

かいはん解版(名) 揭版

かいひ解扉(名) ①開門 ②開籠

かいびやく開闢(名) 開闢(天地開闢以來そんな話は聞いたことはい)

從開天闢地我就沒聽見這

麼說過了、自有世界以來未聞

如此之說

かいひん海濱(名) 海濱、海邊

かいふう海風(名) 海風 「信

かいふう開封(名) 打開信、拆開

かいぶし蚊燻(名) 避蚊香、蚊香、

殺蚊香、蚊烟香、打蚊烟

がいぶん涯分(名) 應本(分)

かいへい開閉(名) 開閉 「開平

かいへい開平(名) 算學之一法、

かいへい海兵(名) 水兵

かいへう海標(名) 浮號

かいへう開票(名) 開票 「濱

かいへん海邊(名) 海邊、海岸、海

かいほす搔乾(名) 把池子

或河湖的水淘出來

かいぼつ開發(名) 開拓、開地、築

かいほり搔堀(名) 與かいほす同

かいまき搔卷(名) 被窩(被窩、上二被)

かいまやう戒名(名) 法名、法號

かいむ皆無(名) 全沒有、烏有

かいむ皆無(副) 與かいもく同

かじめい改名(名) 改名、更名、換

名 かいめい解明(名) 解明

かいめい開明(名) 開明

かいめん海面(名) 「綿子

かいめん海綿(名) 海綿、海絨、海

「かいもく皆目(副) 全、全都、一

個……也、一點兒……也、總、

毫、一概(善い物は皆目ない)好

的東西一個也沒有(私は皆目分

らないのです)我是一概不懂、

我是一無所知(あの人の話は皆

目分らない)他說的話我全不明

白 「頸

かいもん海門(名) 海腰、海峽、海

かいもん開門(名) 開門

かいはく解約(名) 解約

かいはく海容(名) 寬恕、原有、曲

恕、海涵(御海容の程願上候)萬

望海涵爲幸、統祈原有

かいはく解購(名) 與かいこ同

かいらう偕老(名) 偕老(偕老同穴)

「(ラッ)偕老同穴

かいらう海老(名) 龍蝦

かいらん解纜(名) 開船

かいら海里(名) 海里

かいら海狸(名) 海狸子、水鼯鼠、

海驪、水駱駝

かいらう海流(名) 潮流 「開立

かいらふ開立(名) 算學之一法、

改善、矯正(改良を加へる)加以

改良 「大略、梗概

がいらやく概略(名) 概略、大概、

かい かう

かかれき改曆(名) 改歲、換皇曆
 かいろ海路(名) 水路、海路
 がいろ街路(名) 街道、大街、大道
 かいわい界限(名) 左近、左近地方、這溜兒(この界限で有名な美人だ)他是在這左近地方兒有名的美人兒(この界限に旅館はない)這溜兒有客店沒有
 かいわうせい海王星(名) 海王星
 かいわん海灣(名) 灣、海灣、海股
 かいりん海員(名) 水手 「之禮
 かいりんしき開院式(名) 開議會
 かう香(名) 香(香を焚く) 焚香
 かう更(名) 更(初更)シヨ 初更(三更)三更
 かう講(名) 講(會) 賴母子講

かう

かう考(名) 考 「效
 かう効(名) 効、效(効がない)不見
 かう稿(名) 稿、草稿
 かう項(名) 項(項を運うて)逐款、一項一項的、一條一條的
 かう港(名) 港、見みなと條下
 かう衡(名) 衡
 かう膏(名) 膏
 かう鋼(名) 鋼
 かう綱(名) 綱
 かう庚(名) 庚
 かう交(名) 交
 かう耕(名) 耕
 かう行(名) 行(行を壯にす)壯行色(chuang hsing sai) 一行の

かう

雁(雁)一行雁(雁 hang yen)
 かう校(名) 校
 かう(名) 這麼、這樣、如此(かうやると善くない)這麼辦不行(かう雨が降れば行かない)下這麼大雨我不去(それではかう致しませう)那麼這麼辦罷(かうなれば致方がない)這麼一來就沒法子、事到如今無可奈何(お前はどうかしてかう分らないのだ)你怎麼這麼不明白啊
 がう郷(名) 鄉、村郷(郷に入つては郷に従へ)隨鄉入鄉
 がう毫(名) 毫(毫を揮ふ)揮毫(十絲を毫と云ふ)十絲曰毫(毫も相關せず)毫不相關

二二四

がう 壕(名) 壕

がう號(名) 號(貴下の號は何とおっしゃいますか)請問您大號(私の號は厚庵と申します)小號厚庵
 がう剛(名) 剛
 がう號(名) 號(正月號)正月號
 がう第一號(名) 第一號
 がうあく強惡(名) 兇惡
 がうあつ高壓(名) 高壓力(高壓手段)強迫手段、強硬手段、武斷(高壓的に)武斷的、壓制的、霸氣的
 かうあん考案(名) 法子、計、策、主意、考案、方策(色色考案しても好い考が出ない)各樣想法子可想不出好主意來(この考案が

がう

一番よい)這個主意頂好(考案者)考案者、籌畫的人
 かうい更衣(名) 更衣、換衣裳
 かうい校醫(名) 校醫
 かうい好意(名) 好意、美意(人の好意を無にする)辜負人的好意 「交結朋友
 かうい交友(名) 朋友、交友、窻兄弟、同學、學校稱呼畢業生謂校友
 かうい交遊(名) 交遊
 かうい(名) 如此、這麼、這麼樣(かうい好い物は得難い)這麼好的東西實在難得(かうい様にやればどうでせう)這麼辦好

がう

不好(かういふ理不盡な人が世の中に有らうか)這麼不講理的人天下還有麼
 がうい豪遊(名) 豪遊
 がういん豪飲(名) 喝大酒
 がういん強淫(名) 與がうかん同
 がうう豪雨(名) 暴雨、大雨
 がううん耕耘(名) 耕耘
 がううん幸運(名) 紅運、好運氣、運氣旺(幸運兒)走紅運的人、運氣旺的人
 かうえき交易(名) 交易
 かうえつ校閱(名) 校閱
 かうえん講演(名) 講演、講說、演講、演說
 かうか降嫁(名) 下嫁

二二五

かうか 高價(名) 價錢貴
 がうか 豪家(名) 潤家、富戸、財主
 かうかい 更改(名) 更改(Kang-kai)
 かうかい 航海(名) 走海、行船、航海、航行、航船、走船、駕船、駛船(航海學)(カク)航海學、行船學
 [航海術](ジュツ)航海術、行船術
 [航海曆](レイ)航海曆、航務通書、行船通書
 かがい 慷慨(名) 慷慨 「要
 かがい 梗概(名) 梗概、要略、撮
 かがい 筭(名) 筭子
 かうかう 航行(名) 行船、走海、航行、行駛、駛船、走船、駕船
 かうかう 孝行(名) 孝行、孝順、孝敬「孝行息子」(ムス)孝行的兒

子、孝順的孩子(親に孝行する) 孝順父母、孝敬父母(女房孝行)
 (ニヨウバウ) 溺縦妻妾、縦妻
 かうかう 斯斯(副) 這個這個、這
 麼這麼、云云、如此如此(それは斯斯の次第だ) 那是這個這個的緣故(それは斯斯すればよい) 那是這麼這麼辦就得了(初はかうかう後にはかうかうと) 一部始終申しました) 起初如此如此後來這般這般一五一什的全說了
 かがう 鷺鷥(副) 鷺鷥
 かがうがてつ 高架構造(名) 高
 綫鐵路、高架鐵路、隄道鐵路
 かがうがふ 香合(名) 香盒子
 かがうがふ 交合(名) 交合、交媾、行

房、雲雨
 かうかぶつ 好下物(名) 好下物、好下酒物
 がうかん 強姦(名) 強姦、強淫、逼姦、硬姦
 かうき 綱紀(名) 綱紀
 かうき 高貴(名) 尊貴、高貴
 かうき 香氣(名) 香、味兒、香氣
 かうき 好奇(名) 好奇(Hao-chi)
 好事(好奇心)(シン) 好奇的心、好奇心的心
 かうき 降旗(名) 白旗、降旗(Hai-origi-chi)
 かうき 講義(名) 講義
 かうき 廣義(名) 廣義、推廣意思

かうぎ 巷議(名) 巷議街談
 かうぎ 抗議(名) 抗議、辯駁、抗議
 [抗議を申立てる] 頂撞表拒、申明不服、聲明不甘服、提出抗議、提出異議
 かうぎ 交誼(名) 交誼、交情
 がうき 剛毅(名) 剛毅
 がうき 豪氣(名) 豪氣
 (がうき 豪氣(名) 大膽、壯膽、敢
 爲 kan'wei?) 「辦、買
 かうきう 購求(名) 購買、置買、
 かうきう 講究(名) 研究、講究
 かうきやうきよく 交響曲(名) 交
 響曲
 かうきふ 高級(名) 高等、高級(高

級武官)(ブクワン) 高級軍官
 がうきふ 號泣(名) 號泣
 がうきゆう 強弓(名) 強弓(キウキ)
 かうきよ 考據(名) 考據
 かうぎよくせき 鋼玉石(名) 鋼玉
 石、寶砂石、鑽石、金剛砂
 かうきん 高金(名) 巨款
 かうぐ 香具(名) 香料(香具師)(1)
 1. 賣香料的 2. 賣藝的(香具屋)
 (1) 香料舖、香蠟舖
 かうくう 航空(名) 航空、空中駕
 駛、天空駛行、空中行船
 かうくわ 効果(名) 效、效驗、效
 果、靈驗(効果がな) 沒有結
 果、不見效、沒靈驗

かうくわ 考課(名) 考課(考課ノ功課)
 かうぐわい 郊外(名) 郊外
 がうぐわい 號外(名) 號外、外刊、號外刊行、報館傳單
 かうくわつ 狡猾(名) 狡猾、油滑、
 賊猾、奸詐、詭譎 「顯官
 かうくわん 高官(名) 大官、高官、
 かうくわん 交驩(名) 交驩、提攜
 かうくわん 交換(名) 交換、兌換、
 互換(交換條件)(アウケン) 交換條
 件、互換條件
 かうぐわん 罌丸(名) 罌丸、外腎、
 卵子兒、陽囊、腎囊、卵囊
 かうぐん 行軍(名) 行軍、行陣(強
 行軍)(キヤウ) 強行軍(夜行軍)(ヨ)

夜行軍(急行軍) (キ) 急行軍

かうげ 高下(名) ① 高矮(高キ) ② 優劣、好歹 ③ 上下

かうけつ 膏血(名) 膏血(kao³) [hsieh⁴]

かうけつ 高潔(名) 高潔

かうけつ 豪傑(名) 豪傑

かうけん 效驗(名) 效、效驗(いくら薬を飲んで少しも效驗がない) 怎麼吃藥一點兒也沒見效

かうけん 高見(名) 高見、貴意(御高見は如何です) 有何高見、高見以爲何如

かうげん 高言(名) 大言、大話(高言を吐く) 説大話

かうげん 巧言(名) 巧言 「世上かうこ 江湖(名) ① 江湖 ② 天下、

かうこ 考古(名) 攻考古代遺物(考古學) (カ) 古物學、古蹟學、考古學

かうこ 好古(名) 好古(hao⁴ ku³)

かうこ 香奩(名) 香盒子

かうこ 向後(名) 以後、從此以後、將來、往後

かうこ 行伍(名) 行伍(hang² wu³)

かうこ 交互(名) 互相

かうこ 豪語(名) 大言大語

かうこ 港口(名) 港口、海口

かうこ 控告(名) 控告(控告す)

かうこ 硬骨(名) 硬直(kang³) [chi³]

かうこ 硬骨(名) 硬直(kang³)

かうこ 交互(名) 交叉、相切、横断、

横過(交叉點) (チ) 交點、交切點

かうざ 高座(名) ① 講臺 ② 高座兒 (ナリ) 「臺(講義)

かうざ 講座(名) ① 講座(大學) ② 講

かうざい 交際(名) 交際、來往、交

往、應酬、交情(私はあの人と交際がある) 我和他有交情(あの人

は交際が上手だ) 他講究應酬、他是交際上的好手、他會應酬人

「私はもう彼と交際しない」 我打算往後不和他來往(彼は交際が

廣い) 他交往的很寬(交際嫌な

人) 寡交游的、不愛交友的、淡

於交際的(交際家) (カ) 會交際的

人、講究應酬的人(交際費) (ヒ)

應酬金、應酬公費、應酬的津

貼、接待費

かうざい 絞罪(名) 絞罪

かうざく 耕作(名) 種(chung⁴)、栽種、耕作、耕種、種地 「加

かうざく 交錯(名) 交錯、交叉、交

かうざつ 考察(名) 考察

かうざん 降參(名) 投降(tou² hsiang⁴)

かうざん 降服、投誠

かうざん 高山(名) 高山 「子

かうし 孝子(名) 孝子、孝順的兒

かうし 講師(名) ① 教習、副教習

② 講師(講演)、演説家

かうし 考試(名) 考試

かうし 行使(名) 行、用、行使、執

行(職權を行使する) 行使職權、

執行職權

かうし 格子(名) 窻戶格子、櫺子、

格子檔兒、斜象眼兒(斜ニ組ミ「格子造」(ツクリ) 裝格子的(「格子戸」

(「」) 格子門兒

かうじ 柑子(名) 柑子(柑子蜜柑)

(「」) 橘子(柑子色) (「」) 橙黃

かうじ 好事(名) 好事(hao³ shih⁴)

「好事魔多し」 好事多魔

かうじ 香餌(名) 香餌(香餌の下に

は必ず死魚あり) 香餌之下必有

死魚

かうじしや 好事者(名) 好事的(ho³ shih⁴)

かうしふ 講習(名) 講習(講習會)

かうしや 巧者(名) 巧、巧妙

高尙

かうしやう 行商(名) 喊賣(ウレヒ)、下

街做買賣(町へ出テ)、負販(商品ヲカ

高スル) (行商人) (ニン) 1. 客商(他ノ地方ニ

モル) 2. 喊賣的(ウレヒ)、吆喝的(ウレヒ)

串百家戸(歩クモノ)、下街做買賣

的(町ニ行キ行) 負販(ウレヒ)、小販

子(上)

かうじやう 交情(名) 交情

かうじやう 向上(名) 長進、進取、

進歩

かうしやう 豪商(名) 豪商、富商

かうじやう 強情(名) 剛愎、執拗、

硬頸、悍潑、頑梗、擻性、強項

的、硬頸的、牛脖子的

かうしやく 講義(名) ① 講義 ② 説

書(講釋師) 説書の

かうしゆ 絞首(名) 絞首 「酒

かうしゆ 強酒(名) 酒量大、喝大

かうじゆん 孝順(名) 孝順

かうしよ 考證(名) 考證

かうしよく 好色(名) 好色(好色家)

色的、好淫的、邪淫的

害起來(奢がかうじる) 奢華漸

漸的大起來了(病がかうじる)

病慢慢兒的利害起來了

かうしん 行進(名) 行進、前進(行

進曲) 進軍曲、軍行曲

かうしん 庚申(名) 庚申

かうしん 孝心(名) 孝心

かうしん 亢進(名) 昂進

かうじん 幸甚(名) 幸甚、萬幸之

至(幸甚に存候) 不勝幸甚

かうじん 行人(名) 走路的人

かうじん ぶつ 好人物(名) 好人、

老實的人

かうす 抗ス(佐他他動) 抗、抗拒

かうす 航ス(佐他他動) 走海、行船、

走水路、行駛、駛船、航海、航行

かうす 好事(名) 好事、好奇(好

講學 講(學を講ず)

かうす 號ス(佐他他動) 號

かうす 香水(名) 香水

かうする 硬水(名) 硬水、澆水

かうする 膠水(名) 膠水、膠汁、稀

膠

かうせい 校正(名) 校正、校訂、

校誤(校對原稿)、對稿(校正

掛) 校正人、校對人(校正

刷) 校正印刷品、校樣、校正

稿樣

かうせい 更正(名) 更正(king' cheu-

かうせい 高聲(名) 高聲、大聲(高

聲で話す) 大聲的說

かうせい 行星(名) 行星

かうせつ 高説(名) 大教、豪教、高

見(拜趨御高説拜聽可仕候) 趨候

臺教

かうせつ 講説(名) 講説

かうせつ 坑道(名) 地道 「賊

かうたう 強盜(名) 強盜、劫盜、強

かうだつ 強奪(名) 強奪、硬搶

かうたん 降誕(名) 降誕、降生(耶

蘇降誕) 耶蘇降生

かうだん 高談(名) 高談

かうだん 講談(名) 說書(講談師)

(説書の)

かうだん 講壇(名) 講臺

かうたん 豪膽(名) 豪膽、大膽

かうだん 強談(名) 挾制人商議

かうだん 好男子(名) 好漢

かうち 耕地(名) 莊稼地、耕地

かうち 巧智(名) 巧智

かうち 狡智(名) 狡智

かうせつ 巧拙(名) 巧拙

かうせつ 高節(名) 高節

かうせつ 巷説(名) 巷議街談

かうせつ 交接(名) 交接、交際、

交往(交合、交媾、行房) 「洽

かうせふ 交渉(名) 交渉、商議、接

かうせん 交戦(名) 交戰、交鋒(交

戰國) 交戰國

かうせん 腔線(名) 腔綫、來復綫

かうせん 香煎(名) 炒米麵

かうせん 囂然(名) 囂然

かうぜん 傲然(名) 傲慢的樣子

かうそ 高祖(名) 高祖

かうそ 醇素(名) 梅、醇質

かうぞ 楮(名) 楮樹、楮桑

かうだい 高大(名) 高大

かうだう 孝道(名) 孝道

かうだう 講堂(名) 講堂、禮堂

かうち 巧運(名) 巧遲(巧遅は拙速に如かず) 巧遅不如拙速

かうち 高地(名) 高地、高處、崗

かうち 麵(名) 麵子、麵子

かうち 行厨(名) 提食盒

かうち 高直(名) 價貴 「長

かうち 校長(名) 學校長、校

かうち 高聴(名) 請…聴(暫く諸君の高聴を煩します) 諸諸位

暫且聽我説

かうち 孝女(名) 孝女

かうち 交通(名) 交通(交通機

關) 交通機關

かうち 好都合(名) 方便、湊巧

ら甚だ好都合です) 您和我一塊兒去那好極了、您和我一同去

那是求之不得的了(五百圓拜借願へば甚だ好都合です) 您借給

我五百元那萬分湊巧了

がうつくばり 強突張(名) 罵剛愎

的的話

かうつ つみ 香包(名) 包香的紙

(かうつと) 可是(かうつと、

れはどうやったたらよからうな) 可

是這件事怎麼辦好呢

かうてい 高弟(名) 高足

かうてい 行程(名) 行程、路程(三

日の行程) 三天的路程

かうてい 高低(名) 高低、高矮

邊の山は高低一様でない) 那一帶山高矮不齊(相場の高低は豫想

が出来ますか) 行市的長落預先

可以知道麼

かうてい 校訂(名) 校訂、校誤

かうてう 高潮(名) 潮滿時、潮

平 極點、極處、頂點、極度、最

高度、氣貫斗牛(人民の激昂は高

潮に達して居る) 民衆激昂到了

極點了、人民氣貫斗牛

かうてう 好調(名) 妥當、順安、順

當(萬事好調に進んだ) 諸事順順

當當的進行

かうてう 鋼條砲(名) 起坑大

かうてき 強敵(名) 強敵

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう

かう [強的に酒を飲む] 喝酒喝の利害

かうてつ 鋼鐵(名) 鋼、鋼鐵(鋼

鐵艦) 鋼鐵艦

かうてつ 更迭(名) 更迭、換、更

動、調動、更換、更調(公使はも

う更迭した) 公使已經換任了(官

員を更迭さす) 更換官員 「多

かうてん 高點(名) 高點、分數兒

かうてん 交點(名) 交點、交切點

かうてん 香奠(名) 折祭(人せし第三日、

奠敬(出棺ノ前日) 「板

かうてん 格天井(名) 天花

は造りがかうとです) 那個女人

打扮的沒俗氣

かうと 斯ト(副) 這麼(彼はかうと

思込んだら仕送(シ)げずには止ま

ない) 他想出甚麼主意來了一

定要辦、說到那兒辦到那兒

かうと 昂貴(名) 昂貴、奇昂

かうと 昂騰(名) 昂貴、奇昂

かうと 高等(名) 高等(高等學校)

(カウ) 高等學校(高等官)(クワン)

日本高等官分爲九等一二等曰

勅任官(簡任)自三等至九等曰

奏任官(薦任)(高等工業學校)(カ

ウツツガ) 高等工業學校(高等師範

學校)(カクハシ) 高等師範學校(高

等商業學校)(カクハシ) 高等商業

學校(高等農業學校)(カクハシ) 高

等農業學校(高等文官試驗)(カク

ハシ) 文官高等考試

かうと 行動(名) 行爲、舉動、行

動、行止、動作

かうと 高德(名) 高德

かうなう 香囊(名) 香囊、香袋

かうなう 行囊(名) 行囊(ising'n-

ang)

かうのう 豪農(名) 豪農

かうのもの 香物(名) 鹹蘿蔔

かうのもの 剛者(名) 剛勇者

かうは 硬派(名) 反對政府的政

黨、持強硬主意的 剛直的人

かうはい 向背(名) 向背

かうばう 好望(名) 有望、可望

かうばう 號砲(名) 號砲

かうばう 香箱(名) 香盒子

かうばし香シ(形容久遠) 香、馨
 かうばん交番(名) ①輪班 ②巡捕房、巡警派出所
 かうび交尾(名) 交尾、孳尾、跏蛋
 兒(名)、跏容兒(名)、配對兒(名)、搭配(名)、跏種(名)、起秧子(名)、開狗(名)、咬子(名)
 かうひつばん鋼筆版(名) 鋼筆版
 かうひやう講評(名) 講評、評論
 かうびん幸便(名) 順便、風便(幸便に任せ)、適縁風便(幸便に托し御起居御伺申上候)、玆有鴻鱗之便藉此謹候文社
 かうふ交付(名) 交、交付、交執、交與(品物を交付する)、交貨(金銀を交付する)、付銀、交付銀、付

かうぶ講武(名) 練武
 かうぶ豪富(名) 潤、豪富、有錢
 かうぶく幸福(名) 幸福、造化、福分、福氣(幸福を受く)、有福、納福、享福 [福]、歸服、卑服
 かうぶく降伏(名) 降服 (hsiang)
 かうぶく剛復(名) 剛復
 かうぶくろ香囊(名) 香囊、香袋
 かうぶつ好物(名) 愛吃的東西
 かうぶん昂奮(名) 與ころぶん同
 かうぶん高聞(名) 鈞聽、奉聞
 かうぶん行文(名) 行文 [文ヲ作ルコトスル]、文ヲ作ラシメ
 かうぶんほく好文木(名) 梅樹

かうべ首(名) ①首、頭 ②首級 [首をめぐらす] 回頭 [敵の首をとる] 砍敵人的腦袋 [ping]
 かうへい降兵(名) 降兵 (hsiang)
 かうべん抗辯(名) 頂嘴兒、抗辯、強嘴 [mei]
 かうほ酵母(名) 酵母、酒媒、酵
 かうほね河骨(名) 萍蓬草
 かうほん稿本(名) 稿子、草稿兒
 かうま降魔(名) 降魔 (hsiang mo)
 かうまつ毫末(名) 毫末、絲毫
 かうまん高慢(名) 自大、眼睛裡没人、眼空四海 一傲
 かうまん傲慢(名) 傲慢、狂傲、驕(かうまんちき高慢的) 與かう

かうまんちやくれる高慢的(下一段自動) 同上動詞
 かうみ好味(名) 口味好、有滋味
 かうみやう高名(名) 高名
 かうむきよく港務局(名) 理船廳、舟港司
 かうむる被ル(蒙ル)、蒙ル(四段自動) ①承、蒙、被 ②戴(帽子を被る)、戴帽子(衣を被る)、被衣裳(恩顧を蒙る)、蒙擡愛(酒を被る)、喝大酒(今日はまだ用事がございませうからこれで御免)、蒙ります(今日我還有點兒事這就告假)、諸君の御眷顧を蒙り有難く存候、辱蒙諸君子雅愛不棄感謝莫名

かうめう巧妙(名) 巧妙、莫名其妙
 かうめん高免(名) 寬恕、宥原
 かうもく項目(名) 科目
 かうもり蝙蝠(名)、蝙蝠、飛鼠兒、燕蝙蝠、飛蝠、長生鼠、仙鼠、蝠鼠
 かうもりがき蝙蝠傘(名) 洋傘
 かうもん肛門(名) 肛門、糞門、殺道、屁股眼兒
 かうもん拷問(名) 拷問、刑訊、動刑問訊(ひどく拷問する)、非刑拷問、用酷刑拷訊(拷問の爲に死ぬ)、死在刑下了、動刑致死
 かうや郊野(名) 郊野
 かうやう孝養(名) 孝養
 かうやう斯様(名) 這麼様

かうやく膏藥(名)、膏子藥、藥油
 かうやどうふ高野豆腐(名) 乾豆
 かうゆ香油(名) 桂花油、梳頭油
 かうゆ膏腴(名) 膏腴
 かうゆう豪勇(名) 剛勇
 かうよう効用(名) ①用處、用頭 ②効、效驗
 かうよく強欲(名) 貪心、貪財、貪圖、貪得無厭、貪心不足
 かうより紙捻(名) 紙捻兒 (chih men's erh)
 かうらい高麗(名) 高麗出的磁器
 かうらう効勞(名) 效勞、效力(効勞株)、紅股

かうらん 高覽(名) 電鑿、臺電、電
照、電察、青覽(御高覽に入れ候)
投呈電鑿、呈電、呈覽、呈閱
かうり行李(名) 行李
かうり高利(名) 重利、重利息、重
利錢、閻王賬(高利貸)放重
利的人、放重利息的人、重利盤
割的人、放印子錢的人、放閻王
賬的人
がうり毫釐(名) 毫釐(毫釐の差も
千里の謬となる)差之毫釐謬之
千里
がうりうはつでんき交流發電機
(名) 間流發電機
がうりき強力(名) 力氣大の登
山時跟隨的挑夫 「總略
がうりやう綱領(名) 綱領、要義、

かうりよ考慮(名) 想、思慮、思
想、思索
かうりよう蛟龍(名) 蛟龍
かうりよく効力(名) 効力、法力
[効力發生]ハツセイ發生効力[法
律上の効力]法律上の効力
かうりん降臨(名) 降臨(coming)
光臨の降世(神佛)
がうるる壕壘(名) 壕壘 「大
がうれい高齡(名) 壽高、歲數兒
がうれい號令(名) 號令
かうれう香料(名) 香料
かうろ香爐(名) 香爐
かうろ航路(名) 航路、行船路、航
綫、航道、路線

かうろ抗路(名) 地道
かうろう高樓(名) 高樓
かうろん高論(名) 高論 高談
濶論(御高論拜聴感佩の至に存
候)敬聞高論欽佩莫名
かうろん抗論(名) 辯駁
かうわ媾和(名) 講和、結和、聯
和、議和、修好、復和(講和條約)
(ワヤク)和約、講和條約
かうゐ行爲(名) 行爲(hsing'wei)
動作、行動、行止、所作、所行
かうゐ高位(名) 高位
かうを好惡(名) 好惡(hao'wei)
かか家家(名) 家家戶戶
かか(名) 媽(マ)、媽媽(ママ)媳婦
兒(マ)

かか呵呵(副) 哈哈(呵呵と打笑ふ)
哈哈的笑
かかあ嬾(名) 嬾(自珍老婆、賤内、
内人)の媳婦兒(嬾天下)「テシカ
婦人拿事的、女性之天下、牝雞
司晨
かかい加階(名) 加階、升階
かかい河海(名) 河海 「兇手
かがい加害(名) 害、加害(加害者)
ががう雅號(名) 著述別號
かかく價格(名) 價值、價目(價格
表記郵便)「キイウビシ」保險函件
かかく家格(名) 門地
かかぐ掲グ(下二段他動) 掲(簾を掲
ぐ)掲簾、捲簾子 掲(旗を掲げ
る)掲旗子 掲、記載(新聞に掲
げる)登在新報上 掲拉(衣を

掲げる)抵拉起衣裳來 掲(名
を掲ぐ)具名 掲、振(燈を掲げ
る)1. 把燈苗振(men)起來(洋心)
撥撥燈(行燈) 2. 掛燈(シラケル)
かがく歌學(名) 詠歌之道
かがく家學(名) 家學
がかく賀客(名) 來賀喜的客
かかさま母様(名) 媽
かかさん母様(名) 同上
かかし案山子(名) 茅人、草人、關
鳥兒的草人、又念かがし
かがと踵(名) 踵、脚跟、脚後跟
[靴の踵]鞋後跟
かかはる係ル・拘ル(四段自動) 有
關繫、有關(生命に係る)關於生
命、有性命之憂「私の名譽に係
る」關於我的名聲、有礙我的名

聲の拘泥、拘(細事に拘る)拘泥
細故(多少に拘らす)不拘多少、
不論多少、不限多寡(晴雨に拘
らす)風雨勿阻 掌管
かかふ抱フ(下二段他動) 抱(子
供を抱へる)抱孩子(乳母を抱へ
る)雇一個奶媽子(車夫を抱へ
る)包一個車夫
かかへ抱(名) 抱 雇 摟(一と
抱)二摟(二た抱)合抱
かかへいる抱入ル(下二段他動) 抱
住、持抱 摟
かかへおび抱帶(名) 裕包(シヨ)
かかへぐるま抱車(名) 包月的車、
自用的車、自己捺的車 「車夫
かかへしやふ抱車夫(名) 包月的

かか

かがまる 屈ル(四段自動) 屈身
 かがみ鏡(名) 鏡子(鏡にうつす) 照鏡子(合せ鏡で照す) 拿兩個鏡子打閃(鏡立) 鏡支兒、鏡整兒、鏡臺(鏡掛) 同上(鏡臺) 磨鏡匠(鏡餅) 圓形餅糕
 かがみ鑑(名) 鑑、榜樣兒(彼を鑑にする) 拿他做榜樣兒
 かがむ 屈ム(四段自動) 屈、曲、彎(腰が屈む) 彎腰(年老、歸腰)
 かがむ 屈ム(下二段他動) 彎、曲、屈(腰を屈める) 彎腰
 かがやく 赫ス(四段自動) 赫、耀、輝

かか

耀、發光、照光、射光、晃(日光に赫く) 耀于日光(受日光閃亮) 太陽が赫く、太陽亮、日頭照光(國威赫く) 國威赫(國勢發揚) 此言葉を開くと彼等の顔面は赫いて來た、一聽這話他們臉上就眉開眼笑起來了、
 かからふ 係フ、拘フ(四段自動) 與か
 かかり掛(名) ①掛、懸 ②掌事的、司事的、股(會計掛) 管銀、管帳目的(調査係) 調査股、管、掌管(あの人は庶務掛をやつて居る) 他辦雜務司的、事情(此方の掛は誰ですか) 管這個事情的、是誰 ③費用(此處は物價が高くて日日の掛が多い) 這兒的物價貴所以日中費用多 ④蓋得

かか

「この家は掛が中中立派だ」這個房子蓋得多麼好看 ⑤稅、捐(掛物を納める) 上稅、納捐 ⑥一齊、一塊兒(總掛でやればすぐ出来る) 大家一齊動手立刻就可以完了
 かかり係(名) 與かかりことば同
 かかり斯有リ(具足有) 是如此
 かがり 籌(名) 燎、庭燎
 かがり大鋸(名) 大鋸
 かかりあひ掛合(名) ①關繫 ②連累、帶累、牽涉(收賄事件に掛合つて拘留された) 他連累收賄的案看押了(あの裁判事件は又多くの掛合が出來て來た)

かか

那個案又牽涉出好些個人來了
 かかりうご掛人(名) 過繼的兒子
 かかりことば係辭(名) そ、や、か、なむ、こそ之五助詞謂之係辭、凡文章中有ぞ、や、か、なむ則其結尾用動詞形容詞第四變化、有こそ則用第五變化謂之結、所謂係結之規則是也
 かがりび 籌火(名) 燎、庭燎、薪燎
 かがりぶね 籌船(名) 燒火打魚的船
 かがりまけ 掛負(名) 所進不抵所
 かがりまつ 籌松(名) 火把用的松
 かがりもの 掛物(名) 稅、捐、木
 かかる 掛ル(四段自動) ①掛、懸、吊(さか様に懸る) 倒懸(電線が空に懸る) 電綫是半懸空裡懸着

かか

倚、凭、靠、扶(椅子にかかると靠着椅子) 欄干にかかると扶着欄干(老人が子にかかると老頭兒靠着兒子) 醫者にかかると靠着大夫(スガ) 請大夫 ③拄(老人が杖にかかると歩む) 老頭兒拄着棍子走 ④赴體(神がかかると) 神仙赴體(狐があの人にかかると居る) 狐狸赴體的體了 ⑤下(霧がかかると) 下霧 ⑥得(病氣がかかると) 得病、犯病 ⑦受、被、にかかると 得病、犯病 ⑧受、被、叫(災難にかかると) 叫入笑話 ⑨陷、の口にかかると 叫入笑話 ⑩陷、落(誘惑にかかると) 落在圈套裡 ⑪關(これは私の一身にかかると) 這件事情關於我一身的

かか

大事(あれが氣にかかると夜も眠られない) 那件事情我很關心睡也睡不着覺 ⑩着(shao) 雨にかかると 着雨 ⑪攻(敵にかかると) 敵兵 ⑫灣(船がかかると) 船灣了 ⑬用、得、要(金はいくらもかかりません) 用不了多少錢(此處から上海まで何日かかりますか) 從這兒到上海得多少日子 ⑭濺(とばしりがかかると) 濺泥、濺水 ⑮帶(少し赤味がかかると) 微帶點兒紅顏色 ⑯見、看(初めてお目にかかります) 初次見面 ⑰上(大きな魚が網にかかると) 撒網把大魚打上來了(網にかかると) 拿網撈上 ⑱將、要、剛、快

かか かき

〔死にかかる〕將死、臨死、要死
 〔日が出かかる〕太陽要出來、日
 頭快冒嘴兒〔本を讀みかかる〕剛
 要念書〔茶が無くなりかかる〕茶
 葉將到盡頭、茶葉快完上來了
 ①起來〔仕事にかかると〕做起活來
 〔學校の前を通りかかる〕走到學
 校的前頭②遮〔月に雲がかかると〕
 月亮叫雲彩遮住了③費〔手がかか
 かる〕費事
 かかれば斯レバ〔後〕 因爲這個緣
 故所以……
 かがん 河岸〔色〕 河岸、河邊、河沿
 〔ががんほ〕 臭蚊子
 かき 柿 子
 かき垣〔色〕 籬笆、圍牆〔竹の垣〕
 竹籬笆〔板垣〕板牆、木板牆、板

かき

開牆
 かき 牡蠣〔色〕 牡蠣、海蠣、蠔
 かき 夏季〔色〕 夏季〔夏季休業〕キウ
 暑假〔chia〕
 かぎ 鉤〔色〕 鉤、鐵鉤兒
 かぎ 鍵〔色〕 鑰、鑰匙〔鍵穴〕ア、鑰
 孔、鑰匙眼、鎖頭門兒、鑰匙
 門兒
 かぎ 歌妓〔色〕 歌妓、唱女曲兒的
 がき 餓鬼〔色〕 ①餓鬼②餓鬼道③
 禍害星〔大勢〕小鬼崽子兒〔子供ヲ、
 糞〕sing 孩子〔上〕
 かき あぐ 搔上グ〔下二段他動〕 ①搔〔髮
 を搔上ぐ〕把頭髮往上攏②撥
 〔燈火を搔上ぐ〕撥燈
 かき あぐ 書上グ〔下二段他動〕 ①寫完
 了②記載

かき

かき あつむ 攝集ム〔下二段他動〕 撮〔木
 の葉を攝集める〕把樹葉兒攏到
 一塊兒
 かき あつむ 書集ム〔下二段他動〕 攏湊
 かき いる 書入ル〔下二段他動〕 ①寫上、
 挿註、添註②押、當、典③填寫
 〔書物に註を書入れる〕書
 上註解〔耶〕を書入る〕典房子
 〔帳簿に書入れる〕填冊、填簿
 かき いれ 書入〔色〕 ①註解、挿註、
 側註、旁註②押、當、典〔今は農
 家の書入時だ〕現在是在於農家最
 要緊的時候兒
 かき おき 書置〔色〕 陰狀、遺書、遺
 字、遺囑
 かき おく 書置ク〔四段他動〕 記錄、記
 かき おくる 攝送ル〔四段他動〕 撥船、

搖船

かき おとし 書落〔色〕 落下的字
 かき おとし 書落ス〔四段他動〕 落下字
 かき がね 掛金〔色〕 窗戶鈎兒、門
 鈎
 かき かぶ 書換フ〔下二段他動〕 改寫、
 更換〔證書を書換ふ〕更換字據、
 換新字據〔私〕かに書換へる〕
 私改、作假、竄改
 かき がら 牡蠣殻〔色〕 蠔殼〔牡蠣殻
 灰〕
 かき きる 搔切ル〔四段他動〕 斬、砍
 かき ぐすり 嗅藥〔色〕 薰藥
 かき くだす 書下ス〔四段他動〕 往下
 接着寫
 かき くはふ 書加フ〔下二段他動〕 ①挿
 註、添註②填寫〔所へ〕、填寫〔填〕

かき

かき くはへ 書加〔色〕 註、旁註、側
 註
 かき くもる 攝曇ル〔四段自動〕 ①起來
 かき けす 攝消ス〔四段自動〕 天陰
 かき こし 垣越〔色〕 隔牆〔ツルコト、
 踰牆〕
 かき こみ 書込〔色〕 透籬笆〔カキゴシニ
 透シテ〕
 かき こむ 書込ム〔四段他動〕 ①記載
 ②挿註、添註、填寫
 かき こむ 攝込ム〔四段他動〕 揣〔懷へ
 攝込む〕揣在懷裡〔飯を攝込む〕
 把飯往嘴裡直撥拉
 かき こもる 攝籠ル〔四段自動〕 ①もる同
 かき ざき 鈎裂〔色〕 副衣裳
 かき ざす 書止ス〔四段他動〕 寫到半
 截兒上攏下筆
 かき しぶ 柿澁〔色〕 柿油

かき

かき すう 昇据ウ〔下二段他動〕 擡來安
 置
 かき そこなひ 書損〔色〕 寫錯了的
 かき そこなふ 書損フ〔四段他動〕 寫
 錯了
 かき そふ 書添フ〔下二段他動〕 ①添寫
 ②再啓〔手紙〕、又啓〔函〕
 かき ぞめ 書初〔色〕 試筆、開筆
 かき だし 書足〔色〕 添的註、添寫
 的
 かき だし 書出〔色〕 ①寫出來〔書き出
 ②單子〔ツク〕、總帳〔賣リタルモノ
 ③頭
 かき たす 書足ス〔四段他動〕 添寫、添
 かき だす 書出ス〔四段他動〕 ①寫起
 來②開出來③抄出來〔彼は字を
 書き出すと二時間でも三時間でも

かき

かき

筆を止めない」他一寫起字來兩點鐘三點鐘的工夫兒也不住筆(不停筆)「付は書出してくれましてか」我的賬你都給我開出來了麼(必要な處け書出しておきなさい)把要緊的地方兒抄出來罷

かきだす 挿出ス(四段他動) 掏出來
〔爐の灰を挿出す〕掏出爐灰來
かきだす 嗅出ス(四段他動) ① 聞出味兒來(香ヲカ) ② 探出來、探明、探知(人の秘密を嗅出す)探出人的機密的事情來、顯形兒、代形像
かきたつ 挿立ツ(下二段他動) ① 撥(燈火を挿立つ)撥燈 ② 鬆攏(風呂の湯を挿立てる)鬆攏洗澡水 ③ 沖(片栗粉を挿立てる)沖藕粉 ④ 挿

かき

「火を挿立てる」搜火
かきたつ 書立ツ(下二段他動) 寫的張明昭着(ohari)
かきたてぎ 挿立木(名) 吃虎兒(シシイ)〔挿立棒(ボウ)〕同上
かきたばこ 嗅烟草(名) 鼻烟兒(嗅烟草入)〔鼻烟盒兒、鼻烟瓶、鼻烟壺兒〕
かきちらし 書散(名) 任着筆寫的
かきちらす 書散ス(四段他動) 任着筆寫、亂寫、亂塗、濫寫、潦草着寫
かきちん 書貫(名) 筆資、潤筆之
かきつく 書付ク(下二段他動) 寫上
かぎつく 嗅付ク(下二段他動) 與かきだす同 「寫好了
かきつくす 書盡ス(四段他動) 全都

かき

かきつけ 書付(名) ① 文書 ② 單子
かきつばた 燕子花(名) 燕子花
かきつむ 書詰ム(下二段他動) ① 寫滿
② 竟寫(十行ぎっしり書詰める)十行都寫滿(朝から晩まで書詰める)整天家竟寫
かきつらぬ 書連ヌ(下二段自動) 開列
〔下に書連り〕開列於下
かきて 書手(名) ① 法家(書寫)法家主兒(師) ② 能筆、潤筆
かきとむ 書留ム(下二段他動) 紀錄、記載、謄寫、抄錄、謄錄、寫下、存記、記留
かきとめ 書留(名) ① 記事、紀錄
② 與書留郵便同(此手紙を書留にして下さい)這一封信要掛號(書留郵便)(ウチン)掛號的信、單

かき

掛號(普通)、雙掛號(遠州)〔書留小包〕(フクロ)包裹保險
かきとり 書取(名) 默書、默寫
かきとる 書取ル(四段他動) ① 默書
② 謄寫、抄錄、謄錄
かきながし 書流(名) 任着筆寫的
かきながす 書流ス(四段他動) 任着筆寫
かきなほし 書直(名) 改寫的
かきなほす 書直ス(四段他動) ① 改寫、從新改寫 ② 繙譯(暗號を報九普通文に書直す)繙譯暗碼、譯明暗碼
かきならす 搔鳴ス(四段他動) 彈、撫、抓(琴を搔鳴す)彈琴、撫琴、抓琴、操琴
かきにくし 書難シ(形久括) 難寫(字)

かき

難畫(字)、不好寫、不好畫
かきぬき 書拔(名) 抄寫的、撮要、選錄
かきぬく 書拔ク(四段他動) 抄寫、抄繕、抄錄、抄謄、簡要緊的寫
かきね垣根(名) ① 牆根兒(カキ) ② 圍牆(カキ)、籬笆(マガキ)〔垣根草〕(クサ)牆根兒長的草
かぎのて 鈎手(名) ① 鈎、彎曲、鈎兒似的 ② 有偷東西的毛病、愛偷東西
かぎばこ 鍵箱(名) 裝鑰匙的匣子
かきはじむ 書初ム(下二段他動) 下筆、落筆、寫起來
かきはじめ 書初(名) ① 下筆、落筆 ② 頭裡寫的字(初ノノ方ニ)〔かぎばな鈎鼻(名) 鈎兒鼻子

かき

かきはん 書列(名) 花押
かきふ 下級(名) 下級、下等(下級官廳)(シヤクツ)下級公署
かきまず 搔雜ズ(下二段他動) ① 攪、攪合、合攪、鬆攏(卵を一つ割つてよく搔雜せなさい)「(No.1)一個雞蛋好好兒的鬆攏鬆攏(風呂の湯を搔雜せる)把洗澡水鬆攏 ② 沖(片栗粉を搔雜せる)沖藕粉 ③ 混騰(さう道具を搔雜せる)你別這麼混騰東西
かきまはす(四段他動) 同上 「同
かきまみ垣間見(名) 與かいまみ
かきみだす 搔亂ス(四段他動) 攪、擾、攪亂、擾亂、打攪
かきもち 缺餅(名) 黏糕片兒
かきもの 書物(名) ① 寫字 ② 文書

かき

かきやう佳境(名) 佳境

かきやう家郷(名) 家郷

かぎやうへんかく加行變格(名) 動

詞語尾有こ、き、く、くる、くれ
之變化者謂之加行變格、所屬
之語唯有來之一語而已「吏

かきやく書役(名) 書記、書辦、書

かきよく歌曲(名) 歌曲

かぎり限(名) ①限②除(出願は本

月十五日限です)報名以本月十

五爲限(命に限がある)壽數有

限(この限にあらず)不在此限

「今日限酒は飲みません」以今天

爲限往後再不喝酒「いくら言っ

ても限がない」怎麼說也說不盡

(說不了)「見渡す限皆水田です」

一望都是水田(金錢見收其場限)

かき

銀子當面兒瞧回頭不換(當日限

有効)即日可用逾期作廢(一回

限有効)祇准一次有效(あの人が

心を改めない限は末の見込が無

い)除了他改了心萬不能有出

息兒(雨が降らない限は行きま

す)除了下雨我是一定去的

かぎり限(後) 儘着、所有的(根

限働く)儘着力兒做活(有る限使

ひ果す)所有的錢都花完了、有

多少錢花多少錢

かざる限(後) 限(範圍を限

る)限範圍(期限を限る)限期(さ

うとは限らない)未必然(あの人の

の話は本當とは限らない)他說的

話未必是真的(明日死ぬとも限

らない)保不定明天死(何に限ら

かき

「無論甚麼、不拘甚麼(誰に限

らず此規約を犯す者は必ず罰す)

無論誰有犯這個規則的就必定

罰(此重任を責ふ者は彼に限りま

す)擔這沈重的除了他沒有人

(やるなら今に限ります)若是辦

現在正是時候兒、若錯過這個

機會就時不再來(今度募集の人

員は五十名と限ってあります)這

回招募的額數以五十名爲限

(あの人に限りそんな破廉耻の事

はしません)別人我不知道就是

他不敢做那麼屈心的事(西洋は

かしが文明だと限りません)東洋の

文明もそれには劣りません)別說

就是西洋各國文明我們東方的

文明也亞賽西洋的(この券は一

枚一人に限る)此券准一人持用、

每券祇限一人(二百五十人を限

り入國を許す)限二百五十人准

其入國(彼に限る)非他不可

かきわく掻分ク(下二段他動) 分開(草

村を掻分けて行く)分開亂草往

前走

かきん家禽(名) 家禽

かく角(名) ①角、犄角(牛角)牛犄

角(鹿角)鹿犄角②方、稜、角(三

角)三角兒、三稜子(四角)四角

的(六角)六角兒③見方(五寸角)

五寸見方④土角(山東角を繞り

て走る)繞着山東土角走⑤磔

(角を入れる)磔馬(磔ニテ馬ノ腹ヲ

踏テ馬ヲ走ラス)⑥

的(肥子、月子

かく格(名) ①格、地位、品級、班

かきかく

次②銜(家の格)門地(格の高い

人)爵位大的人(大將の格)上將

銜(格を外す)破格、一拘一格

かく闊(名) 闊

かく額(名) 額數

かく膈(名) ①胸膈②胃癰

かく核(名) 核、仁、仁兒

かく客(名) 客

かく各(名) 各

かく搔ク(四段他動) ①搔、抓、撓、撓

かく搔く)撓頭、撓腦袋(靴を隔

てて痒を搔く)隔靴搔癢(櫛で頭

を搔く)拿木櫛撓腦袋(痒を搔

く)抓痒痒、撓痒(搔いて痕をつ

ける)抓了一道口子②彈(弾(弾)

〔琴を搔きならす〕彈琴、撫琴、操

琴、抓琴③耙(灰を搔く)耙爐灰

かく

〔熊手で搔く〕拿耙子耙④掃(雪

を搔く)掃雪⑤石(首を搔く)砍

腦袋⑥擽(水を搔いて泳ぐ)擽水

走、浮水

かく書ク(四段他動) ①寫字、畫

〔字を書く〕寫字(畫を書く)畫畫

兒(手紙を書く)寫信(書付を書

く)寫單子、開單子②編、著作

〔本を書く〕編書、著作書③作、

撰〔文章を書く〕作文章、撰文④

立〔契約書を書く〕立合同

かく昇ク(四段他動) 抬(一人以上が棒ニテ、

擡(荷物を昇く)台行李(轎を

昇く)擡轎子(棺を昇く)擡槨

かく(四段他動) ①出(汗をかき)出汗

②熱(あぐらをかき)熱着腿坐③

長(chang)犯(額觸(ツツ)をかき)

かく

かく

犯羊角瘋病〔皮癬(ヒゼ)をかく〕長疥癬①打〔打(ヒキ)をかく〕打呼〔耻をかく〕弄臉、沒有臉、沒有面子〔裏をかく〕將計就計

かく 缺ク〔四段他動〕①缺、欠、落、漏〔一字を缺く〕落一個字、漏一個字〔義理を缺く〕欠情兒、忘恩〔一日も缺く可からず〕一日不可缺、一天也不可少、一天也少不得的、一天也短不得的〔事を缺く〕缺手〔經驗を缺く〕缺歷練②壞、砸〔皿をかく〕把盤子砸了③耽悞〔暇をかく〕耽悞工夫兒〔勤を缺く〕耽悞公事

かく 缺ク〔下二段他動〕①虧、缺②壞、砸〔月缺く〕月亮虧〔茶碗がかけた〕茶碗砸了

かく

かく 掛ク〔下二段他動〕①掛、懸〔山水の掛物を掛ける〕掛一幅山水的畫兒〔蜘蛛が巢を掛ける〕蜘蛛掛網〔かばんを掛ける〕掛皮包〔氣に掛ける〕掛心、掛意、掛念、慮念、懸心、擱心、惦记、介意〔氣に掛けない〕不掛意、不慮念、不介意、沒擱心、不懸心〔どうか氣に掛けないで下さい〕請您別介意〔そんな小さい事は氣に掛けないともよい〕這麼小的事您不用掛心〔時計を柱に掛ける〕把鐘掛在柱子上〔看板を掛ける〕掛幌子②搭〔着物を繩に掛けて乾す〕把衣裳搭在繩子上晒〔橋を掛く〕搭橋〔小屋を掛ける〕搭棚、支搭棚③澆、射〔花に水をかけ

かく

る〕澆花兒〔ポンプで水をかける〕用唧筒射水④擱〔漬物に醬油をかける〕鹹菜擱點兒醬油〔餅の上にも糖をかける〕年糕上擱白糖⑤坐〔椅子に腰を掛ける〕在椅子上坐⑥扯〔帆をかける〕扯篷⑦戴〔眼鏡を掛ける〕戴眼鏡⑧乘〔七に八を掛ける〕七個乘上八個、七拿八乘⑨穿、圍〔涎掛を掛ける〕把圍嘴兒穿上〔肩掛を掛ける〕把圍脖兒圍上⑩放〔火をかける〕放火⑪費〔あの家を建てると五萬圓を掛けた〕他蓋那所房子費了五萬元⑫上〔肥をかける〕上糞⑬灣〔船をかける〕灣船⑭擦〔雑巾をかける〕拿擦布擦⑮鎖〔門を掛ける〕把門鎖上⑯微

かく

〔税を掛ける〕課稅、徵稅⑦下〔手をかける〕下手⑧喊、叫〔聲を掛ける〕喊、叫〔詞(コト)を掛ける〕叫聲兒⑨安〔係蹄(ツ)を掛ける〕安上圈套⑩立〔梯子(ハシ)をかける〕立梯子⑪起來〔仕事を仕掛ける〕把活做起來⑫於〔私は商賣にかけては全く不案内です〕我於商務上一概不明白⑬邀〔秤(ハタ)に掛ける〕用秤邀、過秤〔命掛(イノチ)でやる〕拚着命辦〔情ナシ)をかける〕看待〔謎(メ)をかける〕1. 出燈虎兒 2. 拿話探人的意思〔思を掛ける〕懸慕〔鼻に掛ける〕自大、自誇〔昨日は御足勢を掛けました〕昨天您的駕〔願(カネ)を掛ける〕發下心願〔人の顔

かく

に唾(ツバ)を掛ける〕照着人的臉上啐了一口吐沫〔人に迷惑をかける〕叫人爲難、叫人受累

かく 賭ク〔下二段他動〕賭、打賭、賭個彩兒、賭個東兒、賭東道〔賭(カ)をする〕同上〔賭物(カケ)をかく〕同上

かく 家具(カ) 傢俱、什物、器具、かぐ 嗅ク〔四段他動〕①聞〔香を嗅ぐ〕聞味兒②探知〔様子を嗅ぐ〕探知意思

かく 額(カ) ①額、腦門子②匾額〔額(カ)に、挿屏兒(額ニカケルガ)③額

かく 學(ガク) 樂(ガク) 音樂

かく 學(ガク) 數

かく 夢(カク) 夢

かく

かくい 隔意(カクイ) 心意不對、隔心、隔(カクイ)膜〔二人の間に隔意がある〕兩個人心裡有隔膜〔隔意なく話す〕開言吐語的說、打開鼻子說亮話

かくい 學友(ガク) 學友、同學、學

かくい 架空(カク) ①天空中的、空中的、懸空的②虛幻的、空想的、憑空忘想的〔架空線(カク)〕架空線、空中線

かくい 閣下(カク) 閣下

かくい 學界(ガク) 學界

かくい 學校、學堂、學

かくい 斯斯(ガク) 與かうかう同

かくい 擱岸(ガク) 擱淺

かくい 閣議(ガク) 閣議

かくい 學期(ガク) 學期

二四七

二四六

かく

かくき 樂器(名) 樂器(jueh¹ ch'i¹)
 がくきう 學究(名) 學究、念書人
 がくきふ 學級(名) 班、級、學級
 がくぎよ 鱈魚(名) 鱈、鱈
 がくくわ 學課(名) 功課、課程(學課を習ふ) 學功課(學課を復習する) 溫習功課
 がくくわ 學科(名) 學科、功課(學科は幾つに分れて居ますか) 功課分幾門
 がくぐわい 格外(名) 格外
 がくくわい 學會(名) 學會
 がくくわんてき 客觀的(名) 客觀的、對象的、物界的
 かくけ 脚氣(名) 脚病
 かくげつ 客月(名) 上月
 かくげつ 隔月(名) 隔一個月

かく

かくげふ 學業(名) 學業
 かくげん 格言(名) 格言、金言、箴言、訓言
 かくご 客語(名) 在一文章中爲他動詞之目的之名詞謂之客語、譬如猫捕鼠(猫が鼠を捕ふ)之鼠也
 かくご 覺悟(名) 覺悟の決心(此れ位の損害は覺悟の前でした) 我吃這些個虧我早就擱在心上了(覺悟を定める) 決定自己的主意、拿定了主意
 かくこく 各國(名) 各國
 がくこつ 顎骨(名) 牙牀骨
 かくざ 擱坐(名) 淺住、淺擱(船が擱坐した) 船擱了淺了
 かくさい 客歲(名) 去年

かく

かくさい 隔歲(名) 隔一年(chiueh¹)
 かくざたう 角砂糖(名) 方塊糖
 かくじ 隱(名) 藏 衣兜兒(ポック)
 かくじ 角字(名) 楷書 中國字
 かくじ 各自(名) 各自(ko¹ tsu¹)
 かくじ 香具師(名) 與やし(野師) 同
 かくし 學士(名) 大學校卒業生、
 かくし 學資(名) 學費(學資金) 同上
 かくし 樂師(名) 樂師(jueh¹ shih¹)
 かくしがま 匠構(名) 扁框兒
 かくしき 格式(名) 品格、款式
 がくしき 學識(名) 學問與見識
 ② 見識、學問上的見識
 かくしげい 隱藝(名) 酒令兒
 かくしご 隱事(名) 機密的事情、鬼鬼祟祟的事情

二四八

かく

かくしご 隱語(名) 隱語、謎話、切口
 かくしせい 隱勢(名) 埋伏的兵
 かくしだて 隱立(名) 遮掩、蒙蔽、遮蔽、遮瞞、掩蓋、藏私(話に隱立をしない) 說話不藏私(そんなに隱立をしないで) よい人は皆知つて居るのに) 你不用這麼遮掩這件事人都知道的
 かくしつ 確執(名) 固執己見
 かくしつ 角質(名) 角質、角素
 かくしつ 隔日(名) 隔一天(chiueh¹)
 「隔日に行く」 隔一天一去
 かくじつ 確實(名) 確實、的確、確然、實在、妥實、牢靠、準切、靠準兒、絲毫不差的(確實なる保

かく

證人) 殷實舖保(ニテ)、妥實保人(確實なる報道) 確音、確信、確耗、可靠的消息(この話は確實です) 這話是決不錯的、這話是實在的(此時計は確實です) 這個錶很準、這個錶走的絲毫不差
 かくしづま 密妻(名) 外婦、外家
 かくしごころ 隱所(名) 男女下體
 かくしな 隱名(名) 匿名、隱姓埋名
 かくしばい ちよ 隱賣女(名) 土娼
 かくしふるん 學習院(名) 貴冑學堂
 かくしめ 隱女(名) 與かくしづま
 かくしや 客舍(名) 客店、客棧、店
 かくしや 客車(名) 客車、客座車

かく

かくしや 學者(名) 念書的人、讀書人、有學問的人、學者、宿學、儒家、儒士、學士、文豪(學者ぶる) 自街博學、滿口之乎者也、賣弄學問
 かくしゆ 獲取(名) 得、取得、得着、得有、獲得(利權を獲取する) 取得利權 一種、各項、各式各樣
 かくしゆ 各種(名) 各樣、各色、各學術
 かくじゆつ 學術(名) 學問與技術、學術
 かくじよう 確證(名) 實據、確據、
 かくじよく 學殖(名) 學問有素
 かくしをど 隱男(名) 情夫、姦夫、外遇
 かくしをんな 隱女(名) 外婦、外
 かくしん 確信(名) 確信、堅信、自

二四九

かく

信

かくしん 隔心(名) 與かくい(隔) かくしん 革新(名) 革新、更新、改
新、改革

かくしん 閣臣(名) 内閣大臣

かくす 隠す(四段他動) ① 藏、隠、匿

〔隠して言はない〕隠瞞着不説實話〔人の物を隠す〕藏人家的東西〔罪人ゝ家に隠す〕把罪人藏在家裡、窩留犯人〔身を隠す〕藏身、躲身、藏躲、躲避〔名を隠す〕隱姓埋名、匿名 ② 遮、遮掩、蓋、遮蓋、遮掩、蒙、蔽〔顔を隠す〕掩面、蓋臉、遮臉〔隠し切れなくて賞を云ふ〕遮掩不了認出來了〔過を隠す〕掩過、遮掩、錯處〔目を隠す〕遮眼睛、蒙上眼

かく

晴

晴(雲が月を隠す)雲蔽月、雲彩 蒙月亮 ③ 埋、埋伏〔兵を隠す〕埋かくせい 隔世(名) 隔世 〔伏兵かくせい 學生(名) 學生、學員(學生監) ④ 學監

かくせい 學制(名) 教育制度、學制

かくせき 學籍簿(名) 學籍簿

かくせつ 學說(名) 學說

かくせん せき角閃石(名) 角華瑛、角華石

かくそく 學則(名) 學校條規

かくそで 角袖(名) ① 大袖子 ② 與角袖巡查同〔角袖巡查〕(ユンサ) 穿便衣的巡警、常服警察 〔班

かくたい 樂隊(名) 樂隊 (バンド)、樂

かくたう 類堂(名) 在神廟佛廟掛匾額的堂

如是〔此の如き大事〕如此大事 〔先は御川答まで此の如くに御座候〕專此佈復順頌日社

かくのり 角乘(名) 水上泛木頭、在此木頭上演各樣之伎謂角乘

かくは 學派(名) 學派、學流

かくはう 確報(名) 確報、確實的

かくはし 馨(形志久活) 馨、香

かくはん 各般(名) 各樣、各色

かくばん 隔番(名) 輪班 〔筆

かくひつ 摺筆(名) 摺筆、佳筆、停

かくふ 樂譜(名) 樂譜 (sheet)

かくぶつ 格物(名) 格物

かくべじ 角兵衛獅子(名) 耍獅

かくべい 略稱角兵衛

かくへき 隔壁(名) ① 牆、板壁 ② 隔

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

かく

窩留犯人(賊をかくまふ)窩賊、
藏賊(賊品をかくまふ)窩藏

かくめい革命(名) 革命

かくめい學名(名) 學名(於學術上、命名之名、和漢之學名)

かくめん額面(名) ①匾額(カ) ②票

面價值、面價、票面價格、券面

額、額面價格(額面價格で賣買す

る)照面價買賣(市價が上って額

面價格以上になった)市價漲高在

面價以上(中國銀行の紙幣は額

面通に通用します)中國銀行の

紙幣照面額可以通用(額面同

價)①額面同價 票面同價

かくもん學問(名) 學問(學問をす

る)學問、念書

かくや樂屋(名) 後臺、戲房

かくらん客臘(名) 去年臘月

かくらん攪亂(名) 攪亂、擾亂、打

攪

かくり隔離(名) 隔離、隔開、單放、

單擱、分隔(病人を隔離する)分

隔病人、叫病人分居(隔離室)

(シ)分隔的病房、隔離舍、另居

的病屋、隔居病房 「有基礎

かくりつ確立(名) 立定、立準、立

過去 ②躲避、躲匿、逃匿、隱遁

(隠れて出て来ない)他躲避不出

來(月が雲に隠れる)月亮叫雲彩

蒙上了(山林に隠る)退歸林下、

隱遁山林(御尊父様はいつ御隠

れなさいましたか) 令尊大人多

許去世了

かくらぶ客臘(名) 去年臘月

かくらん攪亂(名) 攪亂、擾亂、打

攪

かくり隔離(名) 隔離、隔開、單放、

單擱、分隔(病人を隔離する)分

隔病人、叫病人分居(隔離室)

かくらぶ客臘(名) 去年臘月

かくらん攪亂(名) 攪亂、擾亂、打

攪

かくり隔離(名) 隔離、隔開、單放、

單擱、分隔(病人を隔離する)分

隔病人、叫病人分居(隔離室)

(シ)分隔的病房、隔離舍、另居

的病屋、隔居病房 「有基礎

かくりつ確立(名) 立定、立準、立

過去 ②躲避、躲匿、逃匿、隱遁

(隠れて出て来ない)他躲避不出

來(月が雲に隠れる)月亮叫雲彩

蒙上了(山林に隠る)退歸林下、

隱遁山林(御尊父様はいつ御隠

れなさいましたか) 令尊大人多

許去世了

かくらぶ客臘(名) 去年臘月

かくらん攪亂(名) 攪亂、擾亂、打

攪

かくり隔離(名) 隔離、隔開、單放、

單擱、分隔(病人を隔離する)分

隔病人、叫病人分居(隔離室)

(シ)分隔的病房、隔離舍、另居

的病屋、隔居病房 「有基礎

かくりつ確立(名) 立定、立準、立

過去 ②躲避、躲匿、逃匿、隱遁

(隠れて出て来ない)他躲避不出

來(月が雲に隠れる)月亮叫雲彩

蒙上了(山林に隠る)退歸林下、

隱遁山林(御尊父様はいつ御隠

れなさいましたか) 令尊大人多

許去世了

かくらぶ客臘(名) 去年臘月

かくらん攪亂(名) 攪亂、擾亂、打

攪

かくり隔離(名) 隔離、隔開、單放、

單擱、分隔(病人を隔離する)分

隔病人、叫病人分居(隔離室)

かくれい格令(名) 内閣總理大臣

所發之命令、國務總理令、「齡

かくれい學齡(名) 就學年齡、學

かくれいは隱岩(名) 暗礁

かくれい閣僚(名) 內閣大臣、閣

員、國務員

かくれう學寮(名) 學寮、寄宿館

かくれが隱家(名) ①隱士之家 ②隱

藏之處、隱匿之處、埋伏兵之處

かくれがさ隱笠(名) 蔽身之笠

かくれどころ隱所(名) 隱藏之處、

隱匿之處、埋伏兵之處

かくればしよ隱場所(名) 同上

かくれみの隱簀(名) 隱蔽身體之

簀衣

かくれんばう隱坊(名) 藏門隔

かくらぶ客臘(名) 去年臘月

かくらん攪亂(名) 攪亂、擾亂、打

攪

かくり隔離(名) 隔離、隔開、單放、

單擱、分隔(病人を隔離する)分

隔病人、叫病人分居(隔離室)

(シ)分隔的病房、隔離舍、另居

的病屋、隔居病房 「有基礎

かくりつ確立(名) 立定、立準、立

過去 ②躲避、躲匿、逃匿、隱遁

(隠れて出て来ない)他躲避不出

來(月が雲に隠れる)月亮叫雲彩

蒙上了(山林に隠る)退歸林下、

隱遁山林(御尊父様はいつ御隠

れなさいましたか) 令尊大人多

許去世了

かくらぶ客臘(名) 去年臘月

かくらん攪亂(名) 攪亂、擾亂、打

攪

かくり隔離(名) 隔離、隔開、單放、

單擱、分隔(病人を隔離する)分

隔病人、叫病人分居(隔離室)

かくるん閣員(名) 閣員、國務員

かくん家君(名) 家君、家嚴

かくん家訓(名) 家訓

かけ掛(名) 除、除賣、掛帳、掛欠

(掛で取る)除來(掛で買ふ)同上

(掛で賣る)除賣(掛を拂ふ)還帳

(掛を催促する)追帳(掛を集め

る)要帳(掛をすっかり勘定する)

完帳、清帳

かけ賭(名) 賭、賭博(賭をする)打

賭、賭東道、賭個東兒、賭賽(賭

に勝つ)贏東道、贏東兒(賭に負

ける)輸東道、輸東兒(どっちが

勝つか)一つ賭をしませう)件們打

一個賭看看那(nō)個勝那個敗

かけ駈(名) 跑

かけ調(名) 片、破片、碎塊、頭、釐

かけ

かけ

かけ

かけ

かけ

かけ

かけ

かけ

かくらぶ客臘(名) 去年臘月

かくらん攪亂(名) 攪亂、擾亂、打

攪

かくり隔離(名) 隔離、隔開、單放、

單擱、分隔(病人を隔離する)分

隔病人、叫病人分居(隔離室)

(シ)分隔的病房、隔離舍、另居

的病屋、隔居病房 「有基礎

かくりつ確立(名) 立定、立準、立

過去 ②躲避、躲匿、逃匿、隱遁

(隠れて出て来ない)他躲避不出

來(月が雲に隠れる)月亮叫雲彩

蒙上了(山林に隠る)退歸林下、

隱遁山林(御尊父様はいつ御隠

れなさいましたか) 令尊大人多

許去世了

かくらぶ客臘(名) 去年臘月

かくらん攪亂(名) 攪亂、擾亂、打

攪

かくり隔離(名) 隔離、隔開、單放、

單擱、分隔(病人を隔離する)分

隔病人、叫病人分居(隔離室)

(シ)分隔的病房、隔離舍、另居

的病屋、隔居病房 「有基礎

かくりつ確立(名) 立定、立準、立

過去 ②躲避、躲匿、逃匿、隱遁

(隠れて出て来ない)他躲避不出

來(月が雲に隠れる)月亮叫雲彩

蒙上了(山林に隠る)退歸林下、

隱遁山林(御尊父様はいつ御隠

れなさいましたか) 令尊大人多

許去世了

かくらぶ客臘(名) 去年臘月

かくらん攪亂(名) 攪亂、擾亂、打

攪

かくり隔離(名) 隔離、隔開、單放、

單擱、分隔(病人を隔離する)分

隔病人、叫病人分居(隔離室)

かくれい格令(名) 内閣總理大臣

所發之命令、國務總理令、「齡

かくれい學齡(名) 就學年齡、學

かくれいは隱岩(名) 暗礁

かくれい閣僚(名) 內閣大臣、閣

員、國務員

かくれう學寮(名) 學寮、寄宿館

かくれが隱家(名) ①隱士之家 ②隱

藏之處、隱匿之處、埋伏兵之處

かくれがさ隱笠(名) 蔽身之笠

かくれどころ隱所(名) 隱藏之處、

隱匿之處、埋伏兵之處

かくればしよ隱場所(名) 同上

かくれみの隱簀(名) 隱蔽身體之

簀衣

かくれんばう隱坊(名) 藏門隔

かくらぶ客臘(名) 去年臘月

かくらん攪亂(名) 攪亂、擾亂、打

攪

かくり隔離(名) 隔離、隔開、單放、

單擱、分隔(病人を隔離する)分

隔病人、叫病人分居(隔離室)

(シ)分隔的病房、隔離舍、另居

的病屋、隔居病房 「有基礎

かくりつ確立(名) 立定、立準、立

過去 ②躲避、躲匿、逃匿、隱遁

(隠れて出て来ない)他躲避不出

來(月が雲に隠れる)月亮叫雲彩

蒙上了(山林に隠る)退歸林下、

隱遁山林(御尊父様はいつ御隠

れなさいましたか) 令尊大人多

許去世了

かくらぶ客臘(名) 去年臘月

かくらん攪亂(名) 攪亂、擾亂、打

攪

かくり隔離(名) 隔離、隔開、單放、

單擱、分隔(病人を隔離する)分

隔病人、叫病人分居(隔離室)

かげ鹿毛(名) 黃馬 「峭壁

かげ崖(名) 崖、山崖、崖石、懸崖、

かけ掛(接尾) ①就手、順手(歸りが

けに友達を訪ふ) 往回裡就手兒

上朋友家裡去 ②拚(命がけです

る)拚命着辦 ③大(此船はあれの

三倍かけある) 這隻船比那個有

三倍大 ④折(折) (八九折) 八九

折(七折) 七折、七扣

かけあし駈足(名) 跑、跑步(體操)

跑步走(進足) 「關繫 ②乘

かけあはす掛合ス(下二段他動) ①使

かけあひ掛合(名) ①輪流着、換

替着 ②交渉、商議、接洽(掛合

がつかない)商議不安(掛合をす

る)商議、商量(掛合にて讀む)輪

流着念

かけ

かけ

かけ

かけ

かけ

かけ

かけ

かけ

かけあふ掛合フ(四段他動) ①交渉、商議、商量、接洽(値段を掛合ふ)講價、商量價錢、磋商價目
 ②當、敵得住(先方に掛合ふ)和人家商議、和人家交渉(牛一匹の引く力は馬二匹に掛合ふ)一隻牛拉車的气當兩匹馬
 かけい家兄色 家兄私
 かけい家系色 家系、世系
 かけい家計色 家計、生計、家道
 かけい嘉慶色 喜事、慶典
 かけい雅兄色 雅兄
 かけう架橋色 搭橋
 かけうり掛賣色 賒賣、記賬(現金掛賣なし)現錢不賒(この店では掛賣するかしないか)你們舖子記賬不記賬

かけおち駈落色 逃亡、逃匿、私奔、淫奔、走下去了、和別人勾搭上了走下去了、跟人跑了、誘女私逃、拐女私奔
 かけがね掛金色 與かきがね同
 かけがへ掛替色 替換(此品は掛替がない)這個東西就是一個沒有替換
 かけきん掛金色 上會錢額母子謀、
 かげぐち蔭口色 後言、背後說的話(蔭口をきく)背後罵人、背地裡說人、背後毀謗人
 かけくらぶ掛比フ(二段他動) 比、比較
 かけくらべ掛比色 比、比較
 かけくらべ駈比色 賽跑
 かけこ懸子色 子蓋兒、子箱兒、

かけこ懸子 盒子
 かけこ賭事色 賭、賭博、賭錢、耍錢、打賭
 かけこ陰言色 與かけくち同
 かけこば掛詞色 兩歧語
 かけこむ駈込ム(四段自動) 驀進、跑進去
 かけこる掛聲色 叱、吆喝
 かけぎを掛竿色 掛竿兒暫得手杖
 かけざん掛算色 乘法
 かけじ掛字色 掛幅、直幅、條幅、條山、捲軸、對聯對(掛字掛)挑竿兒
 かけじ缺字色 缺筆
 かけせん掛錢色 與かけきん同
 かけせん陰勝色 長生傑

かけだし駈出色 ①跑去 ②新手、生手兒、沒經過事的
 かけだす駈出ス(四段自動) 跑、跑出
 かけちく掛軸色 與かけじ同
 かけちやや掛茶屋色 茶攤兒
 かけつ可決色 可決
 かけづ掛圖色 掛圖
 かけつく駈付ク(二段自動) 趕着去到、跑到(消防夫が駈付けたが一面の火で仕方がない)救火夫趕着去了可火大救不了(醫者が駈付けて介抱した)大夫趕着去瞧病去了
 (かけっこ) 賽跑 「跑西頭」
 (かけづる) 駈ルル(四段自動) 奔走、東
 かけて掛テテ 預先、從前
 かげどうろ影燈籠色 與まはり

どうろ同
 かけどり掛取色 要賬的要取、收賬的要取、要賬掛ラ取 「影畫戲
 かげにんぎやう影人形色 影戲、
 かけね掛値色 謙價、打價兒、二價(私共の店では掛値は申しません)我們舖子不打價兒、我們舖子言無二價
 かけはし掛橋色 棧道
 かけばないけ掛花瓶色 掛瓶兒
 かけはなる掛離ルル(二段自動) 背、離遠、窩遠(學校は城外で掛離れて居るから不便です)我們學校在城外頭太遠所以很不方便(道がかけはなれて居る)道兒很窩遠(あそこは掛離れて居るから常に追剥が出る)那兒太背常有劫

脱人的事情(雙方の價があまり掛離れて居る)兩面講的價錢差的太遠
 かけばり懸針色 排牌
 かけひ懸樋色 篋
 かけひき駈引色 調度チヤウ、
 機變、照應、見景生情(商賣は駈引が必要です)做買賣要緊的是調度(あの人は商賣の駈引が上手です)他會照應買賣
 かげひなた影日向色 ①陰陽 ②行為有表裏(影日向なく働く)一個勁兒做活(影日向のある働ぶり)好作眼面前兒的、眼面前兒光的、獻勤兒的、賣弄殷勤的
 かげふ家業色 家業
 かげべんけい影辨慶色 嘴裡竟

説大話的

かげほし 蔭干(名) 晾、陰晾兒(着物を蔭干にする) 晾衣裳
 かげほふし 影法師(名) ①影戲(シヤエ) ②人的影兒 「姑、鬼子
 かげま 陰間(名) 變童、相公、像
 かげまはる 駈廻ル(四段自動) 與かけづる同
 かけむかひ 掛向(名) 二人對坐
 かけめ 缺目(名) ①分量不足 ②壞了的地方
 かけめ掛目(名) 斤兩、分量
 かけもち 掛持(名) 兼、兼務、兼管、兼做(私は二つの學校を掛持して居る) 我兼教兩個學校
 かけもの 掛物(名) 與かけじ同
 かけもの 賭物(名) 注、賭頭、賭

物、注彩、下注的彩物(賭物なかける) 見于かく(賭) 條下
 かけや 掛矢(名) 大槌
 (かけら 缺片(名) 與かけ同
 かける 翔ル(四段自動) 翔、飛
 かける 驅ル(四段自動) 跑、快跑
 かげる 蔭ル(四段自動) ①陰 ②太陽平西
 かげろふ 陽炎(名) 游絲
 かげろふ 蟬(名) 蟬
 かけわたし 掛渡(名) 過秤、過磅
 かげる 影畫(名) 影戲
 かけを懸緒(名) 纏、冠纓
 かげん 家憲(名) 家法、家規
 かげん 嘉言(名) 嘉言
 かげん 下弦(名) 下弦
 かげん 下元(名) 下元節(陰曆十月一日)

かげん 加減(名) ①加減 ②程度(今日は體の加減が悪い) 今天我覺着不舒服(今日は頭の加減が悪い) 今天我腦袋疼(風呂の湯は丁度よい加減です) 洗澡水開的正好(今日は濕形) が丁度よい加減です) 今年雨水調勻(あの人はよい加減の事を云ふから信用出來ません) 那個人說話沒準(舌頭所) 以靠不住、他說話老是虛應故事(別信他) (今日の料理は大層加減がよい) 今天的菜做得口味很好(よい加減にして止める) 做到合宜的地方撒手、辦到筋筋兒上撒手(この卵は丁度よい加減に煮てある) 這個雞蛋子兒煮的

筋助兒

かげん 家嚴(名) 家嚴
 かげん 雅言(名) 雅言
 かご 籠(名) 水夫、水手
 かご籠(名) 籠、筐子、簍子
 かご 駕籠(名) 轎子(駕籠昇)(カキ) 轎夫、轎班、擡轎的
 かご 加護(名) 加護
 かご 雅語(名) 雅語
 かご 河口(名) 河口
 かご 加工(名) 加工、經工(材料に加工する) 把材料加工工作(加工品) 經工貨件、成物、熟貨
 がごう さう 鴉口瘡(名) 口寄生炎、口醉炎、小兒白口瘡
 がごう つし 籠寫(名) 雙鉤
 かごく 苛酷(名) 刻薄、苛刻、苛酷

かご 籠字(名) 雙鉤字、空心字、白字 「輿告狀、欄輿遞稟
 かご 駕籠(名) 欄輿上書、欄
 かご 託(名) 託(四段他動) ①藉口(ケルコ) ②歎、悲歎
 かご 託(名) 託(下二段他動) 托、藉口、託詞、借詞、借端、藉故、藉名
 [病に託けて來ない] 托病不來[事故に託けて斷る] 托故推辭 「同
 かご ぬき 籠拔(名) 與かごうつし
 かご 圍(名) 圍牆(圍を結ぶ) 搭圍牆
 かご 圍(名) 外婦、外家
 かご 圍(名) 同上
 かご 圍(名) 圍、圍住
 [四方から圍ふ] 四面圍住(薦モ)

かご 圍(名) 圍上席 ②收、藏、收藏
 [菓物を圍っておく] 收果子(白菜を圍ふ) 把白菜收着 ③包(妾を圍ふ) 包一個外家 ④搭(塙を圍ふ) 搭圍牆
 かご 圍(名) 圍 ②圍牆
 かご 圍(名) 記性壞的
 かご 圍(名) 圍、圍住、圍繞、包圍、圍住、圍繞(風も透さぬ程に取圍む) 圍了個風雨不透
 [敵兵に圍まれた] 叫敵兵圍住了
 [碁を圍む] 圍碁、下碁
 かご 籠屋(名) ①編筐子的 ②賣筐子的
 かご や 駕籠屋(名) 轎夫
 かさ 笠(名) ①笠 ②傘 ③蓋兒 ④風圈(カサ) ⑤雨傘 ⑥雨傘(日傘)

〔ヒ〕早傘〔編蝠傘〕〔カウキ〕洋傘〔傘尾〕〔ヤ〕傘舗〔菌の笠〕〔キノコ〕蕨姑頭、菌傘〔電燈の笠〕〔デンタク〕電燈罩兒〔ランプの笠〕燈遮、燈套兒、燈帽兒〔主人の威光を笠に被る〕狐假虎威、以事仗事、倚仗着主人的勢力

かさ椽〔色〕松塔兒〔カサ〕

かさ瘡〔色〕①瘡〔モキ〕②梅毒瘡、疥瘡、瘡毒、大瘡〔瘡をか〕長〔chang〕了楊梅毒

かさ嵩〔色〕物之大小、物之尺寸、物之厚大、容積、容量、體積

かさ香〔色〕香味兒

かさあな風穴〔色〕氣眼〔風穴〕、通風氣眼、風斗兒

かさい家財〔色〕①傢俱〔色〕②家産、

家資、家財、家私、家當兒

かざいれ風入〔色〕抖晾、晒晾

かざう家相〔色〕風水〔家相見〕〔看風水的、風水先生〕

かざう假裝〔色〕喬裝改扮、假扮、扮作別人、粧扮〔坊主に假裝する〕粧扮和尚、假粧僧人〔女に假裝する〕扮作女裝〔假裝行列〕〔ヤウレギ〕喬裝游行〔假裝舞踏會〕〔ウクワタ〕奇粧跳舞會、喬裝跳舞會

かざう家藏〔色〕家藏

かざかき瘡搔〔色〕長〔chang〕疥瘡

かざかき〔副〕略咬略咬的、啣控的聲兒〔虎が草村の中でかざかきして居る〕老虎在亂草裏開略咬略咬的響〔犬が新聞の上でかざかきして居る〕

がさと音をさせる〔狗在報紙上刨紙囉控囉控的有聲兒〕

かざがさ〔副〕同上

かざかみ風上〔色〕上風、上風頭

かざぎ笠木〔色〕衝木

かざきり風切〔色〕①風信旗

かざく家作〔色〕房屋、房産〔家作で飯を食ふ〕吃瓦片兒

かさく佳作〔色〕佳作

かざぐすり風藥〔色〕治傷風的藥

かざぐるま風車〔色〕風車、搦車

かざけ風氣〔色〕有傷風的樣子

かざこゝろ風聲〔色〕傷風嗓子啞了

かざさき鴿〔色〕喜鴿

かざした風下〔色〕下風、下風頭、背風面

かざしも風下〔色〕同上

かざじるし風標〔色〕風標、占風的、候風的

かざす鬚ス〔四段他動〕①插在頭髮上

かざす搨、遮〔扇を鬚す〕拿扇子搨〔ang〕着〔手を額の上に鬚す〕把手擱在腦門子上遮着〔花を鬚す〕把花兒插在頭髮上

かさだか嵩高〔色〕様子大、體積大

かざつ〔色〕舉動粗魯、鹵莽

かざなぎ風和〔色〕風住波浪平靜

かざなみ風並〔色〕風向、風邊

かさなる重ル〔四段自動〕①堆、疊

かさなる重〔四段他動〕①堆、疊

かさねがさね重々〔副〕重重〔ch'ung'ung' ch'ung'ung'〕疊次的、屢次的、再三再四的〔重重のお目出度で實に慶賀の至りです〕重重見喜實在可賀之至〔重御馳走にな

磊、積、累

かさね重々〔副〕重重〔ch'ung'ung' ch'ung'ung'〕疊次的、屢次的、再三再四的〔重重のお目出度で實に慶賀の至りです〕重重見喜實在可賀之至〔重御馳走にな

かさね重々〔副〕重重〔ch'ung'ung' ch'ung'ung'〕疊次的、屢次的、再三再四的〔重重のお目出度で實に慶賀の至りです〕重重見喜實在可賀之至〔重御馳走にな

かさね重々〔副〕重重〔ch'ung'ung' ch'ung'ung'〕疊次的、屢次的、再三再四的〔重重のお目出度で實に慶賀の至りです〕重重見喜實在可賀之至〔重御馳走にな

って恐入ります〕屢次的叨擾您我心中不安

かさねぎ重着〔色〕套衣裳、套上穿かさねて重テ〔副〕屢次的、疊次的、再

かさばち瘡鉢〔色〕禿瘡

かさばな風花〔色〕①初冬下の細雨

かさばる嵩張ル〔四段自動〕様子大、かさぶた瘡蓋〔色〕疥癬兒〔ko'chiki〕

かさほろし風癩〔色〕痲子、癩疹、かさま風間〔色〕風住的時候兒

かさまち風待〔色〕候風

かざまつり風祭〔色〕祭祀風伯之かざまど風窓〔色〕氣眼、通風、氣通

かざみ 風見(名) 風標、占風の候
 風の、順風旗、驗風旗、風計、驗
 風標
 かさむ 嵩ム(四段自動) 增多(負債が
 嵩む) 欠的錢增多 「河の水が嵩
 む」河水漲發
 かざむき 風向(名) 風向、風邊、風
 頭、風颯的方向(風向が悪くなっ
 たので叛兵は皆逃げた) 看出風
 頭不好亂兵都逃跑了
 かざよけ 風除(名) 禦風牆、風牆
 かざり 飾(名) ①飾、粧飾、修飾、
 裝潢 「これは飾で實用にはなら
 め」這不過是個修飾品沒有實
 用(この刀は飾が立派です)這把
 刀裝潢的很好看の擺設(室内/裝飾
 物) ②頭髮(飾を下す)剃髮(頭の

飾)首飾(婦人)「飾職」(シヨク)首飾
 匠(婦人ノ頭飾)嵌銀匠(工屋)「飾付」
 (ツク)擺設、陳設、粧飾、修飾、裝
 潢(飾繩)(ナ)新年門「掛的細
 子(支那ニテハ紙ニテ切り抜キタル繩ノ
 形ニタルモノヲ掛ク、ヲ掛ルト云フ)「飾
 物」(モノ)擺設兒、粧飾的東西、
 陳設(飾屋)(ヤ)與飾職司(飾銀)
 (シ)飾釘、門泡子(門釘子)「
 飾ぼたん」作裝飾用的釘卸、活
 釘子
 かざりつく 飾付ク(下二段他動) 擺設
 兒、粧飾、修飾
 かざる 飾ル(四段他動) 飾、粧飾、修
 飾、粉飾、妝點、粧修、矯飾、潤
 色(外面を飾る)打扮外面、修飾
 外面(體裁を飾る)同上(非を飾
 る)飾非、遮飾(言葉を飾る)飾

言、矯飾而言
 かざをれ 風折(名) 叫風颯折
 かさん 加算(名) 加法
 かさん 家産(名) 家産、家資、産
 業、家業、家當兒
 かし 慳(名) 櫛
 かし 柳(名) 柳
 かし 戕(名) 繫船櫓子
 かし 河岸(名) 河岸、河沿兒
 かし 貸(名) 貸、借、人該的、人欠
 的(あの人に五十圓貸がある)他
 該我五十元(まだ百圓貸になつて
 居る)他還欠我一百塊錢
 かし 家資(名) 與かさん同
 かし 下士(名) 弁、軍士、弁目
 かし 下賜(名) 賜、下賜、給予、授
 與、發給(下賜金)下賜金

かし 家士(名) 家臣
 かし 下肢(名) 腿 「氣絶、悶絶
 かし 假死(名) 暈絶、失魂、假死、
 かし(感)常在一句之終末以整語
 勢(疾く行けかし)快去罷(見よ
 かし)看看 「家裡的事
 かし 家事(名) 家事、家政、家務、
 かし 餓死(名) 餓死、饑死、饑饉死
 かし 畫紙(名) 見ぐわし條下
 かしいへ 貸家(名) 租房、招租的
 房子(貸家あり御望の方は尾張町
 林宅(御來談下され度候)吉房招
 租如意者請至尾張街林宅面議
 かし かり 貸賣(名) 賒賣 「可也
 かし か 獸(名) 杜父魚
 かし か 河鹿(名) 石雞子
 かし か 貸方(名) ①債主、放主

兒、眼主子、放債人(債)貸
 項、付項、付方 「鬧、喧鬧
 かし がまし 器シ(形志久語) 喧、喧
 かし かむ(四段自動) 拘攣、凍僵(寒
 くて手がかじかむ)冷の手都拘
 攣(huan)「包車、整車
 かし きり 貸切(名) 包的(貸切車)
 かし きる 貸切ル(四段他動) 包(この
 客車は貸切です)這個客車是包
 的
 かし く 恐(名) 婦人尺牘末尾用此
 かし く 炊ク(四段他動) 炊、煮
 かし く 傾グ(下二段他動) 歪、斜(頭を
 傾げる)歪着腦袋(帽子を傾げて
 破る)歪戴着帽子
 かじく(下二段自動) ①零萎、萎落(草
 木がかじける)草木萎落 ②怕冷、

拘攣(chi' huan)「寒くて手がか
 じける」冷の手拘攣 「弁口
 かし く わん 下士官(名) 弁、軍士、
 かし こ 彼處(代) 彼處、那兒、那
 かし こ 恐(名) 惶恐 「裡、那邊
 かし こ し 恐シ、畏シ(形久語) ①惶恐
 ②感恩的、感謝的 「明、伶俐
 かし こ し 賢し(形久語) 賢、賢明、聰
 かし こ ところ 賢所(名) 皇宮內祭
 祀皇祖皇宗的殿(清朝北京皇城内ニ祭
 祀ナリ) 「恭敬 ②敬知、遵命
 かし こ 二まる 畏ル(四段自動) ①畏敬、
 謹遵
 かし ざし き 貸座敷(名) ①借給人
 的屋子(人ニ貸) ②下處、妓館
 かし さ げ 貸下(名) 官借給百姓傢

かし

伏或地皮等之謂
 かししようもん貸証文(名) 借約
 (金)借字兒(同) 房租(名) 租
 字兒(名) 租契(同) 「同
 かしせき貸席(名) 與かしざしき
 かしそつ下士卒(名) 軍士與兵、
 兵弁
 かしだな貸店(名) 租舖子
 かしち貸地(名) 租地
 かしち家賃(名) 典房
 かしちん貸賃(名) 賃錢、房錢(名)、
 賃車費(名)、賃馬費(名)、租價(名)
 (物品)租錢、租銀、租費、租項
 かしづき傳(名) ①服侍、服事 ②服
 侍的人、伺候的人(傳人) ③同
 上
 かしつく貸附(下二段他動) 借給人

かし

家、放賑、放債、放欸、放欸
 かしづく傳(下二段自動) 傳、服侍、
 伺候
 かしつけ貸附(名) 放賑、放欸、缺
 銀、缺欸(以上) 出賃(名) 貸附
 期限(名) 借字租字兒上寫的
 日限(貸附金) 缺銀、缺欸、放的
 限(貸附料) 與かしちん同
 かして貸手(名) 債主、放主兒、賬
 主子、放債人
 かしぬし貸主(名) 同上
 かしは柏(名) 檝、橡樹(柏餅) (モチ)
 橡樹葉包的有餡兒黏糕
 かしは黃鷄(名) ①黃鷄 (ニハトリ)
 ②鷄肉
 かしはで拍手(名) 拍手(時) (拍手
 を打つ) 拍手

かし

がしふ我執(名) 固執己見、執拗
 かしぶんさん家資分散(名) 倒行、
 出倒產業、傾家產
 かしま貸間(名) 出租的屋子
 かしまだち鹿島立(名) 起身、動
 身、啓行、起程
 カシニヤ(名) (Cashmere) 北印度
 地方所産山羊毛製成之絨布、
 斜絨
 かしや貸屋(名) 與かしい(同) 貸
 屋札(名) 房帖兒、房飛子
 かしやう嘉賞(名) 嘉賞
 かしやう河床(名) 江底、河底
 かじやう下情(名) 下情(下情が上
 に通じない) 下情不能上達(下情
 を酌む) 體貼民心
 がしやう牙齒(名) 牙行

二六二

かし

かしやく呵責(名) 呵責、申飭、責
 備(良心の呵責を感ずる) 覺的良
 心責備自己
 かしやく假借(名) 假借、寬貸(假
 借しない) 無所假借、決不寬貸
 かしやく假釋(名) 假釋(シラケ出
 出賃三新棉被(三新ハ表モ裏モ)
 かしゆ嫁娶(名) 嫁娶
 がしゆ雅趣(名) 雅趣
 かしゆう家從(名) 貴族管家的
 かしゆう家塾(名) 家塾
 かしよ家書(名) 家書、家信
 かしよ箇所(名) 地方(分らない箇
 所があれば彼に尋ねなさい) 有不
 明白的地方跟他問問
 かしら頭(名) ①頭、腦袋、首(頭が

かし

痛い) 頭疼、腦袋疼(頭をおろす)
 刺頭(頭の霜) 白頭(頭の雪) 同上
 (頭を振る) 搖頭(頭を集めて相談
 する) 大家湊合商量 ②頭目、頭
 兒、頭領、首領、魁首、爲首的
 (泥棒の頭) 賊的頭目、賊頭兒、
 賊首
 かしらあげ頭上(名) 擡頭寫
 かしらがき頭書(名) 整頭標註
 かしらじ頭字(名) ①頭一個字 ②
 字母大字、頂格字、標頭字、首
 字、首字母
 かしらだつ頭立(四段自動) 當頭
 かしらもじ頭文字(名) 與かしら
 じ同
 かしらほね頭骨(名) ①頭骨 ②魚
 かしらやく頭役(名) 頭目人、首領

かし

かじりつき齧付(名) 咬、咬
 かじりつく齧付(四段他動) ①咬、
 咬 ②戀官捨不得擱下、戀棧
 かじる齧ル(四段他動) ①咬、咬、齧
 ②學過一點兒(鼠が單符を齧る)
 ③耗子咬衣櫃(英語を少し齧る)
 學過一點兒英國話(子供が玉蜀
 黍(トウモロコシ)を齧る) 小孩兒齧老玉
 かしん家臣(名) 家臣 「米
 かしん河身(名) 河身
 かしん嘉辰(名) 嘉辰
 かじん家人(名) 家人、家子、家屬
 かじん歌人(名) 詩人、詩家
 かじん佳人(名) 佳人、美人
 かす滓(名) 脚、滓、渣、坭滓
 かす糟粕(名) 酒糠、酒渣
 かす(四段他動) ①淹、浸 ②浙(カス)

二六三

かす

〔米をかす〕浙米

かす貸ス、借ス(四段他動) 出租(家)

出賃(物品上) 放帳、出借、放款、放債(金上)

貸すさうですが貴下は借りませんか

か) 聽說他的房要出租您租不租

利(金を貸して利を取る) 放賬生利

た) 借給他的那錢還我了(智慧を借す) 給人做主意(一寸煙草の火を借して下さい)

借給我個火兒使一使、請您對個火(力を貸す) 幫助、幫忙、爲力、幫一臂之力

一寸御耳を借して下さい) 把耳朶順過來

かす假ス(四段他動) 假、借(天之年を假す) 天假之年(文) 〔法を犯

せば假す所なし) 犯法無所假多、犯法的決不寬貸

かす嫁ス(四段他動) 嫁、出嫁、出聘、婚嫁(人に嫁す) 嫁人、出嫁、出門子(禍を人に嫁す) 嫁禍於人

かす架ス(四段他動) 架、搭(橋を架す) 搭橋

かす乾ス(下段自動) 生痲、結塔、疔痲兒(腫物が乾せる) 疔瘡結痲

かす數(名) ①數(数) ②許多、好些個(數は幾つあるか數へてこらん) 你數一數有多少(数を出す) 數(数) 出數兒(数ある畫の中で好いのは一つしか無い) 這好些個畫兒裡頭好的不過有一個(數ならぬ身) 才學

惚的、微、幽微、輕微、稀薄、模糊、朦朧(燈微なり) 燈朦朧亮、燈光發暗、燈色發昏(微な光) 微光、微明、微亮、隱隱的光亮(微な聲) 弱聲、隱隱的聲音(幽に其事を聞いた) 我恍惚聽見了人說過這件事情(微な利を得る) 得微利、獲蠅頭微利、獲蠅頭之利(微に見える) 迷迷糊糊的看得見、看得模糊(微に息がある) 少微有點兒氣息(微な暮を立てる) 過小日子

かすかす(名) ①乾(この林檎はかすかすで食へられない) 這個苹果乾的不好吃 ②僅、僅僅、剛剛(かすかす足りる) 僅僅兒的殼、將殼、剛殼

かすかず數數(名) ①許多、種種 ②屢次的、再三再四的

かすがひ(名) 鐵、馬釘、鐵馬、鉤子、釘絆(鐵で止める) 馬住、鈎住、拿銅子銅

かすさし(名) 數差(色) 與かずとり同

かすしれず(名) 數不知(色) 數(数) 不

かずつか(名) 數塚(名) 箭攏子(過來

かずづけ(名) 糧漬(名) 酒糟醃的菜

かすていら(名) 雞蛋糕、喀斯特

かすてら(名) 同上

かすとり(名) 數取(名) 霽

かすの二(名) 數子(名) 乾魚子

かすみ霞(名) 霞霧、霧氣

かすむ霞(名) 陰、瞞望不真、烟雲的、烟霧的、朦朧、花(空が霞む) 天起霞霧(眼が霞む)

かす

かすかず數數(名) ①許多、種種 ②屢次的、再三再四的

かすがひ(名) 鐵、馬釘、鐵馬、鉤子、釘絆(鐵で止める) 馬住、鈎住、拿銅子銅

かすさし(名) 數差(色) 與かずとり同

かすしれず(名) 數不知(色) 數(数) 不

かずつか(名) 數塚(名) 箭攏子(過來

かずづけ(名) 糧漬(名) 酒糟醃的菜

かすていら(名) 雞蛋糕、喀斯特

かすてら(名) 同上

かすとり(名) 數取(名) 霽

かすの二(名) 數子(名) 乾魚子

かすみ霞(名) 霞霧、霧氣

かすむ霞(名) 陰、瞞望不真、烟雲的、烟霧的、朦朧、花(空が霞む) 天起霞霧(眼が霞む)

かす

疎淺、無一所長(數知れず) 不計其數、數(数) 多數(数) 不過來(なき數に入る) 死了、過去了、去世了

かす瓦斯(名) (Gas) ①氣、氣體、瓦斯、氣質 ②煤氣(石炭瓦斯) (セキタ) 煤氣(水素瓦斯) (スイキ) 淡氣(窒素瓦斯) (チソ) 硝氣(毒瓦斯) (ドク) 毒氣、毒瓦斯(ガスエンジン) 氣體機關、氣體引擎、煤氣機關、煤氣發動機(ガスランプ) 煤氣燈、氣燈(ガスマントル) 煤氣網罩、自來火罩、紗罩燈、紗帽(ガスマントル) 煤氣表(瓦斯管) 氣管、煤氣管(瓦斯會社) 煤氣廠、自來火公司(瓦斯竈) 煤氣灶、煤氣爐(瓦斯器) (ガス) 氣體貯藏器(瓦斯

二六四

二六五

かす

眼睛花、眼睛模糊、眼昏不明、眼睛發迷糊

かすむ 掠ム (下二段他動) 掠、搶掠、掠

かすり 掠 (名) ①擦、抓 ②用錢、抽頭 (掠り取る) 抽頭、抽分兒、抽水

かすり 飛白 (名) ①布帛之紋 ②不沾墨的筆道兒 (スリカ)

かすりきず 掠傷 (名) 踏破、抓破

かする 掠ル (下二段自動) ①擦抓 ②不沾墨的筆道兒 (スリカ)、字有不沾墨的筆道兒

かする 掠ル (四段他動) ①擦 ②抽頭兒、抽分兒、抽水 ③刮、刷 (彈丸が頭を掠る) 槍子兒從頭皮兒擦過去了 (職人の頭を掠る) 抽工人的頭兒 (車が掠る) 車刮 (Kare) 了

かすかせ

我了

かする 下垂 (名) 下垂、墜

かせ 棹 (名) 絡柅、繫絲之具

かせ 柳 (名) 柳 (非人ノ首ニ嵌ムル刑具ナリ木ヲ以テ造リ長三尺重二斤九寸アリ) (手枷) 手枷 (足枷) 脚鐐 (首枷をはめる) 柳號、擔柳

かせ 風 (名) 疾痴兒

かせ 風 (名) 風 (大風) 大風 (追手風) (オヒテ) 順風 (向風) (ムカヒ) 頂風、逆風 (東風) (トカシ) 東風、谷風 (西風) (ニシ) 西風、泰風 (北風) (キタ) 北風、涼風 (南風) (ミナミ) 南風、凱風 (早風) (ハヤテ) 疾風、急風 (涼い風) (イソシ) 涼風、清風 (海の風) (ウミノ風) 海風 (一陣の風) 一陣風 (暴風) (フウ) 暴風、狂風 (そよ吹く風) 輕風 (微風) (柔き風) 和風、溫風、溜

かせ 風 (名) 疾痴兒

かせ

二六六

溜的風 (耳を切る風) 剪刀風、透骨風 (山風) (ヤマ) 閃山風 (旋風) (ツムジ) 羊角風、旋風 (風の神) 風伯、風神 (風の力) 風力 (風が吹く) 颯風 (風が止む) 風息、風住 (今日は少しも風が無い) 今天一點風絲兒也沒有 (どんな風の吹廻で貴下が來られたのですか) 甚麼風兒把您吹來了 (風を引いた) 傷了風了、着了涼了 (風のたよりに聞く) 風聞 (臆病風が吹く) 起怯心 (主人風を吹す) 使主子性兒 (大盡) 風を吹かす 做潤人的樣子、支起潤架子來 (風を食って逃る) 乘間 (sion) 逃走

かせい 加勢 (名) ①幫助、援助、幫忙、爲力 ②幫手、教兵、援兵

かせ

かせい 家政 (名) 家事、家務、內政、家政、家計、家道

かせい 家聲 (名) 家聲

かせい 苛政 (名) 苛政

かせい 苛稅 (名) 苛稅

がせい 我精 (名) 儘着力兒、專心

かせい かり 苛性加里 (名) 苛性加里、輕養化鉀

かせい 蘇達、輕養化鈉

かせい 蘇達、輕養化鈉

かせい 蘇達、輕養化鈉

かせい 蘇達、輕養化鈉

かせい 蘇達、輕養化鈉

かせ

かせつ 假設 (名) 暫且設立 ②假設、假定、設論、設辭、設端、設

かせつ 佳節 (名) 佳節 「使之詞

かせつ 佳節 (名) 佳節 「使之詞

かせつ 佳節 (名) 佳節 「使之詞

かせつ 佳節 (名) 佳節 「使之詞

かせつ 佳節 (名) 佳節 「使之詞

かせつ 佳節 (名) 佳節 「使之詞

かせつ 佳節 (名) 佳節 「使之詞

かせつ 佳節 (名) 佳節 「使之詞

かせつ 佳節 (名) 佳節 「使之詞

かせつ 佳節 (名) 佳節 「使之詞

かせ

二六七

かそう 下層 (名) ①下等、下品、下流 ②下段 (下層の人民) 下流人、下作人

かぞく 家族 (名) 家族、眷族、家屬、眷口、家眷 (御家族は當地にお出ですか) 寶眷在這兒哪麼 (家族は東京に居ります) 家眷在東京

かぞく 雅俗 (名) 雅俗 (雅俗兩用)

かぞく 雅俗 (名) 雅俗 (雅俗兩用)

かぞく 雅俗 (名) 雅俗 (雅俗兩用)

かぞく 雅俗 (名) 雅俗 (雅俗兩用)

かぞく 雅俗 (名) 雅俗 (雅俗兩用)

かぞく 雅俗 (名) 雅俗 (雅俗兩用)

かぞく 雅俗 (名) 雅俗 (雅俗兩用)

かぞく 雅俗 (名) 雅俗 (雅俗兩用)

かぞく 雅俗 (名) 雅俗 (雅俗兩用)

數清、算清(數が多くて數切れな
い)數(shu)太多數(shu)不過來
かぞへたつ數立ッ(下二段他動) 數
(shu)起來、算起來

かそくど 加速度(名) 加緊速率
かぞへどし數へ歳(名) 頭尾(この
子は來年になれば數へ歳の三つで
す) 這小孩子到了明年頭尾三
歳 「汽油、揮發油
ガソリン(名) (Gasoline)發動油、
かた肩(名) 肩、肩膀兒、肩頭、肩
膊(肩を怒らす) 端着肩膀兒(肩
を脱ぐ) 光着脊梁(肩を比ぶ) 比
肩、比駕、並肩、並排兒(肩が凝
る) 肩膀兒累乏(肩にかつぐ) 肩
挑(肩を抜く) 擱下(肩を持つ) 仗
膽子(肩を換へる) 換肩兒(肩で

かたあし片足(名) 一隻腿(片足棉
の中に突込んで居る) 半身入土
的(片足で跳ぶ) 單脚跳、單腿
跳、跳踏兒(片足で立つ) 金雞
獨立、翹着腿
かたあて 肩當(名) 拖領 「手
かたあひて片相手(名) 敵手、對
かたあめ 固飴(名) 關東糖
かたいき 片息(名) 氣息奄奄、喘
吁吁的、掏(kao)氣
かたいぢ 片意地(名) 擡槓、扭別、
左性、左皮氣、拂人性的、擡着
人的、擰性、固執、執意(片意
地を張らずによく私の言ふ事を聞
け) 你別擡槓好好兒的聽我的
話
かたいばう 片一方(名) 一邊兒、

風を切つて歩く) 搖搖擺擺的走、
大搖大擺的走
かた湯(名) ①沙灘 ②灣 ③湖
かた形(名) ①形、式、形體、様子、
様式(朝顔形) 喇叭花兒式 ②形
容、形貌 ③花樣、紋(この緞子は
形があまり派手だ) 這個摹本緞
花樣太華美 ④榜樣、例、規矩
「形の如く始末する」照例辦 ⑤尺
寸(大形) 大尺寸的(小形) 小尺
寸的 「點心模子
かた型(名) 模子、模型(菓子型の型)
かた方(名) ①方、方位、方向(東
の方) 東方(西の方) 西方 ②法子
(法)、法(法) 教(教へ方) 教法(造り
方) 做法 ③人、...的(敵方) 敵方
敵方(勘定方) (カンゼ) 掌會計的

かた 一面(貴下は片一方の話しばかり
聞いて居ては駄目です) 您竟聽
一面之詞不行(足袋の片一方が
破れた) 一隻襪子破了
かたう 歌道(名) 詩學
かたう 家道(名) 家道
かたう 河道(名) 河道
かたうで 片腕(名) ①一隻手 ②倚
仗的人、股肱、心腹的人
かたおち 片落(名) 偏重、偏愛、偏
向、不允平
かたおもひ 片思(名) 單思、單思
病、剃頭挑子、一頭熱一頭兒冷
かたおや 片親(名) 父親或是母親
かたがき 肩書(名) 姓名上寫的官
職住址等、頭銜、官銜(肩書入の

人、司眼的 ①的、得(行き方が晚
い) 去的晚了(走り方が速い) 跑
得快(書き方が間違つて居る) 寫
的不對 ⑤着落(sho. to) 方が付
く)事情有着落
かた片(接尾) ①隻 ②偏 ③片(片足)
一隻腿(片手) 一隻手(片目) 一
隻眼(片時も忘れられない) 片時
不能忘(片田舎に住む) 住在偏
僻的鄉下地方兒
かた方(接尾) 位、人(此お二方は貴
下のお友達ですか) 這二位都是
您的令友不是(此方はどなたで
すか) 這位是誰
かたあげ 肩上(名) 小孩子衣裳袖
子上縫的褶襞(また肩上がとれ
ない) 還不到妙齡

かた 名刺)官銜片子
かたかけ 肩掛(名) 圍脖兒、圍巾
「肩掛を掛ける」把圍脖兒圍上
かたかけ 片蔭(名) ①背陰兒(イツモ
當ラ)、陰涼兒(リタル處) ②背地裡
(カゲ)
かたかた 方方(名) 一隻(方方の眼)
一隻眼(方方の靴) 一隻鞋
かたかた(副) 咯噔咯噔(今頃門を
かたかたさせるのは誰だらうか)
這早晚兒把門弄得咯噔咯噔的
是誰啊(庭をかたかた歩く) 嘎噔
嘎噔的在院子裡走
かたがた 方方(名) 大家、人人兒
かたがた 方方(代) 諸位、列位、諸
君
かたがた 旁(接) ①順手兒、就手

かた

兒、捎帶着②並〔花を見旁朋友を訪ふ〕看往去順手兒瞧朋友去〔御返書旁御伺申上候〕專此佈復並候時祺

〔がたがた〕(副) 嘎噠嘎噠〔車ががたがた走る〕車嘎噠嘎噠的走〔體ががたがたふるえる〕身子打戰、身子打志志〔がたがた普請(ソシ)〕骨湊的房子、含糊房子

かたかな片假名(名) 省略漢字片旁所作之假名、如アイウエオ之類

かたかは片側(名) 一邊兒、一面〔町の片側を通る〕靠着街上的一邊兒走〔片側往來止〕街道半截禁止來往

かたがみ形紙(名) 銀花紙、花板紙

山慈姑粉、藕粉(糊根ニテ) 〔がたくり(副) 嘎噠嘎噠的〕〔がたくり馬車〕嘎噠嘎噠走的馬車

かたくろし堅苦シ(形志久語) 太嚴、太拘禮、太拘泥

かたぐるま肩車(名) 合兒摟着

かたげ片食(名) 一天吃一頓飯

かたこと片言(名) ①片言、一言 半句②一面之詞、一邊兒的人說的話③剛會說話、說孩子話

かたこひ片戀(名) 與かたおもひ 同

かたさき堅(名) 硬的

かたさう(名) 端正的人、正經的人、實誠的人

かたさき肩先(名) 肩頭

かたさき片里(名) 鄉下地

かたあし片足(名) 一隻腿〔靴片足〕

かた

かた

かたき敵(名) ①敵手、敵人②仇、仇敵、仇人、仇家、冤家〔敵を打つ〕報仇、報怨、報冤、報恨〔父の敵を打取る〕報殺父親的仇

かたぎ片食(名) 一天吃一頓飯

かたぎ模子(名) 刻字的木頭

かたぎ堅木(名) ①硬木②櫛

かたぎ堅氣(名) ①老實②正經〔堅氣な爺〕老實的老頭兒〔昔堅氣〕保守古樣、古道〔堅氣な商賣をする〕做正經買賣

かたぎ氣質(名) 品性、性格兒

かたきうち敵討(名) 復仇、報仇、報怨、雪恨、報冤

かたぎぬ肩衣(名) 古代武士之禮服、坎肩一類

かたきやく敵役(名) 丑、小丑

一隻鞋

かたし堅シ(形久語) ①堅、硬、固、結實、堅固、牢固②嚴、嚴嚴的〔固く禁する〕嚴禁、嚴嚴的禁止〔固く約束する〕起誓〔固く信する〕堅信、確信〔彼の占めたる地歩は固い〕他占的地步很結實〔心が堅い〕心實〔人間が堅い〕人很實誠、人很可靠〔身持が堅い〕品行端方〔此菓子に固くて噛めない〕這個點心太硬咬不動〔固い商賣〕有賺無賠的買賣〔死骸が固くなる〕殭定〔あの店の代物は固い〕那個舖子裡賣的貨都很真〔あの銀行は固い〕那個銀行靠得住

かたし難シ(形久語) 難〔避け難し〕

かた

かた

かたきん片翠(名) 偏墜 〔托故かたく假托(名) 托、藉口、藉故、かたく家宅(名) 住房、居處〔家宅侵入〕(ニシ)穿牆進屋、入屋打劫〔家宅搜索〕(ウツ)查居處、搜屋、緝訪其家、搜查居宅〔家宅搜索令狀〕(レイソウサ)搜屋差票 〔同かたぐ傾グ(四段自動) 與かたむくかたぐ撥グ(下二段他動) 擔、挑〔水を一荷擔げる〕挑着一挑子水

かたくち片口(名) ①一邊兒的人說、一面之詞②鑷子〔片口ばかりでは頼にならない〕竟聽一面之詞靠不住

かたくな頑(名) 梗頑、強頸、事

かたくり片栗(名) 山慈姑〔片栗粉〕

難避、難免〔爲し難し〕難做

かたじけなし忝シ(形久語) 辱、感謝、感戴、感激〔度度結構な品を頂戴して辱い〕屢次的蒙您賞給我好東西我實在感激不盡〔珍しき品御惠投下され辱く存候〕辱荷見惠多珍感激莫名

かたじけなみだ忝涙(名) 感涙

かたじろ形代(名) 尸

かたじろし肩章(名) 肩章、肩牌

かたじん堅人(名) 與かたさう同

かたすみ片隅(名) 隅、角、嘎噠兒

(Kotobashi)〔部屋の片隅に置く〕擱在屋子的嘎噠兒

かたすみ堅炭(名) 硬木炭

かたそば片傍(名) 傍邊兒

かたしがひ片違(名) 參差不齊

かた

かた

(tsin tsu' pu' ch'i?) 「信

かただより片便(色) 送信沒有回
かたち形(色) ①形、様子、形状、
形體、形像「形が見悪い」様子不
好看②容、容貌、相貌「形を正
す」正容

かたちづくる容ル(四段他動) 容(女
は己を喜ぶ者の爲に容る)女爲説
己者容(文)

かたちづくる形造ル(四段他動) 成、
作成、組織、編成、組成「父母妻
子ありて一家を形造る」有父母
妻子成一家「國家を形造る」組
成國家「内閣を形造る」組織内
閣、組閣「一隊を形造る」編成一
隊「縦隊を形造る」列成縦隊
(かたちんば片散(色) 痾子

かた

かたづ固唾(色) 吐沫「固唾を呑む」

かたつき形片(色) 有花樣的
かたつき片付(色) ①着落(chōryō)、
了結(kōryō) ②出嫁、嫁人、
出門子、出閣(身の片付が付かな
い)身子沒有着落

かたづく片付ク(四段自動) ①歸着、
了結、了局、平定「貴下の荷物は
皆片付きましたか」您的行李都
歸着好了麼「あの事件は無事に
片付きました」那件事情和平了
結了「騒動が片付く」亂平定了

②出門子、出嫁、嫁人、出閣「あ
の娘はもう片付きましたか」那個
姑娘已經出嫁了沒有「娘はまだ
片付先が定りません」姑娘還沒

かた

有人家兒

かたづく片付ク(下二段他動) ①歸着、
了結、了局「私が出て行ったら部
屋をよく片付けておけ」我走了
你把屋裡的東西好好兒的歸着
(好好兒的拾掇) ②彈壓、壓服、
除滅「騒動を片付ける」彈壓亂
事、壓服擾亂、除滅擾亂 ③聘、
聘出去「あの人は二人の娘を片付
けた」他把兩個姑娘都聘了

「がたつく」(四段自動) 活動、搖動、
不穩「道が新しいので汽車ががたつ
く」這條鐵路是新修的火車走
搖動「今の内閣はいつもがたつい
居る」現在の內閣常起風波「卓
子ががたつく」桌子擺不穩「この
椅子はがたつきます」這個椅子

活動

かたつけいた型付板 鏤花板、
板套、鏤花模板、空印花板

「かた」ばし片端(色) 與かたはし
同

かたつむり蝸牛(色) 蝸牛、水牛

「かた」ほ片方(色) 與かたはう同

かたつら片面(色) 一面

「かた」づる(四段自動) 與かたよる同

かたて片手(色) ①一隻手 ②一邊
兒

かたてうち片手撃(色) 拿一隻手

かたておち片手落(色) 與かたお

かたど片戸(色) 單扇門 「ち同

かたどき片時(色) 片時、片刻、片
晌

かたどる象ル(四段他動) 學、做、做

かた

照、做造、模「雛形に象って造る」
做照様子做

かたどる方取ル(四段他動) 擁、背

「前に河後に山を方取る」前頭一
道河後頭一座山

かたな片名(色) 雙名之一個字

かたな刀(色) 刀、劍「庖丁」(ハウチ
ヤウチ)

菜刀(小刀) (コガ) 小刀子「刀の刃
(ハ) 刀刃兒、刀口「刀のむれ」刀

背「刀の尖」(キ) 刀尖兒「刀の切尖」
(サキ) 刀鋒「刀の鞘」刀鞘子「刀の

つば」刀護手「刀のつか」刀靶兒

「刀の身」刀身、刀條兒「腰刀」
(コシガ) 腰刀「諸刃」(モロ) の刀「雙口

刀、兩面刀「よく切れる刀」利
劍、快刀「刀を抜く」拔刀「刀を帶

びる」帶刀、挂刀、佩刀「刀懸」

かた

(カ) 刀架「刀鍛冶」(カ) 刀匠、打
刀的、利器匠「刀傷」(キ) 刀傷、
劍傷「刀研」(ト) 磨刀的「刀持」
(モチ) 執刀之從者

「梁
かたぬぐ肩脱ケ(四段自動) 光着脊

かたは片刃(色) 單刃兒 「癡人

かたは片端(色) 癡人、殘疾人、殘

かたはし片端(色) 一端

かたはだ片肌(色) 偏袒「片肌脱ぐ」

かたはら偏腹(色) 肋夾子(Lei Chia's
手)

かたはら傍(色) ①傍、傍邊兒 ②

帶手兒「商業の傍法律を學ぶ」做
買賣帶手兒學法律學「傍に坐

る」在傍邊兒坐「傍人無きが如
し」旁若無人

かた

かた

かたはらいたし 傍痛シ(形久) 聽
不過、看不過

かたひいき片最良(名) 偏愛、私
愛、偏情

かたひざ片膝(名) 一隻波稜蓋兒
〔片膝を立てる〕直起波稜蓋兒

〔がたびしや(副) 嘎嗒嘎嗒的(車
ががたびしやする〕車嘎嗒嘎嗒
的走 〔夏布布衫兒(麻ニテ作

かたびら帷子(名) ①夏布(麻布) ②
かたぶく傾ク(四段自動) 與かたむ

く同 ①一半兒
かたへ片方(名) ①傍、傍邊兒 ②

かたへら偏片(名) 一隻
かたほとり偏邊(名) ①偏僻地方
②傍邊兒

かたほほ片頬(名) 偏臉兒

かたまり固・塊(名) ①塊(一塊の
土) ②塊泥、一塊土 ③滴(一塊の

血) ④一滴凝血 ⑤團(一塊になる)
結爲一團 ⑥瘤(肉の塊) 肉瘤子

〔脂肪の塊〕脂瘤(毒の塊) 毒瘤 ⑦
泥教者(マレル)

かたまる固ル(四段自動) ①凝、凝
結、凝聚、定(血が固まる) 血定

上了(寒天が固まる) 洋粉定上
了(天氣が固る) 天氣定了、天津

了 ②拘、拘泥(宗教に固る) 泥教
③乾(泥が固る) 泥乾了 ④成硬、

成堅 ⑤聚合(大勢が一緒に固る)
許多的人聚合在一塊兒 ⑥妥

了、好了(相談が固った) 商量妥
了 ⑦有根柢(事業の基礎が固る)
事業有了根柢了(身が固る)

改過自新(學問に固る) 一個勁
兒學

かたみ篋(名) 筐子
かたみ形見(名) 記念、遺念、念想

兒(形見を分ける) 分給遺念(こ
れを形見に遺しておきます) 我要

留個記念
かたみ片身(名) 半身

かたみ肩身(名) 肩與身體(私は偏
頗な事をせぬから肩身が廣い) 我

做事公正不偏不向所以不怕人
〔彼は悪事を働いたから肩身が狭

い) 他做了一件虧心事所以怕
人說他(兄が大臣になったから私

も肩身が廣い) 家兄做了大臣了
我也很有體面
かたみち片路(名) 一送兒、一去

〔車は片路ですか往復ですか〕車
是要一送兒啊還是要來回的呢

〔片路は歩いて片路は自動車に乗
った〕一去的時候走着去回來的

時候坐洋車回來的
かたみに互ニ(副) 互、彼此、換替

着、輪流着
かたむ固ム(下二段他動) ①使堅固、

堅固住了、固結、弄結實(交情を
固める) 固結交情、敦睦誼(根底

を固める) 把根柢弄結實了、砸
下了根基 ②定、確定(心を固

める) 決心、決意、立意、拿定了
主意(約束を固める) 起誓 ③防
守、把守(pa. shou) 敵が砲臺を

かたむく傾ク(下二段他動) 傾、歪(耳
を傾けて聞く) 傾耳聽、俯耳聽

〔心を傾け悦服す〕傾心悅服(家
を傾く) 傾家、敗家(杯を傾ける)

傾杯、喝酒(鉢を傾けて水をあけ
る) 把盆歪着倒水(大雨盆を傾

く) 大雨傾盆(頭を傾ける) 歪着

かたむき傾(名) ①斜面、傾斜、歪
②偏向

かたむく傾ク(四段自動) 向、歪、傾、
偏、斜、覆(船が傾く) 船歪了(柱

が傾く) 柱子歪了(家が傾く) 1.
房子歪了 2. 敗家(外に傾く) 往
外歪、偏外(人心惡に傾く) 人心
向惡(太陽西に傾く) 太陽平西、
日向西(國家傾かんとす) 國家將
覆

かたよす片寄ス(下二段他動) 偏向
かたよる片寄ル(四段自動) 偏(あそ

こは土地があまり片寄って居る)
那兒地方太背(彼の説は利己に

片寄って居る) 他說的話過於占

腦袋(家産を傾け盡す) 傾家蕩産
かたむすび固結(名) 死扣

かため固(名) ①堅固 ②定規、確
定 ③把守(pa. shou)、守護(夫婦

の固) 定親(國の固) 守護國家
かため片目(名) ①一隻眼、單眼
②一隻眼瞎子、一隻虎(片目を

つぶる) 閉一隻眼(片目で見る)
用一隻眼看 ③一隻眼
かたやまざと片山里(名) 偏僻山
かたゆき肩行(名) 自衣領至袖口
之長短
かたよす片寄ス(下二段他動) 偏向
かたよる片寄ル(四段自動) 偏(あそ

便宜

かたらひ語(色) 相語、相談
 かたらふ語(四段他動) ①相語、相談
 談②商量、商議③勸
 かたり騙(色) ①騙、誑騙②騙子
 かたりぐさ語草(色) 話柄、話把
 かたりもの語物(色) 曲兒
 かたる加答兒(色) 加答兒、泗炎、泗炎熱症、傷風熱症、炎(鼻加答兒) (鼻泗炎(腸加答兒) (チャウ) 腸泗炎(氣管枝加答兒) (キクワン) 氣管枝炎
 かたる語(四段他動) ①說、言語②交談③唱(彼は語らな)他不言(guar)語(彼に語り聞かせなさい)你告訴他罷(二人は何を語つて居ましたか)他們倆說的是甚麼(今日は何の外題を語りますか)今天唱的是甚麼曲兒
 かたる騙(四段他動) 騙、誑騙、誑騙(騙が三百圓の金を騙り取った)有一個騙子手誑了人家三百元
 カタローグ(色) (Catalogue)單、條目、目錄、總目、物件單、什物單、發莊價目單 「chia'kau」
 かたわき片脇(色) 肋夾子 (wa) かつわかれ片割(色) ①壞了的一片、半喇(wa)②黨與③新月、蛾眉月、月芽兒(片割月)同上
 かたる傍居(色) 乞丐、花子、討飯的、要飯的
 かたるざり片糞(色) 痞子
 かたるな片田舎(色) 偏僻鄉村
 かたあみ片笑(色) 微笑、一笑兒、

甚麼(今日は何の外題を語りますか)今天唱的是甚麼曲兒
 かたる騙(四段他動) 騙、誑騙、誑騙(騙が三百圓の金を騙り取った)有一個騙子手誑了人家三百元
 カタローグ(色) (Catalogue)單、條目、目錄、總目、物件單、什物單、發莊價目單 「chia'kau」
 かたわき片脇(色) 肋夾子 (wa) かつわかれ片割(色) ①壞了的一片、半喇(wa)②黨與③新月、蛾眉月、月芽兒(片割月)同上
 かたる傍居(色) 乞丐、花子、討飯的、要飯的
 かたるざり片糞(色) 痞子
 かたるな片田舎(色) 偏僻鄉村
 かたあみ片笑(色) 微笑、一笑兒、

樂(No.1)

かたん荷擔(色) ①幫助、幫一臂之力、幫助②擔、挑(カツ)
 かたん(副) 刮喳(かたん)と意が落ちた)刮喳的一聲窻戶掉下來
 (がたん)同上
 かたんいと(色) 洋線、轆轤棉線、紙心紗(紙ニ巻、木紗(木ニ巻)、機器線軸
 かつ徒(色) 走、步行兒走、步行(徒で行く)走着去、步行兒走
 かつ勝(色) 勝、贏
 かつ褐(色) 深藍
 かつ價值(色) 值、價值(この本は讀むだけの價值がある)這本書值得念的(一文の價值もない)一文錢也不值(彼は先生になる價

値はない)他不值得當教師
 かち棍(色) 櫓、槳
 かち舵(色) 舵、舵子、梢子(重舵をとる)左舵、裡舵、推舵(取舵をとる)右舵、外舵(舵を中正にとる)中舵、舵轉正(舵を取る)把舵、撥舵、掌舵(舵の柄)舵把、舵杆(舵の車)舵車、舵輪(舵の無い船)無舵之船
 かち鍛冶(色) ①鍛鍊②鐵匠、鍛工、冶工、打鐵的
 かち加持(色) 加持
 かち梶(色) 楮樹一類 「秀氣がち雅致(色) 雅致、文雅、雅美、がち勝(接尾) 常、常愛(私が行く)彼は留守勝だ)我去的時候兒他常不在家(この時計は遅れ勝だ)

這個表常愛慢(此頃は雨が降り勝だ)這幾天常愛下雨
 かちあふ搗合(四段自動) 碰、相碰(船がかちあふ)碰船(搗合つて毀れる)碰壞、碰破(招待の日がかちあふ)兩家請客的日子趕到一塊兒了(日子相同)
 かちあるき徒歩(色) 走、步行兒
 かちいくさ勝軍(色) 勝仗
 かちいくさ徒軍(色) ①步兵、歩軍、部隊②步兵戰
 かちいろ褐色(色) 深藍
 かちかち(副) 嘴嘴的、梆梆的(石屋がかちかち石を切る)石匠嘴嘴的鑿(ばさ)石頭(拍子木をかちかちと打つ)梆梆的打梆子(時計がかちかちと進む)表滴滴的

走、鐘嘎咕兒響
 かちき勝氣(色) 好勝(hao' sheng)的皮氣、要强(ch'iang)的脾氣
 かちく家畜(色) 家畜(chiu)牲口、畜生
 かちぐり搗栗(色) 乾栗子
 かちだち徒歩(色) 與かち(徒)同
 かちぢ徒路(色) 步行兒走
 かちづか舵柄(色) 舵把、舵杆
 かちつづけ勝續(色) 連捷
 かちてき可知的(色) 可知的
 かちどき勝闘(色) 得勝歡呼
 かちどほし勝通(色) 連捷
 かちどとり舵取(色) 舵工、耆舵、梢工、掌舵的
 (かちにげ勝逃(色) 得勝洗手不
 かちばしら舵柱(色) 與かちづか

かち

同
 かちはだし徒跣(名) 光着脚走
 かちほう棍棒(名) 車把、梗兒
 かちまけ勝負(名) 勝敗、輸贏
 かちむしや徒武者(名) 步兵、步軍、部隊 「工、打鐵的
 かちや 鍛冶屋(名) 鐵匠、鍛工、冶
 かちやう蚊帳(名) 與かや同
 かちやう家長(名) 家長、當家的、家主
 (かちやかちや(副) 唏啦嘩啦的
 (かちやがちや(副) 同上「茶碗を
 がちやがちや洗ってはいけない」
 洗茶碗別這麼唏啦嘩啦的
 (かちやつく(四段自動) 有唏啦嘩
 啦的聲音

かち

(かちやん(副) 叭叔「茶碗がかち
 やんと地に落ちて毀れた」叭叔「
 聲茶碗掉在地下壞了」
 かちゆう家中(名) 諸侯之家臣
 かちゆみ徒弓(名) 步射
 かちよ家猪(名) 猪
 (かちり(副) 嘎吱嘎吱
 (かちり(副) 同「鐵ががちりと石に
 當った」嘎吱的一聲鐵鐵碰在石
 頭上 「徒涉、步涉、涉水過
 かちわたり徒渡(名) 趟、趟過去、
 かちを舵緒(名) 舵纜
 かちん餅(名) 年糕、黏糕
 (かちん(副) ① 鏗 ② 礮礮「かちん
 と碁石を打ち下す」鏗的一聲下
 碁子兒「石屋か鏗と鏗とでかちん
 かちんと石を切って居る」石匠拿

かちかつ

鏗子和鑽子礮礮礮的鏗(カチ
 (かちん(副) 同上
 かつ渴(名) 渴
 かつ蝸(名) 蝸子
 かつ禍(名) 禍 「くわつ條下
 かつ 活、括、滑、豁、潤、猾、等見
 かつ勝ッ(四段自動) ① 勝、贏、得勝、
 奪錦標(優勝) ② 克「私は彼に勝つ
 た」我贏了他「あの人は氣が勝つ
 て居る」他是好(Noo)勝的人「己
 に勝つ」克己「勝つては官軍負れば
 賊軍」敗者爲賊成者爲王
 かつ搗ッ(四段他動) 搗、確
 かつ揉ッ(下段他動) 攪和
 かつ且ッ(接) 且、而且「且つ行き
 且つ語る」且行且語(又、「邊兒
 走」邊兒說話「且つ信じ且つ疑

かつ

ふ)且信且疑(又、一面信一面疑
 惑「價が高くして且つ品が悪い」價
 錢貴而且東西不好
 かつ且ッ(副) 且「姑く且つ論ぜず」
 姑且不論
 がつ月(名) 見ぐわつ條下
 かつあい割愛(名) 割愛
 かついろ勝色(名) 深藍
 かつかう恰好(名) ① 恰好、正合
 式、恰當「恰好に買ひました」你
 買的這個價兒很恰當(合式)、
 你買的算是便宜「この品は甚だ
 恰好です」這個東西很便宜 ② 樣
 子、形狀「この花瓶は恰好が悪
 い」這個花瓶樣子不好看
 かつかう渴仰(名) 渴仰
 (かつかつ(副) 旺旺的「火がかつかつ

かつ

と起って居る」火生的很旺(wang)
 (逆上(ホ)せて頭がかつかつとする」
 上了火了腦袋嘖嘖的(wang)
 wangi ti)
 (かつがつ且且(副) 僅、僅僅、纔、
 剛「かつがつ足りる」纔够用、將
 够用、剛毅「三日掛ってかつがつ
 出來上った」用三天的工夫纔做
 完了
 (かつがつ(副) 很俄的樣子「かつ
 がつして食ふ」吃的成了俄鬼了
 (がっかり(副) 喪膽、敗興、掃興、
 垂頭喪氣、灰心喪氣「學生が試
 験の張出を見てがっかりした」學
 生看榜很掃興、學生看貼出來
 的考榜垂頭喪氣的
 かつぎ被衣(名) 與かづき同

かつ

かつぎ擔夫(名) 挑夫、挑肩兒、
 挑脚的
 かづき被衣(名) 古代女人出門穿
 かつきよ割據(名) 割據、分地盤
 (かつきり(副) 正、整然、分分明
 明的「區別がかつきり立って居る」
 整然有分別、分分明明有區
 別「かつきり一圓だけ残った」剩下
 的整一塊錢
 かつぐ擔グ(四段他動) ① 擔、挑(一揶ニテ)、
 擡(三人以)、積(積ルナ)、頂(頂)、負(背ニ)
 ② 瞞哄、上擋「歩兵が銃を擔いで
 操練する」歩兵積着槍操練「荷
 物を擔ぐ」挑挑兒「頭で物を擔ぐ」
 脖子上頂東西「物を擔いで賣り
 あるく」挑賣、挑挑子賣「重い物
 を擔ぐ」負重「人をかつぐ」瞞哄

かつ

人〔氣を付けて彼に擔がれるな〕
 你用心別上他的擋〔病院へ擔ぎ
 込む〕擡往醫院、搭往病院
 かづく被ク〔四段他動〕 被上
 かづく被ク〔四段他動〕 扎蒙子
 かづく被ク〔下二段他動〕 ①使被②給、
 賜③嫁〔罪を人に被ける〕嫁罪於
 人④托、藉〔病に被けて行かな
 い〕托病不去
 〔がっくり〕 俄然、忽然
 〔がっくりおち〕 忽然衰敗
 かけ脚氣〔名〕 脚病、脚氣、風毒
 脚氣
 かけつ咯血〔名〕 吐血、咳血
 かづけもの纏頭〔名〕 纏頭、賞封兒
 かつ二括弧〔名〕 括弧、雙馬號、括號
 かつ二確平〔名〕 確乎、穩當、穩健、

かつ

堅固〔確乎たる精神〕堅心、不撓
 不屈の心、確乎不拔的精神
 かつ二く各國〔名〕 各國
 かつ二んたう葛根湯〔名〕 葛根湯
 かつさい喝采〔名〕 喝采、叫好兒
 〔聲を揃へて喝采する〕齊聲喝采
 がつさい合切〔副〕 與いっさい同〔一
 切〕
 〔褙褌兒、萬寶囊
 がつさいぶくろ合切袋〔名〕 提包、
 がつさう合葬〔名〕 合葬
 がつさく合作〔名〕 合作、同勞
 かつし甲子〔名〕 甲子
 〔切〕
 がつしき合式〔副〕 與いっさい同〔一
 かつじやう割讓〔名〕 割地交與、
 領土之讓與
 がつしやう合唱〔名〕 合唱

かつ

がつしやう合掌〔名〕 合掌
 かつしよく褐色〔名〕 褐色、棕色、
 猪肝色
 〔合ふ〕嚴絲合縫
 〔がっしり〕 合的很嚴〔がっしり
 かつす渴ス〔佐聲自動〕 渴〔渴すれども
 盗泉の水を飲まず〕渴不飲盜泉
 水
 がつす合ス〔佐聲自動〕 合〔二川相合す
 る處〕兩道河合流的地方、混水
 的地方〔甚だ機宜に合す〕甚合機
 宜〔道理に合す〕合乎道理、於理
 相合
 がつす合ス〔佐聲自動〕 合〔二人の所持
 金を合しても百圓にならない〕合
 兩個人拿着的錢也不到一百元
 かつせん合戦〔名〕 打仗
 がつそう合奏〔名〕 合奏

二八〇

かつ

がったい合體〔名〕 合而爲一
 かつたう喝道〔名〕 喝道〔大聲ニドナル
 ルコト〕
 〔か〕たる癩〔名〕 癩〔癩坊〕長
 かつたん褐炭〔名〕 木煤、褐炭
 かつだん判断〔名〕 判断
 がち合致〔名〕 合成、相合、相符
 〔意思が合致した〕意思相合、言
 合意順
 かつちゆう甲冑〔名〕 甲冑
 〔か〕ちり ①嘎吱②合的很嚴
 〔矢がかちりとのに當った〕嘎吱
 的一聲箭中了鴿子了〔か〕ちり
 合ふ〕嚴絲合縫
 〔が〕ちり 同上
 〔か〕つて勝手〔名〕 ①隨便、任意、任
 心〔行かうと行くまいと貴下の御

かつ

勝手です〕去不去都是隨您的便
 兒〔これを勝手に持ってはいけな
 い〕這個東西你別隨便拿〔勝手
 氣儘をばたら〕任着意兒辦〔こ
 の事は私の勝手には行かない〕這
 件事我一個兒不能作主②方
 便、便宜〔peut être〕かうすれば少
 し勝手がよい〕這麼辦方便些兒
 〔手前勝手を云ふ〕説於自己便宜
 的話③厨房〔賊か勝手の方から
 忍び入る〕賊從厨房偷兒的進
 來了④過日子、活計〔彼は近來
 勝手が不如意だ〕他近來難過日
 子〔勝手口〕進厨房的門、便
 門兒〔勝手向〕過日子、活計
 〔勝手許〕同上
 かつて嘗テ・曾テ ①嘗、曾、從

かつ

先、從前、向來②總、全〔嘗て遊
 歷したことがある〕從前遊歷過
 一湯〔嘗て聞く〕嘗聞、從先聽
 說過〔未だ曾て行かず〕未曾去
 〔嘗てそんな噂を聞いた〕我從前
 聽說有這個風聲〔そんな事は嘗
 て知らなかった〕我總沒知道有
 這麼樣的事情
 がつてん合點〔名〕 ①批點②答應、
 肯應③明白〔私の話は皆合點が
 行ったか〕我說的話你都明白了
 麼〔彼の話は少し合點の行きかゝ
 る所がある〕他說的話我有點兒
 不了然的地方
 カット〔名〕 ①挿畫、圖版
 かつとう葛藤〔名〕 葛藤、纏繞、糾
 葛

二八一

かな

打

かなづち 鐵鎚(名) 鎚子
 かなつほ 金壺(名) 銅壺、鐵壺
 かなつほまなこ 金壺眼(名) 窩子
 眼兒
 (かなつんほ 金鑿(名) 鑿子、耳沈
 かなてこ 鐵挺(名) 鐵棍(鐵挺棒)
 (ボツ)同上
 かなとこ 鐵床(名) 鐵砧、鐵礎
 かなばさみ 金鋏(名) ①鋼剪(金鋏)
 ②火剪(火鋏)、鐵鉗(同) ③同
 かなばし 金箸(名) 與かなばさみ
 かなひばし 金火箸(名) 火筷子
 かなふ 叶フ・適フ(四段自動)
 ①順、
 合式、合宜、妥當(道理に叶ふ)
 合乎道理(願が叶ふ)事情順心、
 事情如願(能く歩く)ことも叶は

かな

ない(走)也不能走、走也走不動
 ③稱(칭칭)「其職に叶はない」
 不稱其職 「こら叶はない」
 不稱其職 「あの人は口がえらくて外
 不得了(あの人)は口がえらくて外
 の人は叶はない」他嘴利害別人
 都説不過他(あの人の腕力には
 叶はない)他有力氣我敵不過他
 かなふ 叶フ・適フ(下二段自動)
 使合
 式、使妥當、使合宜、使順(私の
 願を叶へて下さい)求您保佑(願
 ふ事は何でも叶へて下さる)求則
 得之、有求必應
 かなぶつ 金佛(名) 銅胎的佛爺
 かなぶみ 假名文(名) 用日本字母
 かなへ 鼎(名) 鼎 「寫的文
 かなべら 金籠(名) ①鐵做的籠子
 (カネ)②泥(泥)籠(カ)

かな

かなほう 鐵棒(名) ①鐵棍、鐵棒
 ②更夫之鐵棍(鐵棒曳)(ビキ) ①
 (後)更夫(ching)、定更的、打
 更的 2. 倭調是非的人(チシタコト
 フラ)
 かなほとけ 金佛(名) 與かなぶつ
 かなまた 鐵叉(名) 鐵叉子
 かなまり 金椀(名) 鐵碗、銅碗
 かなめ 要(名) ①扇肘兒(扇)
 要緊、要緊的地方
 かなめいし 要石(名) (アチアル)架
 洞石、架空石、懸頂石、拱背石、
 合龍石、樞石
 かなもの 金物(名) 鐵器、鐵活
 かなやき 金灼(名) 烙印
 かなやま 金山(名) 鑛山
 かならず 必ズ(同) ①必、必定(ズ)

二八六

かな

一定、準、必當(必)、必然、必
 準、務必、必須、務須、須要(言っ
 たことは必ず行ふ)説甚麼準辦、
 説到那兒辦到那兒(必ず爲す)
 必得做、務必作、必須作(彼は
 必ず承知しない)他一定不肯(必
 すお待ち下さらぬ様に願ひます)
 請您不必等我(私に明後日必ず
 來ます)我後天必來 ②好歹、千
 萬(これは秘密ですから必ずお洩
 し下さるな)這是機密事好歹(千
 萬)別給洩漏了
 かならずしも必しも(同) 不必、未
 必(勇者必しも仁あるにあらず)
 勇者不必有仁(必しもさうでな
 い)未必然(商賣は必しも儲かる
 とは限らない)買賣也不必竟是

かなかに

賺錢
 かなり可り(同) ①罷、可以、好、
 不離(商賣は可りです)買賣還算
 罷了的(可的的)(彼の支那語は
 可りです)他的中國話還算不離
 「此料理は可り食へられる」這個
 菜受吃(很、甚(昨日の縁日は可
 り賑ひました)昨天廟上很熱鬧
 かなりや 金絲雀(名) 碧玉鳥、時
 辰雀、金絲雀
 かなわ 金輪(名) 鐵環子、銅環子
 かなわん 金椀(名) 鐵碗、銅碗
 かに蟹(名) 螃蟹(河)、海螃蟹(海)
 尖兒(男ガ)、尖臍(同)、團兒(女ガ)
 團臍(同)
 かにかく(同) 與とにかく同
 かにくそ 蟹屎(名) 臍屎、胎屎

かにかぬ

かにのめ 蟹目(名) 扇肘兒
 かにばば 蟹屎(名) 與かにくそ同
 かにぶ加入(名) 入、合、結、加入、
 參加(仲間に入する)合併、合
 夥、入夥、入黨(同盟に加入する)
 聯盟、結盟(會に加入する)入會
 かにめくぎ 蟹目釘(名) 蘑菇頭兒
 釘子
 かぬ 兼又(下二段自動) ①兼(才學兼ね
 備はる)才學兼備(二つの仕事を
 兼ねてする)兼着做兩樣兒事情
 ②怕(人目を兼ねる)怕人看見
 「氣を兼ねる」怕人説、怕人怖險
 かぬ 兼又(下二段自動) 難、不了(Noo)
 「近來は忙しいから二日かかって
 も出來かねます」近來事情忙有
 兩天的工夫也做不了(申し兼ね

二八七

ます「我不好跟您提、我不好說
〔待ち兼ねる〕等不了、等急了〔あ
の人の前では云ひ兼ねます〕在他
當面不便說〔聞き兼ねる〕聽不
過〔見兼ねる〕看不過〔彼は人殺
でもしかれまじき悪い男だ〕他是
殺人那麼兇惡的事也敢做的人
かね金(名) ①五金 ②錢、錢幣、錢
款、銀子、錢財、資財 ③與かね
じやく同〔金を使う〕花錢〔金を
借す〕放賬、放款、放銀子〔金が
足りない〕錢不敷
かね鐘(名) 鐘〔鐘を打つ〕打鐘〔鐘
の聲〕鐘聲兒〔明の鐘〕曉鐘〔入合
の鐘〕晚鐘
かね鉦(名) 九音鑼〔トシノ鉦ヲ稱ス〕
かね職業(名) 與おはく同

かねあひ兼合(名) 均重、兩邊均重
かねいれ金入(名) 錢囊、錢袋、錢
兒〔以上ハ銅貨ヲ入ルヲ指シ、銅貨ヲ
入ルルヲ指シ、銅貨ヲ入ルルヲ指シ、
大ナル錢袋〕、銀兜兒〔銀貨ヲ入ルル
子(カビ)〕、「限的、放債生利的
かねかし金貸(名) 放銀子的、放
かねがね豫豫(名) 久、從先、預
先、從來〔かねがね御高名を承
て居ました〕久仰大名〔かねがね
一度洋行して見たいと思つて居ま
した〕我預先打算了出洋一盪
かねぐら金藏(名) 銀庫 「同
かねざし曲尺(名) 與かねじやく
かねじやく曲尺(名) 尺名、曲尺
一尺當鯨尺八寸即中國裁衣尺
九寸餘
かねだか金高(名) 錢數兒、款項

かねづかひ金使(名) 花錢〔金使が
荒い〕妄花錢、揮金如土
かねつきだう鐘撞堂(名) 鐘樓
かねづく金盡(名) 花錢、仗着有
錢〔金盡で示談(シヤ)にした〕給他
幾個錢說合好了、仗錢力和息
〔金盡で好い地位を得た〕花錢巴
結高枝兒
かねて豫テ(名) 久、預、預先、從
先、早已、早就〔かねて御話甲上
げておいた〕這句話我早已告訴
您了〔彼の今日あるのは私は豫て
知つて居た〕他有今日我早已知
道了〔かねての願〕夙願、素願〔豫
て御高名を承つて居ました〕久仰
大名
かねのつる金蔓(名) 活路〔金蔓に

ありついた〕有了活路了 一子
かねのなるき金ノ成ル樹(名) 錢樹
かねばこ金箱(名) ①銀箱、銀櫃
②好主顧(ヨキト)、財東(珍)
かねふき金吹(名) ①冶金、冶鑛
②冶金者、冶匠
かねへん金偏(名) 大金旁兒
かねほり金掘(名) ①開礦、挖礦
②礦丁、礦民
かねまうけ金儲(名) 照錢、發財
かねまはり金廻(名) 手頭兒寬綽
不寬綽、手底下方便不方便〔近
頃は不景氣で金廻が悪い〕近來市
面蕭索所以我的手頭兒不寬綽
かねみ金見(名) 看銀子成色的人
かねめ金目(名) 值錢的〔金目の物
は皆賣却した〕值錢的東西都賣

出去了〔これは金目がない〕這個
東西不值錢
かねもち金持(名) 財主、有錢的
主兒、潤家、富家、富戶、富紳、
富人、膏粱人家
かねん加年(名) 加年
かねんせい可燃性(名) 可燃性、
容易着火的、易燃的、容易引火
的
かの彼ノ(名) 那、那個〔彼の人〕那
個人〔彼の事〕那個事情、那件事
情〔彼の時〕那時
かのう可能(名) 可能的、能成的、
可以有成的、可以成的、可以作
的、能作的、作得的、可望的
かのうば蚊姥(名) 大蚊子
かのえ庚(名) 庚

かのこ鹿子(名) ①鹿、鹿子、鹿崽、
小鹿兒、鹿羔子 ②額文〔鹿子紋〕
〔シボリ〕額文〔鹿子斑〕〔マダラ〕鹿皮
斑文
かのと辛(名) 辛 「格林礮
カノン加農(名) (Cannon)加農砲、
かは川・河(名) 川、河、江〔小川〕
〔ハガ〕小河、細流〔谷川〕〔タニ〕山
澗、小溪〔河の口〕江口、河口〔河
の源〕水源〔河を上る〕上河、上江
〔河を下る〕下河、下江〔河の床〕
河底、江底〔河の真中〕江心、河
中間、河當中〔河を渡る〕過河、
過江〔血は流れて川をなす〕血流
成河
かは側(名) ①邊兒、側、面兒、方
面 ②壳套〔時計ノ〕〔路の右側〕道路

かは

的右邊兒〔左側の方を歩みなさい〕靠着左邊兒走〔東側の二軒目の家〕路東第二門〔彼は承諾したが親戚側で反對がある〕他答應了可親戚方面有點兒反對〔外側〕〔カト〕外面兒、外邊兒〔内側〕〔カチ〕裏面兒、裡邊兒〔金側時計〕〔キンガイ〕金壳套的錶

かは皮(名) ①皮兒 ②毛皮〔毛ツツ〕〔牛の皮〕牛皮〔羊の皮〕羊皮〔白狐の皮〕天馬皮〔面(ラ)の皮〕臉皮、面皮〔面の皮が厚い〕臉皮兒厚〔老〕〔樹の皮〕樹皮兒〔竹の皮〕竹殼、竹皮〔なめし皮〕熟皮、鞣〔柿の皮〕柿子皮兒〔蒲團の皮〕被單子〔模造皮〕模造皮革、假皮

かは

〔有るものかは〕焉能有哉(き) かは樺(名) 樺 かは河馬(名) 河馬 カバー(名) (Cover) 套布〔椅子のカバー〕椅子套布〔枕のカバー〕枕頭攏布、枕頭袋、枕套〔蒲團のカバー〕被單子

かはあひ川合(名) 二川合流之處 かはいい可愛イ(形) 與かはゆし同 かはいさう可哀相(名) 可憐 かはいらし可愛ラシ(形容久括) 可愛 かはいろ樺色(名) 柿黄 かはうそ河瀬(名) 水獺、水猫 かはうま河馬(名) 與かは同 かはおと川音(名) 水聲兒

かは

かはおび革帶(名) 皮帶子、皮條 かはかせ川風(名) 河上之風 かはかみ川上(名) 上流 かはがめ川龜(名) 與すっぽん同 かはかり斯許(名) 這麼、這麼様 かはぎし川岸(名) 河岸、河邊兒、河沿兒

かはきり皮切(名) 起頭、起首、開 かはぎり川霧(名) 河上霧 かはぐち川口(名) 河口、江口 かはぐつ革沓(名) 皮鞋、皮靴子 かはご皮籠(名) 皮箱 かはごし川越(名) ①越河〔河ヲカチ〕 ②背人涉河爲生的 〔衣裳 かはごるも皮衣(名) 裘、皮襖、皮

かは

かはざいく皮細工(名) 皮器、皮活 かはしも川下(名) 下流 かはしら蚊柱(名) 蚊羣 かはしり川尻(名) 河口、江口 かはす交ス(四段他動) ①交、交換 ②閃、躲〔條約を取り交す〕交換約章〔言葉を交す〕交談、過話〔杯を交す〕交杯〔枕を交す〕行房、交媾〔身を交す〕閃身、閃開、躲閃 かはすぢ川筋(名) 河道、江道 かはせ川瀬(名) 急湍 かはせ爲替(名) 匯錢、匯兌〔爲替を組む〕匯寄、匯錢、打匯票、打匯項、匯付〔爲替を組みて御送り申上ぐ〕買匯票寄奉〔外國爲替〕國外匯兌〔國際爲替〕〔ロツサ〕國際

かは

匯兌〔郵便爲替〕〔イロビ〕郵政匯兌、郵匯〔電報爲替〕〔テンバウ〕電匯〔爲替金〕〔キン〕匯款、匯項〔爲替銀行〕〔シカウ〕匯業銀行〔爲替證券〕〔ウケン〕匯票、匯單〔爲替證書〕〔ヨウシヨ〕郵便匯票、郵政匯單〔爲替手形〕〔テガタ〕與かはせしようけん同〔爲替料〕〔レウ〕匯費、匯資、匯息、匯兌費、匯水 かはせせり川墜(名) 下河打魚 かはせみ川蟬(名) 魚狗、魚虎、翠雀、柳翠 かはそひ河沿(名) 河沿兒、河岸 〔かはた(名) 屠戶 〔嬢子、妓女 かはたけ河竹(名) ①河岸之竹 ② かはだち川立(名) 會水的、善游

かは

者〔川立は川で溺れる〕善游者 溺、淹死的就着會水的 かはたび革足袋(名) 皮襪子 かはち川路(名) 河道 〔水田ニ〕 かはづ蛙(名) 蛤蟆〔ヒキガ〕、田雞 かはつき皮付(名) 帶皮兒的 かはつたひ川傳(名) 靠着河沿兒 かはつづら革葛籠(名) 皮箱 〔走 かはつとび蛙跳(名) 跳毛兒、跳 かはつら川面(名) 河上 〔背戲 かはと皮砥(名) 抗刀布、鏢刀皮、 刀皮、磨刀皮帶 〔かはと(名) 與かはつと同 かはながれ川流(名) ①淹死〔水死 ②淹死的〔溺死〕 ③背約

かは

かはなみ河並(色) 與かはそひ同
 かばね屍(色) 死屍、屍首、骸(屍
 は積んで山をなす) 積骸如山、屍
 首如山
 かはばう皮坊(色) 屠戸(死)、皮匠
 かははぎ皮剥(色) 同上
 かはばた川端(色) 河岸、河沿兒、
 河邊兒
 かはひたて庇立(色) 護、庇、護庇
 かはふ加法(色) 加法
 かはふ家法(色) 家法
 かはふ庇フ(四段他動) 護、庇、向、護
 庇、遮掩、袒護(君はどうしてそ
 んなに彼を庇ふのです) 你怎麼
 這麼護着他(官吏同志で互に庇
 ふ) 官官相護(己の過失を庇ふ)

かは

護短
 かばぶくろ皮袋(色) 皮口袋、皮
 かばぶね川船(色) 河船
 かばふば二革文匣(色) 皮匣子
 かばふん二革文庫(色) 同上
 かはべ川邊(色) 河邊兒、河岸、河
 沿兒
 かはまた川股(色) 河流分派之處
 かはむかひ川向(色) 對岸、對江
 かはむかう川向(色) 同上
 かはむき皮剥(色) 剥皮兒、屠
 戸(死)、皮匠(皮ヲ剥)
 かはや厠(色) 厠、廁所、茅厠、茅
 かはや皮屋(色) 皮匠(皮ヲ剥) 皮
 貨店(靴店)

かは

かはやし蒲燒(色) 烤鱧魚 「疼
 かはゆがる可愛ガル(四段他動) 愛、
 かはゆし可愛シ(形久態) 可愛(此子
 は實に可愛い) 這個小孩子真可
 愛(可愛い時計) 小表(可愛い人)
 切愛的人、寵愛的人、可人
 かはゆらし可愛ラシ(形久態) 同上
 かはら川原(色) 河岸沙礫磊砢之
 地、砾子(石)
 かはら瓦(色) 瓦(屋根瓦)(ヤネ) 屋瓦
 「黄色の瓦」 黄瓦(支那ニテ宮殿
 の瓦) 綠瓦(皇族御居) 「丸瓦」(丸) 桶瓦
 「瓦のかけ」 瓦片兒(平瓦)(ヒラ 板
 瓦(鬼瓦) 見おにがはら條下(瓦
 簾)(ガ) 瓦窰(瓦師) (シ) 瓦匠(瓦
 葺)(フ) 瓦房、瓦屋(瓦屋)

かは

瓦房、瓦屋 2. 瓦作(瓦ヲ賣) 3. 瓦
 匠(瓦屋根)(ヤネ) 瓦房、瓦屋
 かはらけ土器(色) 土器、瓦器
 ② 瓦杯
 かはらもの河原者(色) ① 苦力 ②
 唱戲的屠戸乞丐等凡身家不清
 白者
 かはらよもぎ河原蓬(色) 茵陳蒿
 かはり代(色) 替、代、署(代)
 (父は病氣で來られないから私が
 代に來ました) 因爲家父有病不
 能來我替他來了(知事が辭職し
 たが代の人はまだ來ない) 知事開
 了缺了署任的還沒到哪(署任の
 人尚未到) ② 替手兒、替辦的、替
 王兒(支那の召使が暇を取る時は

かは

必ず代を立てて行きます) 中國底
 下人告假(ohia) 一定立一個替
 手兒 ③ 折(ohia) 借金の代に金時
 計を遣る) 拿一個金表折賬 ④ 當
 (hang) 御飯の代に饅飽(ウツ)を食
 べる) 拿麵當飯吃 ⑤ 可是(私は
 酒は飲まない代に煙草は澤山吸ひ
 ます) 我不喝酒可是那麼着抽
 許多的煙(彼は正直な代に無能
 だ) 他人實誠可是沒有能耐
 かはり變(色) 變、改變、變動
 (新規則は舊規則と何の變もあり
 ません) 新章程一點兒也沒有
 改變的地方都是和舊的一個樣
 (近來官廳では別に變はございま
 せんか) 近來官場中沒甚麼變動
 麼(御宅では皆様御變もございま

かは

せんか) 府上都好啊 ⑥ 奇特、和
 人兩樣兒 (あの人はかはり者で
 す) 他的皮氣和人兩樣兒、他
 的性氣奇特
 かばり蚊鈎(色) 假(ohia) 蠅鈎
 かはりがはり代代(副) 輪流着、
 換替着、倒(oo) 換着(代代番を
 する) 輪流看守(keban) (二人が代
 代荷物をつく) 兩個人輪流挑
 行李 「班
 かはりばん代番(副) 輪流值(ohia)
 かはりばん二代番(副) 與かはり
 がはり同
 かはりめ代目(色) 換(今は時候の
 代目ですから病人が多いです) 現
 在要換時令的時候所以得病的

かは

人多

かはりもの變物(名) ①異物、異樣(名)奇特(名)、皮氣和人兩樣的

かはる變ル(四段自動) 變、改、改變、更改、換、變化(「心が變る」改意、變意、變卦、廻心轉意、把心變了、把主意改了「色が變る」顔色變了「皆吃驚して顔色が變った」大家嚇的顔色兒都轉了「天氣が變る」變了天了、天氣改變了「世の中が變る」世面兒變了「風が變る」風變了、換了風了「時間割が變る」時刻表改了「人が變る」換了人了「年が變る」改了年頭兒了「月が變る」改了月了「日が變る」改日子、更日期「處が變る」

かは

換地方兒

換地方兒「大臣が變る」換了大臣了「時節が變る」時令變了「氣が變り易い」沒定性的、三心二意的、反覆不定的「あの人は少し變って居る」那個人有點兒奇特(別致、個別)「彼は鬚を生してから面相が丸で變りました」他留下鬚子了面貌全變了「彼は變ったことを云ひたがる人だ」他有好(Hao)講究的皮氣
かはる代ル(四段自動) 替、代、換「孝子が父に代って死んだ」孝子替他父親死了「番兵が代る」看(see)守的兵換了班了 「がはり同かはるがはる」代(代) 與かはりかはるを川瀬(名) 水瀬、水貓 かはる靴(名) 皮包、提包(提カ)

かひ

手提皮包(同)

かひ貝(名) 貝、介
かひ甲斐(名) 效、效驗、益、益處「世の中に生れて何の甲斐もない」生在世上一點兒效力也沒有、白活一輩子「教師が熱心でも學生が怠(オコ)れば何の甲斐もない」教師雖然熱心教學生可不用功一點兒益處也沒有「汝は男に生れた甲斐もない奴だ」你白是個爺們了「あの醫者を呼んだ甲斐があつて一命を取止めた」請了那位大夫所以纔保得住命了
かひ峽(名) 峽
かひ飼(名) 餵、喂 「同數かひ可否(名) 可否(可否同數)可否

かひ

かひ

かひ下婢(名) 使女、丫頭、老媽、老婆子、女僕
かひ黴(名) 黴(菌類アルモノ)、白毛(乾キノコ)霉、「黴が生へた」長了白毛了、起了黴了、發霉
かひいし貝石(名) 介殼化石者
かひいしばし貝石灰(名) 介殼燒成的灰
かひいる買入ル(下二段他動) 買、收買、買進、採辦「商品を買入れる」收買貨品、採辦貨物、進貨
かひおき買置(名) 買東西來存着、買來擱着
かひがかり買掛(名) 批定貨物
かひがひし甲斐甲斐シ(形志久活) 雄心、悍然、不惜力「甲斐甲斐しく

かひ

かひ

働く)做活不惜力、做事不辭辛苦「甲斐甲斐しく扮装(カウチ)打扮的很靈便「甲斐甲斐しく大刀を取って戦ふ」猛然拔起刀來打仗「かひかぶる買被ル(四段他動) 買打了眼了、買上了擋了
かひがら貝殼(名) 壳、殼、介殼
かひがらほね貝殼骨(名) 與かひがね同
かひきる買切ル(四段他動) 包買
かびくさし黴臭シ(形久活) 潮氣味
兒、霉臭
かひぐい買食(名) 買東西吃
かひこ蠶(名) 蠶、蠶蟲(蠶を飼ふ) 養蠶「お蠶ぐるめ」一身上下綢緞裏到地兒

かひ

かひ

かひことば買言(名) 人罵我又罵他
かひごろし飼殺(名) 養活到老「活かひざいく貝細工(名) 介殼做的
かひしむ買占ム(下二段他動) 壟斷、攬貨、包攬、把持、估買、買屯
かひしめる買占める(上一段他動) 同
上
かひじやくし貝杓子(名) 「的匙子」介殼做
かひす窩主(名) 窩主、窩家
かひだし買出(名) 辦、躉(買出に行く)辦貨去
かひだす買出ス(四段自動) 「貨
かひだるし(形久活) 累、乏、困倦
かひつ加筆(名) 校正、筆削、加筆

かひ

かひつく 飼付く(下二段他動) 養活、
 養熟、調馴、養馴 「賣的鋪子
 かひつけ 買付(名) 熟鋪子、交買
 かひつける 買付ける(下二段他動) 交
 買賣 「買人、買者
 かひて 買手(名) 買主兒、買客、承
 かひどる 買取ル(四段他動) 買妥、買
 下、買、留下
 かひな 肱(名) 肘臂
 かひなし 甲斐無シ(形志久括) 無效、
 無效驗、沒有益處、沒意思(甲斐考)
 かひなじみ 買馴染(名) 拼識的妓
 女、認識的妓女
 かひぬし 買主(名) 買主、置主
 かひぬし 飼主(名) 喂牲口的主兒

かひ

カピネ(名) 與キャピネット同
 かひば 飼葉(名) 乾草、馬草、糧
 草、馬料、喂料、餵品
 かひばしら 貝柱(名) 干貝、江瑤柱
 かひばなし 飼放(名) 放養
 かひへん 貝偏(名) 貝字旁兒
 かひもの 買物(名) ①買東西 ②買
 的東西「買物に行く」買東西去
 「あの人は買物が上手だ」他會買
 東西 「回来了
 かひもどす 買戻ス(四段他動) 又買
 かひよね 糶(名) 糶、買米、進米
 かひれう 飼料(名) 與かひば同
 かひわり 額割(名) 芽
 かひをけ 飼槽(名) 馬槽

かひかふ

かびる 黴ビル(上一段自動) 與かぶ同
 かぶ 下附(名) 交下、發給「免狀の
 下附を願ふ」呈請發給執照、請
 領執照
 かぶ 跣(名) 跣、躄着腿坐
 かぶ 家父(名) 家父、家嚴 「族譜
 かぶ 家譜(名) 家譜、宗譜、世系、
 かぶ 家扶(名) 貴族之管家的
 かぶ 甲(名) ①甲「甲組」(ケ) 甲班
 「甲が乙に向って云ふ」某甲跟某
 乙說「甲論乙駁」(オツパク) 甲論乙
 駁「富天下に甲たり」富甲於天
 下(カ) ②甲鎧、戎衣、兵甲 ③蓋
 兒「蟹の甲」螃蟹蓋兒「龜の甲」王
 八蓋兒 ④背、面「手の甲」手背
 「足の甲」脚背、脚面「足の甲が高
 い」脚面高

二九六

かふ

かふ 交フ(四段自動) 來去、來往「行
 き交ふ」往來「飛び交ふ」飛去飛
 來
 かふ 飼フ(四段他動) 養活「鶏を飼ふ」
 養活小雞兒「馬を飼ふ」養活馬、
 餵馬
 かふ 支フ(四段他動) 撐、頂、餞「門に
 突張を支ふ」把門頂上「窓を支
 ふ」撐窗戶「突支棒で支ふ」用餞
 餞上
 かふ 買フ(四段他動) 買、置、置買、
 沽、取「家を買ふ」置房子、買房
 屋「菓子を買ふ」買點心「名を買
 ふ」買名「乗船切符を買ふ」買船
 票「高棧敷を買ふ」貼下官座兒
 「藝者を買ふ」逛小班兒、傳條子

かふ

かふ

かふ

二九七

かふ 變フ(下二段他動) 變、改、改變
 「姓名を變へる」改姓名「顏色を變
 へる」變氣色、變色、變顏色「時
 (時)、叫條子(自分)「汽車の切符
 を買ふ」買火車票、打票「品が少
 くて買はれない」東西少買不着
 「これは三圓の値打があるのです
 から一圓では買はれません」這個
 值(chi)三塊錢一塊錢你買不
 了「買手が多くて買はれない」買
 東西的人多買不上「これは品が
 悪いから買てはいけない」這個
 東西不好買不得「あまり高くて
 買はれない」東西太貴買不起「正
 直な所を買ってやる」我取他實誠
 的地方就是了「酒を買ふ」沽酒
 「虚名を買ふ」沽虚名

かふ 間割を變へた「改了時刻表了」形
 を變へる「改扮
 かふ 換フ(下二段他動) 換、易、更換
 「人を換へた」換了人了「位地を
 換へる」換地方兒、易地(二物ノ位置
 ハ換個)「位地を換へて考へる」易
 地而觀、設身處地「金を換へる」換
 換銀子、換錢「着物を換へる」換
 衣裳「席を換へる」換座兒「言葉
 を換へて云へば」易詞言之
 かぶ 株(名) ①樹頭、樑子、木頭墩
 兒「木の株に腰を掛けて休む」坐
 在木頭墩兒上 ②棵「三株の松の
 木」三棵松樹 ③股、股票、股份
 「會社の股を買ふ」入股、認股、做
 公司股東「普通株」銀股「權利株」
 紅股 ④底兒「あの店の株は貴下

かふ

は何千圓で引き受けました」那個舖子の底兒您是幾千塊錢倒 (Kao) 過來的 ⑤口頭語兒「又例のお株が出た」又說出他的口頭語兒來了

かぶ燕(名) 與かぶら同

かぶ歌舞(名) 歌舞 「兒、發聲かぶ歌舞(上二段自動) 長白毛、起醜

かぶ合(名) ①合(分之二) ②方三尺六寸之地 ③共計、共總

かふい合意(名) 合意、同心、相合、中意(雙合合意の上できめた)

かふいつ合(名) 合一、結合、和合、合而爲一

かふう家風(名) 家風、門風

かふエー(名) 咖啡、咖啡

(イ) 股票市場(株式價格表) (カ) 股價表、證券一覽表(株式取引所) (ヒ) 證券交易所、股份買賣所、證券市場(株式仲買人) (カニ) 股份經紀、股票經紀人、股票捐客(株式賣買) (イ) 買賣股份、股份生意、證券交易(株式賣買人) (イ) 做股份生意的(株式申込) (ウ) 認股、認票(株式申込書) (イ) 認股書

カフス(名) (Cuffs) 硬袖、袖口

かぶす被ス(下二段他動) 被、蓋(蒲團をよく被せてやりなさい) 你好好兒的給他蓋上被窩(蓋を被せる) 把蓋兒蓋上(帽子を被せる) 給他戴帽子 「成

かふせい合成(名) 合成、組成、構成

かふ

かふ

館、咖啡室、酒店

かふおつ甲乙(名) ①甲乙(甲乙の二人あり)有某甲和某乙兩個人

②優劣、高低、好歹(其技術に甲乙がない)他們手藝沒有高低

かふか闔家(名) 闔家

かふかく甲殼(名) 壳、介殼

かふかく合格(名) ①合式、合乎規矩 ②考中、及第、合格

かふかけ甲掛(名) 蓋手背或脚背的布

かぶがぶ(名) 咕蹬咕蹬的(水をかぶがぶ飲む) 咕蹬咕蹬的喝水

かぶき冠木(名) ①衡木、門楣 ②衡門(冠木門) (モ) 衡門、柵欄門

かぶき歌舞伎(名) 戲、戲劇

かぶせぶた被蓋(名) 子口蓋兒

かぶだか甲高(名) 手背高的、脚面高的

かぶち合致(名) 相合、和合、相同

かぶちゆう甲蟲(名) 甲蟲、硬殼蟲子

かぶてつかん甲鐵艦(名) 鐵甲艦

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かぶと兜(名) 盔、首鎧、兜、盔

かふ

かふぎ合議(名) 商議、互商(合議裁判) (イ) 會審

かふきふ合級(名) 合兩班或三班

かふきん株金(名) 股份

かふきん合資(名) 合資、交杯酒

かふきん合金(名) 混合金屬、合金

かふけい合計(名) 「計、計

かふけん株券(名) 共總、通共、共

かぶさる被ル(四段自動) 被、覆

かふし合資(名) 合資本、合本(合資會社) (ウ) 合本公司、合資

かぶしき株式(名) 股份(株式會社) (ウ) 股份公司(株式市場)

かぶとがに兜蟹(名) 蟹

かぶとむし甲蟲(名) 蟻螂、推丸

かぶぬし株主(名) 股東(株主總會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

(ウ) 股東總會 (株主通常會)

二九八

かふ

かぶや株屋(名) 股票經紀人

かぶら甲(名) 蓋兒(龜の甲) 王八

かぶら甲(名) 蓋兒(龜の甲) 王八

かぶら甲(名) 蓋兒(龜の甲) 王八

かぶら甲(名) 蓋兒(龜の甲) 王八

かぶら甲(名) 蓋兒(龜の甲) 王八

かぶら甲(名) 蓋兒(龜の甲) 王八

かぶら甲(名) 蓋兒(龜の甲) 王八

かぶら甲(名) 蓋兒(龜の甲) 王八

かぶら甲(名) 蓋兒(龜の甲) 王八

かぶら甲(名) 蓋兒(龜の甲) 王八

かぶら甲(名) 蓋兒(龜の甲) 王八

かぶら甲(名) 蓋兒(龜の甲) 王八

かぶら甲(名) 蓋兒(龜の甲) 王八

かぶら甲(名) 蓋兒(龜の甲) 王八

かぶら甲(名) 蓋兒(龜の甲) 王八

かぶら甲(名) 蓋兒(龜の甲) 王八

かぶら甲(名) 蓋兒(龜の甲) 王八

二九九

かふ

蓋兒(蟹の甲) 螃蟹蓋兒

かぶら 蕪(名) 蔓菁、蕪菁(蕪菜)

(一)同上 (二)同上 「(鎗矢)」同上

かぶり 鎗(名) 鳴鎗、砲頭箭、響箭

かぶり 頭、腦袋(かぶりを振る) 1. 搖頭、搖頭袋 2. 不答應

(かぶり) 戲館子上的座兒太

多擠不進去

かぶり 合理(名) 合理、合乎道理、

合情理(合理化) (一) 使合乎道

理、使合理

かぶり 與かぶがぶ同

かぶり 合流(名) 合流、滙流

(かぶり) 嘴付ク(四段他動)

かぶりもの 被物(名) 帽子等凡頭

上戴的謂被物

かぶりよく 合力(名) 幫、幫助、

かふ

爲力(周濟)

かぶる 被ル(四段他動) 戴、被、頂、蒙

上(帽子を被る) 戴帽子(水を被る)

把水往身上澆(蒲團を被る)

把被窩蒙上(人の罪を被る)

人頂罪(酒を被る) 喝大酒(假面

を蒙る) 1. 戴鬼臉兒 2. 假爲(假

かぶる) 假裝

かぶる 嘴ル(四段他動) 咬(犬

が嘴り付く) 狗咬了(水瓜を嘴る)

啃西瓜

かぶる (上二段自動) 咬(沾染) 漆

にかぶれる) 被漆咬了(注意して

惡風にかぶれない様にしなさい)

你留神別叫不好的習氣沾染了

かぶる 禿(名) 禿頭(禿山) 幼

童垂髮者(皮婆兒、鴉兒、老鴉

かふかへ

三〇〇

兒

かぶる 合圍(名) 四面圍住、圍城

攻打、圍攻、四面夾攻

かへ代替(名) 替(替工兒、替

手兒) 合、換(一ダース五兩替で

す) 打五兩換

かへ塗(名) 圍牆(圍牆(塙カベ)、山牆

(塙内)、牆壁(塙カベ) 壁に耳あり) 耳

屬于垣、路上說話草裡有人聽、

隔牆有耳 「板、牆圍子

かへいた壁板(名) 花板、腰板、壁

かへがき塗書(名) 壁上貼的告

示(條款、章程)

かへがみ壁紙(名) 糊牆紙、壁紙

かへごし壁越(名) 隔着牆

かへことば代言葉(名) 隱語、謎

語、切口

かへさま 反様(名) 倒過來(kaori)

かへし返(名) ①反切 ②問答、回

信(手紙の返がまだ來ない) 回信

還沒送來 ③還、報(恩返をする)

報恩(口返する) 還口、還言(人に

馳走になった返をする) 還席

かへしろ 壁代(名) ①帳子 ②壁骨

かへす返(四段他動) ①回、擱回

(使つたら原の處へ返しておけ) 你

使完了把東西擱回原處(送り返

す) 送回 ②還、報(恩を返す) 報

恩(借金を返す) 還債 ③退、退回

(工合の悪い品は返してしまひな

さい) 不對路的貨都退回去罷

(敵を逐ひ返す) 擊退敵兵 ④吐

(胸がむかついて返しさうだ) 我

覺着惡(心) 心要吐

かへ

かへす 反(四段他動) 覆、翻、倒(ka-

へ) (干した着物を反しなさい) 你

把曬過的衣裳倒一倒

かへす 孵(下段他動) 伏窩、爬窩、

抱窩(鳥が卵を孵す) 鳥兒伏窩、

かへすがへす 返(四段) 再三

再四的、翻來覆去的

かへだま替玉(名) ①(試驗)槍手、槍

替者(替玉を使って試驗官に見付

つた) 考試的時候用了一個槍手

叫考官看出來了 ②假的(cheat

ing) (モセ)

かべつち 壁土(名) 抹牆的泥

かへって却(四段) 却、反倒(kaori)

倒(kaori) (君は自分でやりな、なっ

て居て却って人を怨んで居る) 你

かへ

自己做錯了反倒抱怨別人(却

て貴下に御心配をかけて恐縮で

す) 倒叫您費心我心裡不安(却

つて説く) 却説

かへで 楓(名) 「(かへで) 楓

かへどなり 壁隣(名) 隔壁兒(cheat

かへな替名(名) ①變名 ②別名

(ナシ) 外號兒、綽名

かへぬり 壁塗(名) 泥水匠

かへば代又(名) 刀片(かへば)

かへぼす 換乾(四段他動) 把池水

倒出來(kaori)

かへり返(名) ①回、回去、回來、

往回裡走 ②回信(返は馬に乗って

歸った) 回來的時候騎着馬回來

了(貴下は返に私の宅へ寄つて下

かへ

三〇一

さい一寸お話があります。您往回裡請您到舍下去我有點兒話説かへりうち返撃(名) 要復仇却爲敵人所殺 「臨走的時候兒かへりがけ歸掛(名) ①往回裡②かへりぐるま返車(名) 帶脚兒的車、回頭脚的車
 かへりごと返事(名) 回答、回信
 かへりざき返咲(名) 花開二度
 かへりしな(名) 與かへりがけ同
 かへりちゆう返忠(名) 內應
 かへりて却テ(副) 與かへって同
 かへりてん返點(名) 漢文傍側用
 レ一二三上下等之記號以便翻譯謂之返點譬如「蘇子泛船遊」

於赤壁之下 「き同
 かへりばな返花(名) 與かへりざかへりみち歸路(名) 歸路、往回裡、回去的道路上
 かへりみる願ル(上一段他動) 願、省(Hoping) 「吾日に三たび吾身を省る」吾日三省吾身(名) 「一身一家の事を願る」願身家(家に金が無いから體裁など願ることが出来ない)家裏沒有錢願不了體面(後を願る)願後、回頭看
 かへる蛙(名) 蛙、蛤蟆、田雞
 かへる歸ル(四段自動) 歸、回、旋(家に歸る)回家(里に歸る) (ガ) 住家、住娘家(彼はまだ歸って來ない)他還沒回來

かへる返ル(四段自動) ①返、回、復
 ②走(あの人の病氣はまだ元に返らない)他的病還沒復元(木がまだ返らない)本錢還沒回來(彼はもう返ったのですか)他已经走了麼 「た」(ヒツクリ)船翻了
 かへる反ル(四段自動) 翻(船が反った)
 かへる解ル(四段自動) 出蛋殼兒(雞が解る)小雞兒出蛋殼兒
 かへるご蛙子(名) 蝌蚪、蛤蟆帖
 かへるさ歸サ(名) 往回裏 「菜兒がへんず肯ズ(佐助他動) 肯、答應、肯應
 かほ顔(名) 顔、臉、面、面目、面孔、面貌、臉面(丸ぼちや顔)圓合臉兒(瓜核顔) (ワカサ) 瓜子兒

險(杓子顔) (シヤク) 雀心臉(笑顔) (ワラヒ) 笑面(四角な顔) 方面(に、に) 顔) 和顔悅色(瘦顔) (ヤセ) 瘦面(心配顔) (イシガハ) 愁容、瓜韃着臉、愁眉不展的(ただ廣い顔) 潤面(顔を合す) 會面、見面、對面(顔を洗ふ) 洗臉(君はどんな顔をして人に遇うのだ) 你有甚麼臉面見人呢(私は酒を飲むとすぐ顔に出ます) 我一喝酒就上臉(耻ぢて顔を赤くする) 害羞的紅着個臉兒(怒って顔を眞赤にした) 氣的滿臉通紅(顔の皮が厚い) 臉皮子厚(顔がない) 臉上下不來、臉上磨不開、沒有臉(人の顔に泥を塗る) 叫人丟臉(顔が醜い) 長(chang) (得醜) 顔をつぶ

す) 天臉(顔を被うて泣く) 握着臉哭(顔を立てる) 作臉、成全他(顔をしかめる) 縐着眉頭子、愁眉不展(客の顔が揃ふ) 客人都來齊了(顔が賣れる) 他的名聲露出來了(知らぬ顔をする) 假裝不知道的樣子(主人顔をする) 假使主子性兒(物識顔をする) 假裝甚麼事都知道的樣子(互に顔と顔とを見合す) 你看我我看你、臉兒對臉兒
 がほ牙保(名) 牙人、牙儂
 かほいろ顔色(名) 臉、面色、氣色
 「顔色がよい」臉上顔色好、氣色好
 かほう加俸(名) ①加俸、加給薪
 かほかたち顔貌(名) 面目、面容、

面貌 ②都是精明強幹的人
 かほぞろひ顔揃(名) ①人都來齊
 かほだし顔出(名) ①拜客、拜會
 ②出頭(久しく會はなかつたから一寸顔を出して來ました) 老沒見他今天去拜會他去了(今日の事は貴下に顔出してもらはないと仕末がつきません) 今天的事情歸您出頭辦(人前に顔出が出来ない) 沒有面目見人 「南瓜かほちや南瓜(名) 倭瓜、番瓜、番
 かほつき顔付(名) 臉、面色、氣色、様子、面目、神氣、風采(心配さうな顔付) 面帶愁容(顔付で知る) 一看氣色就知道
 かほせ斯程(名) 這麼、如此
 かほばせ顔(名) 與かほつき同

かほぶれ 顔觸(名)

①全班合演
な顔觸ですか 新内閣都是誰和誰做大臣

かほみせ 顔見世(名)

全班合演(芝居)

かほやく 顔役(名)

蒲子

かま釜(名)

かま鎌(名)

かま釜(名)

かまきり 鎌切(名)

かまぐち 蝦蟇口(名)

かまへ 構(名)

かまほ 二蒲銚(名)

かまほ 魚糕(蒲銚形)

かまほ 半月兒形(蒲銚小屋)

かまむしろ 蒲蓆(名)

かまやり 鎌鎗(名)

かまん 我慢(名)

かま 着性兒、勉強、將就、忍耐、耐

かま 我慢の強い人、耐着性兒的人

かま 我慢して待つ、耐着性兒等着

かま 病氣を我慢して行く、扎拵着病

かま 去(我慢して食ふ)、勉強吃(痛く

かま 我慢が出来ない)、忍不住疼、熬

かま 不過疼(小便がしたくて我慢が出

かま 来ない)、營不住尿(部屋が狭いが

かま

子

かまくらえび 鎌倉蝦(名)

かまける 心酔、荒耽、

かます 吠(名)

かまち 框(名)

かまつか 鎌柄(名)

かまど 竈(名)

かまばらひ 釜拂(名)

かまひ 構(名)

かまひすし 喧(名)

かまひて 構手(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

よい 你不管他的事倒好、你別

理他(雨が降っても構はない)下

雨也不要緊(義理を構はない)不

顧情義(構はず云ひなさい)竟管

說罷(私の事は私の勝手だ貴下は

何も構ふことはない)我幹我的

於你有甚麼相干(値段の高い安

いなど構って居れない)顧不了價

錢貴不貴(構はないで打ってお

く)置之不理(穢くても構はれば

私の部屋にお泊り下さい)您不嫌

臟就在我屋裏住下罷(人に笑は

れても構はない)不怕人笑話

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かまふ 構(名)

かみ

梳頭的人

「カマ」

かみあひ噛合(名) ①相咬 ②打架

かみあふ噛合フ(四段自動) ①相咬

②打架(カマ)

かみあぶら髪油(名) 頭髮油

かみいちだんくわつよう上一段

活用(名) 五十音圖伊列之音添

ル及レ而活用之動詞謂上一段

活用、着、似、干、見、射、率等之

動詞屬之

かみいれ紙入(名) 荷包、懷中皮

かみおしろい紙白粉(名) 粉紙

かみおろし神降(名) 頂神

かみがかり神憑(名) 神仙赴體

かみがき神垣(名) 神廟之圍牆

かみがくし神隱(名) 神仙抓小孩

かみおろし神降(名) 頂神

かみがかり神憑(名) 神仙赴體

かみがき神垣(名) 神廟之圍牆

かみがくし神隱(名) 神仙抓小孩

かみおろし神降(名) 頂神

かみがかり神憑(名) 神仙赴體

かみがき神垣(名) 神廟之圍牆

かみがくし神隱(名) 神仙抓小孩

かみおろし神降(名) 頂神

かみがかり神憑(名) 神仙赴體

かみがき神垣(名) 神廟之圍牆

かみがくし神隱(名) 神仙抓小孩

かみおろし神降(名) 頂神

かみがかり神憑(名) 神仙赴體

かみがき神垣(名) 神廟之圍牆

かみがくし神隱(名) 神仙抓小孩

かみおろし神降(名) 頂神

かみがかり神憑(名) 神仙赴體

かみがき神垣(名) 神廟之圍牆

かみがくし神隱(名) 神仙抓小孩

かみおろし神降(名) 頂神

かみがかり神憑(名) 神仙赴體

かみがき神垣(名) 神廟之圍牆

かみがくし神隱(名) 神仙抓小孩

かみおろし神降(名) 頂神

かみ

かみかざり髪飾(名) 首飾

かみがしら髪頭(名) 髮字頭兒

かみがた上方(名) 京畿

かみがたせいろく上方贅六(名)

東京人罵大阪人謂上方贅六

かみがっぱ紙合羽(名) 油紙

かみかは紙革(名) 假皮

かみがみ(名) 嘴碎叨叨的「かみ

がみ叱る」嘴碎叨叨的説人「が

みがみ女」悍婦、潑婦、刁婦

かみぎは髪際(名) 髮際

かみきり紙切(名) 裁紙刀

かみきり髪切(名) ①鬼剃頭(頭髪ヲ

切ル) ②鉸頭髮(頭髪ヲ切) ③與髮切

虫同

かみきりむし髪切虫(名) 天牛

かみきる嘴切ル(四段他動) 嚼斷(嘴

かみだのみ神頼(名) 禱告神仙(苦

しい時の神頼) 閑時不燒香急時

來抱佛腿 「六天剃頭之謂

かみたれ髪垂(名) 小孩兒生了第

かみぢよちゆう上女中(名) 了頭、

了髮

かみつく嘴付ク(四段他動) 咬、嚼

かみづつみ紙包(名) 紙包

かみでっぽう紙鐵砲(名) 小氣槍

かみごこ髪床(名) 剃頭館、剃頭

棚兒、理髮店、理髮處、鉸髮處

かみなづき神無月(名) 陰曆十月、

陽春月

かみなり雷(名) 雷(雷の神)雷公、

雷神(雷が鳴る)打雷(雷が落ち

た)雷霹了

かみなりよけ雷除(名) ①避雷

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

切れない」嚼不動

かみくづ紙屑(名) 亂紙(lan'chik's)

爛紙、廢紙(紙屑籠)「カ」紙簍子、

字紙簍兒(紙屑買)「カ」換亂紙

的(紙屑拾)(ヒロヒ)檢亂紙的、撥

窮的、檢溝貨的

かみぐに神國(名) 神州(日本國)

かみこ紙子(名) 紙做的衣裳

かみごご神事(名) ①祭典 ②神妙

かみざ上座(名) 上座

かみさぶ神閑フ(上二段自動) 森嚴

かみさま神様(名) 神、神仙

かみさん上様(名) 與おかみさん

同

かみしむ嘴緊ム(下二段他動) ①狼、

咬 ②細想(齒を嘴緊める)狼、咬

牙、咬牙切齒(此言葉は嘴緊めて

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

見ると中中味がある」這句話細

想起來很有意思

かみしも上下(名) ①上下 ②掛子

和褲子 ③古代禮服之名

かみすき紙漉(名) ①造紙、抄紙

②造紙匠(紙漉場) ③紙局、紙

磨、抄紙作坊

かみすぢ髮筋(名) ①一根兒頭髮

②木梳印兒(鬘ト)

かみぜに紙錢(名) 紙錢、紙鏢

かみそり剃刀(名) 剃頭刀、刀子、

刮刀(安全剃刀)「カ」平安剃刀、

保安剃刀(剃刀感)「カ」刮臉長

的疙瘩、受風氣(剃刀砥)「カ」磨

刀石

かみたちき裁紙器(名) 裁紙器

かみだな神棚(名) 祭神的架子

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみかざり髪飾(名) 首飾

かみがしら髪頭(名) 髮字頭兒

かみがた上方(名) 京畿

かみがたせいろく上方贅六(名)

東京人罵大阪人謂上方贅六

かみがっぱ紙合羽(名) 油紙

かみかは紙革(名) 假皮

かみがみ(名) 嘴碎叨叨的「かみ

がみ叱る」嘴碎叨叨的説人「が

みがみ女」悍婦、潑婦、刁婦

かみぎは髪際(名) 髮際

かみきり紙切(名) 裁紙刀

かみきり髪切(名) ①鬼剃頭(頭髪ヲ

切ル) ②鉸頭髮(頭髪ヲ切) ③與髮切

虫同

かみきりむし髪切虫(名) 天牛

かみきる嘴切ル(四段他動) 嚼斷(嘴

かみだのみ神頼(名) 禱告神仙(苦

しい時の神頼) 閑時不燒香急時

來抱佛腿 「六天剃頭之謂

かみたれ髪垂(名) 小孩兒生了第

かみぢよちゆう上女中(名) 了頭、

了髮

かみつく嘴付ク(四段他動) 咬、嚼

かみづつみ紙包(名) 紙包

かみでっぽう紙鐵砲(名) 小氣槍

かみごこ髪床(名) 剃頭館、剃頭

棚兒、理髮店、理髮處、鉸髮處

かみなづき神無月(名) 陰曆十月、

陽春月

かみなり雷(名) 雷(雷の神)雷公、

雷神(雷が鳴る)打雷(雷が落ち

た)雷霹了

かみなりよけ雷除(名) ①避雷

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

切れない」嚼不動

かみくづ紙屑(名) 亂紙(lan'chik's)

爛紙、廢紙(紙屑籠)「カ」紙簍子、

字紙簍兒(紙屑買)「カ」換亂紙

的(紙屑拾)(ヒロヒ)檢亂紙的、撥

窮的、檢溝貨的

かみぐに神國(名) 神州(日本國)

かみこ紙子(名) 紙做的衣裳

かみごご神事(名) ①祭典 ②神妙

かみざ上座(名) 上座

かみさぶ神閑フ(上二段自動) 森嚴

かみさま神様(名) 神、神仙

かみさん上様(名) 與おかみさん

同

かみしむ嘴緊ム(下二段他動) ①狼、

咬 ②細想(齒を嘴緊める)狼、咬

牙、咬牙切齒(此言葉は嘴緊めて

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみ

かみぶすま紙襖(名) 糊紙的隔扇
 かみまつり神祭(名) 祭祀神
 かみや紙屋(名) ①紙局(紙ス、紙磨) ②紙舗
 かみやう家名(名) 家名
 かみやしき上屋敷(名) 徳川時代諸侯之邸第在江戸者謂上屋敷
 かみゆひ髪結(名) ①梳頭(髪ヲ) ②梳頭的人、走梳頭的(女髪結)梳頭媽子(髪結床)(ト) 與かみど
 同
 かみよ神代(名) 自日本開闢以來至神武天皇之時代
 カミルレ(名) (Camille)野菊花
 かみわく嚙分ク(下二段他動) 嚙味、知味
 かみる紙繪(名) 紙上畫的畫兒

かみ

かむ家務(名) 家務、家政、家事
 かむ嚙(四段他動) ①咬、嚙 ②嚼
 「あまり固くて嚙めない」太硬咬不動(犬が人を嚙む)狗咬人(食物はよく嚙まないと消化が悪い)東西不好好兒的嚼就刻乎不開
 「南京虫に嚙まれる」叫臭蟲咬了
 「嚙んで含める様に云ふ」拊開揉碎的說 「鼻涕(涎)」
 かむ拂(四段他動) 擽(鼻をかむ)擽
 かむなぎ巫(名) 巫
 かむり冠(名) 冠(冠を戴く)戴冠
 かむる冠ル(四段他動) 冠、戴
 かむろ禿(名) 與かぶる同
 かめ龜(名) 龜、烏龜(キ)、水龜(水ニ)、秦龜(山ニ)、山龜(山)、靈龜(龜)、絲毛龜(八)、王八(八) 忘八

かめ

かめ瓶(名) 罐兒(小形)、甕(大ナ)、缸(小形)、花瓶(シツ)「水瓶」水缸(染物(モノ)の瓶)染缸(酒の瓶)酒甕(大形)、酒缸(小形)「砂糖瓶」(サトウ)裝白糖的罐兒(魚を養ふ瓶)魚缸
 かめ(名) 洋狗
 かめあや龜綾(名) 綢緞有龜甲文
 かめい下命(名) 下命
 かめい加盟(名) 聯盟、結盟
 かめい下名(代) 我、敝人
 かめい家名(名) 家名
 かめのかぶ龜甲(名) ①龜殼、王八蓋兒 ②與かめ同
 かめのこ龜子(名) ①龜殼、王八蓋兒 ②與かめ同
 かめのて龜手(名) 石龜

三〇八

かめかも

かめのを龜尾(名) 尾間骨
 カメラ(名) (Camera)暗箱、鏡箱、照像箱、照像鏡、照像匣子、聚影匣、攝影鏡箱、拍像匣子(白カメラ)繪畫鏡(黒カメラ)映畫鏡
 カメレオン(名) (Chameleon)石龍子、變色龍、七面蜥蜴
 かめん假面(名) 面、鬼臉兒(假面を被る)假粧
 かも鳥・鴨(名) 野鴨子
 かもし髪(名) 假髮、假頭髮
 かもしか鹿(名) 羚羊
 かもす醸ス(四段他動) 醸(酒を醸す)醸酒、造酒(禍を醸す)醸禍、醸成禍患、醸災禍(事端を醸す)醸成事端、開出事來、滋事

かもかも

かものはし鴨嘴(名) 鴨嘴獸
 かもの鴨居(名) 鴨
 かもの鴨居(名) 鴨嘴獸
 かもん家門(名) 橫楣子、上欄
 かもん下問(名) 家門、門庭、門第
 がもん衙門(名) 下問
 かや茅(名) 茅草
 かや萱(名) 葦子一類
 かや蚊蠅(名) 帳子、蚊帳
 かやう加養(名) 保養、調養
 かやう斯様(副) 如此、這麼様
 がやがや(副) 吵吵、嚷嚷(表でがやがや云って居るのは何ですか)外頭嚷嚷的是甚麼(多くの人ががやがや騒ぐ)好些個人吵吵嚷嚷的
 かやく加薬(名) 調味料、調和料

かやかよ

かやす返ス(四段他動) 與かへす同
 かやすし易シ(形久居) 容易
 かやつ彼奴(副) 他那個東西
 かやぶき茅葺(名) 用茅草蓋的房頂
 かややね茅葺根(名) 同上
 かやり蚊遣(名) 與かいぶし同
 かやりひ蚊遣火(名) 同上 「粥
 かゆ粥(名) 粥、稀飯(粥を煮る)熬
 かゆし痒シ(形久居) 癢癢(痒きを搔く)抓癢癢(靴を隔てて痒きを搔く)隔靴搔癢(あの教師の説明は痒い處まで手がとどく)那位教師講的很通達、那位教師講說連細微的地方也講得到
 がよ駕輿(名) 輿、轎子(駕輿丁)(チヨウ)轎夫

三〇九

かよ

かよはす通ス(四段他動) 通

かよはせぶみ通文(名) 情書

かよひ通(名) ①來往(天津通の船)

由某地來往天津的船(揚子江通の汽船)上下長江的輪船②跑堂兒的(雜仕)、堂倌(同上)③與かよひちやう同

かよひち通路(名) 通路

かよひちやう通帳(名) 摺子(普通)、房摺子(家賃)、往來帳(貯蓄)、存款摺(同上)、往來帖(同上)

かよひづとめ通動(名) 買賣舖子的掌櫃的夥計等每天從自己家裡上舖子做買賣謂之通動

かよふ通フ(四段他動) ①來往②相似(毎日學校へ通ふ) 天天兒上學

〔穀を剥く〕剝去穀兒

から幹(名) ①莖兒②把兒③稽(芋)、芋頭莖兒(芥幹)、芥子把兒

〔矢幹〕箭杆兒(高粱の幹)、稜稽(粟がら)、穀草(豆がら)、豆稽

から唐(名) ①高麗②中國③外國

から(助) 自、從、起、解、打、自從、從打(神戸から天津まで海上何日かかるか)從神戸到天津海面上

得多少日子(今から後はかう云ふ事はしません)從今以後我再不做這樣事情(去年から今日まで)從打去年到今天(何から何までよく行届く)諸事很周到(始から終まで)從頭至尾(尾)

〔初からやり直す〕從頭兒再做、從新再做(貴下先に行きなさい)

から

かよから

校(私は毎日汽車で通って居る)我天天兒坐火車來往(これとあれとはよく似通って居る)這個和那個很像似(息が通はなくなった)噓了氣了(息がまだ通ふ)氣息未斷(これは上海天津間を通ふ船です)這是來往上海天津的船(鳥も通はぬ島)鳥兒也飛不到的海島

かよわし力弱シ(形容) 軟弱、嬌嫩、單細、單薄、窈窕、纖巧、柔嫩(か弱き女子)軟弱的女人

から空(名) 空、空虛(から船)空船(から車)空車(から手)空手兒(から鐵砲)空槍(あの船は荷も客もない全く空です)那隻船也沒

有貨物也沒有客人簡直的是空

私は直ぐ後から行きます(你先走我隨後就到)「明日から試験が始まります」從明天起有考試

から(助) 故、所以、因此、故此(此處は田舎です)ですから甚だ便利が悪い(這兒是鄉下地方所以很不方便)あの人は薄情だから誰と交際しない(他人刻薄所以人都

不和他交往)

から(接頭) 全、很、甚、太(あの人はから駄目だ)他太沒耐

分、形體(此帶地は柄がよい)這個帶子料兒花樣好(柄がない事をするから損をするのだ)他不安

分所以吃了虧了(柄が小さい)形體小

から

から

的(家財を盗んで空にした)搶家財一空、搶一家兒淨(あの人の話は空嘘(カラ)です)他說的都是假(空)的、他說的都是子虛烏有的話(あの箱は空です)這個箱子是空的(あの入れ物を空にしないさい)把那個盒子騰空了(水をあけて空にする)把水倒盡(あの人の頭は空です)他的頭腦是空空洞洞的、他心裏任甚麼都沒有

から殼(名) ①殼、蓋兒②渣③死屍(蟬の殼)蟬蛻(卵の殼)蛋皮兒、蛋殼兒、雞子兒皮兒(貝の殼)介殼(豆腐のから)豆腐渣兒(胡桃)核桃皮兒(櫻桃)批子(豆の殼)豆角皮兒

がら柄(接尾) 品、品質(人柄)人品

〔家柄〕門地、家門、家世(品柄)品質、東西的身分(事柄)事情、事由、事故由子、事體(問柄)關係

カラ(名) (Cotton)領子、硬領子、領圈(カラー)を付ける、帶領子(ソフトカラー)軟領子

から(助) 家老(名) 諸侯之大夫

から(助) 辛ジテ(副) 纒、好容

から(助) 唐白(名) 確、好容

から(助) 空嘘(名) 子虛烏有的話、說的全是虛假(空)

から(助) 唐歌(名) 中國詩

から(助) 傘、雨傘

から(助) 唐金(名) 紫銅、青銅

から(助) 調弄(四段他動) ①耍戲、

から

から

耍笑、戲弄、戲笑、醒脾(人に調弄はれて居るのを彼は知らないのです) 人家耍戲他他還不知道哪 ②調戲(Fiasco Test) (女に調弄ふ) 調戲婦人 ③逗、逗弄(子供に調弄ふ) 逗小孩子 (猫に調弄ふと爪で引掻かれますよ) 你別逗猫看抓了

からかみ唐紙(色) ①銀花紙(唐紙ニキツ)、印花紙(同) ②紙糊的扇(扇ヲカ) (マス) (唐紙障子) (ヤウシ) 與 ②同 (からから) (同) ①哈哈(からから) 笑ふ ②哈哈的笑 ③巴巴的(からから) 乾く 乾巴巴的 ④叮噹叮噹的(鈴又ハ) (からがら) 辛辛(同) 與からうじて同(命辛辛逃げる) 好容易光

から

身逃跑了 (がらがら) (色) 花棒兒(玩具) (がらがら) (同) ①嘩啦嘩啦的(がらがらと鳴る) 嘩啦嘩啦的響 ②軋軋軋軋的(車がからからと町を通る) 車在街上軋軋軋軋的走 ③唏啦嘩啦的(瓦ががらがらと屋根から落ちる) 瓦唏啦嘩啦的打房頂掉下來 (がらがらした人) 爽快的人

からきき唐木(色) 烏木硬木等 (からきき) (同) 與からきり同 ①からきめ 辛目(色) 辛苦、苦(辛目にあふ) 受辛苦、受苦 (からきり) (同) 全然、簡直的

から

からく辛ク(同) 與からうじて同 ①捐、網(荷物) 物を馬に掛け付ける 把行李捐在馬上 ②摟、擦、掖(着物をからげる) 摟衣裳、擦衣裳(すばんをからげる) 把褲子掖起來 ③蔓草(唐草模様) (モウ) 蔓葉花樣

(がらくた) (色) 零碎傢俱、廢物 ①外國 ②高麗 ③中國 ④操縱 ⑤機器、機發 ⑥傀儡 ⑦西湖景(ナガキ) ⑧摘東補西(ヤリクリ) (繰身上) (ジヤウ) 摘東補西的過日子(繰身代) (ジヤウ) 同上(繰人形) (シヤウ) 傀儡、托偶人兒

から

からくる繰ル(四段他動) 操縱 からくれなる唐紅(色) 紅色 からげんき空元氣(色) 虛勢(空元氣をつける) 虛張聲勢 からこ唐子(色) 中國小孩子(唐子人形) (シヤウ) 中國小泥人兒 (からころ) (同) 嘎嚕嘎嚕的(からころと下駄で歩く) 穿木頭底兒鞋嘎嚕嘎嚕的走 からさ辛(色) 辣 「うば同からさうば空相場(色) 與くうさからさわぎ空騒(色) 小事大做、小題大作、大驚小怪、無事忙からさを殼等(色) 連枷、連環棍 からし芥子(色) 芥子、芥末 からし辛シ(形久活) ①辣(唐辛は辛い) 青椒是辣的 ②麻(ma) (山椒)

から

は辛い(辛い) 花椒是麻的 ③嚴、緊(あの先生は點が辛い) 那位先生評分太嚴(目力が辛い) 邀的太緊(辛い世の中) 難過的日子 からし鹹シ(形久活) 鹹 からしし唐獅子(色) 獅子 からしづけ芥子漬(色) 用芥末醃的青菜 からす烏(色) 烏、老鴉、烏鴉 からす枯ス(四段他動) 使枯死、使萎落 からす嘔ス(四段他動) 嘔(あまり大きな聲を出したので聲を嘔した) 說得聲音太高所以嗓子嘔了 からす涸ス(四段他動) 使乾、使涸、使乾涸 ガラス硝子(色) (Glass) 玻璃(ガラ

から

ス類) 料貨(色硝子) (イロ) 著色玻璃、帶顏色的玻璃、帶彩的玻璃(着色ガラス) (ヤクシ) 同上(磨硝子) (ガキ) 手玻璃、糙玻璃、車過的玻璃(フリントガラス) 含鉛的玻璃、有鉛玻璃(板ガラス) 玻璃板、玻璃板(時計のガラス) 表鏡子、表泡子、表蒙子、表玻璃面(硝子板) (イ) 玻璃板、玻璃片(硝子寫) (ウツシ) 玻璃版(硝子切) (キリ) 金剛鑽兒、刺玻璃刺子(硝子管) (クワシ) 玻璃管(硝子障子) 玻璃窗戶(硝子戸) 同上(硝子玉) (タ) 料珠(硝子壘) (ヒシ) 玻璃瓶(硝子窓) (マ) 玻璃窗戶 からすうり烏瓜(色) 屎瓜子 「節からすがしら烏頭(色) 馬後腿之

から

からすがひ鳥具(名) 蛤蚧
 からすき唐黽(名) 翠
 からすぐち鳥口(名) 墨水規
 からすなき鳥鳴(名) 老鴉叫喚
 からすのきう鳥灸(名) 馬嚼瘡
 (からすのぎやうずる鳥行水(名))
 洗濯洗的很快
 からすば烏羽(名) ①烏羽②鴉青
 (光澤ア) (烏羽色) (イ) 鴉青
 からすみ鱺(名) 醬魚子
 からすみ唐墨(名) 中國墨、徽墨
 (歙州名産) (ノスミ)
 からすむぎ燕麥(名) 燕麥、雀麥、
 筱麥(yu' mai)、玲瑞麥、野麥
 からだ體(名) 身體、身子、個兒
 (體がだるい) 身子發懶(體を粉
 にする) 勞苦、辛苦、粉骨碎身

から

(體を壊す) 害身體(體を借む) 懶惰
 (體を大事にする) 保養身體
 (體が大きい) 個兒大(體ちうが
 痛む) 渾身疼
 からたち根癩(名) 枸橘
 からづつ空砲(名) 空槍
 カラット(名) (Carrot) 開勒、加辣、
 開(十八カラット) 十八開
 からて空手(名) 空手兒、空拳頭、
 白手兒、赤手、空拳、徒手、赤手
 空拳(空手で身代を造り上げる)
 白手成家
 からてがた空手形(名) 空票
 からでほう空鐵砲(名) 與から
 づつ同
 からびつ唐鹽(名) 櫃子
 からびと韓人(名) 高麗人、朝鮮

から

からびと唐人(名) 中國人
 からぶ乾ア(上二段自動) ①乾②萎落
 からぶね空船(名) 空船
 からぶね唐船(名) 中國船、高麗
 船、外國船
 からぶみ漢書(名) 中國書、漢書
 からほり空堀(名) 乾河
 からまる絡ル(四段自動) 絆、纏住、
 繞住、掛(kuwa) (用事に絡れて久
 しく行かなかつた) 叫事情絆着
 老沒能去(紙鳶が木に絡る) 風箏
 掛在樹上了(葡萄が棚に絡る) 葡
 萄繞在架子上
 からみ辛味(名) 芥末薑等辣味
 からむ絡ム(四段他動) 纏住、繞住
 からむ綱ム(下二段他動) 捕、拿住、緝
 捕(巡查が賊を捕める) 巡警拿住

から

からむし芋(名) 芋麻
 からめく唐風ク(四段自動) 有中國
 様子
 からめて搦手(名) 城砦後門
 からもの唐物(名) 中國雜貨
 からやう唐様(名) ①中國様子②
 中國字樣
 (からり) ①忽然、偶然②敞亮
 (空がからりと晴れた) 天忽然晴
 了(忠告を受けてからりと行を改
 めた) 人家一勸他偶然改過了
 (この部屋はからりとして居る)
 這間屋子敞亮
 がらり(副) 與からり①同
 からる空井(名) 死井
 がらん伽藍(名) 伽藍
 (がらんどう) (名) 空、空虚

かり

かり雁(名) 雁
 カリ加里(名) (Kalium) 與カリウ
 ム同、鉀、鐵、鉀丹、鐵池、加里
 膜(炭酸加里) (タンサ) 鉀炭酸(重炭
 酸加里) 鉀碱重酸(沃度加里) 碘
 化鉀(鹽酸加里) 氣酸鉀(臭素加
 里) 溴化鉀
 かり狩(名) 打獵、佃獵、打圍(兎
 狩) 打野貓(川狩) 打魚(費狩)
 (カク) 採草、採蘑菇(櫻狩)(サクラ
 看櫻花
 かり假(名) 暫時的、暫行的、試行
 的、試辦的(假の住居) 暫住、寄
 居(假條約) 草約(假規則) 暫行章
 程(假の世) 浮世
 かり借(名) 該、借、欠、短、欠人
 (あの人に三圓借がある) 我該他

かり

三塊錢(借を返す) 還賬
 かり刈(名) 割(麥刈) 割麥子
 かり龜頭(名) 龜頭 「湊合
 かりあつむ騙集ム(下二段他動) 集合、
 かりいぬ獵犬(名) 獵狗
 かりいへ借家(名) 租的房子
 かりう下流(名) 下流、下游、下
 江、下水(下流社會の人) 下流
 人、賤民
 かりう我流(名) 我法、我的主意
 かりうぞ獵人(名) 獵人、打獵的、
 カリウム(名) 與カリ同 「獵戶
 かりうめ假埋(名) 暫時葬埋、浮埋
 カリエス(名) (Carves) 蘇、骨爛、
 骨疽、骨瘍 「收方、收項(簿記
 かりかた借方(名) ①借項②借方、
 かりかへ借替(名) 摘東補西、倒

かり

把(kao³ pa³) 倒、換
 かりがね 雁音(名) ①雁叫の聲音
 かりかぶ 借替(下二段他動) 倒換
 (kao³) 換借、倒把(kao³ pa³) 摘
 東補西 舊債を新債に借替へる
 把舊債倒換新債、把舊債還了
 倒把新債
 かりかぶ 刈株(名) 稻根子
 (かりかり) 嘔吱嘔吱的(かり
 かりと食ふ) 嘔吱嘔吱的吃
 (かりかり) 同上
 (かりかり) ばうず 我利我利坊主(名)
 ①貪心不足の人、不肯施惠與
 人的、不肯與人方便的 ②短頭
 髮の人、和尚頭
 (かりかり) まうじや 我利我利亡
 者(名) 與我利我利坊主 ①同

かり

かりぎ 借着(名) 借別人的衣裳穿
 かりぎぬ 狩衣(名) 古代之官服
 かりくび 雁首(名) ①似雁首者 ②
 龜頭
 かりこ 狩子(名) 隨獵驅逐鳥獸之
 かりこす 借越ス(四段他動) 透支、取
 銀過所存
 かりこむ 刈込ム(四段他動) ①割 ②
 鉸(木の枝を刈込む) 鉸樹枝兒
 (頭を刈込む) 鉸頭髮
 かりこむ 借込ム(四段他動) 多該錢
 かりさし おさへ 假差押(名) 暫封、
 暫時抄家
 かりしゆつこく 假出獄(名) 假釋、
 假釋出獄、暫假出獄
 かりずまる 假住居(名) 暫住、寄
 居、寄住、寄寓

かり

かりそめ 假初(名) ①苟且、造次
 ②少微、微末、輕略、一點兒(假
 初の事) 小事、微事(假初の病) 微
 症(假初にも嘘を云つてはいけな
 い) 一點兒也不要撒謊(假初に
 思つてはいけない) 你別看輕了
 かりた 刈田(名) 稻地、割了的田
 かりた 骨牌(名) 與かるた同
 かりたつ 騙立ツ(下二段他動) ①驅逐
 ②催去
 かりたをす 借倒ス(四段他動) 拉賬
 かりち 借地(名) 租地
 かりちん 借賃(名) 地租(土地、賃
 錢(土地又)、利錢(金)、房錢(家)、房
 租(同上)、車份兒(車)
 かりつかふ 騙使フ(四段他動) 與お
 ひつかふ同

三二六

かり

かりて 借手(名) 租主(地主)、借主
 兒(金や物) (家があつても借手がな
 い) 有房子可沒租主兒
 かりでうやく 假條約(名) 草約
 かりとち 假綴(名) 粗釘
 かりに 假ニ(副) ①暫、一時 ②比
 方、假比(假にかうしておかう)
 暫且這麼辦罷(假に此處に一萬
 圓ありとすれば……) 假比這兒
 有一萬元銀子……(假に此時貴
 下が私であつたらどうなさいませ
 か) 假如這個時候兒您是我您
 當怎麼辦
 かりにも 假ニモ(副) 絲毫、一點
 兒也(假にも不敬な事をしてはな
 らぬ) 絲毫不可不恭敬
 かりぬし 借主(名) 借主兒(金や品)、

かり

欠主(金)、欠債人(同上)、租主(土地家
 かりぬひ 假縫(名) 試縫
 かりね 假寢(名) 假睡、假寐、混身
 兒臥、浮睡、浮惰(同上)
 かりのおや 假親(名) 義父、乾爹、
 乾老兒
 かりのこ 假子(名) 義子、乾兒子
 かりのたまづさ 雁玉章(名) 雁書、
 雁帛
 かりのたより 雁便(名) 同上
 かりのやや 假宿(名) ①暫住的房
 子 ②浮世
 かりば 狩場(名) 獵場、圍場
 かりばし 假橋(名) 浮橋
 かりぶとん 借蒲團(名) 質的鋪蓋
 かりほ 刈穂(名) 割下來的穗兒
 かりほ 假庵(名) 假廬

かり

かりまいさう 假埋葬(名) 暫時葬
 埋、浮埋
 かりまくら 假枕(名) 假睡、假寐
 かりもがり 殯(名) 停靈、停柩
 かりもの 借物(名) 借來的東西
 かりや 假屋(名) 棚、窩棚
 かりや 借家(名) 與かりいへ同
 かりやう 雅量(名) 大量、度量大
 かりやく 假役(名) 行走(現ナ)、見習
 かりやくそく 假約束(名) 白頭字
 兒
 かる 枯ル(下二段自動) 枯、死、萎落
 (この木は枯れた) 這棵樹死了
 かる 涸ル(下二段自動) 涸、乾(河の水
 が涸れる) 河水乾了(泣いて涙も
 乾れた) 哭的淚也乾了

三二七

かる

かる 嘔ル(下二段自動) 嘔(聲が嘔れ

る) 聲兒嘔了、嗓子嘔了

かる 借ル(四段他動) ①借、租 ②藉(金

を借る) 借錢、借銀子(地を借る)

租地(家を借る) 租房(馬を借る)

賃馬、借馬(口實を借る) 藉口(酒

を借りて心を談す) 藉酒談心(勢

を借りて人をいぢめる) 借着勢

力欺侮人

かる 驅ル(四段他動) 驅、趕、逐(邪氣

を驅る) 驅除邪氣、去邪(氣馬車

を驅る) 趕馬車(睡魔を驅る) 驅

睡魔

かる 狩ル(四段他動) ①打獵、打圍 ②

打魚 ③拿(猪を狩る) 打獵打野

猪(川に入って魚を狩る) 下河打

魚(巡查が拘摸(リ)を狩る) 巡捕拿

匠

かれ 彼(代) 彼(文)、伊(文)、他(彼を

去りて此に就く) 去彼就此(文)

誰か) 他是誰

かれい 家令(名) 貴族管家的

かれい 家例(名) 家常慣例

かれい 嘉例(名) 嘉例、吉例

カレイ(名) (Curry) 黃醬末、

咖喇粉

かれう 下僚(名) 下僚、手底下當

かれえだ 枯枝(名) 乾枝兒

かれがれ 枯枯(名) ①草木將萎落

②聲音啞了

かれき 枯木(名) 枯樹、死樹、稿木

かれくさ 枯草(名) 乾草

かれこれ 彼此(代) 彼此

かれ

かれ

かる

かる 小絡

かる 刈(四段他動) 割、刈(穀物を

刈る) 割禾、割莊稼(草を刈る) 割

草

がる(接尾) 覺、感、爲、愛、巴不得

「寒がる」愛冷(熱がる) 愛熱(悲

しがる) 覺着悲哀(淋しがる) 覺

着寂寞(子供が菓子を欲しがる)

小孩子惦记點心(女は好い着物

を着たがる) 婦女們巴不得穿好

衣裳(怪しがる) 爲怪

かるい(形) 輕石(名) 銼脚石、浮石

かるかや 刈草(名) 茅草一類

かるがゆる(形) 故(二) 故此、

所以

かるがる(形) 輕輕(形容詞) 草率、

輕率、輕薄、輕(彼の舉動は輕輕

かるこれ 彼此(名) ①這個那個、

長短(彼此と批評する) 說長說

短、家長里短(彼此押問答する)

你問我我問你 ②大概、差不多

「これから天津まで彼此八里ある」

從這兒到天津差不多有八里地

③忙忙叨叨(彼此する内に五

時になった) 忙忙叨叨已經到了

五點鐘了 ④一味(何遍催促し

ても彼此云ひ抜けて返金しない)

我催他好幾回了他一味的支持

不還我 ⑤都是、各樣兒的都(彼

此買ひ整へると一百圓では足りま

せん) 若是各式各樣兒的都買

齊了一百塊錢還不穀哪

かれこゝろ 嘔聲(名) 嘔的聲音、聲

嘶的、嘔聲的

かれ

かる

かる ①他的舉動草率(輕輕しく信ず

る) 輕信

かるがる(形) 輕輕(ト) 輕輕的(大

な石を輕輕と持ち上げた) 把大石

頭輕輕的端起來了

かるくち 輕口(名) 說話輕快

かるこ 輕子(名) 筐子(細いタテ)

かるし 輕シ(形容詞) 與かるし同

カルシウム(名) (Calcium) 錯(ケ)

錯(ケ) 英烟煤

カルジウム(名) (Cardiff) 炭大

かるた 骨牌(名) 骨牌(タニナ作レルカル

紙牌(紙ニ作レルカル) 「躁、草率

かるはずみ(名) 輕佻、輕躁、急

ガルロン(名) (Gallon) 加倫、呷

かるわざ 輕業(名) 跑馬獮、練把

式、深繩兒(ツナワ) 把式

ガレツチ(名) (Garage) 摩托車行、

汽車行、摩托車庫

かれの 荒野(名) 荒野

かれは 枯葉(名) 乾葉

かれひ 鱒(名) 比目魚、板魚

かれら 彼等(代) 彼等、他們

かれら 枯井戸(名) 死井、枯井、

かれん 可憐(名) 可憐 「澗井

カレンダ(名) (Calendar) 月份牌、

日曆、案頭用日曆(オウ)、掛壁

日曆(ニカ)

かるかる(形) 輕輕(形容詞) ①很容

易 ②草率、輕率、苟且

かるく 家祿(名) 世祿

かるし 輕シ(形容詞) ①輕(罪が輕

い) 罪輕、罪不大(足が輕い) 輕

脚的、捷足的、舉步輕健(責任は

かれかる

かる

軽くない)責任非輕(目方が輕い)分量輕(彼の病は輕い)他的病輕(輕くたく)輕輕的打、輕打一下(輕く見る)輕視②草率、輕率、苟且(舉動が輕い)舉動草率③資望不深(彼は年が若くて輕い)他年輕資望不深④輕爽、靈便(身が輕い)身子靈便(絹の着物は輕い)絹子衣裳穿着輕爽⑤淺、微(御飯を輕く盛りなさい)飯盛(ching?)的要淺着點兒(輕い傷)微傷(輕い食物)易消化的東西

かるかわ

省(病が輕む)病輕上點兒、病見輕省(痛が輕む)疼痛略輕鬆點兒
かるむ輕ム(下二段他動) ①輕視、藐視、瞧不上、瞧不起、小看、小瞧 ②使輕、減輕(痛を輕める)使疼痛輕一點兒(罪を輕める)減輕科罪(人を輕める)藐視人、瞧不起人
カロリー(名) (Calorie)熱氣、加
かるんず輕ズ(下二段他動) ①輕 ②輕視、藐視、瞧不上、瞧不起、小看、小瞧(生を輕ず)輕生(私は彼を輕じて居る)我瞧不上他(敵を輕ずる者は必ず敗れる)輕敵者必敗
かわかす乾ス(四段他動) 烤(サ、曬)

かわかん

(日光)晒(晒)晾(晒)焙(焙)乾、弄乾、作乾(この着物はまだ濡れて居るから外へ出して乾しなさい)這個衣裳還潮着哪再拿到外頭去曬一曬(爐の側に置いて乾す)挨着火爐子擱着烤(風で乾かす)叫風吹乾了
かわき乾(名) 乾(今日は風があるから乾が早い)今天有風乾的快
かわく乾ク(四段自動) ①乾、涸 ②渴
かろ下位(名) 下位
かろく家屋(名) 家屋、房屋、房子(家尾稅)①房捐、房屋稅
かをり薰(名) 薰、香、味兒
かをる薰ル(四段自動) 薰、香
かん寒(名) ①寒、冷 ②屬九以後
かん燗(名) 燙酒
三十三天

かん

かん癩(名) 癩
かん漢(名) 漢朝
かん間(名) 間(間髪を容れず)間不容髮、差不了一頭髮絲兒
かん閑(名) 閑、閑(閑を偷む)偷閒
かん釋(名) 釋
かん勘(名) 悟、覺(勘がよい)聰明、明悟、悟性好、知覺靈敏(勘かん肝(名) 肝(が悪い)悟性漫
かん艦(名) 艦、船
かん感(名) 感
かん疳(名) 疳勞
かん柑(名) 柑
かん翰(名) 翰
かん簡(名) ①簡 ②簡單、簡略、簡便(電文簡にして詳細を知らず)電文簡略未詳知(語簡にして

かん

明なり)語簡而明
かん欠(名) 傷耗
かん奸(名) 奸
かん甲(名) 音昂者
かん官(名) 官、棺、管、還、環、貫、慣、換、勸、歡、觀、罐、緩、完、寬、冠
かん患(名) 患、關、欸等見くわん條下
かん顔(名) 顏、臉
かん龜(名) 龜
かん雁(名) 雁
かん癩(名) 癩、疔、痛
かん眼(名) 眼
かん丸(名) 丸、元、玩、翫、頑、願等見
かん丸(名) 丸、元、玩、翫、頑、願等見
かんあく姦惡(名) 姦惡
かんあけ寒明(名) 立春
かんい簡易(名) 簡易、簡便、簡捷

かん

かんいう甘誘(名) 甜言蜜語的哄
かんいう含有(名) 含有
かんいん姦淫(名) 姦淫
かんえう簡要(名) 簡要
かんえう肝要(名) 要緊
かんおう感應(名) ①感應 ②相應、回應、響應(相互感應)サウゴ互感應(自己感應)ジゴ自感應(感應コイル)感應網
かんおん漢音(名) 自中國北方傳到日本的字音
かんか閑暇(名) 閒着、閒工夫
かんか感荷(名) 感荷
かんか閑雅(名) 閑雅、幽雅
かんか眼(名) 眼(眼下に見下す)瞧不起(ミサ、瞧不上)ト
かんがい陥害(名) 陷害
三三二

かんがい 感慨(色) 感慨
 かんかい 眼界(色) 視界、眼力所及、眼力的範圍、眼看的遠近
 かんかう 勘考(色) 思想、尋思、思索、細想
 かんかう 刊行(色) 刊發、刊行
 かんかう 雁行(色) 雁行
 かんかく 看客(色) 看客、觀客、旁觀的人、看熱鬧的人
 かんかく 間隔(色) 隔、間隔、間距、距離(三尺の間隔を置いて花を植ゑる) 隔著三尺的空兒種花兒
 かんかく 感覺(色) 官覺、知覺
 かんかく 漢學(色) 中國古學
 かんがき 雁瘡(色) 腿上長的癬
 かんがふ 考フ(下二段他動) ① 思想、

思想、尋思、思付、思念、思維、思慮、思索、打算、(貴下はどうか考へますか) 您想怎麼樣(私の考へる所では...) 據我想...、在我想...、(後の事を考へる) 慮後、防後、預防(算術の問題を考へる) 想算學的問題(高い安いなと考へて居られない) 顧不得貴不貴(あの店の陳列法は中考へて居る) 那個舖子陳列貨物的法子很講究
 かんがへ 考(色) 思想、意思、主意、念頭、心思、想頭(考が緻密です) 心思細密(あの人はどう云ふ考を持つて居ますか) 他有甚麼主意(どうか考へてもよい考が出ない) 怎麼想也打不出好主意來

「悪い考を起す」起不良之心(貴下のお考は如何ですか) 不知您意下如何、未知高見何如(私の考はかうです) 愚見如此、依我的意思這嘛著(考が深い) 深思遠慮(考が浅い) 短見、淺見、識見短淺(考の無い人) 無心人、粗心人(纏った考) 成見
 かんがへ 考(色) 考込(四段他動) 深思、沈思、默想、思索、尋思
 かんがへ 考(色) 謎語(カ) 畫謎(カ) 難題
 かんがまへ 構(色) 山字底兒
 かんがみる 鑑ル(上一段他動) 鑑(此に鑑る所あり) 有鑑於此(文) (古を鑑る) 鑑古(文)
 カンガル(色) (Kangaroo) 肚袋

鹿、袋鹿、袋鼠兒、更格盧
 (かんかん) 頭髮(小語)
 (かんかん) 噹噹的(小サキ鐘)、噹噹的(大ナル鐘) (警鐘をかんかん鳴す) 噹噹的打警鐘 ② 毒(日がかんかん照り付ける) 太陽毒得利害
 かんがん 汗顔(色) 慚愧、汗顏、沒
 有險(實に汗顔に堪へない) 實在慚愧的很
 かんき 寒氣(色) 寒氣 「業
 かんき 勘氣(色) 不倖承業、絕嗣
 かんき 雁木(色) ① 碼頭(船ツ) ② 大
 鋸 ③ 又棍子(雁木ニナリタル様) ④ 鏗(ヤス)
 かんきう 眼球(色) 眼珠兒、眼睛
 珠
 かんきふ 感泣(色) 感泣、流感涙

かんぎやう 寒行(色) 屬九以後到
 立春每天修苦行之謂
 かんきやう 眼鏡(色) 眼鏡兒(老眼鏡) (ラウ) 花鏡(近眼鏡) (キン) 近眼鏡(眼鏡を掛ける) 戴眼鏡兒
 かんきよ 閑居(色) 閑居、閑坐、閒着
 かんきよう 感興(色) 興味、興頭、興致(Insight) 感興が湧いて來る) 高起興來
 かんきよく 奸曲(色) 奸曲
 かんきん 看經(色) 看經(經ヲ)、念經(經ヲ)
 かんきん 監禁(色) 監押(Cherish) 念
 かんきん 質金(色) 假銀子、私錢
 かんく 甘苦(色) 甘苦、甜苦
 かんく 寒苦(色) 寒苦、窮苦

かんくつ 岩窟(色) 石洞
 かんくび 雁首(色) 烟袋鍋兒
 かんくわ 看過(色) 看過(一通(ホリト)看過する) 看過一回(この事は看過する譯には行かない) 這個事情我看不過去
 かんくわ 干戈(色) 干戈
 かんくわ 感化(色) 感化、化心(人を感化する) 感化人心(感化院)
 (キ) 感化院
 かんくわ 眼科(色) 眼科(眼科醫)
 (イ) 眼醫、眼科大夫
 かんくわう 感光(色) 感光(感光迅速) (シ) 感光迅速(感光紙) (シ) 感光紙、印像紙
 かんくわう 眼光(色) 眼光(眼光紙背に透る) 眼光透紙背

かんくわん 感官(色) 覺官
 かんけい 奸計(色) 奸計
 かんげい(一) 寒稽古(色) 屬九以後
 到立春每天清晨早練武藝音樂等
 各其所從事之業謂之寒稽古
 かんけう 艦橋(色) 艦橋
 かんげき 間隙(色) 間隙
 かんげき 感激(色) 感激
 かんけつ 簡決(色) 簡決、簡捷、簡
 切、乾脆
 かんけつ 間歇(色) 不常、有間、有
 時、有時有有時無、有時歇、間
 發、間退、間休、間息、間歇、時
 發時息(間歇熱)(一) 發冷症、瘧
 症、瘧子病、瘧子、時退熱、間歇
 熱(間歇溫泉)(一) 間流溫泉
 かんけん 寒暄(色) 寒暄

かんげん 諫言(色) 諫言
 かんげん 甘言(色) 甘言、甜言蜜
 語、媚語
 かんげん 眼瞼(色) 「兒、瞼、眼瞼
 かんご 看護(色) 看護、看守、看
 病、扶養、扶持(看護人)(一) 看
 病的(看護婦)(一) 看護婦、扶養
 婦(看護兵)(一) 看護兵、醫兵
 かんご 閑語(色) 閑談、談天兒
 かんご 漢語(色) 中國文話
 かんご 箝口(色) 箝制其口、箝
 制言論自由、箝住人的口、塞住
 かんご 甘承(色) 輕粉 「人口
 かんご 眼孔(色) 眼孔
 かんご 寒國(色) 冷地方、寒國
 かんご 監獄(色) 監獄、監牢
 (かんご) 紙子(色) 紙子(影久居) 燒

紙的味兒
 かんご 甲聲(色) 音昂者、扯着
 老婆嚙子(甲聲で呼立てる) 扯着
 老婆嚙子喊
 かんご 奸詐(色) 奸詐
 かんご 監查(色) 監查 「疖
 かんご 疖瘡(色) 大瘡、膿瘡、下
 かんご 乾燥(色) ① 乾燥、乾枯
 ② 無味、沒有趣兒、沒趣、淡薄
 (乾燥季)(一) 乾季、乾燥時令(乾
 燥機)(一) 乾燥機、收乾器(乾燥
 劑)(一) 除濕藥、保乾藥
 かんご 感想(色) 感想
 かんご 肝臟(色) 肝
 かんご 甘草(色) 甘草
 かんご 雁雀(色) 與がんがさ同

がんごう 贗造(色) 假造、私造(贗
 造物)(一) 假的、假做的(cheap)
 かんご 奸策(色) 詭計、巧法、巧
 計、巧策、狡計
 がんご 贗作(色) 與がんご同
 かんご 爛酒(色) 燙的酒
 かんご 簪(色) 婦女戴的花兒
 かんご 監察(色) 監察
 かんご 鑑札(色) 腰牌(腰ニツ)、執
 照(可) 牌照(照)、帖照(照)
 かんご 質札(色) 假票子(cheap)
 かんご 爛冷(色) 燙了一回又
 涼了的酒 「監察人
 かんご 監査役(色) 查賬人、
 かんご 寒晒(色) 涼粉
 かんご 閑散(色) 閒着、閒散
 かんご 諫止(色) 諫止、諫阻

かんご 監視(色) 監察、監視、看
 守、管束(see)(一) あの男は監視附
 だ 他那個人由警察管束的、他
 是常有巡警跟着監視(監視船)
 (一) 哨船、護船(監視兵)(一) 監
 視兵、瞭望兵
 かんご 漢詩(色) 中國詩
 かんご 敢死(色) 敢死、拚命
 かんご 漢字(色) 中國字 「事
 かんご 幹事(色) 提調、管事的、幹
 かんご 感覺(色) ① 知覺、覺悟、感覺
 (感の早い人) 知覺敏速的人、容
 易受感動的人、機伶的人(感の
 鈍い人) 笨人(指先に感がない) 指
 頭沒有知覺、指頭覺着麻木
 情、感情、心覺(悪い感をもつ)
 覺着惡感 ② 效驗(藥を飲んで)

何の感もない 吃了藥也沒見效
 かんご 感入ル(一) 感入ル 很佩
 服、很感動
 かんご 鑒識(色) 鑒識
 かんご 眼力(色) 眼力 「同
 かんご 眼疾(色) 與がんびやう
 かんご 感謝(色) 感謝、感恩、感
 激、感念(感謝に堪へない) 感激
 不盡、感謝無窮(誰んで感謝申上
 候) 肅此謹鳴謝悃(感謝狀)(一) 感
 感謝之信、感謝之字
 かんご 甘蔗(色) 甘蔗
 かんご 間者(色) 探子、細作、間
 諜、奸細
 かんご 奸邪(色) 奸邪
 かんご 癩症(色) 癩症
 かんご 奸商(色) 奸商

かんじやう感情(名) 情、人情、人心、情操、感情(人の感情を害する)傷人心、得罪人、傷人的感情(感情に支配される)爲情所使(人の感情を激さする)挑激人心(感情的な)深情的、容易受感動かんじやう感状(名) 動状「的かんじやう干城(名) 干城(干城)かんじやうが乾生薑(名) 乾姜かんじやく癩癩(名) 氣、急、皮氣、脾氣(癩癩を起す)着急、鬧皮氣(癩癩玉)(名)同上(癩癩持)(毛)皮氣大的人、火性的人、火性暴流的人、暴性的、暴皮氣のかんじゆ癩酒(名) 與かんざけ同かんじゆ看守(名) 〇看守(看守)

〇獄吏、禁子、掌囚的かんじゆ監守(名) 〇掌理、監理、監守(名) 理事的、管事的(監守盜(名) 監守自盜かんじゆせい感受性(名) 感受性かんじよ漢書(名) 寒暑かんじよ甘薯(名) 中國書かんじよ閑所(名) 茅房、茅廁かんじよ岩乘(名) 〇駿馬、千里馬(名) 結實、牢固かんじよく間食(名) 茶食かんじよく間色(名) 五色以外之色、不正派の顔色かんじよく感觸(名) 感覺かんじよく顔色(名) 顔色、面色かんじよく顔色なし(名) 沒臉、臉下不來(名) 氣色(顔色なし)沒臉、臉下不來

〔顔色を失ふ〕同上〔顔色を變る〕變色、變顔變色(嬉しうな顔色)喜色、歡色(人の顔色を窺ふ)看人的神氣、看人的眼色かんしん感心(名) 〇佩服(名) 讚美、讚嘆(あの學生はよく勉強する感心だ)那個學生很用功我佩服他(此繪は私は感心出來ない)這幅畫兒我不能讚美かんしん寒心(名) 寒心かんしん甘心(名) 甘心かんしん奸臣(名) 奸臣かんしん奸人(名) 奸人かんじん閑人(名) 閑人かんじん肝心(名) 要緊かんす監ス(佐變他動) 監査、監守かんす姦ス(佐變他動) 姦、姦淫

かんす緘ス(佐變他動) 緘(封を緘す)緘封(口を緘して云はず)緘口無言かんす爛ス(佐變他動) 漫(酒を爛す)かんす感ス(佐變自動) 感、覺(恩に感ず)感恩(苦痛を感ず)覺乎着苦(寒さを感ずる)覺着冷(神明に感ずる)感于神明かんする鹹水(名) 鹽水、鹹水かんせい監製(名) 監製かんせい陷阱(名) 陷阱、拌馬坑かんせい鼯聲(名) 鼯聲、打呼的聲兒かんせい閑靜(名) 清靜、幽靜かんせき漢籍(名) 中國書かんせき岩石(名) 岩石、礁石かんせつ間接(名) 間接、繞着灣

兒(間接稅)(一)間接稅(間接射擊(一)間接射擊)「涉かんせふ干涉(名) 干涉、干預、相かんせん幹線(名) 幹路(幹道)、幹線、主線、本線かんせん感染(名) 沾染かんせん眼前(名) 眼前、目前かんぜん眼前(名) 紙捻的繩兒(かんぜんより)(名) 紙捻的繩兒(二本ニテ、紙捻兒(ヨリタル)かんそう含嗽(名) 嗽口(含嗽劑)(ザイ)嗽口藥、含嗽劑かんぞく好賊(名) 好賊かんそん寒村(名) 寒村かんたい艦隊(名) 艦隊かんだう勸業(名) 不俾承業、絶嗣業、父親把兒子闖出去

かんだう問道(名) 問道かんだう強盜(名) 〇強盜(名) 巡捕燈(強盜提灯)(ヤウチ)巡捕燈かんだれ雁垂(名) 雁偏厦兒、雁かんだん肝膽(名) 肝膽「字頭兒かんだん感歎(名) 感歎かんだん簡單(名) 簡便、簡捷、簡單、簡明、容易(簡單にお話下さい)請往簡明了說、請簡言(さう簡單には片付くまい)怕不能那麼容易的辦(簡單なる説明)簡單說明、簡明解說かんだん閑談(名) 閑談かんだん寒暖(名) 寒暖かんだん間斷(名) 間斷かんだんけい寒暖計(名) 寒暑表、溫度表(華氏寒暖計)(ワシ)華氏

溫度表、法倫寒暑表〔攝氏寒暑計〕(セルシ)攝氏溫度表〔列氏寒暑計〕(レヒヒ)列氏溫度表、囉木耳寒暑表

かんたんし感歎詞(色) 口氣字、間投字、感歎字、語助詞
かんたんし邯鄲師(色) 在客店偷客人東西的賊

かんちか智(色) 奸智
かんち閑地(色) 閑地 「隻虎」
かんち眼一(色) 一隻眼瞎子、一

かんちく含蓄(色) 紫竹 「蓄」
かんちく含蓄(色) 含蓄、包含、孕
かんちやう艦長(色) 艦長、管駕
かんちやう勘定(色) ①算、計、數、計算 ②賬、賬目、項(勘定が合はない)賬目不對、算錯了(勘

かんとう竿頭(色) 竿頭(百尺竿頭一步を進む)百尺竿頭進一步(文)
かんどう感動(色) 感動(人を感動させる)感動人心、感動人情
かんどうし間投詞(色) 與かんたんし同
かんとく監督(色) 監督、督理、監工(江夫、導演(活動寫真)、工頭(江夫))
かんな鮑(色) 鮑子(鮑で削る)拿鮑子鮑

かんなう肝臟(色) 肝腦
かんなぎ巫(色) 與みこ同
かんなくづ鮑厨(色) 鮑花子(方ニナハ此ハナリ)

かんなべ爛鍋(色) 漫酒用的鍋
かんなめまつり神嘗祭(色) 日本
天皇奉幣於皇祖神廟之禮

定に合はない)不合算(勘定をしめる)共算、共計(勘定を拂ふ)還賬、付銀子、給錢(勘定を取る)要賬(この金を私の勘定につける)把這個錢寫我的欠賬、把這一筆寫我的欠賬(勘定書)(ガキ)賬單(勘定方)(カキ)管賬的、賬房(當座勘定)(タウザ)來往賬目、交互計算(勘定日)(ヒ)賬目決算日(賣上勘定簿)(ウリガキ)售出計算書(明細勘定書)(メイガイ)開列賬目、記載賬目

かんちゆう寒中(色) 屬九以後到
かんちゆう眼中(色) 眼中(眼中人無し)眼中無人、眼裡沒人、白眼看人、眼睨大(眼中に置かぬ)不放在眼裏、看不在眼裏、藐

かんなん艱難(色) 艱難
ガンニー(色) (Gunny)罌麻袋布
かんにふ陷入(色) 陷入
かんにん堪忍(色) ①耐、忍、忍耐 ②恕、饒、寬恕、饒恕(堪忍が大事です)忍耐是最要緊的(堪忍してやんなさい)你饒他罷(堪忍袋の緒が切れる)忍不住(且那堪忍して下さい)老爺請饒我罷

カンニング(色) (Cunning) 狡猾、奸詐、詭譎 ②夾帶、偷取別人的答案
かんにし神主(色) 祠官、司祭的
かんにい奸佞(色) 奸佞
かんにつ寒熱(色) 寒熱、寒暑
かんにんぶつ寒念佛(色) 信佛者
寒夜打鉦念佛上廟之謂

かんのう堪能(色) 能幹、高手
かんばん看破(色) 看破、看透、瞧破(計策を看破する)看破計策
かんばん感佩(色) 感佩、感佩(深く感佩し候)感佩定深
かんばん乾杯(色) 乾杯(乾杯の辭)席言、饌言、祝語(乾杯する)告乾、舉杯祝飲、飲酒祝福、飲酒致敬

かんばん感冒(色) 感冒、傷風
かんばん監房(色) 監房
かんばん漢方(色) 中國醫道、漢方醫學(漢方醫)(一)儒醫
かんばん芳(色) 芳
かんばん甲走ル(色) 音昂
かんバス(色) (Canvas)畫布、帆布
かんばんせ顔容(色) 面容、容貌

かん

かんばつ 旱魃(名) 旱、涸、大旱

かんばつ 簡法(名) 簡便的法子

かんばつ 頑張ル(四段自動) 奮力、儘

固執、固持、堅持(最後まで頑張る)堅持到底

かんばん 乾板(名) 乾片

かんばん 看板(名) 招牌「看板屋」

かんばん 油漆匠、畫招牌的人

かんばん 甲板(名) 船板、船面、船

面、船板(前甲板)「前船」(中甲板)「中船」(下甲板)「下船

かんびやう 看病(名) 看病「看病人」

かんびやう 看病的(名) 看病的

かんびやう 眼病(名) 眼病、眼疾、

眼症、目疾、開眼睛、熱眼(眼疾)

かんもく 緘黙(名) 緘黙

かんや 寒夜(名) 寒夜

かんやう 涵養(名) 涵養

かんやく 簡約(名) 簡約

かんゆう 魚肝油(名) 魚肝油、鱈肝油

かんゆう 姦雄(名) 姦雄

かんよ 干與(名) 干與、干預、相干

かんらい 雁來紅(名) 雁來紅

かんらく 乾酪(名) 牛奶酥、牛乳

餅、乾黃油、奶豆腐

かんらく 陷落(名) 陷落「土地が

陷落する」平地場陷 失守、攻

開「一日攻めても陷落しない」攻

打了一天没攻開

かんらん 橄欖(名) 橄欖、青菓

かんらん 奸吏(名) 奸吏、汚吏

かんらん 盛吏(名) 扞子手(扞)

かん

かん

かん 火眼(疔)、睛衣炎(疔)

かんぶ 姦夫(名) 姦夫、淫夫

かんぶ 姦婦(名) 姦婦、淫婦

かんぶ 悍婦(名) 悍婦、潑婦、刁

婦、母夜叉

かんぶ 寒風(名) 寒風

かんぶ 感服(名) 佩服、感服

かんぶ 紙袋(名) 紙口袋

かんぶ 海味(名) 海味、野味、乾

菜(乾物屋)「海味店」

かんぶ 質物(名) 假的(cheat)

カンフル(名) (Camphor) 樟腦、樟

腦(カンフルチンキ) 樟腦精「文

かんぶん 漢文(名) 中國古文、漢

かんぶん 感奮(名) 感奮

かんべう 干瓢(名) 瓠瓜乾(切瓠瓜長

かんべう 痛辨(名) 與かんしやく

がんりき 眼力(名) 眼力

がんりやく 簡略(名) 簡略

がんりよく 眼力(名) 眼力、視力、

眼光、目光

かんるる 感涙(名) 感涙

かんれい 寒冷(名) 寒冷

かんれい 寒冷紗(名) 冷布

かんれい 顔料(名) 顔料、顔色、色

かんろ 甘露(名) 甘露

かんろ 寒露(名) 寒露

かんわ 閑話(名) 閑話「山中閑話

かんわ 漢和(名) 中國與日本

かんる 敢爲(名) 敢爲(kan'ner)

かんる 寒威(名) 寒威(人の)

き

き木・樹(名) 樹、樹木(木の葉)

かん

かんべつ 鑑別(名) 鑑別、辨別

かんべん 勘辨(名) 恕、寬恕、饒恕

かんべん 簡便(名) 簡便

かんほ 閑歩(名) 慢走「干薄折

ガンボーチ(名) (Camboge) 藤黃、

かんほつ 陷没(名) 陷没「味好

かんみ 甘味(名) 甜「好吃、口

かんみ 鹹(名) 鹹、鹹味

かんみやう 漢名(名) 中國名字

かんむり 冠(名) 冠、頭(冠を掛く)

掛冠「竹冠」(タケ) 竹字頭兒「字

冠」(寶蓋兒)「冠」(ツ) 秃寶蓋

「穴冠」(ア) 穴字頭「捷

かんめい 簡明(名) 簡明、簡略、簡

かんめん 顔面(名) 面上、臉面(顔

面神經)「臉面神經

樹葉兒(木の根) 樹根兒(木の枝)

樹枝兒(木の心) 樹心兒(木の幹)

樹木(梅の木) 梅樹(松の木) 松樹

「桃の木」桃樹(柳の木) 柳樹(樹

を植ふる) 種樹(chung' shu)「十

年の計は樹を植ふるに如くはな

し) 十年之計莫如樹木 木頭、

木料「此木は固い」 這個木頭硬

「大工が鋸で木を切る」 木匠拿鋸

鋸木頭 椰木(椰子木)「木を入れ

る」打椰子(木に竹を接ぐ) 張脛

臂按李腿上

き黄(名) 黄

き規(名) 規

き紀(名) 紀

き忌(名) 忌 服「忌が明けた」起

服「今年(父の)五年忌です」今年

三三三

是先父五周年

き機(名) 機(機に乗する)乗機、趁
機會(機を失ふ)失機(機を見て
事をする)見機而作(機に臨み變
に應ずる)臨機應變

き期(名) 期(期に至る)到期、屆期
[期を過ぐ]過期[期を限る]限期

き基(名) 基
器(大器は晩成す)大器
晩成(多) [君子は器ならず]君子
不器(多)

き氣(名) 氣、心、意、神、精神(天
地正氣あり)天地有正氣(浩然の
氣)浩然之氣(氣絶ゆ)氣絶(氣斗
牛に冲す)氣冲斗牛(あの小僧は
よく氣がきく)這個徒弟很麻俐
[氣を付ける]小心、留神(氣をひ

きしめる)振刷精神、打起精神
[氣を廻はす]犯疑、猜疑、多心
[人の氣を悪くする]得罪於人、
傷人的感情、傷人心(人の氣を
損ふ)同上[人の氣に入るやうに
する]討人的喜歡(これは私の氣
に入らない)這個東西不中我的
意思[あの人は大臣の氣に入ら
居る]大臣很器重他(此花瓶は私
の氣に入った)這個花瓶合我的
意思[氣に食はぬ]不中意、討厭
[氣を休める]放心[氣が遠くな
る]量過去(人に氣を兼ねる)怕
人說(私は彼とは氣が合はない)
我和他不對勁[氣が合ふ]對勁、
投機、投緣、意氣相投、心投意
合、相合[氣がふれる]發瘋(氣で

氣をやむ)自各兒悶心、自戈熬
心(氣をやむ)納悶、憂悶(氣がふ
さぐ)同上[氣がむすばれる]同上
[氣がぬける]1.失神2.味兒走了
(香)走了氣了(多)氣が小さい)
心眼兒小(氣が多い)無主見、無
定性[氣が變る]改主意、變意、
改意、變卦(氣がせく)心忙意亂
[氣をいらつ]着急(氣にさはる)
心裡不願意、心裡不喜歡、沖了
肺管子(心に掛かる)掛心、掛
慮、關心、惦记(氣に掛ける)同
上[何の氣もなく云った話です]這
是我無心說的話(氣があらひ)
心粗性急(氣が落付かぬ)心神
不定(氣に止める)擱在心上、放
在心上、在意、介意(どう云ふ氣

か氣が知れない)我不明白他是
怎麼個存心(氣の早い人)透徹
的人(氣の短い人)暴皮氣的人
[氣の長い人]慢性兒的人(氣を
引いて見る)探人家的意思(氣を
配る)留神(氣をもむ)發愁、勞心
[氣を吞まれる]發慌、怯場(氣を
散する)解悶兒(氣が弱い)心弱、
心軟、志弱、膽怯、膽小、發怯
[彼は父が死んだので盤居など見
る氣にならぬ]他父親死了他沒
心腸聽戲(體の加減が悪くて何
もする氣にならない)身子不舒
坦沒心腸幹事情

き記(名) 記
き季(名) 季、節(盆暮二季)(ボシク)
中元年下兩節(半季)(ハシ)半年

き饑(名) 饑
き騎(名) 騎
き寄(名) 寄
き机(名) 机
き飢(名) 飢
き箕(名) 箕
き奇(名) 奇
き麒(名) 麒
き旗(名) 旗
き畿(名) 畿
き岐(名) 岐
き己(名) 己(ハジ)
き癸(名) 癸(ハツ)
き汽(名) 汽
き歸(名) 歸
き鬼(名) 鬼
き(動助) 示過去時之助動詞、矣、

了、過(父は五年前に失にき)家
嚴五年前已亡故矣(多)家父五
年前已經去世了
き生(名) 生的、純的(生絲)(イト)
生絲(生酒)(シケ)醇酒(生藥)(クスリ)
生藥(牛娘)(ムスメ)處女、閨女、姑
娘
き基(名) 座、統(塔二基)(タライ)
一座塔(石碑二基)(イツヒ)一統碑
き騎(名) 騎(三騎の兵)三騎兵
き儀(名) ①儀②禮③事、事情、事
件(婚禮の儀)結婚的禮(此儀に
つき)關於這個事情(其儀に及ば
ず)毋庸議、無庸置議、不用提
了(御面談の儀有之即刻御來臨下
され度候)茲有面商事件祈即移
玉下臨寒舍

ききあ

ぎ義(色) 義(義を尙む)尙義(文) (義を結ぶ)結義(義を起す)起義(其字の義を問ふ)問其文字之義
 ぎ議(色) ①議 ②意見(議合はず)意見不合
 ぎ誼(色) 誼(故郷の誼)故郷之誼
 ぎ技(色) 技(技神に入る)技進于
 ぎ妓(色) 妓、妓女 (神(文))
 きあけ忌明(色) 起服、脱孝、満服、満孝、出服、除孝、釋服
 きあひ氣合(色) 精神、性質、性情
 (氣合のよい人)性情和平の人、有人縁兒的人(氣合が乗る)精神湧發(氣合を呑込む)知機、知趣、明知訣竅兒
 きあつ氣壓(色) 氣壓、空氣壓力
 (氣壓計)ケ(氣壓表)

きあきい

ぎあん議案(色) 議案
 きい奇異(色) 奇異
 きい貴意(色) 貴意、尊意(貴意如何に候哉)未知尊意如何(先に御送申上候品貴意に叶はず候由)玆悉前項不合尊意
 きいう杞憂(色) 杞憂
 きいけい(色) 病用
 (きいこばたん(色) ①打天秤、跂搖板、韻頑板(同上)胡頑戯、蹠跳戯
 きいしばい生石灰(色) 生灰
 きいと生絲(色) 生絲
 きいろ黄色(色) 黄色
 きいろし黄シ(形久延) 黄
 きいん起因(色) 起因、原因、原由、緣故

きいきう

ぎいん偽印(色) 偽造印信 「灸きう灸(色) 灸(灸をする)用艾火きう舊(色) 舊(山水舊に依る)山水依舊(「見舊の如し)一見如舊(舊により)仍舊、照舊
 きう球(色) 球 「矣、萬事皆休
 きう休(色) 休(萬事休す)萬事休
 きう氣宇(色) 氣宇
 ぎう牛(色) 牛
 きうあく舊惡(色) 舊惡(舊惡を思はず)不念舊惡(舊惡露顯に及ぶ)犯了舊案了
 きうい休意(色) 放心
 きういう舊友(色) 舊友、舊雨(きうえき牛瘦(色) 牛廛
 きうおん舊恩(色) 舊恩
 きうか休暇(色) 假(vacation) 歇、放

ききう

學(學校) 放工(工場) 休假、假期
 (暑中休暇)シヨチュ 暑假(年末休暇)ネンツツ 年假(慰勞休暇)イラウ 慰勞假(二日休暇をもらふ)請一天假(休暇を與へる)放假、給假、賞假
 きうか舊家(色) 世家、舊族、舊家、世族
 きうかう舊好(色) 舊好
 きうかう舊交(色) 舊交
 きうかく嗅覺(色) 聞覺、嗅覺
 きうかく休學(色) 告假
 きうがふ糾合(色) 糾合、聚集
 きうかぶ舊株(色) 老股、老股份
 きうかん休刊(色) 停版
 きうかん球竿(色) 球竿

ききう

きうき舊記(色) 舊記
 きうき舊規(色) 舊規
 きうぎ舊誼(色) 舊誼、舊交
 きうぎ球戯(色) 打球兒、插球兒、檯球、彈子戲(球戲臺)マイ球兒臺、打檯球的檯子(球戲場)ヂヤウ檯球房、彈子房
 きうきやう究竟(色) 究竟
 きうくわい舊懷(色) 舊懷
 きうくわい休會(色) 休會
 きうくわつ久澗(色) 久澗、久違、契澗、久疎
 きうくわん舊慣(色) 舊慣、老年的規矩(我が國の舊慣を考ふ)體察我邦之舊慣 「了、八哥
 きうくわんてう九官鳥(色) 秦吉
 きうけ氣受(色) 人緣兒、得人(彼

ききう

は心が實直であるから何處へ行つても氣受がよい)他心地忠厚到處倒很得人(氣受のよい人)人緣兒好的人
 きうけい球形(色) 球形、圓球形
 きうけい休憩(色) 歇、歇息、休息
 (休憩所)シヨ 休息所
 きうけう舊教(色) 天主教
 きうけつ九穴(色) 九穴
 きうけつ灸穴(色) 灸穴
 きうげふ休業(色) 歇工、歇業、放工、休業、停止辦公、放學(學校)
 きうげん九原(色) 九原、冥府、九
 きうご舅姑(色) 舅姑 「泉
 きうご救護(色) 救護、援救
 きうご九五(色) 九五(九五の位)九
 五之位、帝位

きうこく 救國(名) 救國
 きうこん 求婚(名) 求婚、求娶
 きうさい 救濟(名) 救濟、接濟、賑
 きうさく 舊作(名) 舊作
 きうし 臼齒(名) 槽牙、大牙、磨牙
 きうし 九死(名) 九死(九死一生)
 (シヨウ) 九死一生、死裡逃生
 きうじ 牛耳(名) 牛耳(牛耳を取る)
 執牛耳(文) 做首領
 きうしう 仇讎(名) 仇讎
 きうしき 舊式(名) ①老樣兒、老
 派、古式、陳樣、古派(この模様
 は舊式だ) 這個花樣太老了(君
 の洋服は舊式だ) 你穿的洋服是
 舊樣兒的 ②古板、古道(あの入
 間は舊式だ) 他是古板皮氣的人、
 他是古板人

きうしき 舊識(名) 舊識、陳認識
 的、舊日的朋友
 きうじつ 休日(名) 歇日子、假日、
 休息日、放學日子(學校)
 きうしふ 舊習(名) 舊習、舊例
 きうしや 柩車(名) 柩車、喪車、殯
 車、棺材車、駕棺車
 きうしや 牛車(名) 牛車(牛ニ挽カス
 農民ノ子供ノ死ニシテ葬ル能ハザル死
 收メシコレヲ共ニ墓ニニテブイテ云フ)

きうじゆつ 救恤(名) 救恤、憐恤
 (救恤金) 恤款
 きうじよ 救助(名) 救助、接濟、救
 援、救濟、拯救(貧民救助) (セント)
 濟貧、救濟貧人、賑濟窮民
 きうじよく 求職(名) 求職、找事、
 謀事
 きうじよく 休職(名) 停俸、休職
 きうしん 舊臣(名) 舊臣
 きうせい 舊制(名) 舊制
 きうせい 救世(名) 救世(救世軍)
 (ク) 救世軍(救世主) (キ) 救世主
 きうせいたい 救生帶(名) 浮水圈
 きうせかい 舊世界(名) 亞細亞亞
 弗利加歐羅巴三大陸
 きうせき 舊跡(名) 舊跡、古蹟
 きうせん 九泉(名) 九泉、黃泉、九

きうせん 休戰(名) 停戰、免戰、休
 戰、暫時停兵(休戰旗) (キ) 免戰
 旗
 きうそく 休息(名) 歇、休息、歇息
 きうたい 舊態(名) 舊態
 きうだい 休題(名) 休題
 きうたう 舊套(名) 舊套
 きうたく 舊宅(名) 原住的房子
 きうち 舊知(名) 舊知、舊識、舊友
 (舊人) (ジ) 同上
 きうち 灸治(名) 灸治
 きうちやう 休場(名) 角兒不露(角者)
 きうちよう 九重(名) 九重(chung)
 きうつ 氣鬱(名) 悶、鬱悶
 きうてき 仇敵(名) 仇敵
 きうてん 灸點(名) 灸穴上點墨

きうてん 舊典(名) 舊典
 きうてん 九天(名) 九天、九霄
 きうでん 急電(名) 快電
 きうと 舊都(名) 舊都、舊京
 きうとう 舊冬(名) 客冬、去冬、去
 きうとう 牛痘(名) 牛痘、年冬天
 きうにく 牛肉(名) 牛肉
 きうにゆう 牛乳(名) 牛奶
 きうねん 舊年(名) 舊年、去年
 きうは 舊派(名) 舊派、守舊派
 きうはい 九拜(名) 三跪九叩頭
 きうはう 白砲(名) 田雞砲
 きうばく 舊幕(名) 明治維新以前
 徳川幕府時代
 きうはん 舊藩(名) 維新以前諸侯
 きうび 鳩尾(名) 心坎兒、心窩兒、
 きうひ 牛皮(名) 牛皮 「心口

きうひあめ 牛皮餡(名) 皮糖
 きうひん 救貧(名) 救貧、救助貧
 民(救貧法) (ハ) 救貧法、拯貧法
 (救貧院) (キ) 救貧院、貧民院、
 養育院、養貧院、普濟院、濟貧
 院、養濟院
 きうぶん 舊聞(名) 陳聞、舊聞
 きうへい 舊弊(名) ①舊弊 ②古板、
 古道、古怪(舊弊な人) 古板皮氣
 的人、老八板兒、老派人
 きうめい 糺明(名) 糺明 「問
 きうもん 糺問(名) 糺問、訊問、審
 きうやう 休養(名) 養息
 きうやく 舊約(名) 舊約
 きうらい 舊來(名) 從來、原來
 きうらく 牛酪(名) 黃油 「月
 きうらう 舊臘(名) 客臘、去年臘

きうきえ

きうり 黃瓜(名) 黃瓜
 きうり 究理(名) 究理
 きうり よう 丘陵(名) 丘陵、崗
 きうれい 舊例(名) 舊例、故例
 きうれき 舊曆(名) 陰曆
 きうるん 舊怨(名) 舊怨、舊恨
 きうるん 救援(名) 救援、救済
 きうん 機運(名) 時運、運氣、時
 きえ 歸依(名) 歸依 「氣、步數
 きえ いる 消入ル(四段自動) ① 慟哭、
 哭的死去活來(死)
 きえつ 喜悅(名) 喜悅、歡喜
 きえのころ 消殘ル(四段自動) 還不
 化(彼處の雪はまだ消殘つて居る)
 那邊兒雪還不化
 きえはつ 消果ツ(下二段自動) ① 全化
 了、化沒了、滅了(死)

きえきお

きえん 奇縁(名) 奇縁
 きえん 氣焔(名) 氣、氣焔(氣焔を
 吐く)吐氣、發氣焔(氣焔萬丈)氣
 焔萬丈(氣焔が揚らぬ)不高興、
 無精打彩的
 きえん 義捐(名) 義捐、義賑、捐
 錢、捐東西(義捐金)捐的
 錢、義賑金
 きえんさん 稀鹽酸(名) 稀鹽酸
 きおく 記憶(名) 記、記性、記憶
 (よく記憶しておきなさい)你們
 得好好兒記着(彼は記憶がよい)
 他的記性好(私は記憶が悪くな
 った)我的記性壞了(私の記憶は
 確(タシ)でない)我記不清(記憶
 を呼び起す)提個醒兒(記憶術)
 (ジュエ)強記憶術、助記法(記憶力)

きおきか

(リョク)記憶力、耳性、記才
 きおくれ 氣後(名) 發慌、極快、膽
 怯、怯場
 きおち 氣落(名) 喪膽、喪氣
 きおも 氣重(名) 懈怠、發歎
 きか 麾下(名) 麾下
 きか 机下(名) ① 桌子底下(足下、
 臺右、左右、臺鑿、鑿及
 きか 貴下(名) 閣下、老兄、老臺、
 兄臺(下二臺等ヲ指ス)
 きか 幾何(名) 幾何(幾何學)カク 幾
 きか 木臭(名) 木頭味兒
 きか 飢餓(名) 飢餓
 きかい 機械(名) 機器、機械(蒸氣
 機)キョウ 汽機、輪機、蒸氣機
 器(機械力)リョク 機械力、動力
 (機械的)キョウ 機器似的

きか

きかい 器械(名) 器具、傢俱、傢俬
 きがい 氣概(名) 氣概、志概、志氣
 (氣概ある人)有志氣的人
 きがい 危害(名) 危害
 きかう 寄稿(名) 寄稿子、投稿
 きかう 起稿(名) 起稿子、打個底
 きかう 紀行(名) 紀行 「子
 きかう 機巧(名) 巧機
 きかう 奇行(名) 出奇的行爲
 きかう 寄航(名) 灣船、寄港、靠港
 きかう 旗號(名) 旗號
 きかう 揮毫(名) 揮毫(御揮毫被下
 度候)敬求墨寶、乞大筆一揮
 きかう 記號(名) 記號、標記、符
 號、表號、表記
 きがかり 氣掛(名) 懸心、關心、惦

きか

記(あの事が氣掛になつて夜も眠
 られない)我心裡惦記那件事晚
 上所睡不着
 きがけ 生掛(名) 蠟 「的時候兒
 (きがけ)來掛(名) 來的時候、臨走
 (きがさ)氣嵩(名) 好勝的皮氣
 きかざる 着飾ル(四段自動) 打扮
 きかつ 飢渴(名) 飢渴
 きかなきん 生金巾(名) 細布
 きかぬき(名) 好勝的皮氣
 (きがね)氣兼(名) 拘束、拘泥
 きかぶ 龜甲(名) 龜殼、王八蓋兒
 きかぶ 着替フ(下二段自動) 換衣裳(着
 物を着替へてから行きませう)等
 我換衣裳走
 きかへ 着換(名) 替換的衣裳(貧乏
 で着換一枚もない)窮的就是

きかきき

件衣裳沒有別替換的
 きがまへ 氣構(名) 氣字頭兒
 きがる 氣輕(名) 快活、活潑、爽快
 (氣輕者)モイ 快活的人、爽快的
 きかん 龜鑑(名) 龜鑑、榜樣 「人
 きかん 期間(名) 限內、期限內、期
 間
 きかん 旗艦(名) 旗艦、坐駕船
 きかん 旗杆(名) 旗杆
 きかん 饑寒(名) 饑寒
 きかん 季刊(名) 季刊、按季出版
 きかん 義眼(名) 假眼睛
 きかんきつ 期間切符(名) 常用票
 きき利(名) 效、效驗(此藥は利が
 鈍い)這個藥效力不大(あの入
 は左利です)那個人是左臂列
 きき 危機(名) 危機、危局

きき 汽機(名) 汽機
 きき 忌諱(名) 忌諱
 きき 歸期(名) 歸期 「機宜」
 きき 機宜(名) 機宜(機宜に合す)合
 きき 義氣(名) 義氣 「樹義旗」
 きき 義旗(名) 義旗(義旗をあぐ)建
 きき 疑義(名) 疑義
 きき(名) 黃頰魚、黃魷、黃鱈魚
 きき あく 聞飽(ク) (四段他動) 聽膩(講
 談は聞飽いたから芝居でも見ませ
 う) 説書的我聽膩了不如聽戲
 去罷
 きき あはす 聞合(ス) (下二段他動) 打聽、
 詢問、訪問、照會(彼はとう云ふ
 性行だか一つ聞合せて下さい) 那
 個人怎麼個品行您給我詢問詢
 問

きき いたす 聞出(ス) (四段他動) 探知、
 探聞(人の秘密を聞出す) 探出人
 的機密的事情來了
 きき いる 聞入(ル) (下二段他動) 答應、
 肯、肯應、聽從(私の頼は聞入れ
 て下さいませ) 我托您的事情
 您肯給我辦不肯(願ふ事は必ず
 聞入れて下さる) 有求必應(勸告
 を聞入る) 聽從勸說
 きき う 箕裘(名) 箕裘、父業
 きき う 氣球(名) 氣球、風球、輕氣
 きき う 歸休(名) 歸家休息 「球
 きき う で 利腕(名) 右腕子
 きき おく 聞置(ク) (四段他動) 預先聽
 きき おとす 聞落(ス) (四段他動) 不留
 神聽、聽漏了
 きき おほえ 聞覺(名) 聽過的

散學的 (san's hsiieh' ti) (あの聲
 は聞覺がある 山田君ではないか)
 他的聲兒我彷彿聽見過似的不
 是山田先生麼(私の英語は正則
 に習ったのではない聞覺です) 我
 的英國話不是正經學的是隨便
 散學的
 きき およぶ 聞及(ブ) (四段他動) 聽見
 過、聽見說過(私の聞及んで居る
 のはかうです) 這麼我聽見說過
 きき がき 聞書(名) 紀聞
 きき かじる 聞嚼(ル) (四段他動) 學皮
 毛兒、學過一點兒 聽得不詳
 細
 きき ぐるし 聞苦(シ) (形意久語) 聽不
 過、不好聽(彼等の話す話は野卑
 で聞苦しい) 他們說話很野不好

聽 「奇怪的
 きき くわい 奇奇怪怪(副) 奇
 きき げ 聞酒(名) 試酒、嗜酒
 きき さす 聞差(ス) (四段他動) 聽半截
 兒(人の話を聞差して外の人と話
 をするのは甚だ失禮です) 聽人家
 半截兒話又和別人說話實在不
 成樣子
 きき す 聞過(ス) (四段他動) 聽不
 きき す つ 聞捨(ツ) (下二段他動) 不理
 會、不管 聽不過(これは聞捨
 てならぬ話だ) 這件事我聽不過
 (いくら罵つても聞捨てておきな
 さい) 他怎麼罵你你別管他
 きき す 聞澄(ス) (四段自動) 好好
 的聽 「許
 きき す 聞濟(ム) (四段他動) 肯應、允

きき そ こ な ひ 聞損(名) 聽錯
 きき だす 聞出(ス) (四段他動) 與きき
 いたす 同
 きき つく 聞付(ク) (下二段他動) 聽、聽
 きき つぐ 聞續(ケ) (下二段他動) 傳聞、
 聽見人說、聽說
 きき つた 聞傳(フ) (下二段他動) 傳聞、
 聽見人說、聽說
 きき て 聞人(名) 聽話的人
 きき と が む 聞咎(ム) (下二段他動) 詰問
 きき と ぞ く 聞屈(ク) (下二段他動) 准、
 允、允行、允准、依議(上はテ聞屈ケ
 (役所で聞屈けない) 官署不准
 きき とも な し 形久語 不願意聽
 きき と る 聞取(ル) (四段他動) 聽、聽
 人說的話記住(聲が小さくて聞
 取られない) 聲音太小聽不出來

(聽不清・聽不明白・聽不清楚)
 (本國人の講義は聞取れませうか)
 英國教師的講義你聽得出來麼
 (私の言ふのを聞取って書きなさい)
 聽我說的話寫一寫
 きき と る 聞滿(ル) (下二段他動) 聽着入
 神、入味兒(歌に聞滿れる) 聽人
 唱很入味兒
 きき ながす 聞流(ス) (四段他動) 聽不
 留神、耳旁風(私の話を彼は聞流
 にする) 我說的話他不留神聽
 (私は度度彼に忠告したが彼は聞
 流して少しも注意しない) 我屢次
 的說他了他做爲耳旁風一點兒
 也不留神(外の人がいくら悪く
 言つても彼は聞流して居る) 別人
 怎麼說他不好他做爲耳旁風

(他裝聽不見的樣子)

ききなほす 聞直ス(四段他動) 再聽、再問 (君が分つて居るなら聞直すに及ばぬ) 你既明白不必再問了
ききにくし 聞惡シ(形久遠) ①不好聽、不聽 ②不好問 (あの人の言葉が聞惡い) 他說話我聽着不好聽 (君の今の話は聞惡い) (聞苦しい) 你剛說的話不受聽 (そんな事は彼に向つて聞惡い) 這樣事我跟他不好問

ききぬ 生絹(名) 生絹
ききふ 危急(名) 危急、危局、危機
[危急の場合] 事局到了危機 (危急に迫る) 正在垂危、勢甚危急
[危急の状態] 窘迫情形、急迫情
ききふ 企及(名) 企及

②高 (藥が利く) 藥有效驗 (いくら藥を飲んで利かない) 怎麼服藥也沒見效 (胃病にきく藥) 醫胃病的藥、能治胃弱的藥 (よく利く藥) 有功效的藥 (一服飲めば不思議によく利く) 一服就見奇效 (氣轉がきく) 有機智、機伶、心路兒來的快 (氣が利く) 靈便、機靈、機巧 (目が利く) 眼力高 (腕が利く) 有膂力 (釘が利く) 釘的磁實 (君はどうしてかう氣が利かないのだらう) 你怎麼這麼笨 啊 (洗濯がきく) 經洗耐用
きく 聞ク・聽ク(四段他動) ①聞、聽、聽見、聽聞、打聽 (音樂を聞く) 聽音樂 (道を聞く) 打聽道路、問道 (異見を聞く) 聽人勸

ききめ 利目(名) 效、効、效力、效驗
ききめうめう 奇奇妙妙(副) 奇奇怪怪
ききもの 聞物(名) 受聽的、好聽的
ききもらす 聞洩ス(四段他動) 與き
きおとす 同

ききやう 歸京(名) 歸京、回京
ききやう 歸郷(名) 歸郷、回國、回
ききやう 桔梗(名) 桔梗 「家
ききやう 義兄弟(名) 把兄弟、結義弟兄、同盟弟兄
ききやく 棄却(名) 棄却、棄捨、丟棄、拋棄、不准、取銷
ききやく 義脚(名) 假腿 (false leg)
ききやく 戲論(名) 戲論、戲弄
ききやく 起居(名) 起居 (御起居御安

〔訴訟を聞く〕 聽訟 (人の話を聞く) 聽人說的 (聞き誤る) 聽錯了 (あの子によく父母の云ふことを聞く) 那個小孩子很聽他父母的教訓 (耳を傾けて聽く) 傾耳聽、附耳聽、側耳聽 (香を聞く) 試聞味兒 ②試、嗜 (酒を聞く) 試酒、嗜酒、品酒 ③説 (口をきく) 説話 ④聽、從 (命令を聞く) 聽きぐ 木具(名) 木器 「令、從命きぐ 器具(名) 器具、傢俱、傢俬、器皿、用具、什物
きく 疑懼(名) 疑懼
きぐう 奇遇(名) 奇遇
きぐう 寄寓(名) 寄寓、寄居、寄宿、假寓、借住
きくぎ 木釘(名) 木頭釘子

泰) 起居躄吉、起居嚳茂、起居叶吉、起居佳勝、道履清吉、履祺多吉 (起居を伺ふ) 問候起居
ききよ 義舉(名) 義舉
ききよく 棋局(名) 棋局 「文
ききよく 戲曲(名) 戲曲、戲調、戲
ききわく 聞分ク(下二段他動) ①聽分、聽得明白 ②聽從、依從
ききん 基金(名) 基金、準備金 (減債基金) (インサ) 減債基金、償債準備金
ききん 饑饉(名) 饑饉、饑荒
ききんぞく 貴金屬(名) 貴金屬類
きく 菊(名) 菊花兒
きく 起句(名) 起句
きく 規矩(名) 規矩
きく 利ク(四段自動) ①有效、有效驗

きくきり 菊桐(名) 日本皇室紋章之名、用菊花及桐葉
きくくわ 菊花(名) 菊花兒
きぐし 木櫛(名) 木梳
きぐすり 牛藥(名) 生藥
きぐち 木口(名) 木質
きくづき 菊月(名) 菊月 (九月)
きくつく (四段他動) 活動 (此椅子はきくつく) 這個椅子活動 「説きくならく 問道(名) 問道、聽見きくのえん 菊宴(名) 賞菊宴
きくのせつ 菊節句(名) 重陽節 (chrysanthemum)
きくのみづ 菊水(名) 菊花酒 「神きくばり 氣配(名) 勞心、費心、留きくばん 菊判(名) 一張摺八頁的、八開的 (菊判の本) 八開紙的書

本、八開本

きくひむし木食蟲(色) 木中蟲
 きくめいせき菊銘石(色) 海花石
 きくもん鞠問(色) 鞠問
 きくや木具屋(色) 木作、木工
 きぐらう氣苦勞(色) 勞心、費心、
 きくらげ木海月(色) 木耳、「掛心」
 きぐらる氣位(色) 品格、品度
 (きくり) 驚嚇的樣子、哆嗦
 「吃驚してきくりした」嚇的一哆嗦
 (きくり) 同上
 きくわ奇禍(色) 奇禍
 きくわ奇貨(色) 奇貨(奇貨居くへし)奇貨可居(文)
 きくわ歸化(色) 歸化、入籍(英國に歸化する)入英國籍(歸化人)入籍人

きぐわ起臥(色) 起居、起坐
 きくわい機會(色) 機會、時候(今はよい機會です)現在是好時候
 「機會に乗する」乘機會、趁着時候兒、趁勢、抓機會、趁機會(機會を逸す)失走好機會、錯過好機會(此機會に一言お禮を申陳へます)乘着這個機會致謝(機會を外さずにする)迎着頭辦(機會均等)(トク)機會均等、機遇平等
 きくわい奇怪(色) 奇怪、出奇、怪異、怪(奇怪な話)奇談(奇怪な夢)怪夢(奇怪な様子)奇形怪樣
 「そら奇怪だれ」怪呀
 きくわい議會(色) 議會
 きくわん奇觀(色) 奇觀

きくわん汽鐘(色) 汽鍋、鍋爐
 きくわん汽管(色) 汽管
 きくわん氣管(色) 氣管、氣喉(氣管支)氣管枝(氣管支カタル)氣管泗炎
 きくわん器官(色) 經、器官、經具
 「呼吸器官」呼吸經(排洩器官)排洩器官
 きくわん機關(色) 機關、機器、汽機(行政機關)(イキョウ)行政機關(交通機關)(カウツ)交通機關(機關學)(ガク)機關學(機關庫)(ク)機車庫(機關師)(シ)車頭機師、司機匠、火車機司人(シ)汽機師(汽機司)(ト)輪機官(汽軍)(機關紙)(シ)機關報(政府の機關紙)政府的機關報(機關室)(シ)機器房、

機器輪(機關車)(シ)火車頭、汽機車、龍頭、機關車、機車(機關手)(シ)司機人、機車手、司機匠(機關銃)(ジュウ)機關槍(機關砲)(ハ)機器砲、機關砲、連珠砲
 きくわん貴官(代) 貴官
 きくわん祈願(色) 祈禱、禱告(神に祈願をかける)禱告神仙、禱告上天
 「兄臺、老臺、先生
 きくん貴君(代) 閣下、老兄、您、
 きくんし偽君子(色) 偽君子、假君子、假好人
 きけい詭計(色) 詭計、狡猾手段
 きけい奇計(色) 奇計、巧計
 きけい畸形(色) 奇形、奇式、畸形、歪形、缺形、損壞的外形、有殘疾的

きけい貴兄(代) 與きくん同
 きけい義兄(色) 〇(カニ)把兄、如兄、照兄(姉)姐夫(嫂)大舅子、內兄
 きけい偽計(色) 偽計、詭計、偽詐
 きげい技藝(色) 技藝、手藝、藝術、藝能
 きけいてい義兄弟(色) 同盟弟兄、結義弟兄、把兄弟、把子、拜把兄弟
 きげき喜劇(色) 諷刺的戲、取笑的戲、打諢戲、笑劇、樂劇(喜劇)
 きけつ劇團(色) 劇團「論、終結
 きけつ歸結(色) 歸結、總結、結
 きげつ蒞月(色) 月(蒞)
 きけつ議決(色) 議決、決議、決事

きげふ機業(色) 織布業
 きげふ起業(色) 起業、興業、創辦事業、發起某事
 きげふ企業(色) 企業、謀事、圖業、企圖某事(企業家)(カ)領東的、企業的人(企業心)(シ)企業心、冒險心、進取心
 きげふ義俠(色) 義俠、義氣
 (きける)聞ケル(下一段自動)有勢力
 きけん危険(色) 危險(危險を冒す)冒險、涉險(危險の信號)防險號
 きけん貴顯(色) 〇貴顯(皇)上皇
 后皇太子等「放棄權利、棄權
 きけん棄權(色) 棄却自己權利、
 きげん紀元(色) 紀元

きげん期限(名) 期、日期、限期、
 限時、年限(期限が来た) 到期、
 屆期(期限を限る) 定期、限期
(期限が満ちた) 満期、満限、到
 期(期限が過ぎた) 過期、逾期(五
 日間の期限を切る) 限五天為期、
 限五天限(期限を切つて家を明け
 させる) 給限期騰房、給日子騰
 房(償還期限が来た外債) 到期外
 債(期限拂) 期票
 きげん起原(名) 起原
 きげん機嫌(名) ①起居、安否
 奉承(機嫌を伺ふ) 請安、問候、
 問好、問安(御機嫌は如何です)
 您好啊(陛下の御機嫌を伺ふ) 恭
 請聖安(それでは御機嫌よう) 一
 路平安、一路吉祥(酒を飲んで

上機嫌で居る() 喝酒很高興の様
 子(人の機嫌を取る) 奉承人、買
 好兒、逢迎人(貴兄御機嫌よく入
 らせられ目出度奉存候) 老兄起
 居佳勝至為企願(機嫌伺) 請安、問候、問好(機嫌買)
(か) 沒準皮氣的人
 きげんせつ 紀元節(名) 日本神武
 天皇即位之紀念日、即二月十
 きご寄語(名) 寄語 「一日
 きご寄語(名) 寄語
 きご擬古(名) 擬古、仿古
 きご奇功(名) 奇功
 きごう氣候(名) 氣候、時令
 きごう起工(名) 開工、動工(起工
 式) 開工禮
 きご貴公(名) 貴公

きこうし貴公子(名) 公子、貴家
 子弟
 きこうでん乞巧(名) 乞巧(陰曆
 七月、福徳祭ナリ此日ハ菓子菓
 物針緒等ヲ二供ニ供ヘテ祭ル)
 きこえ聞(名) ①聽 ②風聞、風聲、
 きこく枳殼(名) 枸橘(聲氣、名聲)
 きこく歸國(名) 歸國、回國、旋國
 きこく貴國(名) 貴國 「疑獄
 きこく疑獄(名) 疑案、疑難官司、
 きこころ着心(名) 穿着(この着物
 は着心がよい) 這個衣裳穿着舒
 服
 きこしめす聞(名) ①聽 ②
(きこ) ちない(形久遠) ①穿着不舒
 服(此着物はきこちない) 這個衣
 裳穿着不舒服 ②粗、粗鹵、粗
 俗(あの人は田舎者できこちな

い) 他是鄉下人舉動太粗 ③不
 柔和、不隨和、不圓通
 きこつ 奇骨(名) 奇骨
 きこつ 氣骨(名) 骨氣、志氣
 きこなし(名) 穿得(着物のきこなし
 しが上手だ) 穿衣裳穿得很合式
 きこのいきほひ騎虎勢(名) 騎虎
 下不來、騎虎勢、騎虎難下
(きこ) は 與(きこ) ちない同
 きこみ着込(名) 甲冑裏頭裝的衣
 裳 「精神
 きこみ氣込(名) 發憤、憤力、振起
 きこむ着込(名) 多穿衣裳、
 套衣裳
 きこや木小屋(名) 木廠子
 きこゆ聞(名) ①聞、聽、
 聽見(聲が聞える) 聲音聽得見

「聲が小さくて聲えない」聲音太
 小聽不見(聞える範圍) 聽聞的
 遠近、耳力的範圍、耳力所及
(名四方に聞ゆ) 四遠馳名 ②明
 白(君の云ふ事はよく聞えて居
 る) 您說的意思很明白(それは
 聞えませぬ) 豈有此理、沒有的
 話、你說沒有道理
 きこり樵(名) 樵夫、伐木的、打柴
 きこる樵(名) 打柴、伐木
 きこん氣根(名) 精神、精力、氣力
 きこん氣魂(名) 氣魂
 きご段(名) 與(きご) だ同
 きご跪坐(名) 跪坐
 きご氣障(名) 可惡、可憎、討厭
 きごい后(名) 皇后
 きごい鬼才(名) 鬼才

きこい奇才(名) 奇才
 きこい記載(名) 記載
 きこい器財(名) 器具、傢俱、傢伙
 きこい木材(名) 木料
 きこい疑猜(名) 猜疑
 きさう起草(名) 起草案、起草、起
 底子、起稿子、起文書稿
 きさう奇想(名) 異想、奇想(奇想
 天外) 異想天開
 きさう織裝(名) 織、裝船
 きさう偽造(名) 私造、偽造、偽
 做、假造
 きさうゐん起草員(名) 起草員
 きさき氣先(名) 銳氣、奮氣(氣先
 を挫く) 挫折銳氣、掃興、灰心
 きさき后(名) 皇后

〔きざぎざ〕(名) 狗牙、鋸齒、鋸齒
 形的〔きざぎざを付ける〕刻成鋸
 齒、作狗牙邊
 (きざく) (名) 快活、活潑、爽快
 きざく 奇策(名) 奇策
 きざく 偽作(名) 與ぎざう同
 きざげ 生酒(名) 醇酒、高酒
 きざし 非(名) 兆、萌、兆頭、萌兆、
 苗頭〔目出度き兆〕吉兆〔悪しき
 兆〕凶兆、敗兆〔兆が出た〕出了
 個先兆兒〔雪は豊年の兆です〕雪
 兆豊年
 きざす 萌ス・兆ス〔四段他動〕 兆、萌
 〔草木芽を萌す〕草木萌動、草木
 發芽兒〔早く心に萌す〕早萌于
 心〔まだ萌さぬ先に亂を鎮める〕
 壓亂于未萌

きざつ 貴札(名) 雲翰、玉函、華翰、
 瑤函、手書、大札、惠書 「兒
 きざはし 階(名) 階、階梯、臺階
 きざはり 氣障(名) 可惡、可憎、討
 きざま 貴様(代) 你 「厭
 きざみ 刻(名) ①片兒、塊兒 ②時
 候兒 ③彫刻、雕 ④烟絲
 きざみ あし 刻足(名) 小歩〔刻足で
 歩く〕邁開小歩兒走
 きざみ 二んぶ 刻昆布(名) 帶絲
 きざみ たび 刻煙草(名) 烟絲
 きざみ 刻目(名) 狗牙、鋸齒、刻
 口、狗牙缺〔刻目をつける〕刻成
 鋸齒、作狗牙邊
 きざむ 刻ム〔四段他動〕 ①刻(カ、カ)、
 彫、彫刻、鐫刻 ②切爲小塊兒、
 切碎、刻碎〔字を刻む〕刻字、刻

銘刻在心
 きざら 木皿(名) 木頭盤兒
 きざらぎ 更衣(名) 如月〔二日月〕
 きざん 歸參(名) 回來
 きざん 起算(名) 算起 「悶
 きざんじ 氣散(名) 遺悶、解悶、散
 きざし 岸(名) 岸〔海の岸〕海岸、海
 濱、海邊〔河の岸〕河岸、河邊、河
 沿〔岸に上る〕上岸
 きざし 騎士(名) 騎士
 きざし 雄(名) 野鷄
 きざし 奇事(名) 怪事
 きざし 記事(名) 記事、紀事
 きざし 義子(名) 義子、乾兒子
 きざし 技師(名) 工師、工程師、技師

〔技師長〕(チヤウ) 總工程師、技師
 きざし 義士(名) 義士 「長
 きざし 義齒(名) 義齒、假牙
 きざし 疑字(名) ①可疑的字 ②相仿
 的字 「列拉」類似霍亂症
 きざし 疑似(名) 像似、類似〔疑似虎
 きざし 議事(名) ①商議事情、議事
 ②商議的事情〔議事堂〕(ダウ) 議
 事堂〔議事日程〕(チヤウ) 議事日表
 〔議事録〕(ロク) 日録、案情録〔貴族
 院議事録〕(キョク) 貴族院日録〔議
 事規則〕(キョク) 議事規則
 きざし 貴酬(名) 回信、回覆
 きざしかた 來方(名) 往時 「禮式
 きざしき 儀式(名) 禮、禮節、儀式、
 きざしき 物相軋轢之聲、嘎
 吱嘎吱的

きざし 忌日(名) 忌日、死祭日
 きざし つ 奇日(名) 單日 「も同
 きざし ほじん 鬼子母神(名) 與きし
 きざし つ 期日(名) 期、日期、定期的
 日子
 きざし も 鬼子母(名) 子孫娘娘
 きざし や 騎射(名) 騎射
 きざし や 汽車(名) 火車、火輪車〔一
 番汽車〕早車〔急行車〕快車〔特別
 急行〕特別快車〔終列車〕晚車〔特
 別仕立の汽車〕花車、花廳車〔臨

板〔煙草を刻む〕切烟絲〔印を刻
 む〕刻圖書〔心に刻む〕記在心、
 銘刻在心
 きざし やう 氣象(名) ①氣象 ②志氣、
 性情、精神〔あの人には氣象がしつ
 かりして居る〕他有志氣〔尙武の
 氣象〕尙武精神〔彼の氣象は父親

とよく似て居る」他的性情和他
 父親很像似(氣象學)氣、氣象
 論、氣象學、氣候學、風雨學(氣
 象學)天文臺、觀象臺(氣象
 者)有志氣的人 「誓書
 きしやう起請(色) 起誓(起請文)
 きしゆ起首(色) 起首
 きしゆ旗手(色) 旗手、旗官、掌旗
 官
 きじゆ喜壽(色) 七十七歲之壽
 きしゆ技手(色) 副工師、技手
 きしゆ義手(色) 假手
 きしゆく寄宿(色) ①寄寓 ②寄宿
 「寄宿舎」(一) 寄宿館(寄宿生)
 (一) 膳宿生 「術、變戲法兒
 きしゆつ 奇術(色) 法術、妖術、邪
 きしゆつ 技術(色) 技術、技藝、技

能、手頭兒、功夫
 きじゆん歸順(色) 歸服、歸順
 きじゆん起準(色) 起碼、起點
 きじゆん基準(色) 標準、軌範、基
 本、本位
 きしよ貴書(色) 雲翰、玉函、華翰
 きしよ寄書(色) 寄書、寄稿子
 きしよ貴所(代) 閣下、兄臺、「書
 きしよ偽書(色) 偽筆跡、假冒文
 きじよう騎乘(色) 騎馬
 きじよう偽証(色) 偽誓、偽證、誣
 誓、假誓、妄誓(偽證罪)「偽
 證罪、偽誓罪
 きしよ偽稱(色) 假冒、假稱
 きしよく喜色(色) 喜色、歡容(滿
 面に喜色を浮べる)滿面喜色、滿
 面歡容

きしよく氣色(色) 氣色
 きしよく寄食(色) 寄食、吃閒飯
 きしり(副) 正「きしり合ふ」正合
 式 「が軋る」車軋
 きしる軋(四段自動) 軋、軋轢(車
 きじろしキ印(色) 與きちがひ同
 きしん鬼神(色) 鬼神
 きしん寄進(色) 施捨、布施
 きじん奇人(色) 好奇的人
 きじん畸人(色) 畸人
 きしん疑心(色) 疑心
 きしん疑心(色) 疑心(疑心暗鬼を
 生ず)疑心生出暗鬼來
 きじん義人(色) 義人
 きす着ス(下二段他動) ①使穿、給穿
 「子供に洋服を着せる」給小孩子
 穿西洋衣裳 ②包、纏「此等は銀

を着せたのです」這個簪子用銀
 葉子包的(尖端)に着せる)包
 尖兒、鑲頂兒 ③嫁(罪を人に着
 せる)嫁罪於人、把罪推在別人
 身上 「恩に着せる」賣乖、賣便
 (pieng)
 きす歸ス(佐段自動) 歸「死を視るこ
 と歸するが如し」視死如歸(「同
 理に歸す」歸於一樣的道理、歸
 於同理「天下心を歸す」天下歸
 心「以て畫一を歸す」以歸畫一
 「全國の財政權が外國の手に歸し
 た」通國財政權都入了外人專
 管(無効に歸す)歸於無效
 きす記ス(佐段他動) 記
 きす期ス(佐段他動) 期、期待、期望
 「期せずして會ふ」不期而會、不

謀而合(期して待つべきなり)期
 而可待也
 きす疵(傷)色 ①疵、傷、口子、傷
 痕、傷口、創傷(顔に疵をした)
 臉上刺(さ)了一个口子(傷を受
 ける)受傷(重い傷をした)重傷
 了、傷的很利害(切傷)刀傷、割
 傷、砍傷(打傷)打傷、碰傷(刀の
 切傷)金刀傷、刀刃傷、金瘡(鐵
 砲傷)槍礮傷、槍子傷 ②毛病、
 瑕(白玉疵なし)白玉無瑕(「此
 花瓶は疵がある」這個花瓶有毛
 病「此畫は疵はない」這個畫兒
 沒有毛病 ③凌辱(人の娘に疵を
 つける)凌辱人家的姑娘
 きす議ス(佐段他動) 議、商議、公議
 きす擬ス(佐段他動) 擬、虛擬

きすあと疵痕(色) 吧痢 「單的
 きすう奇數(色) 奇數(odd)單數、
 きすう基數(色) 基數
 (きすぎす) 像鷄嫁粧似的(彼
 は瘦せてぎすぎすです)他瘦的
 像鷄嫁粧似的、他瘦的皮包着
 骨 「瘡藥、創傷藥
 きすぐすり疵藥(色) 金瘡藥、刀
 きすくち疵い(色) 口子
 きすつく傷ク(四段自動) 傷、受傷
 きすつく傷ク(下二段他動) 傷、壞(人
 を傷ける)傷人(體面を傷ける)傷
 臉面(名譽を傷ける)壞了名聲
 きすもの疵物(色) 有毛病的、擇
 手貨(chai show huo)「おの人
 の賣る物は皆疵物です」他賣的
 都是擇手貨「人の娘を疵物にし

た] 姦了人家的姑娘、他壞了人家的手了
 きずり木摺(色) 灰條子、板條
 きずる既遂(色) 已經犯過的
 きずる氣隨(色) 我行我法、任性的、隨心所欲
 きずる奇瑞(色) 奇瑞、祥瑞、祥瑞
 きせい寄生(色) 寄生(寄生蟲)(ユウ) 寄生蟲
 きせい祈誓(色) 起誓、發下心願
 きせい既成(色) 既成、已成、已經做成、已經作成、已經成就、已經完工
 きせい稀世(色) 世上罕有 「親
 きせい歸省(色) 歸省(haring?) 省
 きせい期成(色) 期必成也、期成
 きせい犧牲(色) 犧牲(生命を犠牲

にする)犠牲性命、捨身、捨命
 (國のため犠牲となる)爲國捐軀、殉國(犠牲にする)供犠牲(どんな犠牲を拂っても必ずやる)無論任、何犠牲必要成功
 きせい擬製(色) 偽造、偽做、假做
 きせい擬勢(色) 虛勢(擬勢を張る) 虛張聲勢
 きせいひん既製品(色) 現成的
 きせがね被金(色) 包金、包銀、包被
 きせき奇蹟(色) 奇蹟、神跡、靈
 きせつ既設(色) 已經設立的
 きせつ氣節(色) 志氣、氣概
 きせつ季節(色) 節氣、節令、節候、時節、時令、季節(季節に合ふ)應時、合時、按時(季節が過

きた)過時、不合時、不是時候
 兒「去、斷氣、咽氣、背過氣去
 きせつ氣絶(色) 氣絶、氣盡、暈過
 きせる烟管(色) 烟袋(烟管の雁首) 烟袋鍋兒(烟管のらお) 烟袋桿
 兒(烟管の吸口) 烟袋嘴兒(烟管のやに) 烟袋油子(長烟管) 線桿
 兒(烟管袋) 烟袋荷包
 きせん貴賤(色) 貴賤
 きせん汽船(色) 火輪船、輪船(汽船會社)(イグワ) 輪船公司(汽船宿) (イ) 運送經紀人、運送承辦人、脚行
 きせん木錢(色) 冷店的店錢
 きせん機先(色) 機、先機、先鞭(機先を制する) 先下手、得人先、着先鞭、占先、制先機

ぎせん義戰(色) 義戰 「爲善
 ぎせん偽善(色) 假仁假義、假冒
 きせんや木錢宿(色) 冷店
 きそ基礎(色) 基礎、根據、根基、根脚、根本(家屋の基礎) 房基、房根脚(基礎工事)(コウジ) 築造根脚工程
 きそ起訴(色) 起訴、訟告、打官司
 きそ貴僧(色) 和尚、老師
 きそ寄贈(色) 送給、奉贈、寄贈
 きそ規則(色) 規則、章程、規章、きそく氣息(色) 氣息
 きそく氣息(色) 氣息 「規條
 きそく貴息(色) 令郎、世兄、少爺
 きそく羈束(色) 羈束 (shao?)
 きぞく貴族(色) 有爵位的人、貴族、貴胄、世爵家 「族院
 きぞくゐん貴族院(色) 上院、貴

ぎそく義足(色) 假腿
 きそくだつ規則立ッ(四段他動) 有規矩、有條理、有條不紊
 きそくどうし規則動詞(色) 動詞
 語尾變化整然有規矩者謂之規則動詞、四段活用・上二段活用・下二段活用・上一段活用・下一段活用是也
 きそふ競(四段自動) 競、賽、競爭
 きそめ辨初(色) 剛上身兒
 きそん損(色) 毀損、損壞、毀壞、貶損(人の名譽を毀損す) 毀壞人的名譽
 きた北(色) 北(北の方) 北方、北邊
 きた路北(北へ行く) 往北去
 きた段(色) 段
 きた(色) (Guitar) 六絃琴

きたい氣體(色) 氣、氣類、氣體
 きたい期待(色) 期待、期望(期待に負かす) 不負期望、能副期望
 きたい危殆(色) 危殆、危險、危急
 きたい希代(色) ① 稀罕 ② 奇怪
 ぎだい議題(色) 議事之題目、議題
 ぎだい義大夫(色) 俗諺一類
 きたう祈禱(色) 祈禱、禱告、禱祝、祝告、祝禱(祈禱をする) 作了禱告(神佛に祈禱する) 禱告神佛
 きだう軌道(色) ① 軌道 ② 鐵路
 きたうけ北受(色) 朝北(chiao?)
 きたかせ北風(色) 北風、涼風
 きだきだ段段(色) 一段一段的
 きたく歸宅(色) 回家
 きたく寄託(色) 寄託

きたけ着丈(名) 衣裳の尺寸

きたす來ス(四段他動) 生、招、惹、形

きたに恐慌を來す(大形惶恐(禍

を來す)招禍害

きたち木立(名) 樹林子 「木刀

きたち木太刀(名) 木頭做的刀、

きたち木質(名) 木本

きただて氣立(名) 意氣、性情(氣立

がやさしい)性情柔和

きたなし穢シ(形久語) ①穢、晦、

汚穢②陋、醜(彼の着物は實に穢

い)他穿的衣裳の穢、他(彼の心

は穢い)他的心裡卑陋、他(那個

人心穢(人ヲ穢ク)「顔が穢い」長得

醜 「方、北邊

きたのかた北方(名) ①夫人②北

きたはし階(名) 階、臺階兒(階を

きたる)上臺階兒

きたひがね鍛鐵(名) 熟鐵

きたふ貴答(名) 奉答、奉復、敬復、

上覆(先は貴答まで如此に御座

候)專此敬復順候文安

きたふ鍛フ(四段他動) 鍛鍊、練、打

きたふ鍛フ(下二段他動) 同上(鐵を鍛

へる)打鐵(胸を鍛へる)練本事

きたむき北向(名) 朝北(ch'ao)

きたる來ル(四段他動) 來(友來る)朋

友來(春來る)春來(來る二十

三日)本月二十三號

きたん忌憚(名) 忌憚、忌諱、顧忌

「忌憚なく云ふ」直言不諱

きたん奇談(名) 奇談

きたん疑團(名) 疑團(疑團を解く)

釋疑團、打破疑團

きち吉(名) 吉、吉祥 「急智

きち機智(名) 機智、靈敏、機敏、

きち既知(名) 既知

きち危地(名) 危險之處

きち貴地(名) 貴處

さぢ木地(名) ①木質(キダ)②質地、

材料(布の木地)布的質地③木

紋(キ)「木地が美しい」木紋美麗

きちがひ氣違(名) ①狂瘋子、瘋

魔②瘋病、瘋癲(氣違になる)發

瘋(あの人は氣違です)他是個瘋

子(氣違染みる)瘋子似的、瘋瘋

癲癲的(氣違水)酒之又名

「きちきち」①物相觸之聲、

嘎味嘎味的②規矩矩的、有

次序的(時計がきちきちと進む)

錶嘎味嘎味的走(部屋はきちきち

ちと片付けなさい)你的屋子你

得好兒的歸着

きちく機軸(名) 車軸、軸子(一新

機軸を出す)別開生面 「兒

きちじ吉事(名) 吉事、吉祥的事

きちじやう吉上(名) 大吉

きちじやう吉祥(名) 吉祥

きちずる吉瑞(名) 吉瑞、祥瑞

きちにち吉日(名) 吉日、吉辰、好

日子、嘉辰令月

呈望乞收入尊帳爲荷

きちやう氣丈(名) 有膽量、大胆

きちやう議長(名) 議長

きちやう議場(名) 議場

きちやう儀仗(名) 儀仗

きちやう議定(名) 議定

きちやう氣丈夫(名) 大膽、有

膽量(彼は氣丈夫な人です)他有

膽量(氣丈夫に思ふ)有了仗膽

子的了

(きちやうめん几帳面(名) 規矩短

矩的、有次序的

きちやく歸着(名) ①回到、回來

②歸於(昨晚九時歸着した)昨天

晚上九點鐘回來了(同理に歸着

する)歸於一樣的道理

齊「家賃をきちんと納める」毎月
不錯日子的給房錢「時間をきち
んとする」不悞時刻「彼は何をす
るにもきちんとする」他辦甚麼
都是規規矩矩的「勘定がきちん
と合う」算的正對絲毫不錯

きつ吉(名) 吉

(きつ) (形久語) 利害、烈害、嚴厲
「あの女はきつ」那個女人利害
「風がきつ」風威的利害「きつ
く雷が鳴る」雷打的利害「きつ
く叱る」嚴厲的說了一頓「きつ
く取締る」嚴嚴的管「この酒はき
つ」這個酒利害「ブランドーはき
つ」蒲蘭的酒很兇「この烟草は
きつ」這個烟衝
喫煙、抽烟

きつかうてん乞巧奠(名) 與きかう
てん同 「下手、閉工
きつかけ切掛(名) 起首、起頭兒、
きづかはし氣遣シ(形久語) 懸心、
怖記「こんな難しい事が私に出來
るか實に氣遣はしい」我很懸心
這麼難的事情我不定辦得了辦
不了「彼は無事であるか氣遣はし
い」他平安不平安我很怖記

きづかひ氣遣(名) 懸心、怖記

きづかひ龜甲(名) 龜殼、王八蓋兒
「龜甲形」(カタ) 龜背錦 「心、怖記
きづかふ氣遣フ(四段他動) 懸心、操
きづかり(名) ①分分明明的、整
整整的「きづかり區別を立てる」
分分明明的區別「きづかり一百

圓「糶有一百圓
きづき氣附(名) 想出來、看出來
「貴下がお氣附の所は遠慮なく云
つて下さい」您看我有不對的地
方請您只管說、您有甚麼見到
的地方只管告訴我 「跳

きつきやう叩驚(名) 喫驚、嚇了一

きつきよう吉凶(名) 吉凶、好歹
きづく築ク(四段他動) 築、築造「堡
壘を築く」築造堡壘
きづく氣附ク(四段他動) ①理會
醒「今し方地震がしましたが貴下
は氣附きませんでしたか」剛纔地
震了你沒理會麼「下役の者が不
正を働くのに彼は少しも氣付かな
い」他的手底下做官的舞弊他
還不理會

(きつ) (形久語) 哆嗦、忐忑(喫驚し
てぎっくりした) 嚇得身子一哆
嗦 「醒藥

きつけ氣附(名) 醒(氣附藥)(クスリ)

きつけい吉慶(名) 吉慶、吉祥

きつさう氣相(名) 面色、氣色

きつさう吉左右(名) ①佳音、長短

「吉左右を待つて居る」候您的佳
音「先方から返事があれば吉左右
お知せします」前路有回信或長
或短我再告訴您說罷

きつさき切先(名) 刀鋒

きつじ吉事(名) 吉事、紅事

(きつ) (形) ①滿、正合式「あ
の車は人がぎっしりです」那個車
人滿了「ぎっしり合ふ」嚴絲合縫
きつしん吉辰(名) 吉辰、佳辰、吉

日、嘉辰

キツス(名) (ク) 親嘴、接吻、碰觸

きつす喫ス(在體他動) 喫、吃「三碗を
喫す」吃三碗「一驚を喫す」嚇了
一跳

きつすゐ生粹(名) 純然、純粹、眞

正、地道「生粹の北京人」純粹北
京人「生粹のしろもの」地道貨
きつする喫水(名) 吃水「喫水の淺
い軍艦」淺水兵輪「此船は吃水は
何程です」這隻船吃多深的水、
這隻船喫水深淺

きつずる吉瑞(名) 吉瑞、祥瑞

きつたて切立(名) 屹立、壁立

きつたん吉且(名) 與きつしん同

(きつ) (形) 與きつしり同

きつつき啄木鳥(名) 啄木鳥、啼

得兒木

きつて(名) ①票子(タガ)、對條

兒(切) 支票(切) ②信票、郵票 ③

禮券(切手)

きつてう吉兆(名) 吉兆、好兆頭

(きつ) (形) 一定、必、必定

(必) (必) 決、必當、必準、必
然「云へば吃度あたる」言必有中
「行つて見てごらん吃度彼が来た
のだ」你去瞧瞧準是他來的「今
日は吃度雨が降る」今天一定下
雨「きつとして問詰める」正容詰
問、鄭重其事的問

キッド(名) (Kid) ①山羊羔子、山

羊崽子、羊羔 ②羊羔皮

きづな絆(名) 絆、絆

きつね狐(名) 狐、狐狸「虎の威を

借る狐 狐假虎威(九尾の狐) 九尾狐(狐のおぼけ) 狐狸精、妖狐
 [狐の皮] 狐皮(白狐の皮) 天馬皮
 [狐拳] (ケン) 滑拳 一類(狐付) (ツギ)
 被狐狸精纏着(狐嫁取) (ヨメドリ)
 帶日下雨、娶禿太太(狐火) (ビ)
 きつぱう 吉報(色) 吉報 「鬼火」
 (きつぱり) 分明明的、脆快、爽快、爽神(きつぱり云ひ切る) 分明明的下斷語、斬釘截鐵的
 說(きつぱり断る) 脆脆快快的推辭(「かうやればきつぱりして居るではないか」) 這麼辦倒不爽神麼
 きつぷ 切符(色) 票(汽車の切符) 火車票(汽船の切符) 船票(一等の切符) 頭等票(入場切符) 入場券、入場票、門票、月臺票(電車)

の切符) 電車票(回数切符) 回数票(定期切符) 定期票(往復切符) 來回票(哩數切符) 哩數票(切符賣場) 賣票處、票房
 きづま 氣稜(色) 奉承、逢迎(氣稜を合せる) 同上
 きづまり 氣詰(色) 心裡不舒服
 きつむ 吉夢(色) 好夢
 きつもん 詰問(色) 詰問、責問(詰問書) (シヨ) 責問書
 きづよし 氣強シ(形容) ① 鐵心的(ハラス) (彼は氣強い人だ) 他是鐵心人 ② 仗膽子、有主心鼓兒(金が無く困って居る處へ家から送って来たから心強い) 我沒有錢正在發愁的時候兒家裡送來了我心裡有主心鼓兒了 ③ 有膽量

きつりつ 屹立(色) 屹立、壁立
 きてい 起程(色) 起程、起身、啓程
 きてい 規程(色) 章程、規則、規例、則例
 きてい 既定(色) 既定、已經定規
 きてい 規定(色) 規定、條規、約條、規則、章程、規例、則例(規定する) 規定、訂明、載明
 きてい 義弟(色) 義弟、內弟(義弟、如弟(義兄弟ノ如ク)、把弟、盟弟(盟) きてい 議定(色) 議定、擬、商定(議定書) (シヨ) 草約、議定書、條約案(議定せる條項) 議定的條款
 きてう 基調(色) ① 主調音、定音、主音、基音 ② 主旨、主眼、方針
 きてう 歸朝(色) 歸國、回國、旋國
 きてき 汽笛(色) 汽笛、汽笛、汽哨

子(汽笛を吹く) 放汽、放汽笛、嘯號
 (きてれつ) 奇怪、奇奇怪怪
 きてん 起點(色) 起頭兒、起初、起
 きてん 木貂(色) 貂鼠兒
 きてん 氣轉(色) 機智、急智(氣轉がきく) 靈便、機敏、伶俐、心路
 兒來的快、有靈敏之才
 きてん 貴店(色) 寶號、尊號
 きでん 紀傳(色) 紀傳、傳記(chuan)
 きでん 貴殿(色) 閣下、兄臺、老兄
 きでん ばん 起電盤(色) 起電盤、附電盤、感電盤
 きと 企圖(色) 企圖
 きと 歸途(色) 歸途、往回裡
 きと 木戸(色) ① 柵欄門 ② 戲館子的門口兒、票房(木戸錢) (セン) 戲

價錢、門票(木戸番) (セン) 戲館子
 看門的、了哨的
 きと 喜怒(色) 喜怒
 きと 龜頭(色) 龜頭、陽莖頭
 きと 氣筒(色) 汽筒
 きと 危篤(色) 病篤、病得利害
 きと 既得(色) 既得的、既定的
 (既得權) (ケン) 既得權、既得的權利
 きと 奇特(色) 可讚美、可嘉
 きと や 氣取屋(色) 大架子、大腔兒
 (きとる 氣取ル(四段他動)) 拿起架子來、作派、捏款兒、擎大架子、粧腔作勢(大盡を氣取る) 拿起濶架子來(あの人は氣取って居る) 那個人有作派

きない 畿内(色) 畿内、畿甸
 きなう 歸納(色) 歸納、內縮、自萬事推出一理、因流溯源、溯流達
 きなか 半錢(色) 半文、分文「源
 きなが 氣長(色) ① 慢性子(彼は中氣長です) 他是很慢性兒的人 ② 慢條斯理兒的(氣長に事をする) 慢條斯理兒的辦事情
 きながし 着流(色) 穿便衣兒
 きながし 氣長シ(形容) 性子慢
 (きなくさい 焦臭イ(形容)) 燒紙的味兒、布燎子味兒
 (きなくさみ 氣短(色)) 解悶、遺悶
 きなこ 黃粉(色) 黃豆麵
 きなす 着爲ス(四段他動) 穿衣裳
 きなひ 機那皮(色) 金雞納樹皮
 きなり 樹成(色) 樹上熟的

きなきぬ

きなん危難(名) 難、危難(名) (man)
 キニ一規尼涅(名) (Quinine) 金
 鶏納霜、金雞那、貴林那
 きにいり氣入(名) 中意的、心愛的、寵愛的
 きにち忌日(名) 忌日、忌辰
 きにち期日(名) 期日
 きにふ記入(名) 抄録、添註、註
 寫、填寫、記(帳簿に記入する) 記
 在帳上、記簿、登簿子、上帳、上
 本子、上簿子(日記に記入する) 記
 抄録在日記上(この金を私の貸
 方に記入する) 把這個錢記在我
 的存賬裡、把這一筆上我的賬
 きにん貴人(名) 貴人
 きにん歸任(名) 回任
 きぬ絹(名) 蠶絲、絲線、綢緞

きぬきぬ

(ゴフク)、絲織物(リキオ)、綢、絹、帛
 きぬいと絹絲(名) 絲、絲線、蠶
 絲、生絲
 きぬおり絹織(名) 綢緞、絲織物、
 綢類(絹織物)(一)同上
 きぬがさ衣笠(名) 涼傘
 きぬかつぎ衣被(名) 芋頭
 きぬけ氣拔(名) 發歎、發愕、失
 神、忘神、出了神
 きぬた砧(名) 砧、砧
 きぬち絹地(名) 南絹、絹
 きぬばり絹張(名) 絹做的(絹張の
 傘)絹傘
 きぬばり絹針(名) 細針 「子
 きぬぶるひ絹篩(名) 絹羅、絹篩
 きね杵(名) 杵子、杵頭子、確頭
 きねずみ木鼠(名) 松鼠兒

きねきの

きねり樹成(名) 與きなり同
 きねん祈念(名) 祈禱、禱告
 きねん記念(名) 記念、紀念(記念
 に残す) 留個記念兒(寫真を取っ
 て記念にする) 照像做紀念(記
 念切手)(キツ) 紀念郵票(戰勝記
 念)(ウシヤ) 紀念得勝(紀念日)(日)
 週年日、紀念日(紀念品)(品) 記
 念品、念想兒、念信兒、表記(記
 念碑) 紀念碑、石碑
 きねん疑念(名) 疑心
 きねんさい祈年祭(名) 祈年祭
 キノ吉納(名) (Kino) 佳奴、雞羅、
 笈腦
 きのう機能(名) 機能、官能、器官
 ぎのう技能(名) 技能
 きのえ甲(名) 甲

きのえね甲子(名) 甲子日
 きのと菌(名) 菌類、蘑菇
 きのと乙(名) 乙
 きのとく氣毒(名) ①可憐②對不
 起、過意不去、於心不安(あの
 人は父も母も死にました實に氣毒
 です) 他父母都死了實在可憐
 (毎度頂戴して御氣毒です) 屢次
 的賜我好東西我於心不安(彼
 にまで迷惑を掛けて氣毒でなりま
 せん) 連他也受了累了我實在
 對不起他
 きのお昨日(名) 日昨(名) 昨日(名)
 昨天、昨兒、昨兒個(昨日今日)
 (ケ) 1. 昨天和今天 2. 這兩天
 きのほせ氣上(名) 上火 「上
 きのほり木登(名) 上樹、爬到樹

きののみ木實(名) 果子
 きのめ木芽(名) ①樹芽兒②花椒
 芽兒(山椒)
 きのり氣乘(名) 高興(私は、の仕
 事は氣乗がしない) 我辦這件事
 不很高興(不大願意)
 きは際(名) ①邊兒②時候③傍邊
 兒④身分 「虎牙來
 きば牙(名) 虎牙(牙をむく) 露出
 きば騎馬(名) 騎馬
 きはい氣配(名) ①小心、用心、留
 神②光景、情形
 きばう希望(名) 希望、希冀、想
 望、指望、願望、巴結、願意、盼
 望(あの事は私の希望の通りにな
 った) 那件事如了我的意了(私の
 希望は軍人になりたいのです) 我

巴結當武官(彼がいくら希望し
 てもあの地位は得られない) 他怎
 麼巴結也得不到這個缺(一縷の
 希望がある) 有一綫的希望
 きばう企望(名) 企望、企圖
 きばうしゆ擬寶珠(名) 頂子、轆
 頂兒(上稱)
 きはきはし際際シ(形志久語) 顯著
 きはく稀薄(名) 稀薄、薄
 きはさみ木鋏(名) 鋏樹的剪子
 きはだつ際立ッ(四段自動) 顯著、分
 明
 きばたらき氣働(名) 有機智、靈
 きはつ揮發(名) 化氣、揮發、揮散
 (揮發油)(一)揮發油、精油
 きばつ奇拔(名) 新鮮、新奇、出奇

きの

きのきは

きは

家僮(家) 書僮(便ハルニ) 茶房
(所) ③(給ハスル) 陪侍、服事、服
 きふじ急事(名) 急事 「侍、伺候
 きふしう吸收(名) 吸、收吸、吸
 入、喫進、吸進、翕收
 きふしやう急症(名) 急症、暴病
 きふしやう氣無性(名) 懶、懶惰、
 懶怠 「要害處
 きふしよ急所(名) 命門、致命處、
 きふじよ給助(名) 助、濟、救、救濟
 きふす急須(名) 小茶壺兒
 きふす給ス(佐餐補助) 給「朝夕自ら
 給せず」朝夕不自給(給ス)文
 きふす給ス(佐餐補助) 給「三日の暇
 を給す」給假三天、給三天假

(Chia)
 きふそく急速(名) 趕緊的、急緊
 的、急速、快
 きふだ木札(名) 木頭牌子
 きふだい及第(名) 及第、登科、考
 中、中式、登第
 きぶつ木佛(名) ①木雕佛爺②鐵
 心人(佛ニ指) 「伙、俵具
 きぶつ器物(名) 器物、器皿、俵
 きぶつ奇物(名) 奇品
 きぶつ偽物(名) 假的(Chia)
 きふなん急難(名) 急難(Chia nan)
 きふに急ニ(副) 趕緊的、急緊的、
 急、忽然、偶然、快「これは急に
 入るのです」這是急等用的「急に
 送って下さい」趕緊的送來「急に

用事が出來て國へ歸つた」偶然有
 事回國去了「今は忙しいから急
 には出來ない」現在事情忙不能
 快做
 きふにふ吸入(名) 吸入、吸引「吸
 入器」吸入器、吸引器「吸入
 藥」藥水霧
 きふば急場(名) 臨急之時、危險
 之時、危機、危局、燃眉之急「急
 場を救ふ」救燃眉之急
 きふはく急迫(名) 急迫
 きふばん吸盤(名) 吸盤
 きふひ給費(名) 官費的、官給學
 費的「給費生」官費生、給費
 生、受獎學資金之學生、養贍學
 生

きふび急火(名) 火大「急火で肉を
 焦した」火大把肉烤糊了
 きふびやう急病(名) 急症、暴病、
 急病
 きふびん急便(名) 急信 「(Chia)
 きふふ給付(名) 交給(Kia)、付給
 きふへん急變(名) 偶然的變故
 きふむ急務(名) 急務「目下の急務」
 當務之急 「食馬草等」救濟
 きふやう給養(名) ①供給衣裳糧
 きふよ給與(名) 給、給與
 きふよう急用(名) 急事
 きふり着振(名) 穿的樣子
 きふり木振(名) 樹長的樣子
 きふりう急流(名) 急流

きふるし着舊(名) 估衣、穿舊了
 的衣裳
 きふるす着舊ス(四段他動) 老穿、穿
 舊、穿壞「一枚の着物を着舊す」
 老穿一樣衣裳
 きふれう給料(名) 薪水(二音)、薪
 金(Chia)、俸祿(官員)、薪俸(Chia)、束脩
(教師)、工錢(職工)、勞金(商家)、錢
 糧、餉、糧餉(兵士)
 きぶん奇聞(名) 新聞、奇談
 きぶん氣分(名) 心氣、心、氣量、
 心景、心象「氣分が悪い」覺着不
 舒服「氣分がよい人」心裡好的
 人「御氣分は如何ですか」貴恙怎
 麼樣「氣分が小さい」氣量小「そ
 の氣分がよく文面にあらはれて
 居る」他的心景在文字上表現

的很清楚 「隊」馬隊
 きへい騎兵(名) 騎兵、馬隊「騎兵
 きへい義兵(名) 義兵、義師
 きへき奇癖(名) 奇癖
 きへん木偏(名) 木字旁兒
 きへん詭辯(名) 危辯、似是而非
 的話
 きほ規模(名) 規模、局面「規模が
 大きい」局面大、規模大「大規模
 の工場」大規模的工廠
 きほ義母(名) 義母、乾媽
 きほ貴邦(名) 貴國
 きほう機鋒(名) 機鋒
 きほう奇謀(名) 奇謀
 きほく龜卜(名) 龜卜
 きほし疑寶珠(名) 與ぎぼうし同
 きほね氣骨(名) 掛心、勞心、累心

「氣骨が折れる」累心、勞心

きほひキホヒ競キョウ、競争

きほふキホフ競キョウ、競争、賽

きほんキホン基本キホ、基本、根、根據

〔基本金〕キホネ基本銀〔基本財産〕キホネ

〔イナシ〕基本財産

きまかせキマカセ氣任キニ、任意、隨

きまぐれキマぐれ氣紛キマ、沒準

皮氣、無定心、反覆不定、心氣

不定、喜怒無常〔氣紛天氣〕キマ

乍晴乍陰沒準的天氣〔氣紛相

場〕キマ忽長忽落的行市〔氣紛

者〕キマ沒準皮氣的人

きまづキマづ心不高興、心不

爽快、悶

きまへキマへ氣前キマ、意氣キマ、手

鬆、手寬、手大、寬裕〔此兒は氣

前がよい〕這個小孩子手鬆

きまキマ氣儘キマ、任性、任意、放

肆、隨着意的、由着性兒的

きまもりキマモリ木守キマ、殘果

きまり極キマリ、定規、定妥、停當、

規矩、定章、一定、準、着落キマリ

〔キマリ〕節制〔彼は何時來るか極がな

い〕他多啗來沒有一定〔彼の仕

事はまた極が付きませんか〕他辦

的事還沒停當麼〔極が悪い〕拉

不下臉來、害臊〔あの女は極がよ

い〕那個女人會過日子〔かうす

れば極が付きます〕這麼辦這個

事情有着落〔お極の文句〕口頭

語兒、口頭禪、套子話、套語、陳

套之語、日常話柄〔極を立てる〕

定立規條、定立章程

きまる極キマル〔四段自動〕

①定規、定

妥、定局、一定、停當、了局

②省

錢〔話が極つたら知らせて下さい〕

這個事情定妥了就告訴我〔あ

の人は承知しないことは極つて居

る〕他一定不肯〔そんな事は極つ

た事だ〕那是一定的道理、那是

該當的、那還用說麼〔相場が極

らない〕行市站不住〔平常極つて

居らないと事が有ると困ります〕

你平素得省錢不然有事就爲難

きまん欺瞞キマン、欺騙

きみ君キミ、君上、君主

きみキミ人、居停〔父君〕令尊〔母君〕

令堂〔兄君〕令兄〔他人〕

きみキミ黃身キミ、鷄蛋黃兒、蛋黃

きみキミ黃味キミ〔黃色〕

きみ氣味キミ、樣子

①氣味、樣子

②感

於心之狀態〔あの人の話は氣味

がよい〕他說的爽快快樂的〔私

は風邪の氣味です〕我有點兒傷

風的樣子〔今晚は雨風で氣味の

悪い晩です〕今天晚上風雨大甚

的慌〔あの悪漢が拘引されたので

皆氣味よく思つて居ます〕那個惡

棍叫巡警看押了大家都趁願

きみ君キミ、你、老弟、大哥

きみがよ君代キミガヨ、日本國歌

きみじか氣短キミジカ、皮氣暴、性急、

易生氣的〔彼は氣短です〕他是

個急性子

きみつ機密キミツ、機密、機要〔機密

文書〕〔シシフ〕機要文書〔機密事項〕

〔ジカウ〕機要事項〔機密費〕〔機密

費

きみやく氣脈キミヤク、聲氣、氣兒〔氣

脈を通する〕聯絡聲氣、通氣兒、

通聲氣

きみん義民キミン、義民

きむ極キム〔下二段他動〕

①定、定規、一

定、定妥、決定、斷定、定局

②申

叱〔話を極めた〕說妥了〔日を極

める〕定規日子、擇定日子〔値段

を極める〕講價兒〔縁談を極める〕

定親〔年限を極める〕定年限〔車

を雇ひきめる〕雇停當車〔一本極

めてやった〕我申叱了他一頓〔腹

を極める〕拿定主意、決意、決

心、定心

きむ義務キム、義務、責務〔義務教

育〕〔ウイク〕義務教育

きむすめ生娘キムスメ、處女、閨女、黃

花女、童女、童貞女

きむつかし氣難キムツカシ〔形容久借〕

皮氣

大、倔氣的、歪氣的、偏喪的

きめ木目キメ、肌理、身

兒〔木目が粗い〕粗身的〔木目が

細い〕細身的〔木目の細い大理石〕

細紋大理石〔木目の細い、眞白な

顔〕細膩潔白的臉

きめ極キメ、定規、定妥、規矩、章

きめい記名キメイ、簽名、記名、書名

きめい忌明キメイ、除服、除孝、釋

服、起服

きめい貴命キメイ、豪命〔代金は貴命

の如く差出候〕貨價多少謹遵豪

命如數寄上

きめい偽名キメイ、冒名、頂名兒

きめきも

きめう奇妙(名) 奇妙、奇怪、奇異、出奇、離奇
 (きめこむ極込ム(四段他動)) ①中叱
 ②仿、倣、倣様
 きめつく極付ク(下二段他動) 中叱(一本極付けてやった) 我申叱了他
 きめん鬼面(名) 鬼臉兒 「一頓
 きも肝(名) ①肝 ②膽子(肝を潰す) 吃驚、嚇了一跳(肝を冷す) 驚恐
 (肝が太い) 膽子大、大膽子(膽が小さい) 膽子小、鷄膽子(肝を煎る) 累心(肝を摧く) 同上(肝を煎す) 銘肝 「保長(註) 保正(阿)
 きもいり肝煎(名) ①經紀(ナカ) ②(きもたましひ) 肝魂(名) 與きも同
 きもたましひ肝魂(名) 同上
 きもち氣持(名) 與こころもち同

きもきや

きもの着物(名) 衣裳、衣服(着物を着る) 穿衣裳(着物を脱ぐ) 脱衣裳
 きもん鬼門(名) 鬼門、鬼門關
 きもん疑問(名) ①盤問、考問、疑問、質問 ②可疑 ③不能預定
 きや木屋(名) 木廠子
 きやう經(名) 經(經を讀む) 念經
 きやう饗(名) 饗
 きやう郷(名) 郷
 きやう卿(名) 卿 「城
 きやう京(名) 京、京師、京都、京
 きやう境(名) 境
 きやう強(名) 強
 きやう狂(名) 狂
 きやう凶、兇、胸、共、拱、恐、

きや

競、恭、興等見きよう、喬、橋、嬌、驕、教、校等見けう、夾、俠、狹、協、脅等見けふ條下
 きやう行(名) (行(Hang)) (數行の字) 數行字(八行の界紙) 八行書、八行
 きやういう享有(名) 享有
 きやうえう強要(名) 強要、強求
 きやうおう響應(名) 響應、請客
 きやうか狂歌(名) 詠諧之歌
 きやうかい境界(名) 境界、分界、交界、邊界、疆界、限界(境界石標) (キエ) 界石、石界碑(境界線) (セ) 邊線、界線、疆線、境界線 (境界線を定める) 劃定界線
 きやうがい驚駭(名) 驚駭

きや

きやうかう強硬(名) 強硬(強硬なる手段) 強硬手段、武斷
 きやうかう強行(名) 強行(chiang) (hsing)
 きやうかう行幸(名) 行幸(hsing) (hsing)
 きやうかく仰角(名) 仰角、仰視角、昂角
 きやうがく驚愕(名) 驚愕、膽怯、心驚膽裂、嚇掉了魂
 きやうかたびら經帷子(名) 壽衣
 きやうき強記(名) 強記(chiang) (chi)
 きやうき狂氣(名) 發瘋 「喜
 きやうき驚喜(名) 且驚且喜、驚
 きやうき狂喜(名) 狂喜、大喜、喜

きや

極
 きやうぎ經木(名) 柏木杉木等薄
 きやうぎ競技(名) 賽、比賽、比試、競賽
 きやうぎ行儀(名) 禮貌(行儀がよい) 有禮貌(不行儀) (礼) 沒有禮貌、不像樣兒(行儀よくならべ) 擺列的有次序、按着次序陳列
 きやうぎやうし仰仰(名) (形容久遠) 誇大、張大、大做(仰仰しく云ふ) 說大話(小さな事を仰仰しくする) 小事大做、小題大做、輕事重報
 きやうぐう境遇(名) 境遇、遭際 (境遇に安んずる) 隨遇而安(彼

きや

の境遇はあまり好くない) 地的境遇不大順
 きやうくわん郷貫(名) 鄉貫、籍
 きやうけい行啓(名) 皇太后皇后
 きやうけん強健(名) 強健、強壯
 きやうけん狂犬(名) 瘋狗
 きやうげん狂言(名) ①鬧戲、詼諧的戲 ②活局子(これは彼等が仕組んだ狂言です) 這是他們捏好了的活局子 「水症、狗癲症
 きやうけんびやう狂犬病(名) 避
 きやうこう向後(名) 後來、往後、從此以後
 きやうさう競漕(名) 賽船
 きやうさう競争(名) 競爭、爭競、

競争、争勝、比赛、對賽、相競、
 爭先〔競争に勝つ〕賽勝、比勝、
 爭勝〔競争試験〕〔シケン〕賽考、爭
 賽考試、爭勝考試
 きやうさう強壯〔色〕強壯、健壯、
 硬壯、力健〔強壯劑〕〔ゲイ〕強壯
 藥、補身藥、補藥
 きやうさう經藏〔色〕裝法經的庫
 きやうさん仰山〔色〕①很多、甚
 多②誇張、張大、大做〔一寸した
 事を仰山に云ふ〕他說的太誇張
 了、小題大做
 きやうし狂詩〔色〕狂詩
 きやうじ經師〔色〕裱糊匠〔經師
 屋〕〔イ〕同上
 きやうじ行司〔色〕擦改評判員

兒、鏡匣、鏡盒、鏡鑿兒
 きやうだい兄弟〔色〕弟兄、兄弟〔多
 哥兒們、昆仲〔御兄弟はお幾人で
 す〕貴昆仲有幾位〔お前は兄弟幾
 人ありますか〕你們哥兒幾個〔私
 は三人兄弟です〕我們哥兒三〔多〕
 きやうだう嚮導〔色〕嚮導、東道、
 帶道、引道
 きやうたん驚嘆〔色〕驚嘆
 きやうちゆうざぐわ行住坐臥〔色〕
 行住坐臥
 きやうてん仰天〔色〕驚嚇、嚇了
 きやうと京都〔色〕京都、京師、京
 きやうと郷土〔色〕郷土
 きやうにん杏仁〔色〕杏仁兒
 きやうにん行人〔色〕修行人〔sin-
 きや

きやうじや行者〔色〕行者、修行
 人〔hsing²〕
 きやうじやう強將〔色〕強將、勇將
 きやうじやう行狀〔色〕①行狀〔人
 行〕〔ang² jo⁴〕
 きやうじやう行略〔色〕②行爲〔hsing²
 ルモノ〕
 きやうじやく強弱〔色〕強弱〔chi-
 uei²〕
 きやうしゆ強取〔色〕搶奪
 きやうしよ行書〔色〕行書〔hsing²〕
 きやうしよくじやくにく強食弱
 肉〔色〕弱肉強食
 きやうしん強震〔色〕大地震
 きやうじん狂人〔色〕瘋子
 きやうじん強靱〔色〕強靱
 きやうしんざい強心劑〔色〕激心
 劑

〔イ〕、行者
 きやうにんべん行人偏〔色〕雙立
 きやうねん享年〔色〕享年
 きやうねん行年〔色〕同上
 きやうばい競賣〔色〕拍賣
 きやうばう襪襪〔色〕襪襪、襪
 子〔chieh⁴〕
 きやうはく強迫〔色〕強迫、挾制
 〔強迫教育〕〔ウイック〕強迫教育
 きやうふ驚怖〔色〕驚怖
 きやうふう驚風〔色〕驚風症、搐
 溺、抽搐
 きやうふう強風〔色〕大風
 きやうふう狂風〔色〕狂風
 きやうもん經文〔色〕法經

きやうずる行水〔色〕沐浴、洗澡
 きやうせい強制〔色〕強制〔chi-
 uei²〕、強逼、逼迫、逼勒、勒令
 〔強制して従はせる〕追服、勒遵、
 逼遵〔強制教育〕〔ウイック〕強迫教育
 〔強制執行〕〔ツカウ〕強制執行、抄
 家、抄没
 きやうせい行政〔色〕行政〔hsing²
 cheng²〕、施政〔行政機關〕〔クワン〕行
 政機關〔行政官〕〔クワン〕行政官、
 執政者〔行政區劃〕〔クワン〕行政區
 劃〔行政官廳〕〔チヨウ〕行政官廳
 きやうせき行跡〔色〕品行、行爲
 〔hsing² uei²〕
 きやうそう競走〔色〕賽跑、賽腿、
 きやうだい鏡臺〔色〕鏡臺、鏡支

きやうらん狂亂〔色〕狂亂
 きやうり郷里〔色〕郷里、郷村〔御
 郷里はどこらですか〕貴處是甚
 麼地方〔私の郷里は天津です〕敝
 處天津
 きやうれつ行列〔色〕行隊、行列
 〔hang²〕、游行隊〔hsing²〕〔行列を
 組んで行く〕排隊而行、列隊進
 行、列隊游行
 きやく規約〔色〕合同、規約〔同業
 者の規約〕行規〔hang² kuei⁴〕
 きやく客〔色〕客、客人、人客、賓
 客〔客を呼ぶ〕請客〔客を迎ふ〕迎
 客
 きやく脚〔色〕脚
 きやく脚〔接頭〕張〔机一脚〕一張桌

子〔椅子二脚〕兩張椅子

ぎやく逆(色) ①逆②倒、調、反〔逆に持つ〕調過來拿〔逆に出る〕將計就計〔逆に云ふ〕反過來說、反着說、反面兒說

ぎやく瘡(色) 瘡子

ぎやくい逆意(色) 逆心

ぎやくえん逆縁(色) 兒子拋(p'iehl) 下父母死了

ぎやくか却下(色) 批駁、駁回、批駁不准〔差出した願書は却下された〕他遞的稟帖官署給批駁了〔辭表を却下する〕把辭呈文却還(退還)

ぎやくか脚下(色) 脚下、脚底下 ぎやくかう逆行(色) 逆行〔時勢に逆行する〕與時勢逆行、逆潮流

而行

ぎやくかはせ逆爲換(色) 倒漚

ぎやくぐう虐遇(色) 虐待

ぎやくくわん客觀(色) 外界的、外形の、客觀的、對象的

ぎやくご客語(色) 與かくご同

ぎやくぎ客座(色) 客座 「廳

ぎやくざしき客座敷(色) 客廳、花

ぎやくさつ虐殺(色) 虐斃、慘斃

ぎやくさん逆産(色) 逆産、倒産

ぎやくし虐使(色) 虐待

ぎやくしつ脚疾(色) 脚病

ぎやくしふ逆襲(色) 逆撃

ぎやくしや客舎(色) 客舎、客棧、客店、店

ぎやくしや客車(色) 客車、客座車

ぎやくじやう逆上(色) 狂急

ぎやくしゆ逆修(色) 逆修

ぎやくしよう逆證(色) 逆證

ぎやくしよく脚色(色) 脚色

ぎやくじん客人(色) 客人

ぎやくしん逆心(色) 逆心

ぎやくしん逆臣(色) 逆臣

ぎやくせい虐政(色) 虐政、苛政

ぎやくぜん客膳(色) 客人的飯、

ぎやくそく客僧(色) 客僧 「客饌

ぎやくぞく逆賊(色) 逆賊

ぎやくたい虐待(色) 虐待、苛待、

惡待、薄待、挫磨 「轉回

ぎやくてん逆轉(色) 逆轉、往後

ぎやくと逆徒(色) 逆徒、逆黨、逆

匪、亂黨

ぎやくどめ客止(色) 上的座兒太多客人不能進去、叔住客人了

きやくびき客引(色) ①接客(接客員)

攬客(②)接客的、攬客的〔宿屋

の客引は來ましたか〕棧房接客

的來了麼 「餞風、頂頭の風

ぎやくふう逆風(色) 逆風、頂風、

ぎやくぶん客分(色) 當客〔客分としてあしらう〕當客待

きやくほん脚本(色) 戲曲、劇本、

脚本、戲本子〔脚本作者〕(グーシャ)

與げきさくか同 「客堂

きやくま客間(色) 客廳、客堂、會

きやくまち客待(色) 拉車的等車

座 「どり同

ぎやくもどり逆戻(色) 與あとも

きやくらい客來(色) 客人來了

ぎやくりう逆流(色) 逆流

きやしや花車(色) 俏皮、斯文、嬌

嫩、窈窕、纖巧〔花車な女〕俏皮

的(女人〔花車な道具〕嬌嫩物兒

きやす消ス(四聲他動) 滅

きやすめ氣休(色) 安慰〔一時の氣

休〕敷衍一時、當時放心

きやたつ脚榻(色) 脚踏子(chiao

tal' tzu) 脚榻子(ハキミタ)

(きやつ彼奴(代) 他、他那个人、

他那個東西

きやつか却下(色) 不受理、卻還、

不收〔辭表を却下する〕把辭呈文

卻還

(きやつと) 驚呀之聲、哎呀(吃

驚してきやつと聲を立てる) 嚇了

一跳哎呀的一聲嚇出來了

キヤッチャー(色) (Catcher) 接手

きやはん脚絆(色) 繞腿布、絆腿

布、護腿、綳腿

キヤビネット(色) (Cabinet) ①小

室、小屋②中號像片、六寸的像

篇兒

キヤベージ(色) (Cabbage) 洋白

菜、椰菜、包心菜、捲心菜

キヤベツ(色) 同上

ぎやまん(色) ①金剛石②玻璃

きやみ氣病(色) 心病、操心過度

出的病

キヤメラ(色) 與カメラ同

きやら伽羅(色) 伽羅

キヤラコ(色) (Calico) 白洋布

(きやん(色) 噓(tsang)〔犬がきや

んと鳴く〕狗噓的一聲叫喚

(きやん俠(色) 與おきやん同

キヤンプ(色) (Champ) ①幕營、

野營、陣地の假舎、帳房、帳幕
きゆ 觀鏡(名) 觀鏡
きゆ 消ユ(下二聲他動) ①消、化(雪が
消える)雪化了②滅、消滅(火が
消える)火滅了(影が消える)没
有影兒、無影無蹤、失去了(字
が消える)字迷糊了
キユ(名) (Cue) 球兒杆兒、球
杖、檯球棍子
きゆう 弓(名) 弓
きゆう 窮(名) 窮
(きゆう) 嘔吐的(龍頭をきゆう
うと捻ると水が出て来る)嘔吐的
一聲擗嘯頭水就迸出來了
きゆう 義勇(名) 義勇
きゆう きやう 窮境(名) 困境、窘

郷(窮境に居る)在窘郷、居於困
境
きゆう けい 弓形(名) 弓形、弓狀
きゆう くつ 窮屈(名) 不舒服、擠
緊(此すぼんは細くて窮屈です)
這條褲子太瘦擠的慌(禮服は窮
屈ですから御くつろぎ下さい)您
穿禮服不舒服罷請您寬寬衣罷
〔此自動車は五人乗ると窮屈です〕
這個汽車坐五個人擠的慌
きゆう けつ 宮闕(名) 宮闕、宮門
きゆう さく 窮策(名) 窮極了想出
來的主意、計窮之計、背城借
一、最後計策
きゆう しつ 宮室(名) 宮室
きゆう じやう 宮相(名) 與くない
だいじん 同

きゆう じやう 宮城(名) 皇宮、紫
禁城
きゆう じやう 窮狀(名) 窮苦の様
きゆう じゆつ 弓術(名) 射箭之術
きゆう じん 宮人(名) 宮女、宮妃、
宮娥
きゆう す 窮ス(能動) 窮(詞窮す)
詞窮(彼は窮して三度の食事も食
べられない)他窮的連三頓飯也
都吃不上(窮すれば通す)絶處
逢生、窮極智生
きゆう ぜん 弓箭(名) 弓箭
きゆう そ 窮鼠(名) 窮鼠(窮鼠猫を
かむ)窮鼠齧猫
きゆう たつ 窮達(名) 窮達、窮通
きゆう ちやう 級長(名) 班長
きゆう ちゆう 宮中(名) 宮中、宮

裡、内裡、内廷(宮中席次)(セキジ)
朝次
きゆう ぢよ 宮女(名) 與きゆうじ
きゆう つう 窮通(名) 窮通、窮達
きゆう てい 宮廷(名) 内廷、内裡、
宮禁(宮廷列車)(ラッシュ)龍車
きゆう てう 窮鳥(名) 窮鳥(窮鳥憤
に入る)窮鳥入懷
きゆう ぜん 宮殿(名) 宮殿
きゆう ば 弓馬(名) 弓馬
きゆう ぱく 窮迫(名) 窮迫 「練兵
ぎゆう へい 義勇兵(名) 團丁、團
きゆう みる 窮民(名) 窮民
きゆう もん 宮門(名) 宮門、宮闕
きゆう りゆう 穹窿(名) 穹窿
きよ 虚(名) ①虚 ②虚
きよ 裾(名) 裾 「氣

きよ 居(名) 居(居は氣を移す)居移
きよ 舉(名) 舉 「氣
きよ 渠(名) 渠
きよ 御(名) 御
きよ 魚(名) 魚
きよ 御(接明) 表恭敬意而用
きよ 御衣(名) 御衣、御服
きよ 御意(名) 貴意、尊意、您的
意思(御意に叶ひませんか)這個
不中您的意麼(貴下の御意は如
何です)不知道您的意思怎麼
様、貴意如何
きよ 魚油(名) 魚油
きよ 興(名) 興(興が無い)沒興
〔興を醒す〕掃興(興を添へる)助
きよ 凶(名) 凶 「興
きよ 器用(名) ①器用、器可用

(投三立ツ)の手巧、手頭兒巧 「候
きよ 御宇(名) 御宇、在位的時
きよ 兇暴(名) 兇暴、兇狠、兇猛、
兇暴、兇橫、惡狠狠的
きよ 共有(名) 共有、共有、
公用(共有物)(ツ)共用的、公用
的、共有的
きよ 凶音(名) 計聞、計音、
凶信、報喪帖子
きよ 益世(名) 益世
きよ 可賀(名) 可賀
きよ 胸臆(名) 胸臆、胸膈
子 「行をする」行兇、動兇
きよ 凶行(名) 兇惡的事(凶
きよ 胸膈(名) 胸膈
きよ 恐嚇(名) 唬嚇、驚嚇
きよ 威迫(名) 威迫、脅迫、
きよ 威迫、脅迫

恫脅、恫喝、威脅〔恫喝取財〕
 (ユザイ) 威脅取財
 きようがかる興ガ(四段自動) 高興
 きようかん兇漢(名) 兇徒、兇犯、
 きようき兇器(名) 兇器 「兇手」
 きようぎ共議(名) 共議、會商、商
 議
 きようきふ供給(名) 供、供給
 (kung' shi) 供應、接濟〔供給過
 多〕(ワタ) 供過於求〔供給不足〕
 (フク) 供不應求〔食品を供給す
 る〕供給吃食〔供給品〕(ヒン) 供給
 的物件
 きようきよう競競(動) 競競(競)
 きようきよう恟恟(動) 恟恟(恟)
 きようく恐懼(名) 恐懼
 きようくわう恐懼(名) 懼恐

きようくわう恐懼(名) 恐慌
 きようくわう凶荒(名) 凶荒
 きようくわく胸廓(名) 胸廓、胸腔
 きようけつ凝結(名) 凝、凝結、凝
 住、凝聚〔凝結機〕(キ) 凝水櫃、凝
 汽櫃、冷水櫃
 きようけん恭謙(名) 謙恭
 きよう二鞏固(名) 鞏固
 きよう二凝固(名) 凝固
 きよう二胸骨(名) 胸骨
 きようさい凶凶(名) 凶年、荒年
 きようさく凶作(名) 年頭兒不好、
 歉收
 きようさつ恐察(名) 竊按、竊維
 きようさん共産(名) 共産、均産
 (共産主義) (シユゴ) 共産主義、均
 産主義、社會共産主義(共産主

義者) (ユギシ) 共產主義者、社會
 共產論者、共產黨員、社會主義
 者
 きようさん胸算(名) 心算、心裡
 きようし凝視(名) 注視、凝視
 きようし凝集(名) 凝集
 きようしゆ拱手(名) 拱手兒
 きようしゆ凝聚(名) 凝聚、凝結
 (凝聚力) (リヨウ) 凝結力、膠固力
 きようしゆく恐縮(名) 惹懼、惶
 恐、抱歉、過意不去〔恐縮ですが
 一寸その硯を取って下さい〕累懲
 遞給我那個硯臺〔御遠方の處を
 慇懃恐縮でした〕大遠的地方特
 意的到舍下來實在勞您駕〔度
 々頂戴物をして恐縮です〕屢次的
 蒙您賞我好東西我實在於心不

安〔恐縮の至に存候〕抱歉之罪何
 可言宣
 きようじゆつ供沈(名) 口供、供
 きようじゆん恭順(名) 恭順
 きようす供ス(佐賢他動) 供、呈(天
 覽に供する) 恭呈御覽
 きようず興ズ(佐賢他動) 高興
 きようするびやう恐水病(名) 避
 水症、狗癩症、瘋狗病、恐水症
 きようだう拱道(名) 月洞道、拱
 洞底下的道、甕洞底下的路
 きようたく供託(名) 交託、付託、
 委託
 きようちゆう胸中(名) 胸中、心
 きようちよ共著(名) 共著、共編、
 合作
 きようつう共通(名) 共通(人類共

通の弱點) 人類共通の缺處(共
 通性) (ヤイ) 共通性
 きようど兇徒(名) 兇徒、兇犯、
 兇手 ② 匪徒、無賴子、惡棍
 きようどう共同(名) 共同(共同便
 所) (シヨ) 官廁、共同廁所
 きようねん凶年(名) 凶年、荒年
 きようはう凶報(名) 訃聞、訃音、
 凶信、報喪帖子
 きようばう兇暴(名) 兇暴
 きようはん共犯(名) 同犯、共犯、
 同謀、一同犯罪
 きようふ恐怖(名) 恐怖、害怕、惶
 きようぶ胸部(名) 胸膈子
 きようへき胸壁(名) 欄杆牆、胸
 牆、坎牆
 きようほう共謀(名) 同謀、串謀、

串計、共謀、串設計謀
 きようまく胸膜(名) 肺胞膜、胸
 統膜、胸膜〔胸膜炎〕(エン) 胸膜
 炎、胸統膜炎
 きようみ興味(名) 興味、興致、興
 趣、趣兒、趣味、興味
 きようめい共鳴(名) 共鳴、合意、
 中意、贊同、贊成
 きようわ共和(名) 共和(共和國)
 (リク) 共和國、民主國、民國(共和
 政治) (セイワ) 共和政治
 きよえい虚榮(名) 浮華、虚華、虚
 浮、虚榮〔虚榮心〕(シン) 虚榮心、
 自負心
 きよか許可(名) 許可、准、批准、
 准行、允許、承認、認許、認可、
 准許、依允、允諾〔許可を願ふ〕

請許、請准(許可證)「シヤウ」准單、單據、執照、准票(政府が許可しない)政府不_レ准(昨日役所から許可がありました)昨天官署批准

きよか 許嫁(名) 許嫁 「了」

きよか 舉家(名) 闔家

きよかい 魚介(名) 鱗介、魚蝦

きよかう 舉行(名) 舉行、舉辦

きよがう 虚耗(名) 虚耗

きよかう 御幸(名) 御幸

きよかう 御溝(名) 御河

きよがき 清書(名) 騰清兒

きよかく 巨額(名) 巨額、巨款

きよかつ 虚喝(名) 威嚇、嚇喝、虚表、虚表壯

きよがん 巨眼(名) 巨眼、大眼睛

きよかん 御感(名) 御感

きよぎ 虚偽(名) 假、謊、虚假(虚偽の申立をなす)説假供

きよきよげつ 去去月(名) 上月、前兩個月

きよきよじつ 去去日(名) 前天

きよきよじつじつ 虚虚實實(名) 虚虚實實

きよきよねん 去去年(名) 前年

きよきん 釀金(名) 釀錢、釀資

きよく曲(名) ①曲、邪②曲兒③興

きよく局(名) ①局②司(日本ニテ省ト云フ部ノ下ニ司アリテ事務ヲ分掌スルコト我國ノ局ノ如シ)③棋局(局に當る)當局、當道(局を收む)收局(局を結ぶ)同上

きよく極(名) ①極②南極、北極

〔群星極に拱す〕羣星拱極(文)〔富貴の極〕富貴之極(極に登る)登

極、登位

きよく玉(名) ①玉②開兒錢(玉代ノコト)

きよukai 曲解(名) 悞解、錯會了意

きよくがく 曲學(名) 曲學

きよくがん 玉顔(名) 玉顔、玉面

きよくき 旭旗(名) 日本國旗、日

きよくき 玉器(名) 玉器 「章旗

きよくぐわい 局外(名) 局外(身を局外に置く)置身局外(局外中立)(ユウリツ)局外望看、局外中立、局外

きよくげん 極言(名) 極言、說到底

きよくぎ 玉座(名) 御座、寶座、龍

きよくじ 玉璽(名) 玉璽 「位

きよくじつ 旭日(名) 旭日

きよくしやう 玉章(名) 華函、華

翰、雲翰、尊函 「し同

きよくしやく 曲尺(名) 與かねざ

きよくしよ局所(名) 與局部同

きよくせい 玉成(名) 玉成

きよくせき 玉石(名) 玉石(玉石共に焚く)玉石俱焚(文)〔玉石同く碎く〕玉石同碎(文)〔玉石混淆〕(シカウ)玉石同置(文)魚目混珠(文)

きよくせつ 曲節(名) 曲調

きよくせん 曲線(名) 曲線(曲線美)

①曲線美

きよくたい 玉體(名) 玉體

きよくだい 玉代(名) 玉帶 「錢

きよくだい 玉代(名) 開兒錢、鋪

きよくだん 極端(名) ①極端②偏僻(極端な議論)偏僻之論、過激之談(極端な節儉)太过于省錢

〔それは極端です〕那太過逾了

きよくち 極致(名) 極致、至美至善的〔美の極致〕美之極致、至美

きよくちやう 局長(名) 各司長官、司長、局長

きよくてん 極點(名) 至、極處、極點、盡頭、盡處、到了家了、到了頭了〔極點に達す〕達於極點、到了頭兒了〔悲惨の極點〕悲惨之至〔貧困の極點〕貧困之至、極窮、窮到頭兒、窮到極處〔安價の極點〕便宜到了家了〔其腐敗極點に達す〕其腐敗已到極點

きよくど 極度(名) 極、極度、極處、太过于、太過逾〔極度の恐怖〕極惶恐 「遠東

きよくどう 極東(名) 東方、極東、

きよくどめ 局留(名) 留局候領、存局候取、招領信

きよくのり 曲乘(名) 巧騎(自轉車の曲乘)巧騎自行車

きよくば 曲馬(名) 馬戲

きよくひ 曲庇(名) 庇短、護庇

きよくびき 曲彈(名) 連彈

きよくふ 曲譜(名) 樂譜、譜表

きよくぶ 局部(名) 一處、局部、部分(局部麻酔)〔マスキ〕一處麻、限處麻、單處麻

きよくへい 曲柄(名) 曲柄

きよくめん 局面(名) 局面(局面一變する)局面改變了

きよくもん 玉門(名) 玉門、陰門

きよくりよく 極力(名) 極力(極力反對する)極力的反對(極力主張

する極力主張 「茶之精良者
 きよくろ 玉露(名) ①露水(ツ) ②緑
 きよくろく 曲象(名) 圈手椅一類
 きよくろん 極論(名) 論到底
 きよくわ 炬火(名) 火炬、炬枝、火
 きよくわ 漁火(名) 漁火、頭目
 きよくわい 巨魁(名) 渠魁、頭目
 きよくわん 魚貫(名) 魚貫
 きよけい 御慶(名) 吉慶 「雷
 きよけいす ぬらい 魚形水雷(名) 魚
 きよげつ 去月(名) 上月
 きよげふ 漁業(名) 漁業
 きよげん 虚言(名) 虚言、虚話、誑、
 誑話、誑言、假話「虚言を云ふ」
 撒謊、説虚言、説假話 「詐
 きよこ 虚構(名) 虚假(chia?)、虚
 きよこく 舉國(名) 舉國、國國

ぎよざ 御座(名) 御座
 きよさい 去歳(名) 去年、去歳
 きよさい 巨細(名) ①細大、巨細
 ②一五一什的
 きよし 鋸齒(名) 鋸齒(鋸齒状)(ヤジ
 鋸齒式、狗牙式
 きよし 清シ(形久語) 清、乾淨、清
 潔、清白(清き心)清心(庭を清く
 掃く)把院子掃乾淨
 きよし 御駕(名) 玉璽 「天
 きよし 去秋(名) 去秋、去年秋
 きよし 去就(名) 去就、行止
 きよし 漁舟(名) 漁船
 きよし 居室(名) 居室
 きよじつ 虚實(名) 虚實
 きよじつ 虚日(名) 虚日
 きよし や取者(名) 趕車的

きよし やう 去聲(名) 去聲
 きよし やう 居常(名) 時常、常常、
 平常
 きよじやく 虚弱(名) 虚弱、多病
 きよし ゆん 去春(名) 去春、去年
 春天
 きよし よ 居所(名) 居所、住宅、寓
 所、居處、居址、住處、住的地方
 きよし よく 虚飾(名) 虚飾、虚誑、
 外飾、外面皮兒
 きよし よく 漁色(名) 漁色
 きよし じん 虚心(名) 虚心
 きよし じん 巨人(名) 巨人 「睡覺
 きよし なる 御寢ナル(四段自動) 睡、
 ぎよす 御ス(佐助動) 御、駕馭、駕
 御(車を御す)御車、趕車(馬を御
 す)御馬

ぎよする 魚水(名) 魚水
 きよせい 去勢(名) 闕、闕、闕割、
 去勢「去勢した馬」闕馬「去勢し
 た羊」闕羊「去勢した豚」闕猪
 きよせい 虚聲(名) 虚聲
 きよせい 虚勢(名) 虚勢(虚勢を張
 る)虚張聲勢、虚作聲勢、虚表
 壯「虚勢を以て壓倒する」虚聲鎮
 きよせい 去聲(名) 去聲 「住
 きよせい 御製(名) 御製
 きよせつ 虚説(名) 流言、謠言
 きよせつ 拒絶(名) 拒絶、推辭、辭、
 辭却、推「私は拒絶して借さなか
 った」我推辭沒借給他「支拂を拒
 絶する」拒絶支付「引受を拒絶す
 る」拒絶承受 「爾
 きよぜん 遽然(副) 遽然、卒遽、遽

ぎよせん 漁船(名) 漁船
 きよぞく 魚族(名) 魚類
 きよた 許多(名) 許多
 きよた い 巨大(名) 巨大
 きよた く 居宅(名) 住家、寓所、宅
 きよた く 虚托(名) 假托 「下
 きよた く 許諾(名) 許諾、應許、許
 きよた だつ 虚脱(名) 虚脱、精力耗竭
 きよた だん 祛痰(名) 痰「祛痰劑」
 (フイ)祛痰
 きよとう ゆ 魚燈油(名) 魚油
 きよにく 魚肉(名) 魚肉 「兒
 きよにん べん 行人偏(名) 雙立人
 きよねん 去年(名) 去年
 きよはう 巨砲(名) 巨砲
 きよばう 虚妄(名) 虚假(chia?)
 きよはく 巨舶(名) 巨舶、大船

きよひ 許否(名) 許否、許不許、准
 不准
 きよびやう 虚病(名) 托病(虚病を
 構へて行かない)托病不去
 きよぶん 漁夫(名) 漁夫
 きよぶん 虚聞(名) 虚名兒
 きよまる 清ル(四段他動) 乾淨了
 きよまん 巨萬(名) 巨萬、好幾萬
 きよみん 居民(名) 居民
 きよむ 虚無(名) 虚無、空無(虚無
 主義)(シユギ)虚無論、虚無主義
 きよむ 清ム(下二段他動) 清、雪、洗
 乾淨「水にて身を清む」用水把身
 體洗乾淨「心を清む」洗心(耻を
 清む)雪耻 「取る」買虚名兒
 きよめい 虚名(名) 虚名兒「虚名を
 きよめい 御名(名) 御名

きよもと 清元(名) 小曲一類(清元節)(フシ)同上
 きよよう 許容(名) 許容
 きよらう 虚勞(名) 虚癆
 きよらか 清カ(名) 乾淨的、清白的(清かに掃く)乾淨的掃(清かな水)乾淨水(清かな人)清清白白的人
 きより 距離(名) 距離、遠見、相距、夾間兒、離着、空兒(此處から天津まで距離は幾何ありますか)從這兒到天津有多遠兒(距離は遠くない)離着不遠(三尺の距離を置く)隔三尺的空兒(雙方の主張に距離がある)兩下裏拿的主見差着遠
きより巨利(名) 巨利

きよりう 居留(名) 寄住、寄旅、僑寓(外國に居留する)寄旅外洋、僑寓外國(居留地)(チ)租界(居留民)(ミ)僑民
 きよりう 御柳(名) 檉柳、三川柳
 きよりん 魚鱗(名) 魚鱗
 きよるゐ 魚類(名) 魚類
 きよれい 虚禮(名) 虚禮
 きよれふ 漁獵(名) 漁獵
 きよるきよる 尋據(名) 尋據的樣子(何をきよるきよる見廻はして居るのです)你尋據甚麼
 きよるつく 尋據(名) 尋據
 きよる 虚位(名) 虚位
 きよるん 御苑(名) 御花園
きよる 浮城(名) 浮油

きら 綺羅(名) ①綺羅 ②打扮(綺羅を飾る)打扮的華俏(綺羅を張る)架弄外面兒(綺羅を競ふ)爭賽着打扮
 きらきら 晃晃的、閃閃的、燦爛(金色きらきらとする)金晃晃的(刀がきらきら光る)刀亮晃晃的(水がきらきら光る)水光蕩漾(星がきらきらする)星光燦爛(露が日光にきらきらとする)露水被太陽照的亮晃晃的(きらきらする光)耀目的光、焜眼的光
きらきらし(形志久語) ①晃晃 ②端置
 きらく 氣樂(名) ①舒心、快活、心安、從容、鬆快、舒服 ②撒脫(氣樂に世を送る)舒心的

過日子(氣樂な爺)撒脫的老頭兒(氣樂人)(シ)1.舒心的人 2.撒脫的人
 きらす 切ス(四段他動)短、沒有(其品は今切して居ます二三日すると來ます)那個東西現在短了再過兩天就有了
 きらず 雪花菜(名) 豆腐渣兒
 きらつく 焯ク(四段自動)焯、輝煌、閃耀、閃眼、焜眼、耀目
 きらばし 嫌シ(形志久語)討厭
 きらひ 嫌(名) ①討厭的、不愛的
 ②挑選 ③有一點兒……(私は食物に何も嫌はない)我吃東西沒甚麼挑選(人にはそれぞれ好嫌がある)各人有各人的好惡(will)「かうすれば規則に違反する」

嫌がある 這麼辦免不了有點兒犯規矩的地方(芝居は私は嫌です)我不愛聽戲
 きらびやかに 焯ニ(副) 輝耀、燦
 きらぶ 嫌フ(四段他動)嫌、厭、不愛、不喜歡(繁華な土地を嫌ふ)不喜歡熱鬧的地方(私は牛肉は嫌です)我不愛吃牛肉(世を嫌って山に入る)遁世入山(彼は私を嫌って居る)他不喜歡我(古きを嫌ひ新しきを好む)厭古喜新
 きらめく 焯ク(四段自動)焯、輝煌、閃耀、發出焜眼的光
 きらら 雲母(名) 與うんぼ同
 きり霧(名) 霞、烟霧、霧氣(霧が降る)下霧(霧が深い)霧下的沈
 きり桐(名) 桐

きり 錐(名) 錐子
 きり切(名) ①切、切斷 ②限、界限、限制、節制、底兒(費澤には切がない)奢華沒有限制(慾には切がない)慾無限度(彼は酒を飲みだすと切がない)他一喝起酒來就沒有節制(沒有底兒)③段、齣(芝居の一切)一齣戲(詩の一切)一齣詞(文の一切)一段文章
 きり切(接尾) ①就是 ②包(これきりしか有りません)就有這個另外沒有(彼は行ったきり手紙もよこさない)他走了就沒有信(行つたきり歸って來ない)一去就不回頭(金の有りきり使ふ)所有的錢都花、有多少錢花多少錢(今日きりで活動を見に行かない)以今

天爲限往後再不看電影「此度きり」就是這一回
 ぎり義理(名) 人情、情分、情義、情理「義理を立てる」盡我的情分「義理一片で後は振り返らない」不過是虛面子不管後來是怎麼樣「義理に絆される」被情義所拘「義理を構はない」不顧情義「義理を知らない」不知情義、沒情分「義理にもそんな事は出来な」於情理上忍不得做這樣事情
 きりあく切上グ(下二段他動) ①結(話を切上げる)把話說結了 ②收(商賣を切上げる)收買賣 ③止住、截止「仕事を切上げる」把活止住了「入學願書受付は來月五日で切

上げます」學校報名以本月初五爲截止 「的、截止的
 きりあげ切上(名) ①收的 ②止住
 きりあひ切合(名) 拿刀彼此打
 きりあふ切合フ(四段他動) 拿刀彼此打
 打 「牛毛雨、小濛子雨
 きりあめ霧雨(名) 濛濛雨、細雨、
 きりいし切石(名) 石材
 きりいる切入ル(四段他動) 突擊
 きりう寄留(名) 寄居、寄寓
 きりうり切賣(名) 切爲小片兒賣
 きりかかる切掛ル(四段他動) ①切起
 東西來(カカル) ②拿刀砍去(切ッテカル)
 きりかふ切替フ(下二段他動) 換、改換(名を切替へる)改換名字「金

を切替へる)換錢、兌換銀子
 きりかぶ切株(名) 樹的底半截兒、樹的底盤兒、樹幹、殘幹
 きりかみ切髮(名) 剪髮
 きりきず切疵(名) 刀傷、砍傷、刺傷(名)、割傷 「子、晚晝子
 きりきやうげん切狂言(名) 末晝
 きりきり(名) ①一陣一陣的(腹がきりきり痛む) 肚子一陣一陣的疼 ②嗚嗚嗚嗚的(獨樂)「がきりきり廻る」獨樂(Solo)嗚嗚嗚嗚的轉(Chorus) ③唧兒唧兒「蟋蟀(コホ)がきりきりと鳴く」 灶馬兒唧兒唧兒的叫喚 ④快(きりきり歩め)快走罷(キリキリハヤヤリ) ⑤頭髮旋兒(きりきり切切) 到尾、到底、到

了家的「値段はきりきりです」這是到了家的價錢「五圓は切切結着てもうそれよりは負りません」五塊錢是到底的價錢再少了不能賣
 きりぎりす齋斯(名) 囁囁兒
 きりくぎ切釘(名) 棗核兒釘子
 きりくたく切碎ク(四段他動) 切爛、切碎、割碎「氷を切碎く」把冰切碎
 碎 「口
 きりくち切口(名) 口子、豁口、刀
 きりくづ切屑(名) 切剩下的末兒
 きりくづす切崩ス(四段他動) ①截開、割開 ②攻出去、攻破「山を切崩す」把山截開「敵を切崩す」把敵人攻出去
 きりくひ切株(名) 與きりかぶ同

きりこ切籠(名) 八寶飯兒(方形ノ角形) 乾板
 きりこじやう切口上(名) 乾板
 塚字兒 「籃兒燈、蓮花燈
 きりこどうろう切籠燈籠(名) 花
 きりこむ切込ム(四段他動) ①突擊、砍進去「敵陣へ切込む」砍進敵軍去 ②追問、究問、盤問「切込んで尋ねる」追問、究問
 きりさげがみ切下髮(名) 剪髮
 きりさめ霧雨(名) 濛濛雨
 きりしたん切支丹(名) 天主教
 きりしや希臘(名) 希臘
 きりすつ切捨ッ(下二段他動) ①切了去了、切下扔了「大根の端を切捨てる」把蘿蔔的頭兒切下扔了「餘った数は切捨る」餘數兒去了不算、把零兒抹了去不算 ②砍

殺人「昔の武士は百姓を切捨てた」古代的武士隨便可以殺死百姓「切捨御免」格殺不論
 きりすとけう基督教(名) 耶穌教、基督教
 きりずみ切炭(名) 切爲小塊兒的
 きりせん切錢(名) 貼水
 きりだし切出(名) ①小刀子 ②剔出來的肉
 きりだす切出ス(四段他動) ①剔(肉を切出す)剔出肉來 ②伐出(山から材木を切出す)從山裏把木料伐出來 ③鑿(Saw)「石を切出す」鑿出石頭來 ④開言「談を切出す」開言說
 きりたつ切立ッ(下二段他動) ①切起來 ②拿刀砍人